

令和2年度  
多摩市障がい者生活実態調査

報告書

令和3年3月  
多摩市



---

# 目次

---

<b>第1章 調査の概要</b> .....	1
1. 調査目的.....	3
2. 調査票（項目）の作成方法について.....	3
3. 実施期間.....	3
4. 調査方法.....	3
5. 調査の対象者.....	3
6. アンケート票回収結果.....	4
7. 報告書の見方.....	4
<b>第2章 調査結果の概要と分析</b> .....	5
基本的事項.....	7
住まいの状況.....	18
日常生活.....	27
医療の状況.....	43
外出の状況.....	58
日中活動の状況.....	66
就労状況.....	77
福祉サービス.....	95
福祉情報・相談の状況.....	99
災害時の避難や対応状況.....	115
差別の解消や権利擁護について.....	129
新型コロナウイルス感染拡大による影響.....	147
市に望む施策.....	153
<b>第3章 調査結果のまとめ</b> .....	161
【1. 基本的事項】.....	163
【2. 住まいの状況】.....	165
【3. 日常生活】.....	167
【4. 医療の状況】.....	169
【5. 外出の状況】.....	171
【6. 日中活動の状況】.....	173
【7. 就労状況】.....	174
【8. 福祉サービス】.....	176
【9. 福祉情報・相談の状況】.....	177
【10. 災害時の避難や対応状況】.....	179
【11. 差別の解消や権利擁護について】.....	181
【12. 新型コロナウイルス感染拡大による影響】.....	183
【13. 市に望む施策】.....	184



## 第1章 調査の概要



## 第1章 調査の概要

### 1. 調査目的

この調査は、「第6期多摩市障害福祉計画・第2期多摩市障がい児福祉計画（令和3年度～令和5年度）」の策定に必要な基礎資料を得るために実施しました。また、今後の多摩市における障害福祉施策の計画・実施にも結果を反映させていきます。

### 2. 調査票（項目）の作成方法について

障がい者生活実態調査項目については、多摩市に暮らす障がい者の家族会や当事者の会と話し合い、ご意見・ご提案等を取り入れながら作成された調査項目を基に作成しています。

さらに制度変更等の修正を加えるとともに、障がい者支援に精通されている障害福祉サービス事業者、相談支援事業者、保健・福祉・教育関係者、障害団体、学識経験者などで構成されている多摩市地域自立支援協議会の委員の方のご意見を参考に作成しました。

### 3. 実施期間

令和2年8月7日（金）～ 令和2年8月21日（金）

### 4. 調査方法

無記名の郵送法による配布・回収

### 5. 調査の対象者

アンケート調査の対象は、令和2年6月末日現在、多摩市内の以下の方を対象としています。

多摩市における調査対象者の総数は、以下の8,597名となりますが、今回調査では障がい児・者の生活実態を均一に把握することを目的に、各対象者別に18歳未満と18歳以上に分けた上で、それぞれ50%の無作為抽出により、4,298名の方を調査対象者としています。

- 1) 身体障害者手帳をお持ちの方（4,043名）
- 2) 愛の手帳をお持ちの方（823名）
- 3) 精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方（1,485名）
- 4) 自立支援医療（精神通院医療）の給付を受けている方（953名）
- 5) 難病患者の方（980名）
- 6) 手帳をお持ちではなく障害福祉サービスなどを利用している方（313名）  
（高次脳機能障害や発達障害等の精神疾患の方）

## 6. アンケート票回収結果

回収結果は以下の通りです。

回収数：1,881（回収率：43.8%）

## 7. 報告書の見方

この報告書は、次のように記載されています。

- ① 比率は全て百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。このため、百分率の合計が100%にならない場合があります。
- ② 各項目で基数となる実数をnとして掲載しています。比率は基数を100%として算出しています。
- ③ 1人の回答者が複数回答する設問では、比率の合計が100%を上回ることがあります。
- ④ 問 37 障害者総合支援法・児童福祉法のサービスについて、問 49 あなたが避難所で必要な支援は何ですか、問 64 新型コロナウイルスの流行で困っていることや不安なこと、問 66 市政に対するご意見・ご要望につきましては、自由意見となっています。これらの設問に対する回答は、あらかじめ行政資料室等で公開を予定しております。



## 第2章 調査結果の概要と分析

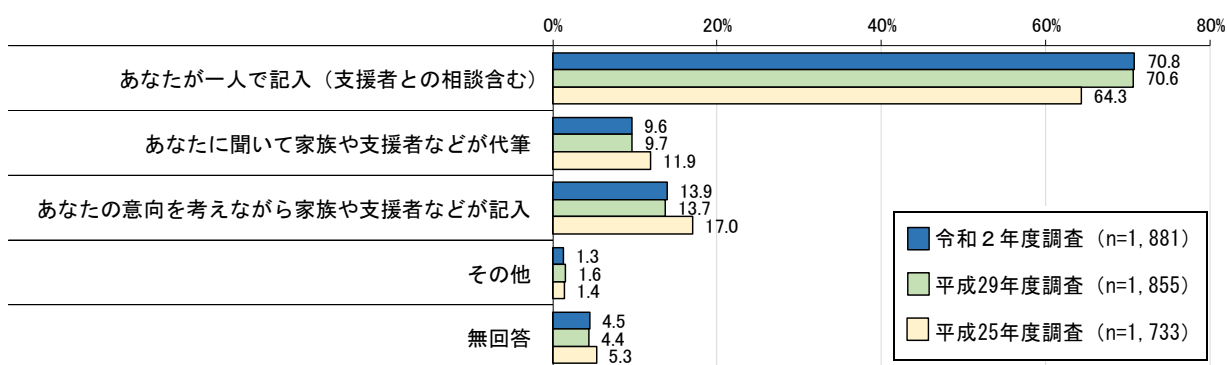


## 第2章 調査結果の概要と分析

## 基本的事項

問1 調査票のご記入は主にどなたですか。(〇は1つ)

## 経年比較

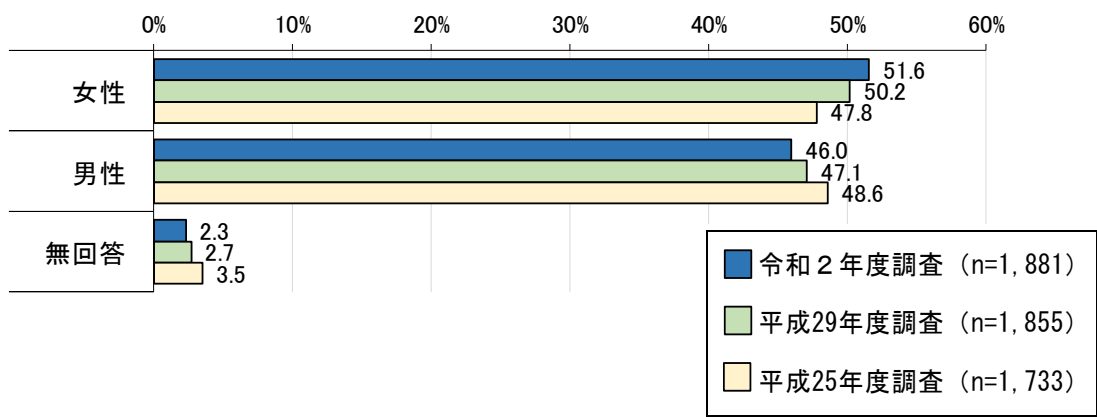


## 障害別

上段：度数 下段：%		全体	（あなたが一人で記入を含む） （支援者との相談を含む）	あなたに聞いて家族や支援者などが代筆	家族やあなたの意向を考えながら記入	その他	無回答
全体		1,881 100.0	1,331 70.8	180 9.6	261 13.9	24 1.3	85 4.5
障害別	身体障害	989 100.0	717 72.5	99 10.0	114 11.5	15 1.5	44 4.4
	知的障害	201 100.0	59 29.4	29 14.4	100 49.8	6 3.0	7 3.5
	発達障害	122 100.0	58 47.5	13 10.7	41 33.6	7 5.7	3 2.5
	精神障害	397 100.0	315 79.3	27 6.8	39 9.8	2 0.5	14 3.5
	高次脳機能障害	35 100.0	15 42.9	6 17.1	14 40.0	0 0.0	0 0.0
	難病（特定疾患）	318 100.0	245 77.0	28 8.8	31 9.7	2 0.6	12 3.8
	無回答	86 100.0	57 66.3	11 12.8	5 5.8	1 1.2	12 14.0

問2 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

経年比較



障害別

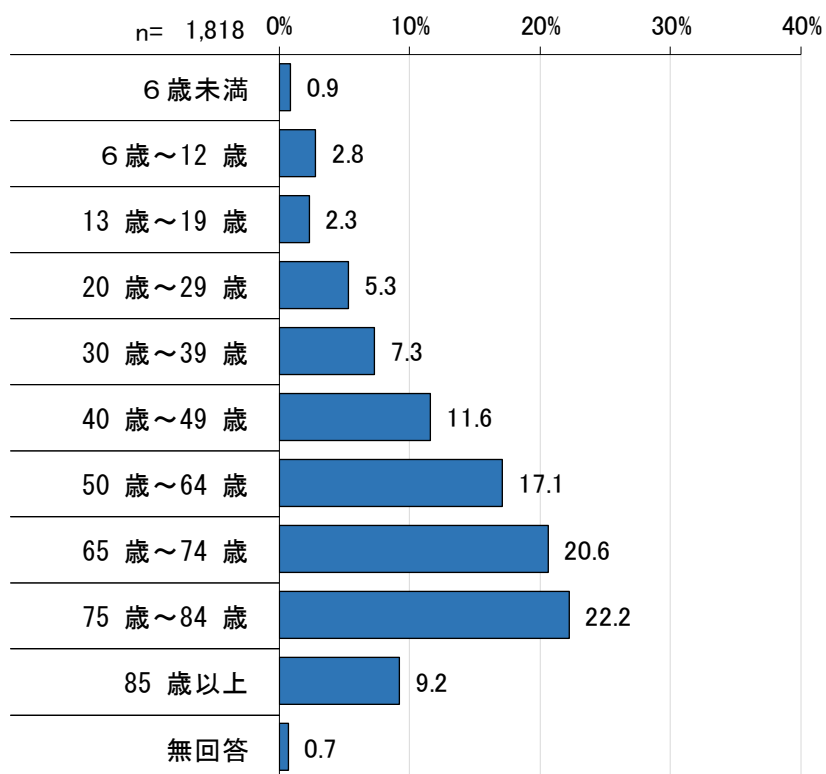
		全体	女性	男性	無回答
上段：度数 下段：%					
全体		1,881 100.0	970 51.6	866 46.0	44 2.3
障害別	身体障害	989 100.0	495 50.1	469 47.4	24 2.4
	知的障害	201 100.0	88 43.8	110 54.7	3 1.5
	発達障害	122 100.0	43 35.2	78 63.9	1 0.8
	精神障害	397 100.0	228 57.4	164 41.3	5 1.3
	高次脳機能障害	35 100.0	13 37.1	21 60.0	1 2.9
	難病（特定疾患）	318 100.0	182 57.2	133 41.8	3 0.9
	無回答	86 100.0	39 45.3	35 40.7	12 14.0

※ 選択肢「その他」は回答者数が少なく、個人を特定するおそれがあるため記載していません。

問3 あなたの年齢（令和2年7月1日現在）をお答えください。（〇は1つ）

全体

○全体では「75歳～84歳」が22.2%で最も高く、次いで「65歳～74歳」が20.6%、「50歳～64歳」が17.1%となっている。



**障害別**

○障害別にみると、65歳以上の合計は身体障害で74.5%、難病で57.9%、高次脳機能障害で48.6%となっている。

○20歳未満の合計は発達障害で40.1%、知的障害で25.8%となっており、精神障害は20歳～64歳の合計で79.0%となっている。

		全体	6歳未満	6歳～12歳	13歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～64歳
全体		1,881	16	52	44	99	137	219	322
		100.0	0.9	2.8	2.3	5.3	7.3	11.6	17.1
障害別	身体障害	989	4	9	13	23	26	44	131
		100.0	0.4	0.9	1.3	2.3	2.6	4.4	13.2
	知的障害	201	4	25	23	49	37	34	18
		100.0	2.0	12.4	11.4	24.4	18.4	16.9	9.0
	発達障害	122	7	27	15	26	22	18	7
		100.0	5.7	22.1	12.3	21.3	18.0	14.8	5.7
	精神障害	397	0	2	4	23	66	103	122
		100.0	0.0	0.5	1.0	5.8	16.6	25.9	30.7
高次脳機能障害	35	0	1	0	2	2	4	9	
	100.0	0.0	2.9	0.0	5.7	5.7	11.4	25.7	
難病（特定疾患）	318	0	0	3	11	15	39	66	
	100.0	0.0	0.0	0.9	3.5	4.7	12.3	20.8	
無回答	86	1	1	5	2	3	12	7	
	100.0	1.2	1.2	5.8	2.3	3.5	14.0	8.1	

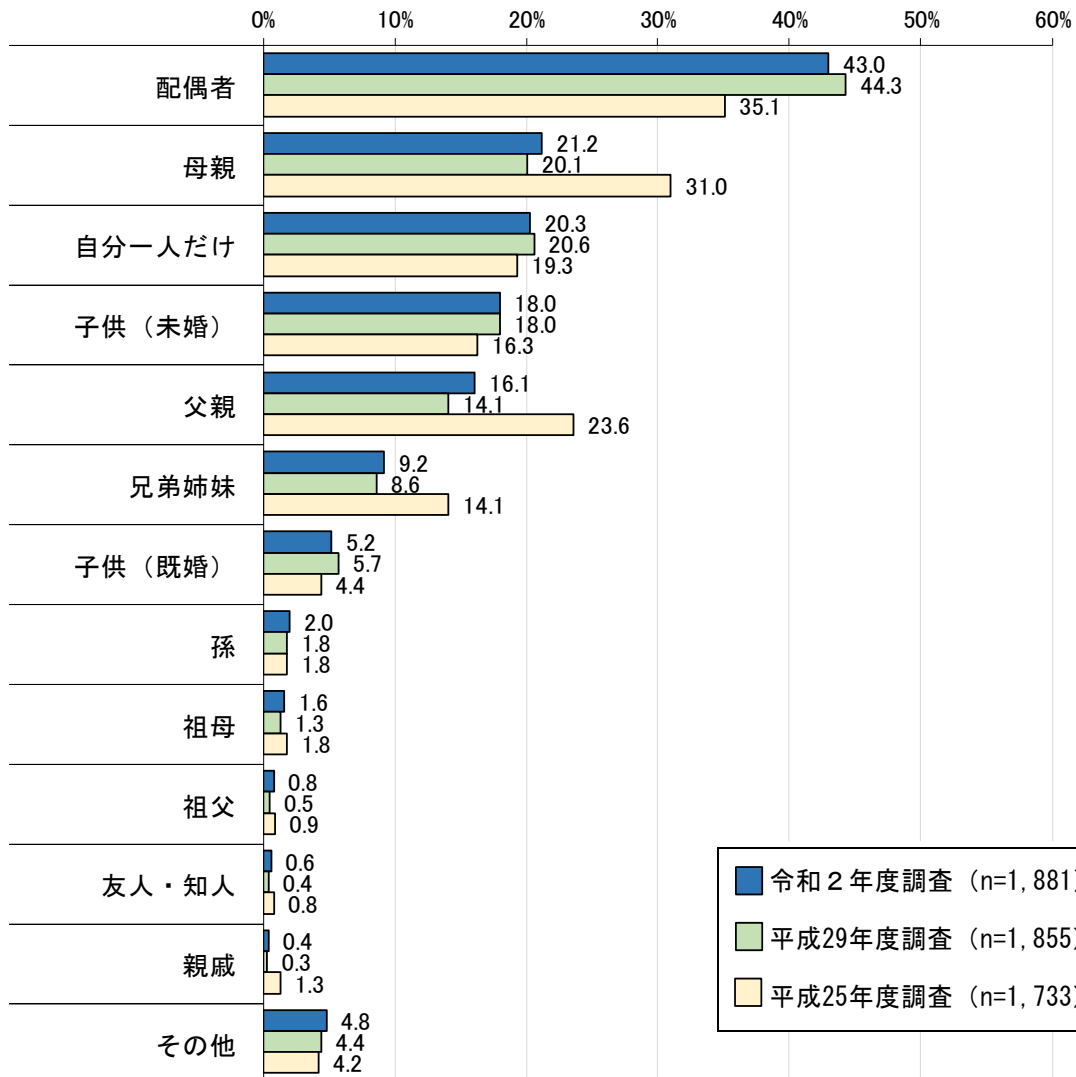
		65歳～74歳	75歳～84歳	85歳以上	無回答
全体		387	418	173	14
		20.6	22.2	9.2	0.7
障害別	身体障害	261	328	147	3
		26.4	33.2	14.9	0.3
	知的障害	4	4	2	1
		2.0	2.0	1.0	0.5
	発達障害	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0
	精神障害	57	13	4	3
		14.4	3.3	1.0	0.8
高次脳機能障害	11	5	1	0	
	31.4	14.3	2.9	0.0	
難病（特定疾患）	80	82	22	0	
	25.2	25.8	6.9	0.0	
無回答	14	23	10	8	
	16.3	26.7	11.6	9.3	

## 問4 あなたは誰と一緒に暮らしていますか。(〇はいくつでも)

## 経年比較

○全体では「配偶者」が43.0%で最も高く、次いで「母親」が21.2%、「自分一人だけ」が20.3%となっている。

○前回と比較すると「配偶者」「自分一人だけ」「子供（既婚）」が減少し、「母親」「父親」「兄弟姉妹」などが増加している。



障害別

○障害別にみると、身体障害では「配偶者」が52.0%と最も高く、次いで「自分一人だけ」が21.2%、「子供（未婚）」が20.1%となっている。

○知的障害、発達障害では「母親」が最も高く、次いで「父親」、「兄弟姉妹」となっている。

○精神障害では「自分一人だけ」が28.2%と他の障害と比べて高くなっている。

		全体	配偶者	母親	自分一人だけ	子供（未婚）	父親	兄弟姉妹	子供（既婚）
上段：度数 下段：%									
全体		1,881 100.0	808 43.0	399 21.2	382 20.3	339 18.0	302 16.1	173 9.2	97 5.2
障害別	身体障害	989 100.0	514 52.0	102 10.3	210 21.2	199 20.1	77 7.8	42 4.2	71 7.2
	知的障害	201 100.0	7 3.5	151 75.1	11 5.5	6 3.0	117 58.2	75 37.3	2 1.0
	発達障害	122 100.0	5 4.1	90 73.8	12 9.8	5 4.1	77 63.1	51 41.8	0 0.0
	精神障害	397 100.0	107 27.0	123 31.0	112 28.2	58 14.6	83 20.9	43 10.8	10 2.5
	高次脳機能障害	35 100.0	14 40.0	8 22.9	3 8.6	7 20.0	6 17.1	4 11.4	2 5.7
	難病（特定疾患）	318 100.0	199 62.6	27 8.5	51 16.0	81 25.5	18 5.7	9 2.8	23 7.2
	無回答	86 100.0	31 36.0	12 14.0	21 24.4	12 14.0	10 11.6	8 9.3	2 2.3

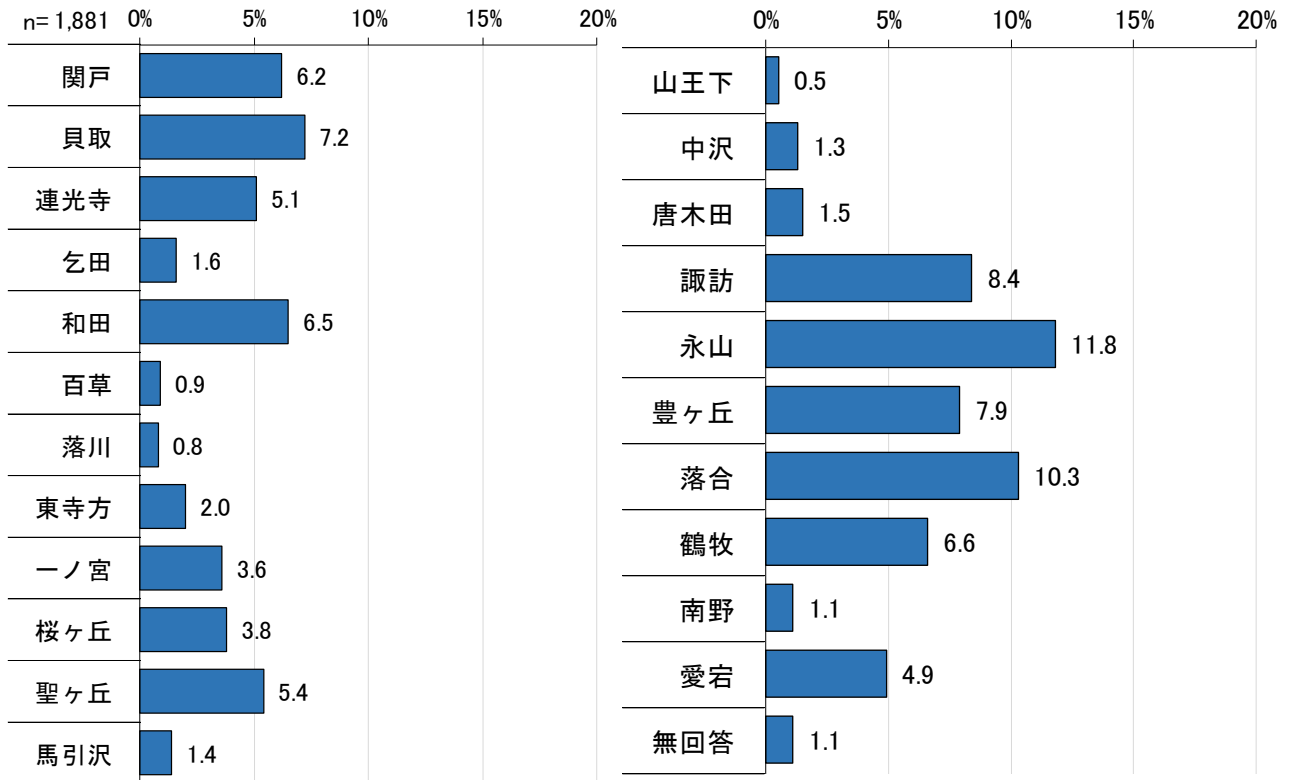
		孫	祖母	祖父	友人・知人	親戚	その他	無回答
上段：度数 下段：%								
全体		37 2.0	31 1.6	15 0.8	12 0.6	8 0.4	90 4.8	15 0.8
障害別	身体障害	31 3.1	8 0.8	5 0.5	4 0.4	1 0.1	45 4.6	1 0.1
	知的障害	0 0.0	16 8.0	8 4.0	2 1.0	1 0.5	23 11.4	1 0.5
	発達障害	0 0.0	8 6.6	5 4.1	0 0.0	3 2.5	4 3.3	1 0.8
	精神障害	3 0.8	3 0.8	1 0.3	3 0.8	4 1.0	17 4.3	2 0.5
	高次脳機能障害	2 5.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8 22.9	0 0.0
	難病（特定疾患）	10 3.1	2 0.6	1 0.3	1 0.3	1 0.3	9 2.8	0 0.0
	無回答	0 0.0	1 1.2	0 0.0	2 2.3	0 0.0	3 3.5	11 12.8



## 問5 あなたは多摩市のどちらにお住まいですか。(〇は1つ)

全体

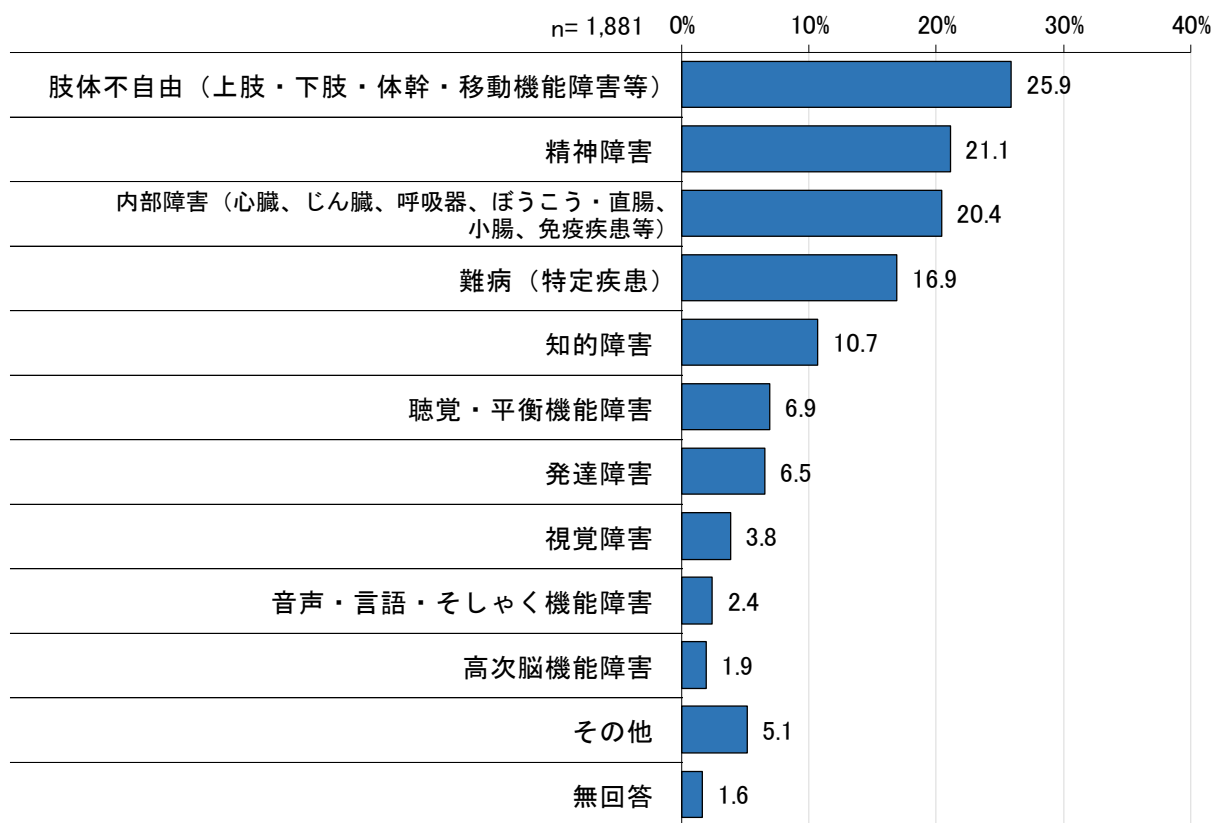
〇全体では「永山」が11.8%で最も高く、次いで「落合」が10.3%、「諏訪」が8.4%となっている。



問6 あなたの障害についてお聞きします。(該当するものすべてに○)

全体

○全体では「肢体不自由（上肢・下肢・体幹・移動機能障害等）」が25.9%で最も高く、次いで「精神障害」が21.1%、「内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう・直腸、小腸、免疫疾患等）」が20.4%となっている。



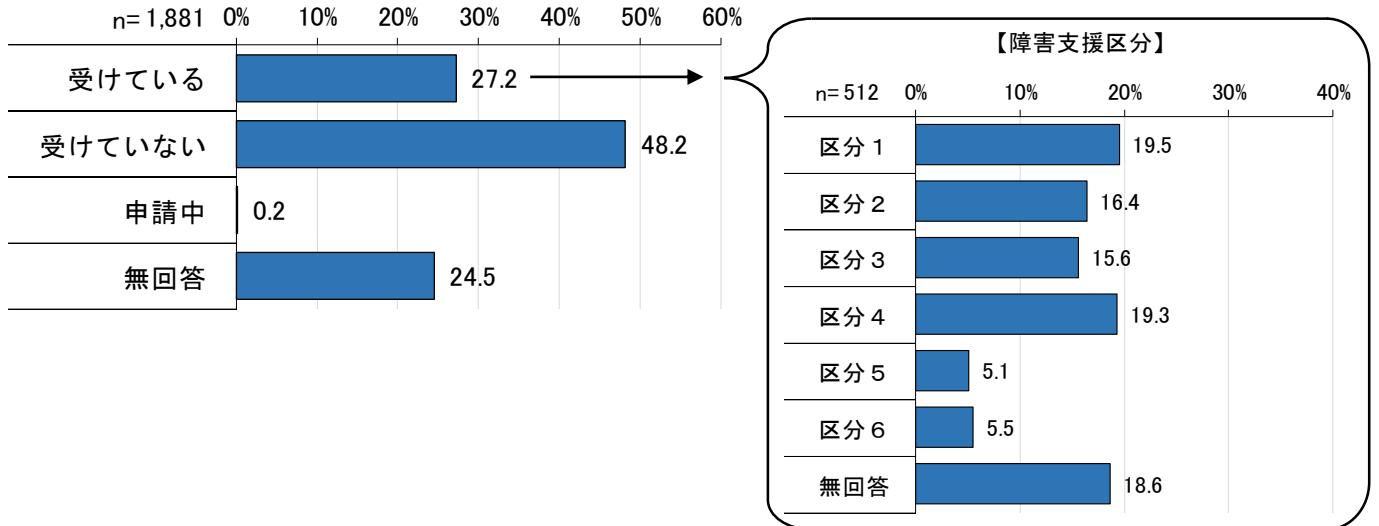
《年齢が18歳以上の方におたずねします》

問7 障害者総合支援法における障害支援区分の認定を受けていますか。(○は1つ)

全体

○全体では「受けていない」が48.2%で最も高く、次いで「受けている」が27.2%、「申請中」が0.2%となっている。

○受けていると回答した方の障害支援区分では、「区分1」が19.5%で最も高く、次いで「区分4」が19.3%、「区分2」が16.4%となっている。



障害別

○障害別にみると、「受けている」は高次脳機能障害の48.6%が最も高く、次いで知的障害が38.8%、身体障害が33.7%となっている。「受けていない」は難病が67.9%となっている。

		全体	受けている	受けていない	申請中	無回答
上段：度数 下段：%						
全体		1,881 100.0	512 27.2	906 48.2	3 0.2	460 24.5
障害別	身体障害	989 100.0	333 33.7	432 43.7	2 0.2	222 22.4
	知的障害	201 100.0	78 38.8	46 22.9	0 0.0	77 38.3
	発達障害	122 100.0	19 15.6	41 33.6	1 0.8	61 50.0
	精神障害	397 100.0	80 20.2	230 57.9	1 0.3	86 21.7
	高次脳機能障害	35 100.0	17 48.6	12 34.3	0 0.0	6 17.1
	難病（特定疾患）	318 100.0	46 14.5	216 67.9	1 0.3	55 17.3
	無回答	86 100.0	15 17.4	33 38.4	0 0.0	38 44.2

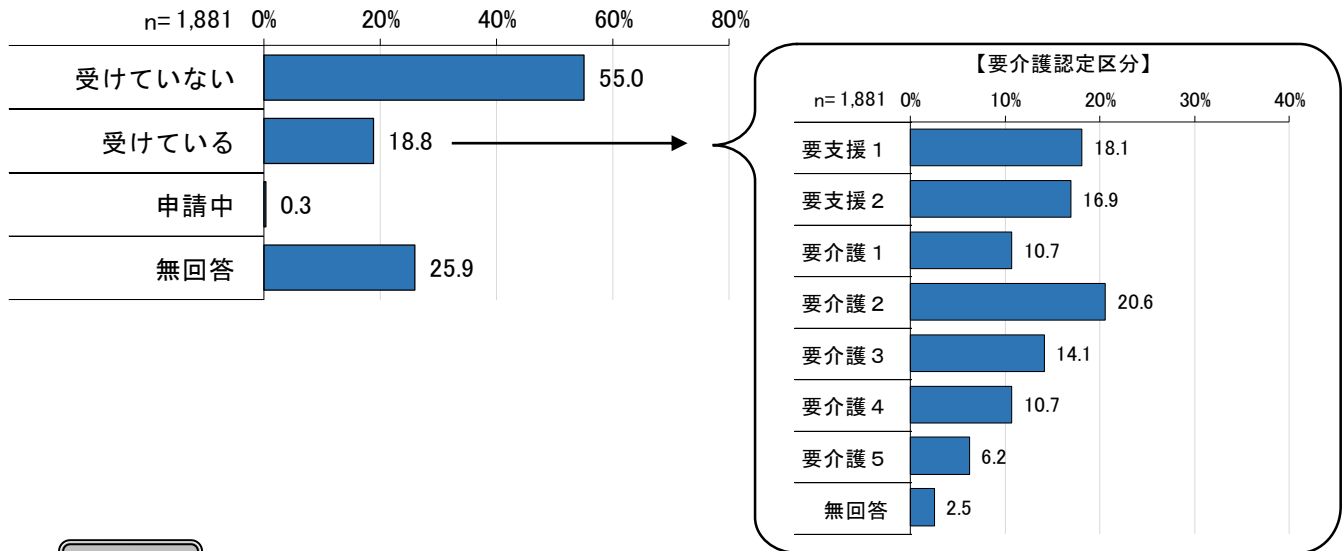
《年齢が40歳以上の方におたずねします》

問8 介護保険における要介護認定を受けていますか。(〇は1つ)

全体

○全体では「受けていない」が55.0%で最も高く、次いで「受けている」が18.8%、「申請中」が0.3%となっている。

○受けていると回答した方の要介護認定区分では、「要介護2」が20.6%で最も高く、次いで「要支援1」が18.1%、「要支援2」が16.9%となっている。



障害別

○障害別にみると、「受けている」は高次脳機能障害の37.1%が最も高く、次いで難病が28.0%、身体障害が25.4%となっている。

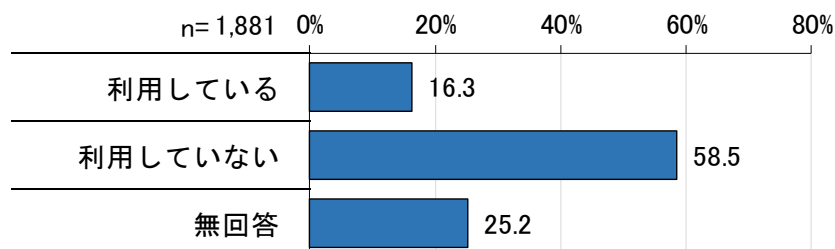
		全体	受けている	受けていない	申請中	無回答
上段：度数 下段：%						
全体		1,881 100.0	354 18.8	1,035 55.0	5 0.3	487 25.9
障害別	身体障害	989 100.0	251 25.4	571 57.7	3 0.3	164 16.6
	知的障害	201 100.0	10 5.0	52 25.9	0 0.0	139 69.2
	発達障害	122 100.0	1 0.8	25 20.5	0 0.0	96 78.7
	精神障害	397 100.0	34 8.6	239 60.2	1 0.3	123 31.0
	高次脳機能障害	35 100.0	13 37.1	12 34.3	0 0.0	10 28.6
	難病（特定疾患）	318 100.0	89 28.0	186 58.5	2 0.6	41 12.9
	無回答	86 100.0	18 20.9	37 43.0	0 0.0	31 36.0

## 《年齢が40歳以上の方におたずねします》

問9 介護保険サービスを利用していますか。(〇は1つ)

## 全体

○全体では「利用していない」が58.5%、「利用している」は16.3%となっている。



## 障害別

○障害別にみると、「利用している」は高次脳機能障害の31.4%が最も高く、次いで難病が23.3%、身体障害が21.5%となっている。

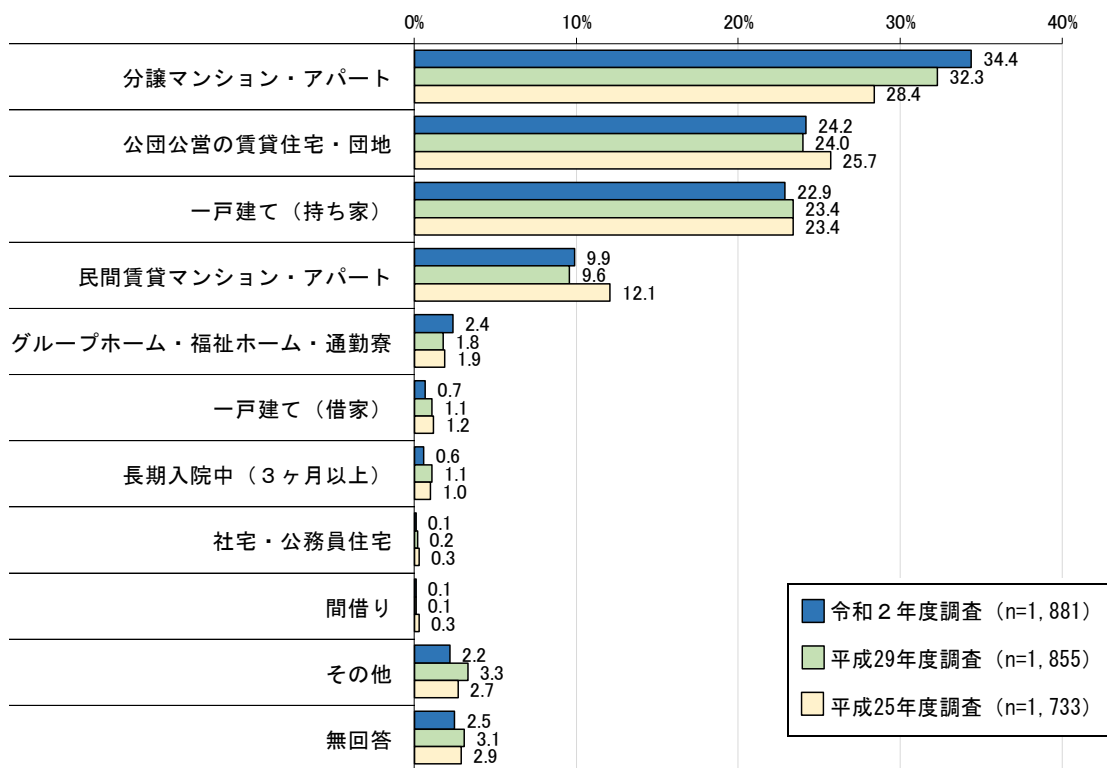
		全体	利用 している	利用 して いない	無 回 答
上段：度数 下段：%					
全体		1,881 100.0	306 16.3	1,101 58.5	474 25.2
障害別	身体障害	989 100.0	213 21.5	623 63.0	153 15.5
	知的障害	201 100.0	8 4.0	52 25.9	141 70.1
	発達障害	122 100.0	1 0.8	23 18.9	98 80.3
	精神障害	397 100.0	35 8.8	240 60.5	122 30.7
	高次脳機能障害	35 100.0	11 31.4	16 45.7	8 22.9
	難病（特定疾患）	318 100.0	74 23.3	202 63.5	42 13.2
	無回答	86 100.0	15 17.4	42 48.8	29 33.7

住まいの状況

問10 あなたのお住まいは、次のうちどれですか。親、兄弟などの親族と同居している場合は、その住まいについてお答えください。(〇は1つ)

経年比較

- 全体では「分譲マンション・アパート」が34.4%と最も高く、次いで「公団公営の賃貸住宅・団地」が24.2%、「一戸建て（持ち家）」が22.9%となっている。
- 前回と比較すると「分譲マンション・アパート」が増加傾向にある一方、「一戸建て（持ち家）」が減少している。



## 障害別

○障害別にみると、すべての障害で「分譲マンション・アパート」が最も高くなっている。

○「公団公営の賃貸住宅・団地」ではすべての障害で2割を超えている。

上段：度数 下段：%		全体	分譲 マンション・ アパート	公団 公営の 賃貸住宅・ 団地	一戸 建て (持ち家)	民間 賃貸 マンション・ ア パート	グ ル ー プ ホ ー ム ・ 通 勤 寮	一 戸 建 て (借 家)	長 期 入 院 中 (3 ヶ 月 以 上)
全体		1,881 100.0	647 34.4	456 24.2	430 22.9	187 9.9	45 2.4	13 0.7	12 0.6
障 害 別	身体障害	989 100.0	349 35.3	242 24.5	242 24.5	74 7.5	17 1.7	9 0.9	7 0.7
	知的障害	201 100.0	59 29.4	52 25.9	49 24.4	8 4.0	14 7.0	2 1.0	3 1.5
	発達障害	122 100.0	48 39.3	26 21.3	27 22.1	15 12.3	2 1.6	1 0.8	0 0.0
	精神障害	397 100.0	113 28.5	112 28.2	69 17.4	69 17.4	6 1.5	2 0.5	6 1.5
	高次脳機能障害	35 100.0	9 25.7	7 20.0	6 17.1	4 11.4	2 5.7	0 0.0	1 2.9
	難病（特定疾患）	318 100.0	126 39.6	70 22.0	83 26.1	26 8.2	3 0.9	1 0.3	0 0.0
	無回答	86 100.0	24 27.9	19 22.1	16 18.6	10 11.6	3 3.5	0 0.0	0 0.0

上段：度数 下段：%		社 宅 ・ 公 務 員 住 宅	間 借 り	そ の 他	無 回 答
全体		2 0.1	1 0.1	41 2.2	47 2.5
障 害 別	身体障害	1 0.1	0 0.0	27 2.7	21 2.1
	知的障害	0 0.0	0 0.0	10 5.0	4 2.0
	発達障害	0 0.0	0 0.0	3 2.5	0 0.0
	精神障害	1 0.3	1 0.3	9 2.3	9 2.3
	高次脳機能障害	0 0.0	0 0.0	4 11.4	2 5.7
	難病（特定疾患）	0 0.0	0 0.0	3 0.9	6 1.9
	無回答	0 0.0	0 0.0	2 2.3	12 14.0

ライフステージ別

○ライフステージ別にみると、「分譲マンション・アパート」がすべてのライフステージで最も高く、「公団公営の賃貸住宅・団地」では壮年期が、「一戸建て（持ち家）」では児童期が高くなっている。

上段：度数 下段：%		全体	分譲マンション・アパート	公団公営の賃貸住宅・団地	一戸建て（持ち家）	民間賃貸マンション・アパート	グループホーム・福祉ホーム・通所寮	一戸建て（借家）	長期入院中（3ヶ月以上）
全体		1,881 100.0	647 34.4	456 24.2	430 22.9	187 9.9	45 2.4	13 0.7	12 0.6
ライフステージ別	乳幼児期（6歳未満）	16 100.0	7 43.8	4 25.0	3 18.8	2 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	児童期（6歳～12歳）	52 100.0	23 44.2	7 13.5	17 32.7	4 7.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	思春期（13歳～19歳）	44 100.0	18 40.9	11 25.0	8 18.2	5 11.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	青年期（20歳～39歳）	236 100.0	66 28.0	51 21.6	55 23.3	40 16.9	11 4.7	1 0.4	1 0.4
	壮年期（40歳～64歳）	541 100.0	187 34.6	141 26.1	95 17.6	77 14.2	9 1.7	4 0.7	1 0.2
	高齢期（65歳以上）	978 100.0	346 35.4	241 24.6	248 25.4	59 6.0	25 2.6	8 0.8	7 0.7
	無回答	14 100.0	0 0.0	1 7.1	4 28.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 21.4

上段：度数 下段：%		社宅・公務員住宅	間借り	その他	無回答
全体		2 0.1	1 0.1	41 2.2	47 2.5
ライフステージ別	乳幼児期（6歳未満）	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	児童期（6歳～12歳）	0 0.0	0 0.0	1 1.9	0 0.0
	思春期（13歳～19歳）	0 0.0	0 0.0	1 2.3	1 2.3
	青年期（20歳～39歳）	1 0.4	1 0.4	2 0.8	7 3.0
	壮年期（40歳～64歳）	1 0.2	0 0.0	13 2.4	13 2.4
	高齢期（65歳以上）	0 0.0	0 0.0	24 2.5	20 2.0
	無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 42.9

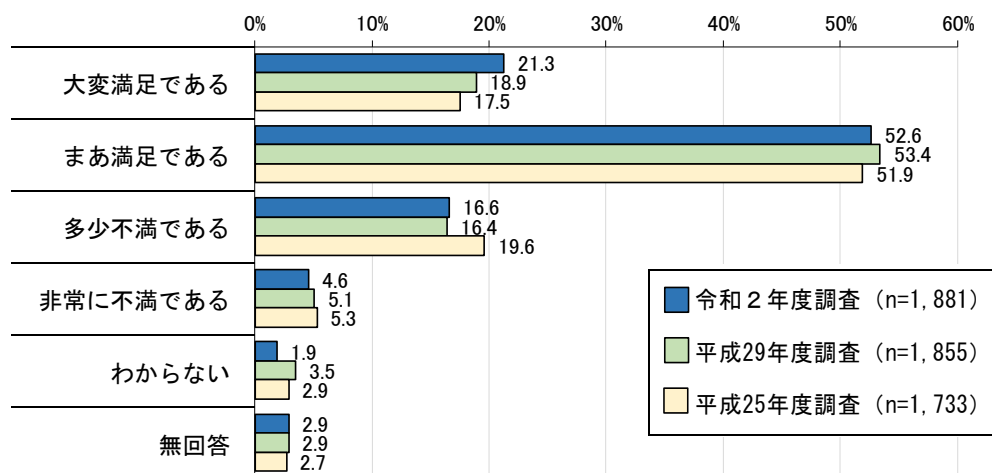


問11 あなたのお住まいの住み心地はいかがですか。(〇は1つ)

経年比較

○全体では「まあ満足である」が52.6%と最も高く、「大変満足である」の21.3%と合わせた『満足』は73.9%となっている。

○前回までと比較すると「大変満足である」が増加している。



障害別

○障害別にみると、すべての障害で『満足』が6割以上となっている。

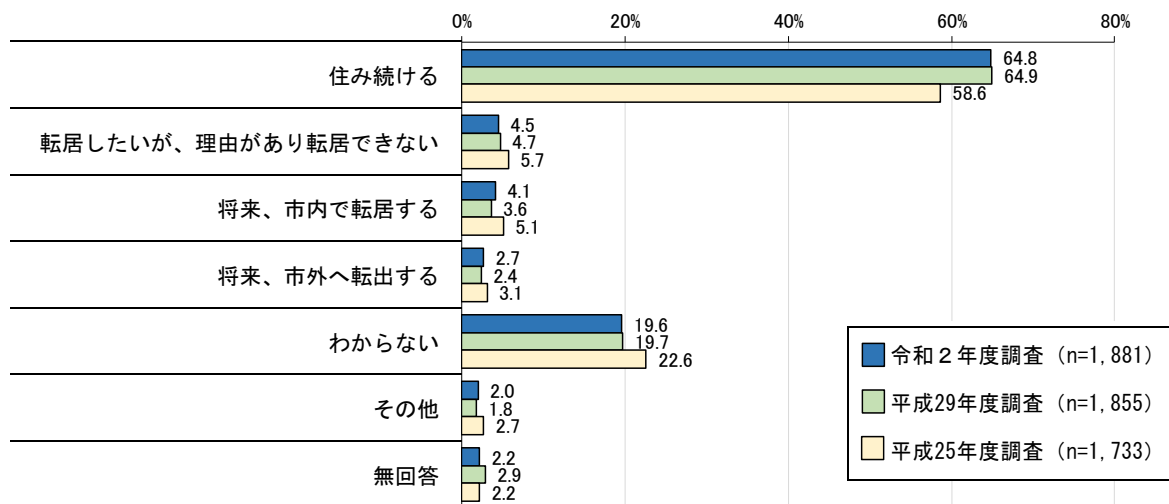
○精神障害では「多少不満である」「非常に不満である」を合わせた『不満』が26.7%となり、他の障害と比べて最も高くなっている。次いで難病が22.1%となっている。

		全体	大変満足である	まあ満足である	多少不満である	非常に不満である	わからない	無回答
上段：度数 下段：%								
全体		1,881 100.0	401 21.3	989 52.6	313 16.6	87 4.6	36 1.9	55 2.9
障害別	身体障害	989 100.0	206 20.8	539 54.5	167 16.9	40 4.0	13 1.3	24 2.4
	知的障害	201 100.0	50 24.9	112 55.7	18 9.0	8 4.0	9 4.5	4 2.0
	発達障害	122 100.0	27 22.1	65 53.3	18 14.8	7 5.7	5 4.1	0 0.0
	精神障害	397 100.0	76 19.1	190 47.9	78 19.6	28 7.1	9 2.3	16 4.0
	高次脳機能障害	35 100.0	8 22.9	17 48.6	4 11.4	2 5.7	2 5.7	2 5.7
	難病（特定疾患）	318 100.0	69 21.7	168 52.8	59 18.6	11 3.5	5 1.6	6 1.9
	無回答	86 100.0	19 22.1	35 40.7	14 16.3	5 5.8	2 2.3	11 12.8

問12 あなたは、現在の住まいにこれからも住み続けますか。(〇は1つ)

経年比較

- 全体では「住み続ける」が64.8%と最も高く、次いで「わからない」が19.6%となっている。
- 前回までと比較すると「住み続ける」「転居したいが、理由があり転居できない」「わからない」が減少している。



住宅形態別

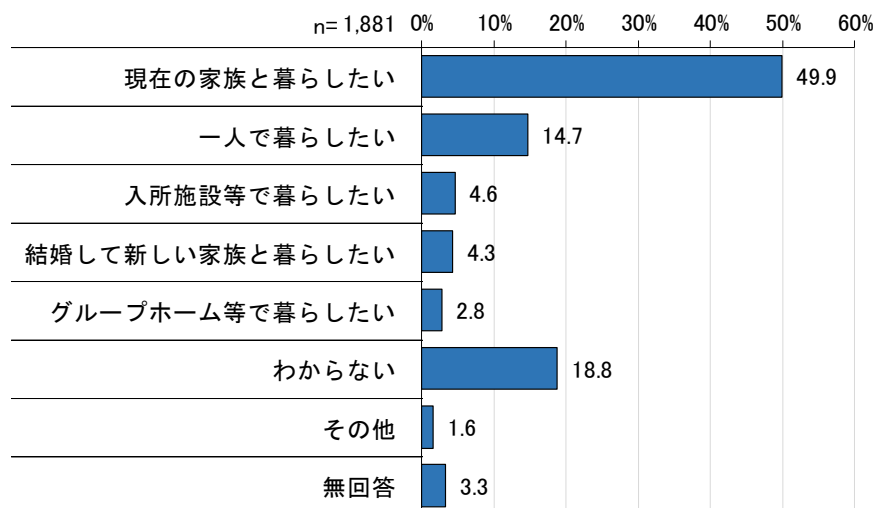
- 住宅形態別にみると、一戸建て（持ち家）、分譲マンション・アパート、グループホーム・福祉ホーム・通勤寮に居住している人では7割以上が「住み続ける」と回答している。

住宅形態別	上段：度数 下段：%	全体	住み続ける	あり居 転した 居でき ない、 理由が	将来、 市内で 転居す る	将来、 市外へ 転出す る	わから ない	その 他	無回 答
		全体	1,881 100.0	1,219 64.8	85 4.5	77 4.1	51 2.7	369 19.6	38 2.0
住宅 形態 別	一戸建て（持ち家）	430 100.0	347 80.7	7 1.6	3 0.7	9 2.1	56 13.0	6 1.4	2 0.5
	分譲マンション・アパート	647 100.0	464 71.7	21 3.2	11 1.7	14 2.2	126 19.5	8 1.2	3 0.5
	一戸建て（借家）	13 100.0	5 38.5	1 7.7	1 7.7	1 7.7	4 30.8	1 7.7	0 0.0
	民間賃貸マンション・ アパート	187 100.0	77 41.2	14 7.5	25 13.4	13 7.0	55 29.4	3 1.6	0 0.0
	公団公営の賃貸住宅・団地	456 100.0	252 55.3	38 8.3	33 7.2	13 2.9	103 22.6	15 3.3	2 0.4
	社宅・公務員住宅	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0
	グループホーム・ 福祉ホーム・通勤寮	45 100.0	33 73.3	3 6.7	2 4.4	0 0.0	5 11.1	2 4.4	0 0.0
	間借り	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
	長期入院中（3ヶ月以上）	12 100.0	3 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 50.0	1 8.3	2 16.7
	その他	41 100.0	26 63.4	1 2.4	2 4.9	0 0.0	9 22.0	1 2.4	2 4.9
	無回答	47 100.0	12 25.5	0 0.0	0 0.0	1 2.1	2 4.3	1 2.1	31 66.0

## 問13 将来、あなたはどのように暮らしたいと考えていますか。(〇は1つ)

## 全体

〇全体をみると、「現在の家族と暮らしたい」が49.9%と最も高くなっており、次いで「わからない」が18.8%、「一人で暮らしたい」が14.7%となっている。



## 障害別

〇障害別にみると、発達障害以外の障害において「現在の家族と暮らしたい」が最も高く、身体障害、高次脳機能障害、難病は5割を超えている。

〇知的障害は「グループホーム等で暮らしたい」が他の障害と比べて高くなっている。

〇精神障害は「一人で暮らしたい」、発達障害は「わからない」が他の障害と比べて高くなっている。

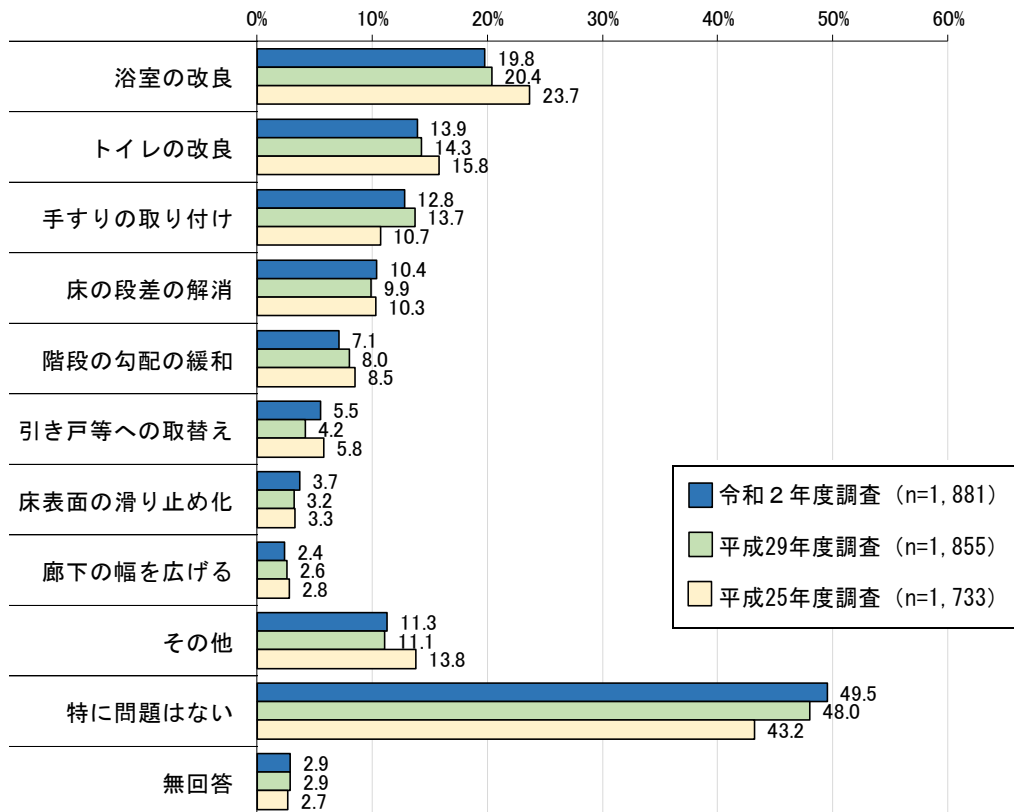
障害別	上段：度数 下段：%	全体	現在の家族と暮らしたい	一人で暮らしたい	入所施設等で暮らしたい	結婚して新しい家族と暮らしたい	グループホーム等で暮らしたい	わからない	その他	無回答
		全体	1,881 100.0	938 49.9	277 14.7	86 4.6	80 4.3	52 2.8	354 18.8	31 1.6
身体障害	989 100.0	551 55.7	145 14.7	56 5.7	23 2.3	12 1.2	152 15.4	14 1.4	36 3.6	
知的障害	201 100.0	65 32.3	14 7.0	10 5.0	13 6.5	35 17.4	57 28.4	3 1.5	4 2.0	
発達障害	122 100.0	32 26.2	22 18.0	1 0.8	14 11.5	5 4.1	44 36.1	2 1.6	2 1.6	
精神障害	397 100.0	163 41.1	81 20.4	6 1.5	31 7.8	6 1.5	86 21.7	11 2.8	13 3.3	
高次脳機能障害	35 100.0	18 51.4	4 11.4	2 5.7	1 2.9	1 2.9	7 20.0	1 2.9	1 2.9	
難病（特定疾患）	318 100.0	189 59.4	31 9.7	21 6.6	12 3.8	2 0.6	55 17.3	2 0.6	6 1.9	
無回答	86 100.0	34 39.5	11 12.8	5 5.8	1 1.2	0 0.0	22 25.6	3 3.5	10 11.6	

問14 あなたのお住まいで今後改善したいと思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

経年比較

○全体では「特に問題はない」が49.5%と最も高く、次いで「浴室の改良」が19.8%、「トイレの改良」が13.9%となっている。

○前回と比較すると、「特に問題はない」が1.5ポイント、「引き戸等への取替え」が1.3ポイント、「床の段差の解消」「床表面の滑り止め化」がそれぞれ0.5ポイント増加している。



## ライフステージ別

○ライフステージ別にみると、すべてのライフステージにおいて「特に問題はない」が最も高くなっている。

○「浴室の改良」は思春期で、「手すりの取り付け」は高齢期で特に高くなっている。

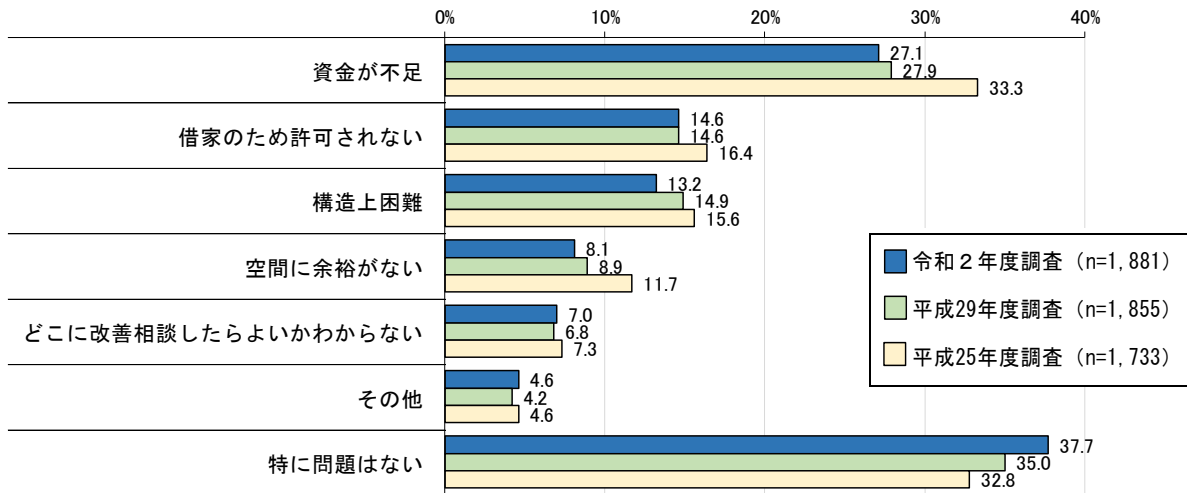
上段：度数 下段：%		全体	浴室の改良	トイレの改良	手すりの取り付け	床の段差の解消	階段の勾配の緩和	引き戸等への取替え	床表面の滑り止め化
全体		1,881 100.0	372 19.8	262 13.9	240 12.8	196 10.4	133 7.1	103 5.5	69 3.7
ライフステージ別	乳幼児期（6歳未満）	16 100.0	1 6.3	0 0.0	0 0.0	2 12.5	1 6.3	1 6.3	0 0.0
	児童期（6歳～12歳）	52 100.0	7 13.5	2 3.8	2 3.8	3 5.8	0 0.0	1 1.9	1 1.9
	思春期（13歳～19歳）	44 100.0	14 31.8	7 15.9	4 9.1	3 6.8	2 4.5	3 6.8	2 4.5
	青年期（20歳～39歳）	236 100.0	45 19.1	23 9.7	14 5.9	20 8.5	10 4.2	6 2.5	7 3.0
	壮年期（40歳～64歳）	541 100.0	95 17.6	84 15.5	63 11.6	39 7.2	42 7.8	29 5.4	22 4.1
	高齢期（65歳以上）	978 100.0	209 21.4	145 14.8	157 16.1	129 13.2	78 8.0	63 6.4	37 3.8
	無回答	14 100.0	1 7.1	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

上段：度数 下段：%		廊下の幅を広げる	その他	特に問題はない	無回答
全体		46 2.4	212 11.3	932 49.5	106 5.6
ライフステージ別	乳幼児期（6歳未満）	1 6.3	2 12.5	10 62.5	1 6.3
	児童期（6歳～12歳）	3 5.8	3 5.8	38 73.1	3 5.8
	思春期（13歳～19歳）	2 4.5	5 11.4	25 56.8	1 2.3
	青年期（20歳～39歳）	5 2.1	26 11.0	148 62.7	8 3.4
	壮年期（40歳～64歳）	14 2.6	71 13.1	281 51.9	21 3.9
	高齢期（65歳以上）	21 2.1	104 10.6	428 43.8	62 6.3
	無回答	0 0.0	1 7.1	2 14.3	10 71.4

問15 お住まいを改善する場合、どのような問題点がありますか。(〇はいくつでも)

経年比較

○全体では「特に問題はない」が37.7%と最も高く、次いで「資金が不足」が27.1%、「借家のため許可されない」が14.6%となっている。  
 ○前回までと比較すると、「資金が不足」「構造上困難」「空間に余裕がない」が減少傾向となり、「特に問題はない」は増加傾向となっている。



住宅形態別

○住宅形態別にみると、一戸建て（持ち家）では「資金が不足」、民間賃貸マンション・アパートでは「借家のため許可されない」が高くなっている。

住宅形態別	上段：度数 下段：%	全体	資金が不足	借家のため許可されない	構造上困難	空間に余裕がない	よどこに改善相談したら	その他	特に問題はない	無回答
全体	1,881 100.0	510 27.1	274 14.6	249 13.2	153 8.1	132 7.0	87 4.6	709 37.7	186 9.9	
一戸建て（持ち家）	430 100.0	154 35.8	1 0.2	52 12.1	37 8.6	28 6.5	19 4.4	177 41.2	37 8.6	
分譲マンション・アパート	647 100.0	194 30.0	8 1.2	103 15.9	65 10.0	43 6.6	29 4.5	295 45.6	44 6.8	
一戸建て（借家）	13 100.0	4 30.8	5 38.5	1 7.7	1 7.7	0 0.0	0 0.0	3 23.1	1 7.7	
民間賃貸マンション・アパート	187 100.0	30 16.0	87 46.5	11 5.9	6 3.2	10 5.3	7 3.7	67 35.8	8 4.3	
公団公営の賃貸住宅・団地	456 100.0	106 23.2	163 35.7	69 15.1	33 7.2	44 9.6	20 4.4	122 26.8	41 9.0	
社宅・公務員住宅	2 100.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
グループホーム・福祉ホーム・通所寮	45 100.0	5 11.1	2 4.4	5 11.1	2 4.4	4 8.9	5 11.1	23 51.1	7 15.6	
間借り	1 100.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
長期入院中（3ヶ月以上）	12 100.0	3 25.0	0 0.0	1 8.3	1 8.3	0 0.0	2 16.7	2 16.7	7 58.3	
その他	41 100.0	9 22.0	4 9.8	4 9.8	7 17.1	2 4.9	5 12.2	13 31.7	8 19.5	
無回答	47 100.0	4 8.5	1 2.1	3 6.4	1 2.1	1 2.1	0 0.0	7 14.9	33 70.2	

## 日常生活

問 16 次の①～⑱の日常生活について、あなたがどの程度介助が必要かお答えください。障害を補うための補装具（義肢、義眼、義歯、眼鏡、補聴器、白杖等）や機器（車いす、移動リフト、歩行器等）を使用している方は、使用した状態を想定してお答えください。児童や要介護の高齢者の方など、回答が困難な項目については、「わからない」に○をつけてください。（○は1～5のうち1つ）

全体

n=1,881

	全体	自分でできる	時間はかかるが自分でできる	一般介助が必要	すべての介助が必要	わからない	無回答
上段：度数 下段：%							
① 食事をする	1,881 100.0	1,498 79.6	148 7.9	87 4.6	55 2.9	11 0.6	82 4.4
② トイレを使う	1,881 100.0	1,482 78.8	129 6.9	88 4.7	90 4.8	9 0.5	83 4.4
③ 入浴をする	1,881 100.0	1,349 71.7	109 5.8	172 9.1	149 7.9	18 1.0	84 4.5
④ 買い物をする	1,881 100.0	1,120 59.5	143 7.6	202 10.7	234 12.4	76 4.0	106 5.6
⑤ 服を脱いだり着たりする	1,881 100.0	1,379 73.3	175 9.3	153 8.1	82 4.4	8 0.4	84 4.5
⑥ 身だしなみを整える	1,881 100.0	1,279 68.0	202 10.7	193 10.3	100 5.3	22 1.2	85 4.5
⑦ 移動をする	1,881 100.0	1,198 63.7	192 10.2	225 12.0	139 7.4	29 1.5	98 5.2
⑧ 身の回りの掃除や片付け	1,881 100.0	1,001 53.2	263 14.0	248 13.2	210 11.2	60 3.2	99 5.3
⑨ 洗濯をする	1,881 100.0	1,067 56.7	196 10.4	142 7.5	259 13.8	117 6.2	100 5.3
⑩ 料理を作る	1,881 100.0	891 47.4	253 13.5	160 8.5	306 16.3	160 8.5	111 5.9
⑪ 食事の用意や片付けをする	1,881 100.0	993 52.8	264 14.0	175 9.3	247 13.1	95 5.1	107 5.7
⑫ 会話や意志を伝えること	1,881 100.0	1,310 69.6	199 10.6	165 8.8	73 3.9	43 2.3	91 4.8
⑬ お金の管理をする	1,881 100.0	1,191 63.3	139 7.4	157 8.3	221 11.7	75 4.0	98 5.2
⑭ 健康管理（薬を飲む等）	1,881 100.0	1,287 68.4	139 7.4	181 9.6	155 8.2	31 1.6	88 4.7
⑮ 時間管理 （規則正しい生活等）	1,881 100.0	1,182 62.8	220 11.7	184 9.8	137 7.3	60 3.2	98 5.2
⑯ 電話の利用	1,881 100.0	1,287 68.4	121 6.4	120 6.4	179 9.5	73 3.9	101 5.4
⑰ 字の読み書き	1,881 100.0	1,309 69.6	183 9.7	136 7.2	118 6.3	46 2.4	89 4.7
⑱ 外出時に必要なものを そろえる	1,881 100.0	1,210 64.3	212 11.3	168 8.9	156 8.3	44 2.3	91 4.8

- 全体では、①食事をする、②トイレを使う、③入浴をする、⑤服を脱いだり着たりするについては、「自分でできる」がそれぞれ7割以上を占めている。
- 「すべての介助が必要」では、⑩料理を作るが 16.3%、⑨洗濯をするが 13.8%、⑪食事の用意や片付けをするが 13.1%となっている。
  
- 障害別にみると、身体障害ではすべての項目で「自分でできる」と「時間がかかるが自分でできる」を合わせた『自分でできる』が6割以上を占めている。「一部介助が必要」と「すべて介助が必要」を合わせた『介助が必要』は④買い物をするが 25.3%と最も高く、次いで、⑧身の回りの掃除や片付けが 25.0%となっている。
- 知的障害では、①食事をする、②トイレを使う、③入浴をする、⑤服を脱いだり着たりする、⑦移動する以外の項目で「自分でできる」が4割以下となっている。また、「すべて介助が必要」では、⑬お金の管理をするが 47.3%と最も高くなっている。
- 精神障害では、すべての項目で『自分でできる』が6割以上を占めている。『介助が必要』は⑩料理を作るが 22.2%と最も高く、次いで、⑧身の回りの掃除や片付けが 21.4%となっている。
- 発達障害では、②トイレを使う、⑤服を脱いだり着たりするは8割以上が「自分でできる」となり、⑩料理を作る、⑬お金の管理をする、⑮時間管理は「自分でできる」が3割前後となっている。
- 高次脳機能障害では、多くの項目で『介助が必要』が高く、⑩料理を作るが 62.9%、⑪食事の用意や片付けをするが 62.8%と6割を超えている。
- 難病では、①食事をする、⑫会話や意志を伝えることで、『自分でできる』が9割を超えている。④買い物をする、⑨洗濯をする、⑩料理を作る、⑪食事の用意や片付けをするなどで「すべて介助が必要」の割合が高くなっている。



## (身体障害)

	全体	自分で できる	時間 がかかる が自分 で できる	一 部 介 助 が 必 要	す べ て 介 助 が 必 要	わ か ら な い	無 回 答
上段：度数 下段：%							
①食事をする	989 100.0	762 77.0	89 9.0	45 4.6	41 4.1	6 0.6	46 4.7
②トイレを使う	989 100.0	735 74.3	95 9.6	46 4.7	63 6.4	6 0.6	44 4.4
③入浴をする	989 100.0	663 67.0	70 7.1	102 10.3	99 10.0	8 0.8	47 4.8
④買い物をする	989 100.0	548 55.4	85 8.6	104 10.5	146 14.8	41 4.1	65 6.6
⑤服を脱いだり着たりする	989 100.0	658 66.5	127 12.8	99 10.0	55 5.6	5 0.5	45 4.6
⑥身だしなみを整える	989 100.0	659 66.6	119 12.0	91 9.2	66 6.7	7 0.7	47 4.8
⑦移動する	989 100.0	574 58.0	123 12.4	129 13.0	95 9.6	14 1.4	54 5.5
⑧身の回りの掃除や片付け	989 100.0	528 53.4	134 13.5	112 11.3	135 13.7	29 2.9	51 5.2
⑨洗濯をする	989 100.0	551 55.7	111 11.2	71 7.2	149 15.1	52 5.3	55 5.6
⑩料理を作る	989 100.0	478 48.3	138 14.0	74 7.5	159 16.1	76 7.7	64 6.5
⑪食事の用意や片付けをする	989 100.0	521 52.7	135 13.7	82 8.3	148 15.0	44 4.4	59 6.0
⑫会話や意志を伝えること	989 100.0	726 73.4	76 7.7	78 7.9	38 3.8	22 2.2	49 5.0
⑬お金の管理をする	989 100.0	674 68.1	57 5.8	62 6.3	101 10.2	40 4.0	55 5.6
⑭健康管理（薬を飲む等）	989 100.0	698 70.6	69 7.0	83 8.4	76 7.7	15 1.5	48 4.9
⑮時間管理 （規則正しい生活等）	989 100.0	673 68.0	96 9.7	70 7.1	69 7.0	30 3.0	51 5.2
⑯電話の利用	989 100.0	676 68.4	59 6.0	50 5.1	107 10.8	41 4.1	56 5.7
⑰字の読み書き	989 100.0	687 69.5	94 9.5	67 6.8	65 6.6	28 2.8	48 4.9
⑱外出時に必要なものを そろえる	989 100.0	632 63.9	111 11.2	79 8.0	91 9.2	25 2.5	51 5.2

## (知的障害)

	全体	自分でできる	時間がかかるが自分でできる	一部介助が必要	すべて介助が必要	わからない	無回答
上段：度数 下段：%							
①食事をする	201 100.0	129 64.2	13 6.5	30 14.9	20 10.0	3 1.5	6 3.0
②トイレを使う	201 100.0	128 63.7	10 5.0	26 12.9	28 13.9	2 1.0	7 3.5
③入浴をする	201 100.0	112 55.7	6 3.0	37 18.4	38 18.9	3 1.5	5 2.5
④買い物をする	201 100.0	72 35.8	12 6.0	36 17.9	60 29.9	15 7.5	6 3.0
⑤服を脱いだり着たりする	201 100.0	128 63.7	9 4.5	32 15.9	25 12.4	2 1.0	5 2.5
⑥身だしなみを整える	201 100.0	78 38.8	21 10.4	51 25.4	38 18.9	7 3.5	6 3.0
⑦移動する	201 100.0	97 48.3	8 4.0	38 18.9	42 20.9	9 4.5	7 3.5
⑧身の回りの掃除や片付け	201 100.0	54 26.9	21 10.4	51 25.4	55 27.4	12 6.0	8 4.0
⑨洗濯をする	201 100.0	57 28.4	12 6.0	31 15.4	73 36.3	23 11.4	5 2.5
⑩料理を作る	201 100.0	27 13.4	19 9.5	25 12.4	87 43.3	34 16.9	9 4.5
⑪食事の用意や片付けをする	201 100.0	51 25.4	24 11.9	34 16.9	66 32.8	18 9.0	8 4.0
⑫会話や意志を伝えること	201 100.0	54 26.9	33 16.4	52 25.9	38 18.9	17 8.5	7 3.5
⑬お金の管理をする	201 100.0	33 16.4	8 4.0	39 19.4	95 47.3	18 9.0	8 4.0
⑭健康管理（薬を飲む等）	201 100.0	54 26.9	12 6.0	51 25.4	67 33.3	11 5.5	6 3.0
⑮時間管理 （規則正しい生活等）	201 100.0	48 23.9	23 11.4	51 25.4	56 27.9	14 7.0	9 4.5
⑯電話の利用	201 100.0	65 32.3	15 7.5	26 12.9	63 31.3	23 11.4	9 4.5
⑰字の読み書き	201 100.0	65 32.3	22 10.9	36 17.9	55 27.4	17 8.5	6 3.0
⑱外出時に必要なものを そろえる	201 100.0	61 30.3	20 10.0	50 24.9	54 26.9	10 5.0	6 3.0

## (精神障害)

	全体	自分でできる	時間がかかるが自分でできる	一部介助が必要	すべて介助が必要	わからない	無回答
上段：度数 下段：%							
① 食事をする	397 100.0	333 83.9	27 6.8	15 3.8	3 0.8	2 0.5	17 4.3
② トイレを使う	397 100.0	344 86.6	18 4.5	7 1.8	11 2.8	0 0.0	17 4.3
③ 入浴をする	397 100.0	316 79.6	23 5.8	23 5.8	14 3.5	3 0.8	18 4.5
④ 買い物をする	397 100.0	273 68.8	38 9.6	36 9.1	23 5.8	9 2.3	18 4.5
⑤ 服を脱いだり着たりする	397 100.0	331 83.4	20 5.0	19 4.8	8 2.0	1 0.3	18 4.5
⑥ 身だしなみを整える	397 100.0	293 73.8	41 10.3	28 7.1	11 2.8	5 1.3	19 4.8
⑦ 移動する	397 100.0	286 72.0	44 11.1	31 7.8	11 2.8	3 0.8	22 5.5
⑧ 身の回りの掃除や片付け	397 100.0	193 48.6	82 20.7	67 16.9	18 4.5	11 2.8	26 6.5
⑨ 洗濯をする	397 100.0	242 61.0	53 13.4	33 8.3	28 7.1	22 5.5	19 4.8
⑩ 料理を作る	397 100.0	184 46.3	71 17.9	46 11.6	42 10.6	33 8.3	21 5.3
⑪ 食事の用意や片付けをする	397 100.0	209 52.6	74 18.6	46 11.6	25 6.3	20 5.0	23 5.8
⑫ 会話や意志を伝えること	397 100.0	271 68.3	63 15.9	27 6.8	8 2.0	8 2.0	20 5.0
⑬ お金の管理をする	397 100.0	241 60.7	52 13.1	46 11.6	30 7.6	9 2.3	19 4.8
⑭ 健康管理（薬を飲む等）	397 100.0	282 71.0	43 10.8	31 7.8	20 5.0	2 0.5	19 4.8
⑮ 時間管理 （規則正しい生活等）	397 100.0	223 56.2	72 18.1	49 12.3	20 5.0	12 3.0	21 5.3
⑯ 電話の利用	397 100.0	296 74.6	30 7.6	24 6.0	20 5.0	7 1.8	20 5.0
⑰ 字の読み書き	397 100.0	301 75.8	39 9.8	26 6.5	9 2.3	4 1.0	18 4.5
⑱ 外出時に必要なものを そろえる	397 100.0	275 69.3	59 14.9	25 6.3	16 4.0	4 1.0	18 4.5

## (発達障害)

	全体	自分でできる	時間がかかるが自分でできる	一部介助が必要	すべて介助が必要	わからない	無回答
上段：度数 下段：%							
①食事をする	122 100.0	97 79.5	8 6.6	9 7.4	4 3.3	0 0.0	4 3.3
②トイレを使う	122 100.0	98 80.3	4 3.3	9 7.4	6 4.9	0 0.0	5 4.1
③入浴をする	122 100.0	91 74.6	4 3.3	13 10.7	7 5.7	3 2.5	4 3.3
④買い物をする	122 100.0	74 60.7	9 7.4	11 9.0	17 13.9	7 5.7	4 3.3
⑤服を脱いだり着たりする	122 100.0	99 81.1	2 1.6	14 11.5	3 2.5	0 0.0	4 3.3
⑥身だしなみを整える	122 100.0	77 63.1	11 9.0	19 15.6	7 5.7	4 3.3	4 3.3
⑦移動する	122 100.0	86 70.5	5 4.1	13 10.7	8 6.6	5 4.1	5 4.1
⑧身の回りの掃除や片付け	122 100.0	48 39.3	16 13.1	25 20.5	17 13.9	10 8.2	6 4.9
⑨洗濯をする	122 100.0	52 42.6	8 6.6	9 7.4	29 23.8	20 16.4	4 3.3
⑩料理を作る	122 100.0	32 26.2	17 13.9	13 10.7	32 26.2	22 18.0	6 4.9
⑪食事の用意や片付けをする	122 100.0	48 39.3	20 16.4	18 14.8	19 15.6	12 9.8	5 4.1
⑫会話や意志を伝えること	122 100.0	58 47.5	20 16.4	22 18.0	10 8.2	6 4.9	6 4.9
⑬お金の管理をする	122 100.0	41 33.6	13 10.7	17 13.9	33 27.0	13 10.7	5 4.1
⑭健康管理（薬を飲む等）	122 100.0	63 51.6	5 4.1	19 15.6	21 17.2	9 7.4	5 4.1
⑮時間管理 （規則正しい生活等）	122 100.0	42 34.4	19 15.6	24 19.7	20 16.4	12 9.8	5 4.1
⑯電話の利用	122 100.0	62 50.8	10 8.2	16 13.1	17 13.9	12 9.8	5 4.1
⑰字の読み書き	122 100.0	76 62.3	11 9.0	13 10.7	13 10.7	4 3.3	5 4.1
⑱外出時に必要なものを そろえる	122 100.0	62 50.8	15 12.3	19 15.6	14 11.5	7 5.7	5 4.1

## (高次脳機能障害)

	全体	自分でできる	時間がかかるが自分でできる	一部介助が必要	すべて介助が必要	わからない	無回答
上段：度数 下段：%							
①食事をする	35 100.0	22 62.9	4 11.4	3 8.6	5 14.3	1 2.9	0 0.0
②トイレを使う	35 100.0	20 57.1	2 5.7	4 11.4	8 22.9	1 2.9	0 0.0
③入浴をする	35 100.0	18 51.4	0 0.0	7 20.0	10 28.6	0 0.0	0 0.0
④買い物をする	35 100.0	9 25.7	3 8.6	6 17.1	10 28.6	5 14.3	2 5.7
⑤服を脱いだり着たりする	35 100.0	10 28.6	8 22.9	8 22.9	9 25.7	0 0.0	0 0.0
⑥身だしなみを整える	35 100.0	9 25.7	7 20.0	9 25.7	8 22.9	1 2.9	1 2.9
⑦移動する	35 100.0	10 28.6	7 20.0	8 22.9	9 25.7	0 0.0	1 2.9
⑧身の回りの掃除や片付け	35 100.0	7 20.0	8 22.9	6 17.1	11 31.4	2 5.7	1 2.9
⑨洗濯をする	35 100.0	8 22.9	3 8.6	6 17.1	13 37.1	5 14.3	0 0.0
⑩料理を作る	35 100.0	4 11.4	1 2.9	7 20.0	15 42.9	7 20.0	1 2.9
⑪食事の用意や片付けをする	35 100.0	5 14.3	5 14.3	9 25.7	13 37.1	3 8.6	0 0.0
⑫会話や意志を伝えること	35 100.0	15 42.9	2 5.7	11 31.4	6 17.1	1 2.9	0 0.0
⑬お金の管理をする	35 100.0	8 22.9	3 8.6	5 14.3	14 40.0	3 8.6	2 5.7
⑭健康管理（薬を飲む等）	35 100.0	9 25.7	4 11.4	11 31.4	10 28.6	1 2.9	0 0.0
⑮時間管理 （規則正しい生活等）	35 100.0	12 34.3	5 14.3	5 14.3	11 31.4	2 5.7	0 0.0
⑯電話の利用	35 100.0	13 37.1	2 5.7	6 17.1	13 37.1	1 2.9	0 0.0
⑰字の読み書き	35 100.0	12 34.3	7 20.0	7 20.0	7 20.0	2 5.7	0 0.0
⑱外出時に必要なものを そろえる	35 100.0	9 25.7	7 20.0	5 14.3	12 34.3	2 5.7	0 0.0

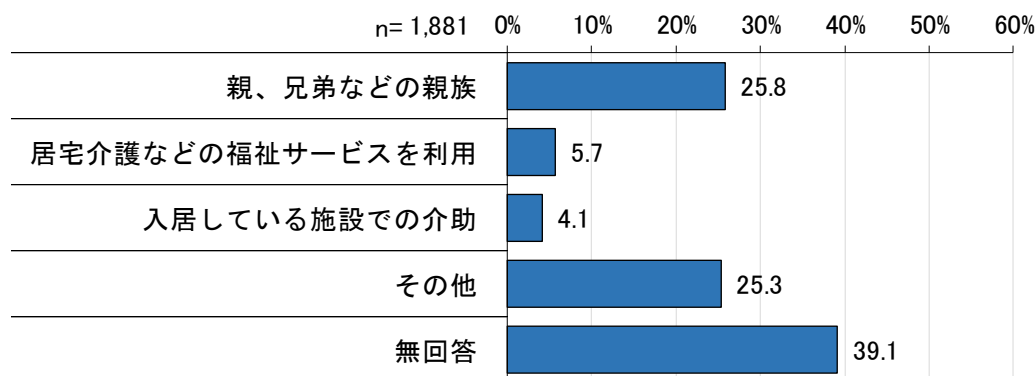
## (難病)

	全体	自分でできる	時間がかかるが自分でできる	一部介助が必要	すべて介助が必要	わからない	無回答
上段：度数 下段：%							
①食事をする	318 100.0	256 80.5	39 12.3	8 2.5	9 2.8	0 0.0	6 1.9
②トイレを使う	318 100.0	253 79.6	28 8.8	19 6.0	14 4.4	0 0.0	4 1.3
③入浴をする	318 100.0	230 72.3	21 6.6	29 9.1	28 8.8	2 0.6	8 2.5
④買い物をする	318 100.0	197 61.9	21 6.6	35 11.0	42 13.2	14 4.4	9 2.8
⑤服を脱いだり着たりする	318 100.0	232 73.0	35 11.0	30 9.4	16 5.0	0 0.0	5 1.6
⑥身だしなみを整える	318 100.0	225 70.8	36 11.3	36 11.3	12 3.8	2 0.6	7 2.2
⑦移動する	318 100.0	201 63.2	39 12.3	46 14.5	25 7.9	1 0.3	6 1.9
⑧身の回りの掃除や片付け	318 100.0	187 58.8	34 10.7	37 11.6	41 12.9	13 4.1	6 1.9
⑨洗濯をする	318 100.0	195 61.3	31 9.7	20 6.3	45 14.2	18 5.7	9 2.8
⑩料理を作る	318 100.0	173 54.4	36 11.3	27 8.5	51 16.0	25 7.9	6 1.9
⑪食事の用意や片付けをする	318 100.0	183 57.5	43 13.5	19 6.0	48 15.1	18 5.7	7 2.2
⑫会話や意志を伝えること	318 100.0	251 78.9	37 11.6	11 3.5	9 2.8	3 0.9	7 2.2
⑬お金の管理をする	318 100.0	230 72.3	26 8.2	22 6.9	26 8.2	7 2.2	7 2.2
⑭健康管理（薬を飲む等）	318 100.0	242 76.1	29 9.1	21 6.6	18 5.7	2 0.6	6 1.9
⑮時間管理 （規則正しい生活等）	318 100.0	228 71.7	39 12.3	21 6.6	16 5.0	4 1.3	10 3.1
⑯電話の利用	318 100.0	245 77.0	25 7.9	20 6.3	13 4.1	7 2.2	8 2.5
⑰字の読み書き	318 100.0	241 75.8	40 12.6	15 4.7	12 3.8	5 1.6	5 1.6
⑱外出時に必要なものを そろえる	318 100.0	219 68.9	37 11.6	29 9.1	23 7.2	4 1.3	6 1.9

## 問 17-1 あなたは今、日常的に誰かに介助を受けて生活していますか。(〇は1つ)

## 全体

○全体では、「親、兄弟などの親族」が25.8%、「居宅介護などの福祉サービスを利用」「入居している施設での介助」の合計は9.8%となっている。



## 障害別

○障害別にみると、知的障害、発達障害では「親、兄弟などの親族」が5割を超えている。

○「居宅介護などの福祉サービスを利用」「入居している施設での介助」の合計が最も高いのは高次脳機能障害の34.3%となっている。

上段：度数 下段：%		全体	親、 兄弟などの 親族	居宅 介護 サービス を利用	入 居 し て い る 施 設 で の 介 助	そ の 他	無 回 答
全体		1,881 100.0	485 25.8	107 5.7	78 4.1	475 25.3	736 39.1
障害別	身体障害	989 100.0	205 20.7	67 6.8	49 5.0	250 25.3	418 42.3
	知的障害	201 100.0	112 55.7	8 4.0	16 8.0	12 6.0	53 26.4
	発達障害	122 100.0	64 52.5	4 3.3	1 0.8	19 15.6	34 27.9
	精神障害	397 100.0	122 30.7	22 5.5	10 2.5	107 27.0	136 34.3
	高次脳機能障害	35 100.0	13 37.1	4 11.4	8 22.9	7 20.0	3 8.6
	難病（特定疾患）	318 100.0	70 22.0	15 4.7	8 2.5	100 31.4	125 39.3
	無回答	86 100.0	10 11.6	5 5.8	4 4.7	19 22.1	48 55.8

ライフステージ別

○ライフステージ別にみると、ライフステージが進むごとに「親、兄弟などの親族」は減少している。

○「居宅介護などの福祉サービスを利用」「入居している施設での介助」の合計が最も高いのは高齢期で13.1%となっている。

上段：度数 下段：%		全体	親、兄弟などの親族	居宅介護などの福祉サービスを利用	入居している施設での介助	その他	無回答
全体		1,881 100.0	485 25.8	107 5.7	78 4.1	475 25.3	736 39.1
ライフステージ別	乳幼児期（6歳未満）	16 100.0	12 75.0	0 0.0	0 0.0	1 6.3	3 18.8
	児童期（6歳～12歳）	52 100.0	37 71.2	1 1.9	0 0.0	5 9.6	9 17.3
	思春期（13歳～19歳）	44 100.0	24 54.5	1 2.3	0 0.0	4 9.1	15 34.1
	青年期（20歳～39歳）	236 100.0	94 39.8	8 3.4	10 4.2	35 14.8	89 37.7
	壮年期（40歳～64歳）	541 100.0	135 25.0	25 4.6	10 1.8	181 33.5	190 35.1
	高齢期（65歳以上）	978 100.0	183 18.7	71 7.3	57 5.8	246 25.2	421 43.0
	無回答	14 100.0	0 0.0	1 7.1	1 7.1	3 21.4	9 64.3

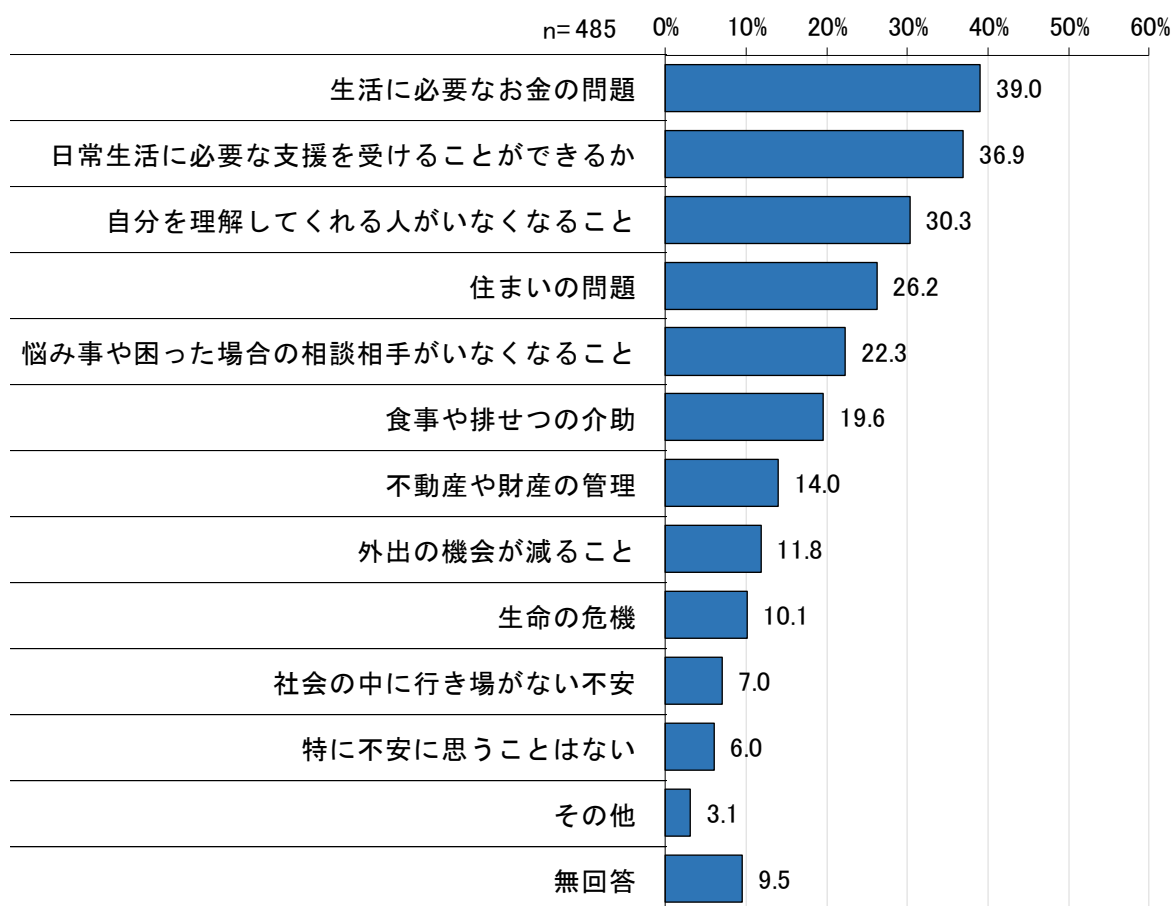


## 《問 17-1 で 1 とお答えの方におたずねします》

問 17-2 もしも自分を主に支援・介助している人（親・兄弟などの親族）が色々な事情で介助することが難しくなったりしたらと考えたとき、将来不安になることは何ですか。（〇は3つまで）

全体

○全体をみると、「生活に必要なお金の問題」が39.0%と最も高く、次いで「日常生活に必要な支援を受けることができるか」が36.9%、「自分を理解してくれる人がいなくなること」が30.3%となっている。



障害別

○障害別にみると、精神障害では「生活に必要なお金の問題」が54.9%と最も高く、次いで「住まいの問題」が36.1%、「自分を理解してくれる人がいなくなること」と「悩み事や困った場合の相談相手がいなくなること」がともに29.5%となっている。

○高次脳機能障害においては、「日常生活に必要な支援を受けることができるか」が69.2%と最も高く、次いで「生活に必要なお金の問題」「自分を理解してくれる人がいなくなること」がともに46.2%となっている。

上段：度数 下段：%		全体	生活に必要なお金の問題	日常生活に必要な支援を受けることができるか	自分を理解してくれる人がいなくなること	住まいの問題	悩み事や困った場合の相談相手がいなくなること	食事や排せつの介助	不動産や財産の管理
全体		485 100.0	189 39.0	179 36.9	147 30.3	127 26.2	108 22.3	95 19.6	68 14.0
障害別	身体障害	205 100.0	50 24.4	100 48.8	56 27.3	34 16.6	40 19.5	58 28.3	19 9.3
	知的障害	112 100.0	54 48.2	47 42.0	42 37.5	41 36.6	23 20.5	17 15.2	17 15.2
	発達障害	64 100.0	32 50.0	16 25.0	16 25.0	24 37.5	12 18.8	6 9.4	11 17.2
	精神障害	122 100.0	67 54.9	20 16.4	36 29.5	44 36.1	36 29.5	11 9.0	20 16.4
	高次脳機能障害	13 100.0	6 46.2	9 69.2	6 46.2	2 15.4	1 7.7	3 23.1	2 15.4
	難病（特定疾患）	70 100.0	22 31.4	37 52.9	18 25.7	14 20.0	12 17.1	27 38.6	7 10.0
	無回答	10 100.0	3 30.0	1 10.0	1 10.0	2 20.0	1 10.0	3 30.0	2 20.0

上段：度数 下段：%		外出の機会が減ること	生命の危機	社会の中に行き場がない不安	特に不安に思うことはない	その他	無回答
全体		57 11.8	49 10.1	34 7.0	29 6.0	15 3.1	46 9.5
障害別	身体障害	33 16.1	22 10.7	10 4.9	17 8.3	10 4.9	14 6.8
	知的障害	8 7.1	12 10.7	9 8.0	3 2.7	3 2.7	12 10.7
	発達障害	3 4.7	7 10.9	8 12.5	6 9.4	1 1.6	9 14.1
	精神障害	11 9.0	10 8.2	11 9.0	7 5.7	1 0.8	17 13.9
	高次脳機能障害	3 23.1	0 0.0	2 15.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	難病（特定疾患）	13 18.6	13 18.6	1 1.4	2 2.9	2 2.9	6 8.6
	無回答	0 0.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 20.0

## ライフステージ別

○ライフステージ別にみると、乳幼児期から壮年期までは「生活に必要なお金の問題」が最も高くなっている。

○高齢期では、「日常生活に必要な支援を受けることができるか」が49.7%と最も高く、次いで「食事や排せつの介助」が37.2%となっている。

上段：度数 下段：%		全体	生活に必要なお金の問題	日常生活に必要な支援を受けることができるか	自分を理解してくれる人がいなくなること	住まいの問題	悩み事や困った場合の相談相手がいなくなること	食事や排せつの介助	不動産や財産の管理
全体		485 100.0	189 39.0	179 36.9	147 30.3	127 26.2	108 22.3	95 19.6	68 14.0
ライフステージ別	乳幼児期（6歳未満）	12 100.0	5 41.7	3 25.0	3 25.0	4 33.3	1 8.3	1 8.3	2 16.7
	児童期（6歳～12歳）	37 100.0	17 45.9	9 24.3	14 37.8	10 27.0	7 18.9	4 10.8	5 13.5
	思春期（13歳～19歳）	24 100.0	12 50.0	7 29.2	8 33.3	7 29.2	7 29.2	8 33.3	2 8.3
	青年期（20歳～39歳）	94 100.0	51 54.3	28 29.8	30 31.9	31 33.0	23 24.5	4 4.3	13 13.8
	壮年期（40歳～64歳）	135 100.0	60 44.4	41 30.4	49 36.3	45 33.3	34 25.2	10 7.4	19 14.1
	高齢期（65歳以上）	183 100.0	44 24.0	91 49.7	43 23.5	30 16.4	36 19.7	68 37.2	27 14.8
	無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

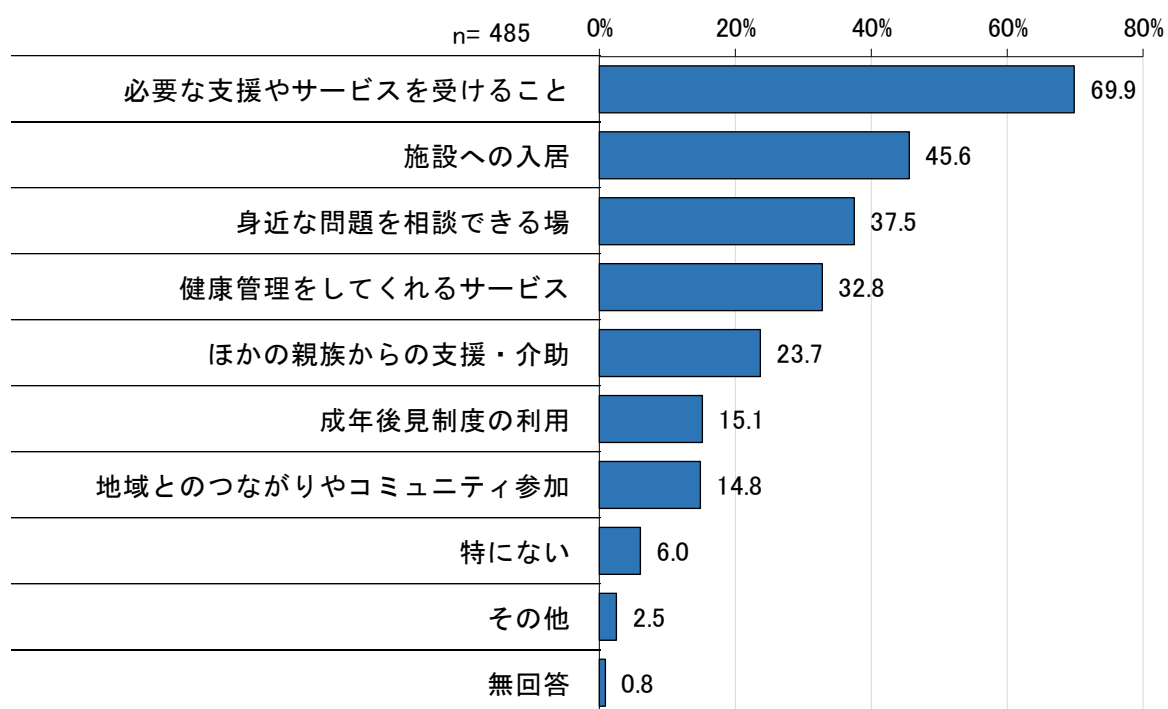
上段：度数 下段：%		外出の機会が減ること	生命の危機	社会の中に行き場がない不安	特に不安に思うことはない	その他	無回答
全体		57 11.8	49 10.1	34 7.0	29 6.0	15 3.1	46 9.5
ライフステージ別	乳幼児期（6歳未満）	0 0.0	3 25.0	4 33.3	1 8.3	1 8.3	0 0.0
	児童期（6歳～12歳）	2 5.4	6 16.2	5 13.5	3 8.1	2 5.4	4 10.8
	思春期（13歳～19歳）	3 12.5	4 16.7	1 4.2	2 8.3	0 0.0	1 4.2
	青年期（20歳～39歳）	6 6.4	4 4.3	8 8.5	4 4.3	2 2.1	15 16.0
	壮年期（40歳～64歳）	14 10.4	10 7.4	10 7.4	8 5.9	2 1.5	15 11.1
	高齢期（65歳以上）	32 17.5	22 12.0	6 3.3	11 6.0	8 4.4	11 6.0
	無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

## 《問 17-1 で 1 とお答えの方におたずねします》

問 17-3 自分を主に支援・介助してくれている人（親・兄弟などの親族）がいろいろな事情で支援・介助することが難しくなったりしたときにあなたが必要だと思うことは何ですか。（〇はいくつでも）

全体

〇全体をみると、「必要な支援やサービスを受けること」が69.9%と最も高くなっており、次いで「施設への入居」が45.6%、「身近な問題を相談できる場」が37.5%となっている。



## 障害別

○障害別にみると、身体障害では、「必要な支援やサービスを受けること」が66.3%と最も高く、次いで「施設への入居」が47.8%となっている。

○精神障害では、「必要な支援やサービスをうけること」が68.9%と最も高く、次いで「身近な問題を相談できる場」が52.5%となっている。

○知的障害では、「成年後見制度の利用」が39.3%と、他の障害と比べて最も高くなっている。

上段：度数 下段：%		全体	必要な支援やサービスを受けること	施設への入居	身近な問題を相談できる場	健康管理をしてくれるサービス	ほかの親族からの支援・介助	成年後見制度の利用	地域とのつながりやコミュニティ参加
全体		485 100.0	339 69.9	221 45.6	182 37.5	159 32.8	115 23.7	73 15.1	72 14.8
障害別	身体障害	205 100.0	136 66.3	98 47.8	59 28.8	72 35.1	44 21.5	20 9.8	23 11.2
	知的障害	112 100.0	84 75.0	70 62.5	42 37.5	45 40.2	23 20.5	44 39.3	24 21.4
	発達障害	64 100.0	47 73.4	26 40.6	30 46.9	15 23.4	22 34.4	17 26.6	17 26.6
	精神障害	122 100.0	84 68.9	39 32.0	64 52.5	34 27.9	26 21.3	12 9.8	22 18.0
	高次脳機能障害	13 100.0	8 61.5	7 53.8	3 23.1	3 23.1	3 23.1	2 15.4	2 15.4
	難病（特定疾患）	70 100.0	55 78.6	37 52.9	16 22.9	25 35.7	17 24.3	5 7.1	8 11.4
	無回答	10 100.0	8 80.0	6 60.0	4 40.0	4 40.0	3 30.0	2 20.0	2 20.0

上段：度数 下段：%		特 に ない	そ の 他	無 回 答
全体		29 6.0	12 2.5	4 0.8
障害別	身体障害	14 6.8	8 3.9	0 0.0
	知的障害	5 4.5	4 3.6	2 1.8
	発達障害	3 4.7	1 1.6	3 4.7
	精神障害	8 6.6	0 0.0	2 1.6
	高次脳機能障害	1 7.7	1 7.7	0 0.0
	難病（特定疾患）	3 4.3	2 2.9	0 0.0
	無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0

ライフステージ別

- ライフステージ別にみると、「施設への入居」では児童期、思春期、高齢期が5割を超えており、他の障害と比べて高くなっている。
- 「身近な問題を相談できる場」では思春期、青年期、壮年期がともに4割を超えている。
- 「ほかの親族からの支援・介助」では乳幼児期が75.0%と特に高くなっている。
- 「成年後見制度の利用」では、思春期が37.5%と他の障害と比べて高くなっている。

上段：度数 下段：%		全体	必要な支援やサービスを受けること	施設への入居	身近な問題を相談できる場	健康管理をしてくれるサービス	ほかの親族からの支援・介助	成年後見制度の利用	地域とのつながりやコミュニティ参加
全体		485 100.0	339 69.9	221 45.6	182 37.5	159 32.8	115 23.7	73 15.1	72 14.8
ライフステージ別	乳幼児期（6歳未満）	12 100.0	6 50.0	5 41.7	3 25.0	4 33.3	9 75.0	2 16.7	2 16.7
	児童期（6歳～12歳）	37 100.0	26 70.3	19 51.4	13 35.1	8 21.6	14 37.8	9 24.3	6 16.2
	思春期（13歳～19歳）	24 100.0	16 66.7	13 54.2	12 50.0	10 41.7	3 12.5	9 37.5	5 20.8
	青年期（20歳～39歳）	94 100.0	64 68.1	35 37.2	41 43.6	28 29.8	17 18.1	23 24.5	21 22.3
	壮年期（40歳～64歳）	135 100.0	97 71.9	45 33.3	64 47.4	41 30.4	28 20.7	13 9.6	22 16.3
	高齢期（65歳以上）	183 100.0	130 71.0	104 56.8	49 26.8	68 37.2	44 24.0	17 9.3	16 8.7
	無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

上段：度数 下段：%		特 に な い	そ の 他	無 回 答
全体		29 6.0	12 2.5	4 0.8
ライフステージ別	乳幼児期（6歳未満）	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	児童期（6歳～12歳）	1 2.7	3 8.1	1 2.7
	思春期（13歳～19歳）	1 4.2	0 0.0	0 0.0
	青年期（20歳～39歳）	7 7.4	4 4.3	3 3.2
	壮年期（40歳～64歳）	10 7.4	1 0.7	0 0.0
	高齢期（65歳以上）	10 5.5	4 2.2	0 0.0
	無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0

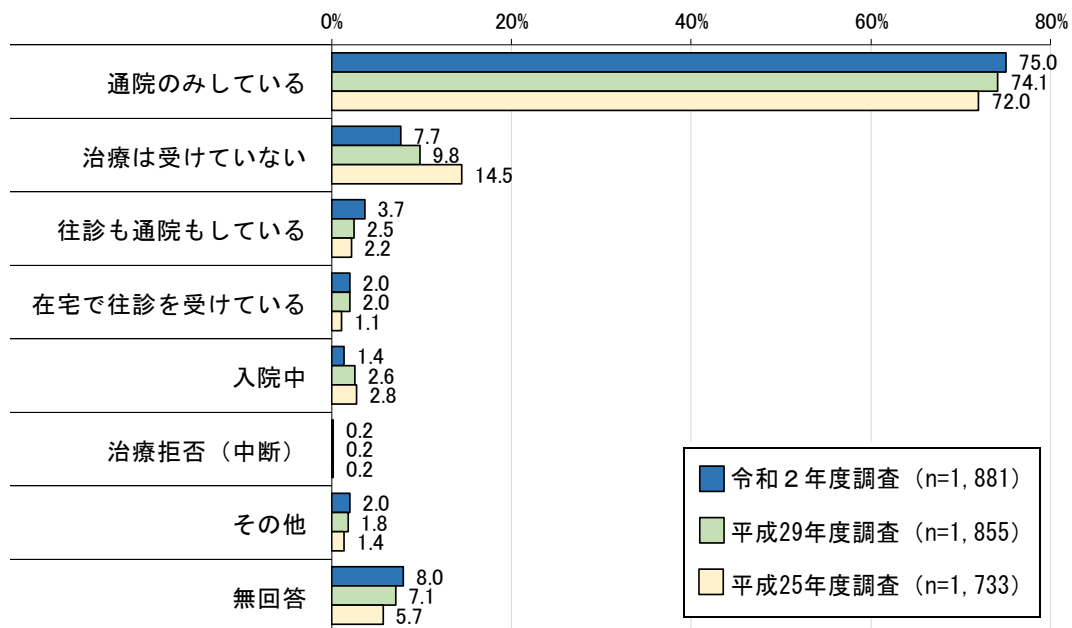
## 医療の状況

問 18-1 あなたは、過去一年間、医師の治療を受けていますか（機能回復訓練は除く）。  
（〇は1つ）

## 経年比較

○全体では「通院のみしている」が75.0%と最も高くなっている。

○前回までと比較すると「通院のみしている」「往診も通院もしている」「その他」が増加しており、「治療は受けていない」「入院中」は減少している。



障害別

- 障害別にみると、すべての障害で「通院のみしている」が5割以上で最も高くなっている。
- 知的障害では、「治療は受けていない」が22.9%と、他の障害と比べて高くなっている。
- 精神障害、難病では「通院のみしている」が8割以上と、他の障害と比べて高くなっている。

上段：度数 下段：%		全体	通院のみしている	治療は受けていない	往診も通院もしている	在宅で往診を受けている	入院中	治療拒否（中断）	その他	無回答
全体		1,881 100.0	1,411 75.0	145 7.7	70 3.7	37 2.0	27 1.4	3 0.2	38 2.0	150 8.0
障害別	身体障害	989 100.0	719 72.7	76 7.7	36 3.6	27 2.7	17 1.7	1 0.1	25 2.5	88 8.9
	知的障害	201 100.0	121 60.2	46 22.9	5 2.5	5 2.5	5 2.5	0 0.0	3 1.5	16 8.0
	発達障害	122 100.0	87 71.3	22 18.0	3 2.5	1 0.8	2 1.6	0 0.0	1 0.8	6 4.9
	精神障害	397 100.0	335 84.4	11 2.8	14 3.5	5 1.3	9 2.3	2 0.5	4 1.0	17 4.3
	高次脳機能障害	35 100.0	18 51.4	2 5.7	1 2.9	7 20.0	2 5.7	0 0.0	2 5.7	3 8.6
	難病（特定疾患）	318 100.0	258 81.1	5 1.6	19 6.0	6 1.9	5 1.6	0 0.0	8 2.5	17 5.3
	無回答	86 100.0	52 60.5	7 8.1	6 7.0	3 3.5	0 0.0	0 0.0	2 2.3	16 18.6

ライフステージ別

- ライフステージ別にみると「通院のみしている」は乳幼児期、児童期以外ではそれぞれ7割以上を占めている。また最も低い児童期においても59.6%となっている。
- 「治療は受けていない」は児童期が28.8%と最も高いが、高齢期では5.3%となっている。

上段：度数 下段：%		全体	通院のみしている	治療は受けていない	往診も通院もしている	在宅で往診を受けている	入院中	治療拒否（中断）	その他	無回答
全体		1,881 100.0	1,411 75.0	145 7.7	70 3.7	37 2.0	27 1.4	3 0.2	38 2.0	150 8.0
ライフステージ別	乳幼児期（6歳未満）	16 100.0	11 68.8	3 18.8	1 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.3
	児童期（6歳～12歳）	52 100.0	31 59.6	15 28.8	1 1.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.9	4 7.7
	思春期（13歳～19歳）	44 100.0	32 72.7	10 22.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.3	1 2.3
	青年期（20歳～39歳）	236 100.0	169 71.6	31 13.1	7 3.0	2 0.8	3 1.3	0 0.0	3 1.3	21 8.9
	壮年期（40歳～64歳）	541 100.0	450 83.2	34 6.3	14 2.6	3 0.6	5 0.9	3 0.6	6 1.1	26 4.8
	高齢期（65歳以上）	978 100.0	714 73.0	52 5.3	47 4.8	32 3.3	16 1.6	0 0.0	27 2.8	90 9.2
	無回答	14 100.0	4 28.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 21.4	0 0.0	0 0.0	7 50.0



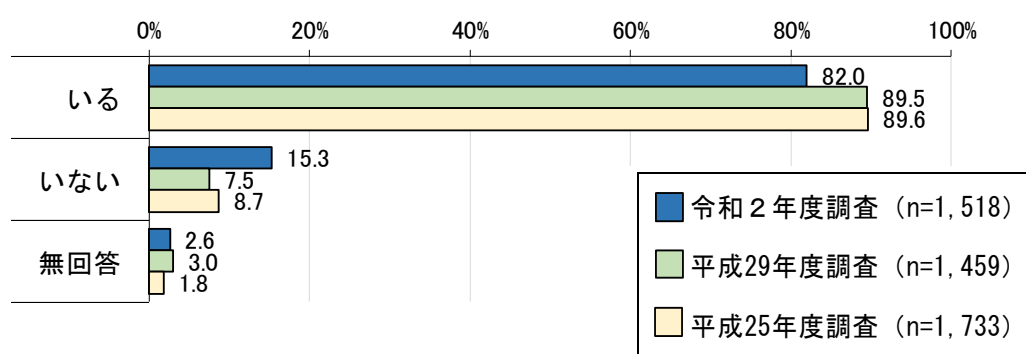
## 《問18-1で1～3をお答えの方におたずねします》

問18-2 医師の診療を受ける中で、あなたの身体状況をよく知っている、「かかりつけ医（健康のことを何でも相談でき、必要なときに専門の医療機関に紹介してくれる身近にいて頼りになる医師）」はいますか。（〇は1つ）

## 経年比較

○全体では「かかりつけ医」について「いる」の割合が82.0%となっている。

○前回と比較すると「いない」の割合が増加している。



## 障害別

○障害別にみると、すべての障害で「いる」の割合が7割以上を占めている。

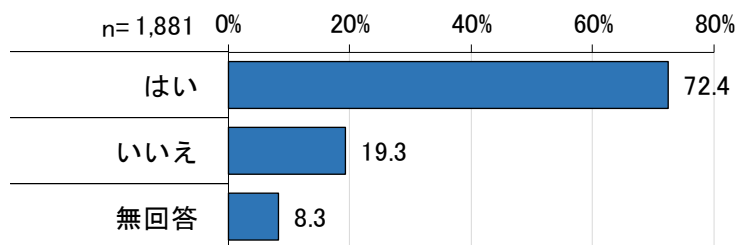
○「いない」の割合は、知的障害で22.9%と最も高く、次いで発達障害の19.8%となっている。

		全体	いる	いない	無回答
上段：度数 下段：%					
全体		1,518 100.0	1,245 82.0	233 15.3	40 2.6
障害別	身体障害	782 100.0	670 85.7	89 11.4	23 2.9
	知的障害	131 100.0	97 74.0	30 22.9	4 3.1
	発達障害	91 100.0	71 78.0	18 19.8	2 2.2
	精神障害	354 100.0	281 79.4	68 19.2	5 1.4
	高次脳機能障害	26 100.0	23 88.5	3 11.5	0 0.0
	難病（特定疾患）	283 100.0	226 79.9	52 18.4	5 1.8
	無回答	61 100.0	53 86.9	5 8.2	3 4.9

問 19-1 定期的に健康診断を受けていますか。(○は1つ)

全体

○全体にみると、「はい」の割合が7割以上を占めている。



障害別

○障害別にみると、「はい」の割合は、難病が78.0%と最も高く、次いで、身体障害の75.8%、高次脳機能障害の71.4%となっている。

○「いいえ」の割合は、精神障害が31.7%、発達障害が29.5%となっている。

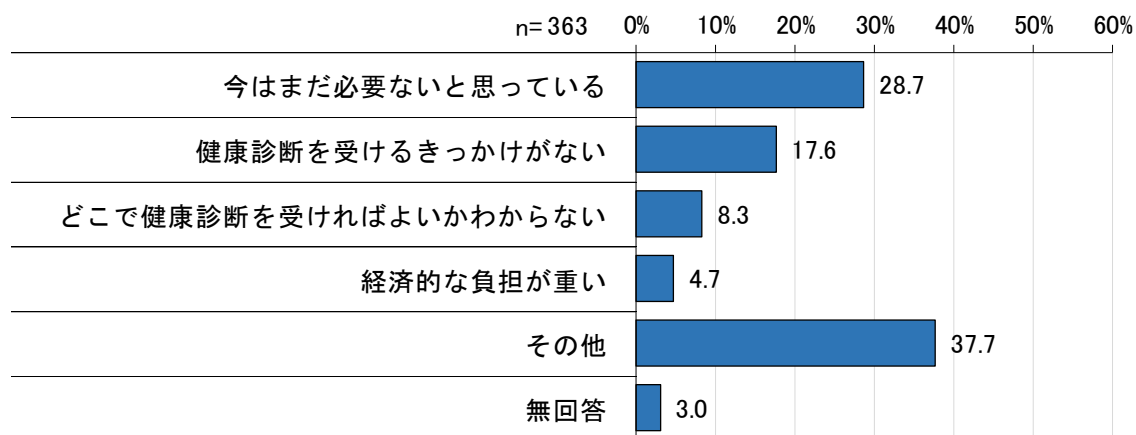
		全体	はい	いいえ	無回答
上段：度数 下段：%					
全体		1,881 100.0	1,361 72.4	363 19.3	157 8.3
障害別	身体障害	989 100.0	750 75.8	149 15.1	90 9.1
	知的障害	201 100.0	128 63.7	49 24.4	24 11.9
	発達障害	122 100.0	75 61.5	36 29.5	11 9.0
	精神障害	397 100.0	253 63.7	126 31.7	18 4.5
	高次脳機能障害	35 100.0	25 71.4	6 17.1	4 11.4
	難病（特定疾患）	318 100.0	248 78.0	50 15.7	20 6.3
	無回答	86 100.0	60 69.8	12 14.0	14 16.3

## 《問 19-1 で 2 とお答えの方におたずねします》

問 19-2 定期的に健康診断を受けていない理由は何ですか。(○は1つ)

全体

○全体をみると、「今はまだ必要ないと思っている」が 28.7%、「健康診断を受けるきっかけがない」が 17.6%、「どこで健康診断を受ければよいかわからない」が 8.3%となっている。



## 障害別

○障害別にみると、発達障害では「今はまだ必要ないと思っている」が44.4%、精神障害では「経済的な負担が重い」が9.5%となっており、他の障害と比べて高くなっている。

○知的障害では、「健康診断を受けるきっかけがない」が36.7%、「どこで健康診断を受ければよいかわからない」が20.4%と他の障害と比べて高くなっている。

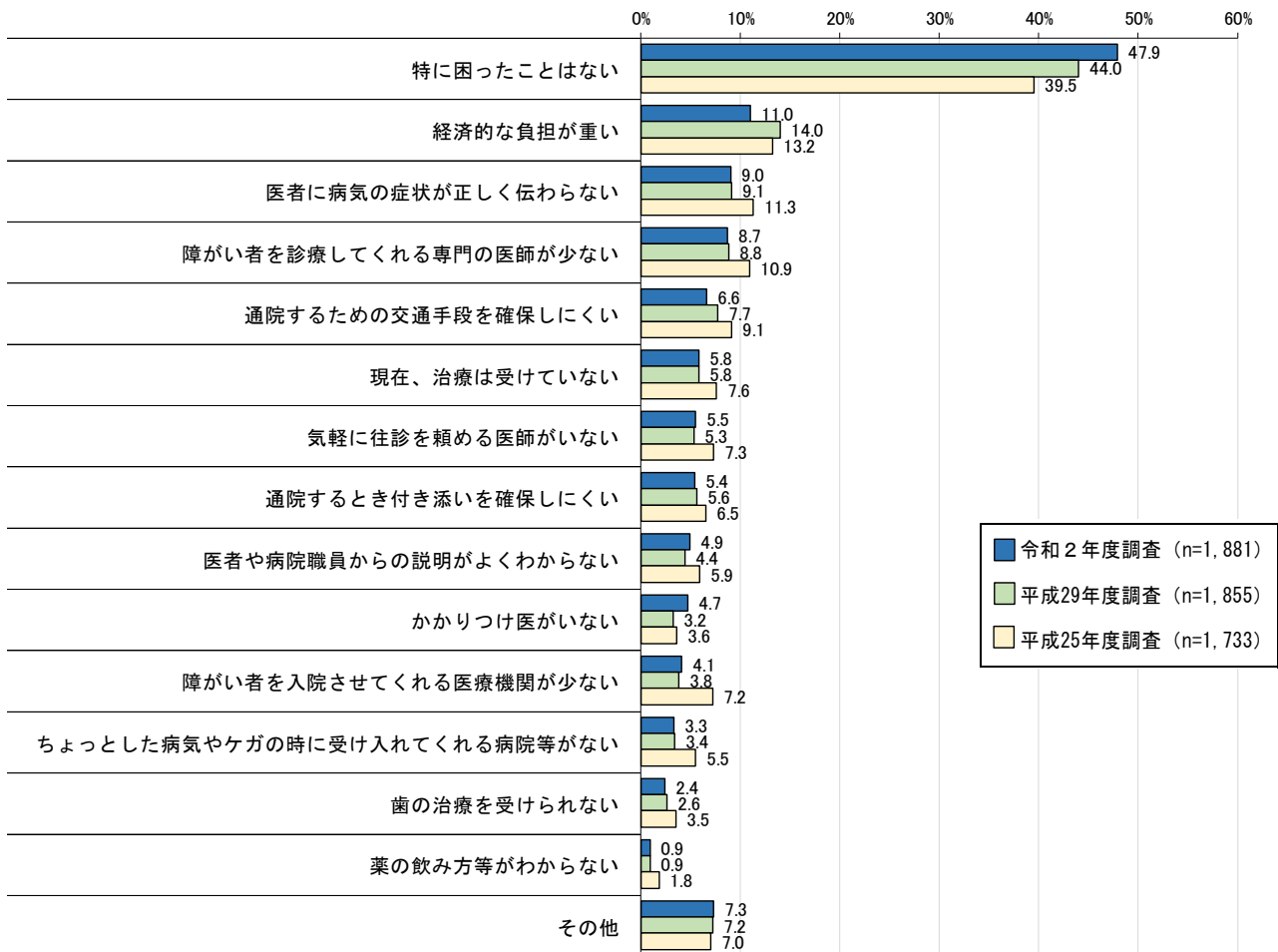
上段：度数 下段：%		全体	今はまだ必要ない と思っ ている	健康 診断を 受け る き っ か け が な い	ど こ で 健 康 診 断 を 受 け ら れ ば よ い か わ ら な い	経 済 的 な 負 担 が 重 い	そ の 他	無 回 答
全体		363 100.0	104 28.7	64 17.6	30 8.3	17 4.7	137 37.7	11 3.0
障害別	身体障害	149 100.0	43 28.9	18 12.1	9 6.0	5 3.4	69 46.3	5 3.4
	知的障害	49 100.0	12 24.5	18 36.7	10 20.4	1 2.0	7 14.3	1 2.0
	発達障害	36 100.0	16 44.4	13 36.1	3 8.3	0 0.0	4 11.1	0 0.0
	精神障害	126 100.0	33 26.2	25 19.8	11 8.7	12 9.5	42 33.3	3 2.4
	高次脳機能障害	6 100.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 66.7	0 0.0
	難病（特定疾患）	50 100.0	9 18.0	7 14.0	2 4.0	0 0.0	29 58.0	3 6.0
	無回答	12 100.0	4 33.3	1 8.3	0 0.0	0 0.0	5 41.7	2 16.7

## 問20 あなたが治療を受けるにあたって、困っていることは何ですか。(〇は3つまで)

## 経年比較

○全体では「特に困ったことはない」が47.9%と最も高く、次いで「経済的な負担が重い」が11.0%、「医者に病気の症状が正しく伝わらない」が9.0%となっている。

○前回と比較すると「特に困ったことはない」で3.9ポイント増加し、「経済的な負担が重い」では3.0ポイント減少している。



障害別【上位15項目】

○障害別にみると、すべての障害で「特に困ったことはない」が最も高く、身体障害では52.8%となっている。

○知的障害、発達障害、高次脳機能障害では「医者に病気の症状が正しく伝わらない」が2割以上を占めている。

○精神障害では「経済的な負担が重い」が18.4%と他の障害と比べて高くなっている。

障害別	上段：度数 下段：%	全体	特に困ったことはない	経済的な負担が重い	正しく伝わらない 医者に病気の症状が	専門の医師が診療してくれない	通院しにくい ための交通手段を	現在、治療を受けていない	医師に往診を頼める 気がない
障害別	身体障害	989 100.0	522 52.8	79 8.0	55 5.6	68 6.9	81 8.2	67 6.8	64 6.5
	知的障害	201 100.0	58 28.9	17 8.5	54 26.9	39 19.4	5 2.5	25 12.4	7 3.5
	発達障害	122 100.0	40 32.8	11 9.0	26 21.3	23 18.9	2 1.6	14 11.5	1 0.8
	精神障害	397 100.0	158 39.8	73 18.4	52 13.1	36 9.1	25 6.3	8 2.0	20 5.0
	高次脳機能障害	35 100.0	16 45.7	3 8.6	7 20.0	6 17.1	2 5.7	2 5.7	1 2.9
	難病（特定疾患）	318 100.0	147 46.2	53 16.7	22 6.9	25 7.9	31 9.7	3 0.9	21 6.6
	無回答	86 100.0	39 45.3	6 7.0	8 9.3	10 11.6	3 3.5	5 5.8	5 5.8

障害別	上段：度数 下段：%	確保院し るとき 付き添い を	説明者 がよ病 院職 員か ら ない	かかり つけ 医が ない	障 れ る 医 療 機 関 が 少 な い	病 院 等 が な い	ち よ つ と し た 病 気 や ケ ガ	歯 の 治 療 を 受 け ら れ な い	薬 の 飲 み 方 等 が わ か ら な い	そ の 他
障害別	身体障害	52 5.3	41 4.1	42 4.2	37 3.7	29 2.9	21 2.1	7 0.7	63 6.4	
	知的障害	15 7.5	30 14.9	13 6.5	22 10.9	12 6.0	7 3.5	7 3.5	9 4.5	
	発達障害	2 1.6	9 7.4	2 1.6	6 4.9	3 2.5	4 3.3	3 2.5	8 6.6	
	精神障害	23 5.8	18 4.5	23 5.8	20 5.0	15 3.8	13 3.3	2 0.5	40 10.1	
	高次脳機能障害	0 0.0	3 8.6	1 2.9	4 11.4	1 2.9	0 0.0	0 0.0	1 2.9	
	難病（特定疾患）	14 4.4	10 3.1	18 5.7	12 3.8	13 4.1	9 2.8	0 0.0	29 9.1	
	無回答	7 8.1	5 5.8	0 0.0	3 3.5	0 0.0	3 3.5	0 0.0	8 9.3	

## ライフステージ別【上位15項目】

- ライフステージ別にみると、すべてのライフステージで「特に困ったことはない」が最も高い。
- 「経済的な負担が重い」は壮年期で18.5%と最も高くなっている。
- 「医者に病気の症状が正しく伝わらない」は思春期で20.5%と最も高くなっている。
- 「障がい者を診療してくれる専門の医師が少ない」については乳幼児期、児童期、思春期で2割以上となっている。

上段：度数 下段：%		全体	特に困ったことはない	経済的な負担が重い	正しく病気の症状が伝わらない	障がい者を診療してくれる専門の医師が少ない	通院するための交通手段を確保しにくい	現在、治療を受けていない	医師が往診を頼めない
全体		1,881 100.0	901 47.9	207 11.0	169 9.0	163 8.7	124 6.6	110 5.8	103 5.5
ライフステージ別	乳幼児期（6歳未満）	16 100.0	5 31.3	1 6.3	1 6.3	4 25.0	1 6.3	1 6.3	0 0.0
	児童期（6歳～12歳）	52 100.0	18 34.6	0 0.0	8 15.4	12 23.1	1 1.9	7 13.5	1 1.9
	思春期（13歳～19歳）	44 100.0	19 43.2	3 6.8	9 20.5	9 20.5	1 2.3	6 13.6	0 0.0
	青年期（20歳～39歳）	236 100.0	98 41.5	31 13.1	39 16.5	34 14.4	7 3.0	21 8.9	5 2.1
	壮年期（40歳～64歳）	541 100.0	233 43.1	100 18.5	50 9.2	42 7.8	27 5.0	27 5.0	19 3.5
	高齢期（65歳以上）	978 100.0	525 53.7	72 7.4	60 6.1	61 6.2	87 8.9	48 4.9	77 7.9
	無回答	14 100.0	3 21.4	0 0.0	2 14.3	1 7.1	0 0.0	0 0.0	1 7.1

上段：度数 下段：%		通院しにくくとき付き添いを	説明がよくなる病院職員の不足	かかりつけ医が少ない	障がい者医療機関が少ない	病院等に受け入れられにくい	ちよつとした病気でケガをする	歯の治療を受けられない	薬の飲み方等がわからない	その他
全体		102 5.4	93 4.9	89 4.7	78 4.1	62 3.3	46 2.4	16 0.9	137 7.3	
ライフステージ別	乳幼児期（6歳未満）	1 6.3	1 6.3	0 0.0	1 6.3	1 6.3	1 6.3	0 0.0	3 18.8	
	児童期（6歳～12歳）	2 3.8	4 7.7	1 1.9	3 5.8	1 1.9	1 1.9	2 3.8	3 5.8	
	思春期（13歳～19歳）	4 9.1	1 2.3	0 0.0	5 11.4	3 6.8	0 0.0	3 6.8	3 6.8	
	青年期（20歳～39歳）	10 4.2	17 7.2	18 7.6	10 4.2	8 3.4	3 1.3	3 1.3	14 5.9	
	壮年期（40歳～64歳）	25 4.6	24 4.4	29 5.4	29 5.4	21 3.9	17 3.1	1 0.2	52 9.6	
	高齢期（65歳以上）	58 5.9	44 4.5	41 4.2	30 3.1	27 2.8	24 2.5	7 0.7	62 6.3	
	無回答	2 14.3	2 14.3	0 0.0	0 0.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	

問 21 あなたは「障害者総合支援法」の自立支援医療制度（精神通院医療、更生医療、育成医療）などの「公費負担医療制度」を知っていますか。  
 （〇は1～3のうち1つ）

全体

○全体ではすべての制度について、「知らない」の割合が最も高くなっている。

○「名称も内容も知っている」で最も高いのは、難病等医療費助成制度の24.0%で、最も低いのは育成医療で4.0%となっている。

n=1,881

上段：度数 下段：%	全 体	知 名 つ 称 も 内 容 も	名 称 の み 知 っ て い る	知 ら な い	無 回 答
① 育成医療（満18歳未満が対象）	1,881 100.0	76 4.0	185 9.8	1,159 61.6	461 24.5
② 更生医療	1,881 100.0	90 4.8	173 9.2	1,192 63.4	426 22.6
③ 精神通院医療	1,881 100.0	392 20.8	215 11.4	913 48.5	361 19.2
④ 心身障害者医療費助成制度（マル障）	1,881 100.0	352 18.7	298 15.8	861 45.8	370 19.7
⑤ 難病等医療費助成制度	1,881 100.0	452 24.0	320 17.0	754 40.1	355 18.9
⑥ 小児慢性特定疾患医療費助成	1,881 100.0	95 5.1	235 12.5	1,099 58.4	452 24.0
⑦ その他医療費助成制度	1,881 100.0	141 7.5	262 13.9	1,075 57.2	403 21.4



問 22 公費負担医療制度について、あなたの利用状況をお答えください。  
(○は1～5のうち1つ)

全体

○「現在利用している（または申請中）」では、精神通院医療の19.2%が最も高く、次いで、難病等医療費助成制度が17.9%となっている。

n=1,881

	全体	（現在利用している または申請中）	今後利用したい しないが	利用する必要がない	利用したいと思わない	わからない	無回答
上段：度数 下段：%							
① 育成医療（満18歳未満が対象）	1,881 100.0	7 0.4	18 1.0	671 35.7	50 2.7	475 25.3	660 35.1
② 更生医療	1,881 100.0	22 1.2	67 3.6	520 27.6	40 2.1	646 34.3	586 31.2
③ 精神通院医療	1,881 100.0	362 19.2	43 2.3	459 24.4	41 2.2	486 25.8	490 26.0
④ 心身障害者医療費助成制度（マル障）	1,881 100.0	280 14.9	127 6.8	391 20.8	37 2.0	561 29.8	485 25.8
⑤ 難病等医療費助成制度	1,881 100.0	337 17.9	72 3.8	456 24.2	40 2.1	503 26.7	473 25.1
⑥ 小児慢性特定疾患医療費助成	1,881 100.0	8 0.4	18 1.0	670 35.6	52 2.8	522 27.8	611 32.5
⑦ その他医療費助成制度	1,881 100.0	85 4.5	122 6.5	411 21.9	30 1.6	700 37.2	533 28.3

## 障害別

○障害別にみると、「精神通院医療」について精神障害では、「現在利用している（または申請中）」が74.6%となり、次いで、発達障害が35.2%、高次脳機能障害が22.9%となっている。

○「心身障害者医療費助成制度（マル障）」では、高次脳機能障害で3割以上となり、身体障害、知的障害では2割以上が「現在利用している（または申請中）」となっている。

## 1. 育成医療

上段：度数 下段：%		全体	（現在利用している または申請中）	今後利用したい しないが	利用する必要がない	利用したいと思わない	わからない	無回答
全体		1,881 100.0	7 0.4	18 1.0	671 35.7	50 2.7	475 25.3	660 35.1
障害別	身体障害	989 100.0	4 0.4	6 0.6	342 34.6	28 2.8	223 22.5	386 39.0
	知的障害	201 100.0	1 0.5	6 3.0	61 30.3	3 1.5	77 38.3	53 26.4
	発達障害	122 100.0	0 0.0	3 2.5	47 38.5	4 3.3	50 41.0	18 14.8
	精神障害	397 100.0	0 0.0	2 0.5	159 40.1	14 3.5	95 23.9	127 32.0
	高次脳機能障害	35 100.0	0 0.0	0 0.0	10 28.6	1 2.9	13 37.1	11 31.4
	難病（特定疾患）	318 100.0	2 0.6	1 0.3	130 40.9	7 2.2	69 21.7	109 34.3
	無回答	86 100.0	0 0.0	2 2.3	16 18.6	1 1.2	30 34.9	37 43.0

## 2. 更生医療

上段：度数 下段：%		全体	（現在利用している または申請中）	現在利用していないが 今後利用したい	利用する必要がない	利用したいと思わない	わからない	無回答
全体		1,881 100.0	22 1.2	67 3.6	520 27.6	40 2.1	646 34.3	586 31.2
障害別	身体障害	989 100.0	22 2.2	42 4.2	271 27.4	20 2.0	310 31.3	324 32.8
	知的障害	201 100.0	0 0.0	7 3.5	43 21.4	3 1.5	95 47.3	53 26.4
	発達障害	122 100.0	0 0.0	3 2.5	37 30.3	4 3.3	62 50.8	16 13.1
	精神障害	397 100.0	0 0.0	10 2.5	117 29.5	11 2.8	139 35.0	120 30.2
	高次脳機能障害	35 100.0	0 0.0	1 2.9	6 17.1	1 2.9	18 51.4	9 25.7
	難病（特定疾患）	318 100.0	2 0.6	6 1.9	98 30.8	5 1.6	102 32.1	105 33.0
	無回答	86 100.0	0 0.0	3 3.5	12 14.0	1 1.2	34 39.5	36 41.9

## 3. 精神通院医療

上段：度数 下段：%		全体	（現在利用している または申請中）	現在利用していないが 今後利用したい	利用する必要がない	利用したいと思わない	わからない	無回答
全体		1,881 100.0	362 19.2	43 2.3	459 24.4	41 2.2	486 25.8	490 26.0
障害別	身体障害	989 100.0	24 2.4	22 2.2	313 31.6	26 2.6	276 27.9	328 33.2
	知的障害	201 100.0	24 11.9	7 3.5	41 20.4	4 2.0	86 42.8	39 19.4
	発達障害	122 100.0	43 35.2	5 4.1	18 14.8	3 2.5	44 36.1	9 7.4
	精神障害	397 100.0	296 74.6	12 3.0	14 3.5	2 0.5	41 10.3	32 8.1
	高次脳機能障害	35 100.0	8 22.9	1 2.9	5 14.3	1 2.9	14 40.0	6 17.1
	難病（特定疾患）	318 100.0	11 3.5	2 0.6	108 34.0	9 2.8	82 25.8	106 33.3
	無回答	86 100.0	20 23.3	2 2.3	9 10.5	1 1.2	27 31.4	27 31.4

4. 心身障害者医療費助成制度（マル障）

		全体	現在利用している （または申請中）	今後利用したい ないが	利用する必要がない	利用したいと思わない	わからない	無回答
全体		1,881 100.0	280 14.9	127 6.8	391 20.8	37 2.0	561 29.8	485 25.8
障害別	身体障害	989 100.0	225 22.8	79 8.0	176 17.8	18 1.8	251 25.4	240 24.3
	知的障害	201 100.0	43 21.4	20 10.0	25 12.4	1 0.5	80 39.8	32 15.9
	発達障害	122 100.0	8 6.6	8 6.6	33 27.0	3 2.5	59 48.4	11 9.0
	精神障害	397 100.0	30 7.6	27 6.8	92 23.2	9 2.3	128 32.2	111 28.0
	高次脳機能障害	35 100.0	11 31.4	4 11.4	3 8.6	1 2.9	12 34.3	4 11.4
	難病（特定疾患）	318 100.0	19 6.0	13 4.1	91 28.6	7 2.2	86 27.0	102 32.1
	無回答	86 100.0	5 5.8	2 2.3	11 12.8	1 1.2	30 34.9	37 43.0

5. 難病等医療費助成制度

		全体	現在利用している （または申請中）	今後利用したい ないが	利用する必要がない	利用したいと思わない	わからない	無回答
全体		1,881 100.0	337 17.9	72 3.8	456 24.2	40 2.1	503 26.7	473 25.1
障害別	身体障害	989 100.0	113 11.4	50 5.1	258 26.1	20 2.0	263 26.6	285 28.8
	知的障害	201 100.0	3 1.5	11 5.5	51 25.4	2 1.0	86 42.8	48 23.9
	発達障害	122 100.0	2 1.6	4 3.3	44 36.1	6 4.9	52 42.6	14 11.5
	精神障害	397 100.0	7 1.8	12 3.0	135 34.0	12 3.0	117 29.5	114 28.7
	高次脳機能障害	35 100.0	1 2.9	4 11.4	4 11.4	1 2.9	17 48.6	8 22.9
	難病（特定疾患）	318 100.0	273 85.8	7 2.2	5 1.6	1 0.3	15 4.7	17 5.3
	無回答	86 100.0	7 8.1	2 2.3	12 14.0	2 2.3	31 36.0	32 37.2

## 6. 小児慢性特定疾患医療費助成

		全体	現在利用している (または申請中)	現在利用していないが 今後利用したい	利用する必要がない	利用したいと思わない	わからない	無回答
全体		1,881 100.0	8 0.4	18 1.0	670 35.6	52 2.8	522 27.8	611 32.5
障害別	身体障害	989 100.0	6 0.6	10 1.0	351 35.5	25 2.5	251 25.4	346 35.0
	知的障害	201 100.0	6 3.0	4 2.0	56 27.9	4 2.0	80 39.8	51 25.4
	発達障害	122 100.0	0 0.0	0 0.0	45 36.9	7 5.7	55 45.1	15 12.3
	精神障害	397 100.0	0 0.0	2 0.5	151 38.0	11 2.8	111 28.0	122 30.7
	高次脳機能障害	35 100.0	0 0.0	0 0.0	7 20.0	1 2.9	17 48.6	10 28.6
	難病（特定疾患）	318 100.0	1 0.3	0 0.0	131 41.2	9 2.8	69 21.7	108 34.0
	無回答	86 100.0	0 0.0	2 2.3	16 18.6	1 1.2	31 36.0	36 41.9

## 7. その他医療費助成制度

		全体	現在利用している (または申請中)	現在利用していないが 今後利用したい	利用する必要がない	利用したいと思わない	わからない	無回答
全体		1,881 100.0	85 4.5	122 6.5	411 21.9	30 1.6	700 37.2	533 28.3
障害別	身体障害	989 100.0	63 6.4	76 7.7	220 22.2	14 1.4	335 33.9	281 28.4
	知的障害	201 100.0	5 2.5	13 6.5	33 16.4	2 1.0	104 51.7	44 21.9
	発達障害	122 100.0	1 0.8	6 4.9	29 23.8	5 4.1	66 54.1	15 12.3
	精神障害	397 100.0	9 2.3	18 4.5	87 21.9	8 2.0	159 40.1	116 29.2
	高次脳機能障害	35 100.0	3 8.6	4 11.4	6 17.1	1 2.9	13 37.1	8 22.9
	難病（特定疾患）	318 100.0	14 4.4	18 5.7	73 23.0	4 1.3	108 34.0	101 31.8
	無回答	86 100.0	7 8.1	7 8.1	8 9.3	1 1.2	31 36.0	32 37.2

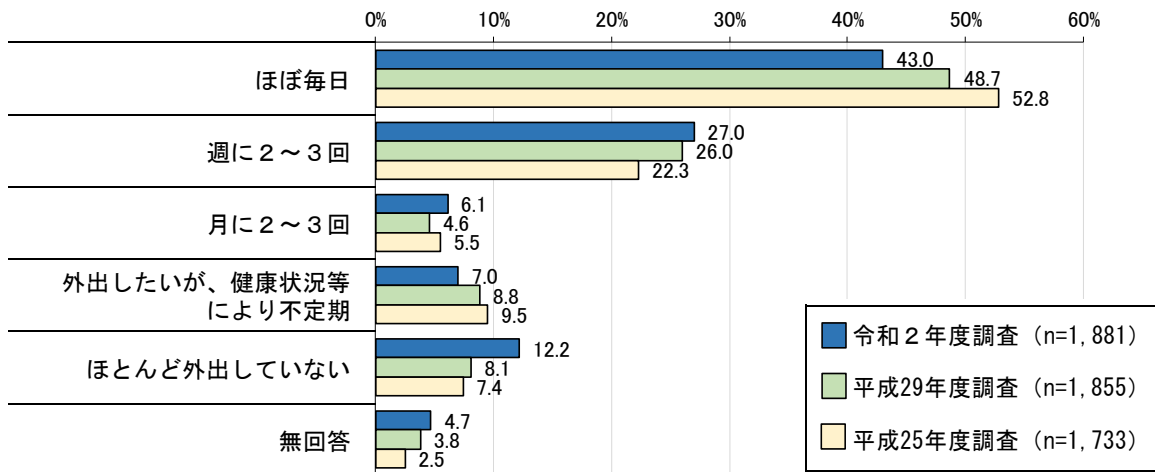
外出の状況

問23 あなたは日頃、どの程度外出しますか。(〇は1つ)

経年比較

○全体では「ほぼ毎日」が43.0%と最も高く、次いで「週に2～3回」が27.0%となっている。

○前回までと比較すると「週に2～3回」「月に2～3回」「ほとんど外出していない」が増加し、「ほぼ毎日」「外出したいが、健康状況等により不定期」が減少している。



障害別

○障害別にみると、「ほぼ毎日」では発達障害が75.4%と最も高く、次いで、知的障害の66.2%となっている。

○「ほとんど外出していない」では、高次脳機能障害が28.6%と、他の障害と比べて高くなっている。

	全体	ほぼ毎日	週に2～3回	月に2～3回	健康状況等により不定期	ほとんど外出していない	無回答
全体	1,881	809	508	115	131	230	88
身体障害	989	351	302	63	74	141	58
知的障害	201	133	18	15	6	23	6
発達障害	122	92	9	4	4	9	4
精神障害	397	176	108	20	41	43	9
高次脳機能障害	35	14	5	2	3	10	1
難病（特定疾患）	318	127	96	20	23	42	10
無回答	86	37	19	5	4	12	9
	100.0	43.0	27.0	6.1	7.0	12.2	4.7
	100.0	35.5	30.5	6.4	7.5	14.3	5.9
	100.0	66.2	9.0	7.5	3.0	11.4	3.0
	100.0	75.4	7.4	3.3	3.3	7.4	3.3
	100.0	44.3	27.2	5.0	10.3	10.8	2.3
	100.0	40.0	14.3	5.7	8.6	28.6	2.9
	100.0	39.9	30.2	6.3	7.2	13.2	3.1
	100.0	43.0	22.1	5.8	4.7	14.0	10.5

## ライフステージ別

○ライフステージ別にみると、高齢期以外のライフステージで「ほぼ毎日」が最も高く、5割以上となっている。特に乳幼児期、児童期においては8割以上を占めている。

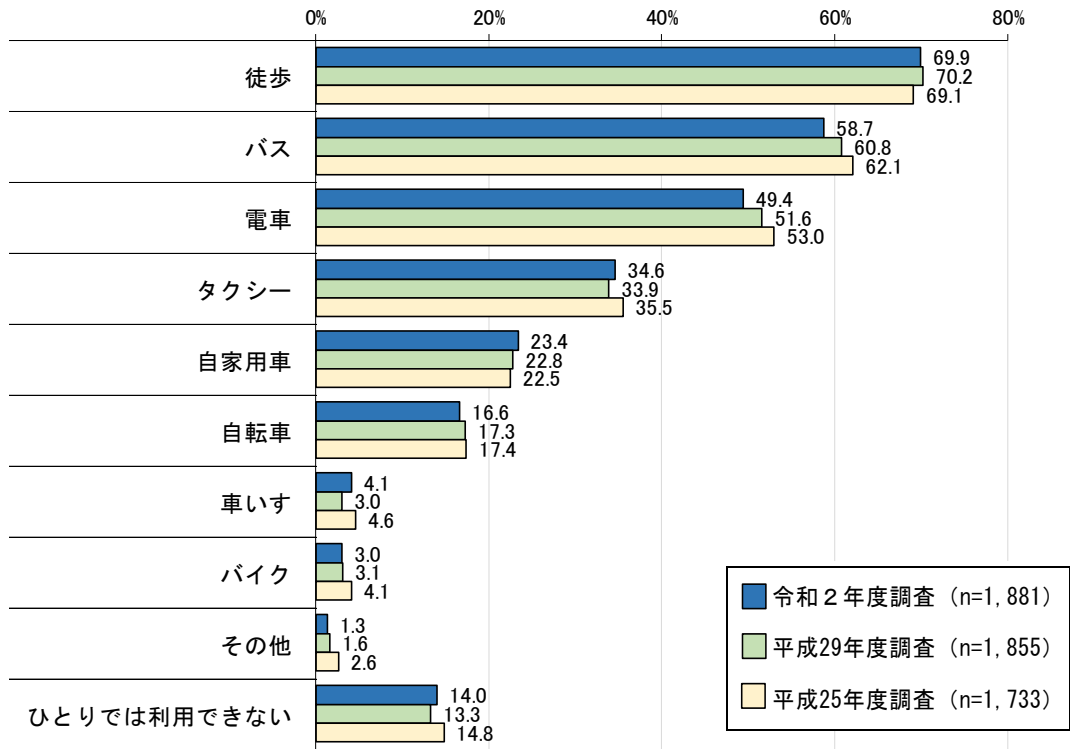
○高齢期においては「ほぼ毎日」と「週に2～3回」を合計すると6割以上を占めているが、「ほとんど外出していない」が16.4%と他のライフステージよりも高くなっている。

		全体	ほぼ毎日	週に2～3回	月に2～3回	健康状況等により不定期	ほとんど外出していない	無回答
上段：度数 下段：%								
全体		1,881 100.0	809 43.0	508 27.0	115 6.1	131 7.0	230 12.2	88 4.7
ライフステージ別	乳幼児期（6歳未満）	16 100.0	14 87.5	2 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	児童期（6歳～12歳）	52 100.0	45 86.5	3 5.8	0 0.0	0 0.0	2 3.8	2 3.8
	思春期（13歳～19歳）	44 100.0	29 65.9	7 15.9	2 4.5	3 6.8	3 6.8	0 0.0
	青年期（20歳～39歳）	236 100.0	135 57.2	45 19.1	14 5.9	14 5.9	21 8.9	7 3.0
	壮年期（40歳～64歳）	541 100.0	306 56.6	118 21.8	27 5.0	39 7.2	39 7.2	12 2.2
	高齢期（65歳以上）	978 100.0	278 28.4	331 33.8	72 7.4	75 7.7	160 16.4	62 6.3
	無回答	14 100.0	2 14.3	2 14.3	0 0.0	0 0.0	5 35.7	5 35.7

問 24 あなたがひとりで移動できる手段は何ですか。(〇はいくつでも)

経年比較

- 全体では「徒歩」が69.9%と最も高く、次いで「バス」が58.7%、「電車」が49.4%となっている。
- 前回までと比較すると「バス」「電車」「自転車」「バイク」は減少傾向となり、「自家用車」は増加傾向となっている。





## 障害別

○障害別にみると、「徒歩」はすべての障害で5割を超えている。また、精神障害、発達障害では8割以上を占めている。

○身体障害、難病では、「自家用車」「タクシー」が他の障害と比べて高くなっている。

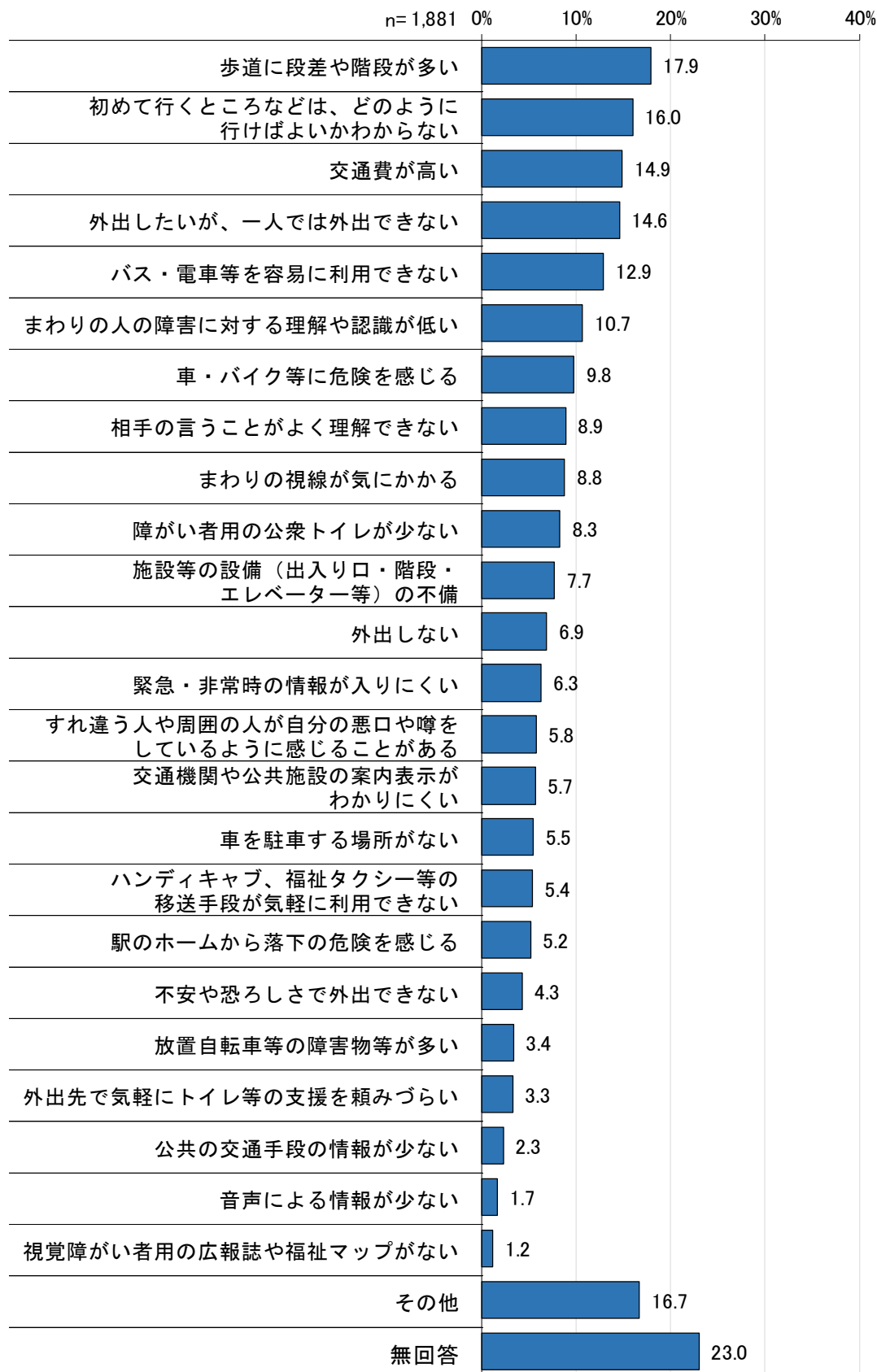
上段：度数 下段：%		全体	徒歩	バス	電車	タクシー	自家用車	自転車	ひとりでは利用できない
全体		1,881 100.0	1,315 69.9	1,104 58.7	929 49.4	651 34.6	441 23.4	313 16.6	264 14.0
障害別	身体障害	989 100.0	613 62.0	543 54.9	439 44.4	379 38.3	288 29.1	109 11.0	166 16.8
	知的障害	201 100.0	136 67.7	85 42.3	77 38.3	21 10.4	10 5.0	32 15.9	57 28.4
	発達障害	122 100.0	100 82.0	67 54.9	69 56.6	23 18.9	8 6.6	34 27.9	18 14.8
	精神障害	397 100.0	328 82.6	275 69.3	244 61.5	128 32.2	57 14.4	77 19.4	24 6.0
	高次脳機能障害	35 100.0	20 57.1	15 42.9	8 22.9	11 31.4	0 0.0	4 11.4	11 31.4
	難病（特定疾患）	318 100.0	235 73.9	199 62.6	169 53.1	142 44.7	99 31.1	74 23.3	51 16.0
	無回答	86 100.0	50 58.1	45 52.3	33 38.4	22 25.6	15 17.4	17 19.8	11 12.8

上段：度数 下段：%		車いす	バイク	その他	無回答
全体		78 4.1	57 3.0	25 1.3	61 3.2
障害別	身体障害	61 6.2	26 2.6	18 1.8	33 3.3
	知的障害	3 1.5	2 1.0	2 1.0	6 3.0
	発達障害	2 1.6	4 3.3	3 2.5	3 2.5
	精神障害	3 0.8	18 4.5	3 0.8	8 2.0
	高次脳機能障害	3 8.6	1 2.9	0 0.0	1 2.9
	難病（特定疾患）	19 6.0	12 3.8	9 2.8	7 2.2
	無回答	4 4.7	2 2.3	0 0.0	9 10.5

## 問 25 あなたが外出するとき、困ることは何ですか。(〇はいくつでも)

全体

〇全体では「歩道に段差や階段が多い」が17.9%と最も高く、次いで「初めて行くところなどは、どのように行けばよいかわからない」が16.0%となっている。



障害別【上位15項目】

○障害別にみると、身体障害では「歩道に段差や階段が多い」が25.3%と最も高く、次いで「外出したいが、一人では外出できない」が14.7%となっている。

○知的障害では、「初めて行くところなどは、どのように行けばよいかわからない」が37.3%と最も高く、次いで「外出したいが、一人では外出できない」が33.8%となっている。

○発達障害では、「初めて行くところなどは、どのように行けばよいかわからない」が33.6%と最も高く、次いで「相手の言うことがよく理解できない」が27.0%となっている。

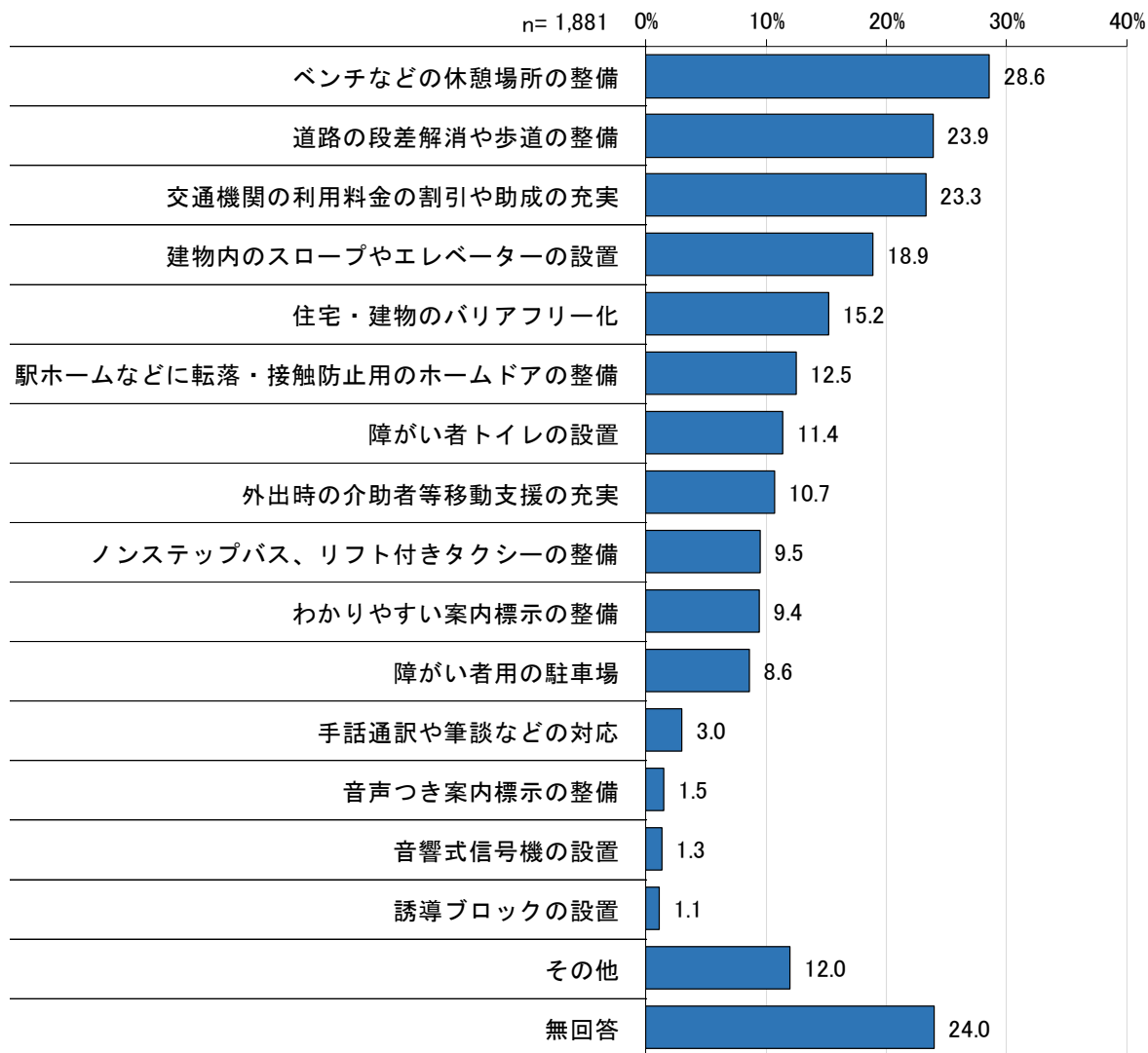
障害別	上段：度数 下段：%	全体	歩道に段差や階段が多い	初めて行くところなどは、 どのように行けばよいか わからない	交通費が高い	一人では外出したいが、 一人では外出できない	バス・電車等を容易に 利用できない	まわりの人の障害に対する 理解や認識が低い	車・バイク等に危険を 感じる
		全体	1,881 100.0	336 17.9	301 16.0	281 14.9	275 14.6	242 12.9	201 10.7
身体障害	989 100.0	250 25.3	96 9.7	119 12.0	145 14.7	127 12.8	81 8.2	105 10.6	
知的障害	201 100.0	25 12.4	75 37.3	27 13.4	68 33.8	50 24.9	47 23.4	34 16.9	
発達障害	122 100.0	7 5.7	41 33.6	21 17.2	19 15.6	25 20.5	29 23.8	18 14.8	
精神障害	397 100.0	36 9.1	108 27.2	94 23.7	46 11.6	53 13.4	65 16.4	30 7.6	
高次脳機能障害	35 100.0	8 22.9	9 25.7	8 22.9	10 28.6	7 20.0	5 14.3	6 17.1	
難病（特定疾患）	318 100.0	69 21.7	29 9.1	54 17.0	50 15.7	42 13.2	24 7.5	26 8.2	
無回答	86 100.0	13 15.1	12 14.0	14 16.3	12 14.0	9 10.5	5 5.8	7 8.1	

障害別	上段：度数 下段：%	よく相手の言うことが 理解できない	まわりの視線が気にか かる	障がい者の公衆トイレが 少ない	階段等の設備（出入口・ エレベーター等）の不 備	外出しない	緊急・非常時の情報が 入りにくい	自分や周囲の人が すれ違う人や周囲の ように感じる人がいる こと	案内表示がわかりにくい 交通機関や公共施設の 設備
		全体	167 8.9	166 8.8	157 8.3	145 7.7	130 6.9	118 6.3	110 5.8
身体障害	57 5.8	40 4.0	122 12.3	118 11.9	79 8.0	66 6.7	20 2.0	49 5.0	
知的障害	58 28.9	35 17.4	23 11.4	12 6.0	12 6.0	23 11.4	22 10.9	29 14.4	
発達障害	33 27.0	23 18.9	8 6.6	3 2.5	4 3.3	7 5.7	17 13.9	16 13.1	
精神障害	51 12.8	90 22.7	17 4.3	12 3.0	28 7.1	22 5.5	69 17.4	22 5.5	
高次脳機能障害	5 14.3	5 14.3	2 5.7	2 5.7	6 17.1	2 5.7	2 5.7	2 5.7	
難病（特定疾患）	10 3.1	17 5.3	25 7.9	28 8.8	21 6.6	17 5.3	4 1.3	15 4.7	
無回答	6 7.0	1 1.2	4 4.7	4 4.7	5 5.8	6 7.0	5 5.8	4 4.7	

問 26 あなたが外出するために、特に必要と考える整備または援助は何ですか。  
 (〇は必要と思うもの5つまで)

全体

〇全体をみると、「ベンチなどの休憩場所の整備」が28.6%と最も高く、次いで「道路の段差解消や歩道の整備」が23.9%、「交通機関の利用料金の割引や助成の充実」23.3%となっている。



## 障害別【上位15項目】

○障害別にみると、身体障害では「ベンチなどの休憩場所の整備」が31.1%と最も高く、次いで「道路の段差解消や歩道の整備」が30.5%となっている。

○精神障害では、「交通機関の利用料金の割引や助成の充実」が32.0%と最も高くなっている。

○「外出時の介助者等移動支援の充実」では知的障害が、「わかりやすい案内表示の整備」では発達障害が他の障害と比べて高くなっている。

上段：度数 下段：%	全体	整備 ベンチ などの 休憩 場所 の	整備 道路 の 段差 解消 や 歩道 の	割引 や 助成 の 利用 料金 の 充実	建物 内の スロー プ や エレ ベーター の 設置	住宅・ 建物の バリア フリー 化	駅 ホーム などに 転落 ・ ドア の 接触 防止 の 整備	障 がい 者 トイレ の 設置	
	全体	1,881 100.0	538 28.6	449 23.9	438 23.3	356 18.9	285 15.2	235 12.5	214 11.4
障害別	身体障害	989 100.0	308 31.1	302 30.5	202 20.4	251 25.4	190 19.2	113 11.4	161 16.3
	知的障害	201 100.0	36 17.9	31 15.4	59 29.4	20 10.0	14 7.0	29 14.4	35 17.4
	発達障害	122 100.0	22 18.0	8 6.6	36 29.5	8 6.6	7 5.7	21 17.2	13 10.7
	精神障害	397 100.0	124 31.2	55 13.9	127 32.0	46 11.6	34 8.6	52 13.1	17 4.3
	高次脳機能障害	35 100.0	10 28.6	11 31.4	10 28.6	5 14.3	6 17.1	4 11.4	7 20.0
	難病（特定疾患）	318 100.0	96 30.2	97 30.5	77 24.2	68 21.4	68 21.4	35 11.0	32 10.1
	無回答	86 100.0	17 19.8	15 17.4	14 16.3	14 16.3	10 11.6	9 10.5	5 5.8

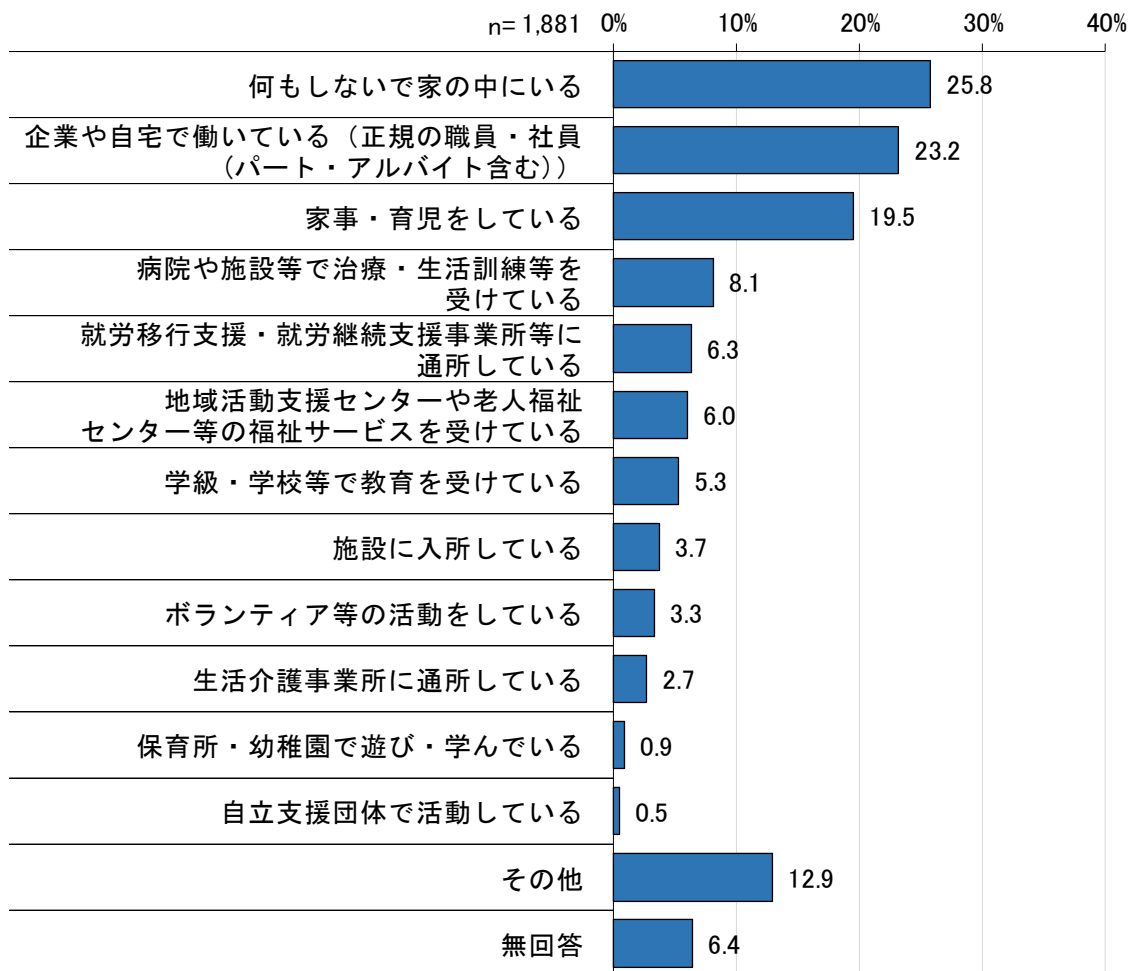
上段：度数 下段：%	支 援 の 充 実	整備 リ ン ク 付 き タ ブ ス の	整備 わ か り や す い 案 内 標 示 の	障 がい 者 用 の 駐 車 場	対 手 話 通 訳 や 筆 談 な ど の	音 声 つ き 案 内 標 示 の 整備	音 響 式 信 号 機 の 設置	誘 導 ブ ロ ック の 設置	
	全体	202 10.7	179 9.5	176 9.4	162 8.6	56 3.0	29 1.5	24 1.3	20 1.1
障害別	身体障害	99 10.0	120 12.1	72 7.3	121 12.2	47 4.8	14 1.4	15 1.5	8 0.8
	知的障害	58 28.9	20 10.0	30 14.9	13 6.5	2 1.0	2 1.0	1 0.5	3 1.5
	発達障害	18 14.8	7 5.7	24 19.7	1 0.8	4 3.3	2 1.6	1 0.8	0 0.0
	精神障害	31 7.8	20 5.0	46 11.6	18 4.5	6 1.5	6 1.5	3 0.8	5 1.3
	高次脳機能障害	8 22.9	5 14.3	1 2.9	5 14.3	0 0.0	1 2.9	0 0.0	1 2.9
	難病（特定疾患）	35 11.0	41 12.9	27 8.5	23 7.2	7 2.2	4 1.3	2 0.6	2 0.6
	無回答	7 8.1	8 9.3	9 10.5	3 3.5	2 2.3	3 3.5	2 2.3	3 3.5

日中活動の状況

問27 あなたは平日の昼間、主にどのように過ごしていますか。(〇はいくつでも)

全体

〇全体では「何もしないで家の中にいる」が25.8%と最も高く、次いで「企業や自宅で働いている（正規の職員・社員（パート・アルバイト含む）」が23.2%、「家事・育児をしている」が19.5%となっている。



## 障害別

○障害別にみると、身体障害では「何もしないで家の中にいる」が28.4%と最も高く、次いで「家事・育児をしている」が19.2%となっている。

○知的障害では「就労移行支援・就労継続支援事業所等に通所している」が25.9%と最も高く、次いで「企業や自宅で働いている」が21.4%となっている。

○難病では、「企業や自宅で働いている」が33.6%と最も高く、次いで「何もしないで家の中にいる」が27.7%となっている。

上段：度数 下段：%	全体	何もしないで家の中にいる	企業や自宅で働いている (正規の職員・社員(パート・アルバイト含む))	家事・育児をしている	病院や施設等で治療・生活訓練等を受けている	就労移行支援・就労継続支援事業所等に通所している	地域活動支援センターや老人福祉センター等の福祉サービスを受けている	学級・学校等で教育を受けている	
									全体
全体	1,881 100.0	485 25.8	437 23.2	367 19.5	153 8.1	119 6.3	112 6.0	100 5.3	
障害別	身体障害	989 100.0	281 28.4	172 17.4	190 19.2	96 9.7	24 2.4	64 6.5	28 2.8
	知的障害	201 100.0	20 10.0	43 21.4	4 2.0	10 5.0	52 25.9	18 9.0	43 21.4
	発達障害	122 100.0	18 14.8	33 27.0	7 5.7	4 3.3	20 16.4	8 6.6	41 33.6
	精神障害	397 100.0	127 32.0	110 27.7	87 21.9	38 9.6	45 11.3	15 3.8	10 2.5
	高次脳機能障害	35 100.0	8 22.9	1 2.9	3 8.6	3 8.6	9 25.7	3 8.6	1 2.9
	難病(特定疾患)	318 100.0	88 27.7	107 33.6	82 25.8	37 11.6	4 1.3	21 6.6	4 1.3
	無回答	86 100.0	16 18.6	18 20.9	16 18.6	5 5.8	1 1.2	7 8.1	6 7.0

上段：度数 下段：%	施設に入所している	ボランティア等の活動をしている	生活介護事業所に通所している	保育所・幼稚園で遊び・学んでい	自立支援団体で活動している	その他	無回答	
								施設に入所している
全体	69 3.7	63 3.3	51 2.7	16 0.9	9 0.5	242 12.9	121 6.4	
障害別	身体障害	49 5.0	48 4.9	24 2.4	5 0.5	4 0.4	157 15.9	77 7.8
	知的障害	11 5.5	1 0.5	26 12.9	6 3.0	0 0.0	5 2.5	2 1.0
	発達障害	0 0.0	2 1.6	5 4.1	7 5.7	0 0.0	11 9.0	4 3.3
	精神障害	9 2.3	7 1.8	5 1.3	0 0.0	2 0.5	51 12.8	18 4.5
	高次脳機能障害	6 17.1	0 0.0	3 8.6	0 0.0	0 0.0	6 17.1	3 8.6
	難病(特定疾患)	8 2.5	11 3.5	7 2.2	1 0.3	1 0.3	28 8.8	8 2.5
	無回答	3 3.5	0 0.0	2 2.3	0 0.0	2 2.3	10 11.6	18 20.9

ライフステージ別

○ライフステージ別にみると、青年期においては「企業や自宅で働いている」が47.9%と最も高く、次いで「就労移行支援・就労継続支援事業所等に通所している」が20.3%となっている。

○高齢期においては「何もしないで家の中にいる」が32.0%と最も高く、次いで「家事・育児をしている」が22.3%となっている。

○「何もしないで家の中にいる」「家事・育児をしている」「施設に入所している」「ボランティア等の活動をしている」「自立支援団体に活動している」は、ライフステージが進むにつれて増加傾向となっている。

上段：度数 下段：%		全体	何もしないで家の中にいる	企業や自宅で働いている (正規の職員・社員(パート・アルバイト含む))	家事・育児をしている	病院や施設等で治療・生活訓練等を受けている	就労移行支援・就労継続支援事業所等に就労している	地域活動支援センターや老人福祉サービスを受けている	学級・学校等で教育を受けている
全体		1,881 100.0	485 25.8	437 23.2	367 19.5	153 8.1	119 6.3	112 6.0	100 5.3
ライフステージ別	乳幼児期 (6歳未満)	16 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.3	0 0.0	1 6.3	4 25.0
	児童期 (6歳～12歳)	52 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 7.7	49 94.2
	思春期 (13歳～19歳)	44 100.0	8 18.2	1 2.3	1 2.3	2 4.5	4 9.1	1 2.3	35 79.5
	青年期 (20歳～39歳)	236 100.0	43 18.2	113 47.9	27 11.4	6 2.5	48 20.3	6 2.5	6 2.5
	壮年期 (40歳～64歳)	541 100.0	120 22.2	233 43.1	120 22.2	40 7.4	60 11.1	19 3.5	5 0.9
	高齢期 (65歳以上)	978 100.0	313 32.0	90 9.2	218 22.3	102 10.4	7 0.7	81 8.3	1 0.1
	無回答	14 100.0	1 7.1	0 0.0	1 7.1	2 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0

上段：度数 下段：%		施設に入所している	ボランティア等の活動をしている	生活介護事業所に通所している	保育所・幼稚園で遊んでいる	自立支援団体に活動している	その他	無回答
全体		69 3.7	63 3.3	51 2.7	16 0.9	9 0.5	242 12.9	121 6.4
ライフステージ別	乳幼児期 (6歳未満)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	13 81.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	児童期 (6歳～12歳)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.9	0 0.0	3 5.8	2 3.8
	思春期 (13歳～19歳)	0 0.0	0 0.0	1 2.3	0 0.0	0 0.0	4 9.1	0 0.0
	青年期 (20歳～39歳)	3 1.3	2 0.8	17 7.2	1 0.4	0 0.0	16 6.8	3 1.3
	壮年期 (40歳～64歳)	10 1.8	8 1.5	11 2.0	0 0.0	2 0.4	39 7.2	19 3.5
	高齢期 (65歳以上)	54 5.5	53 5.4	21 2.1	1 0.1	7 0.7	178 18.2	90 9.2
	無回答	2 14.3	0 0.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0	2 14.3	7 50.0

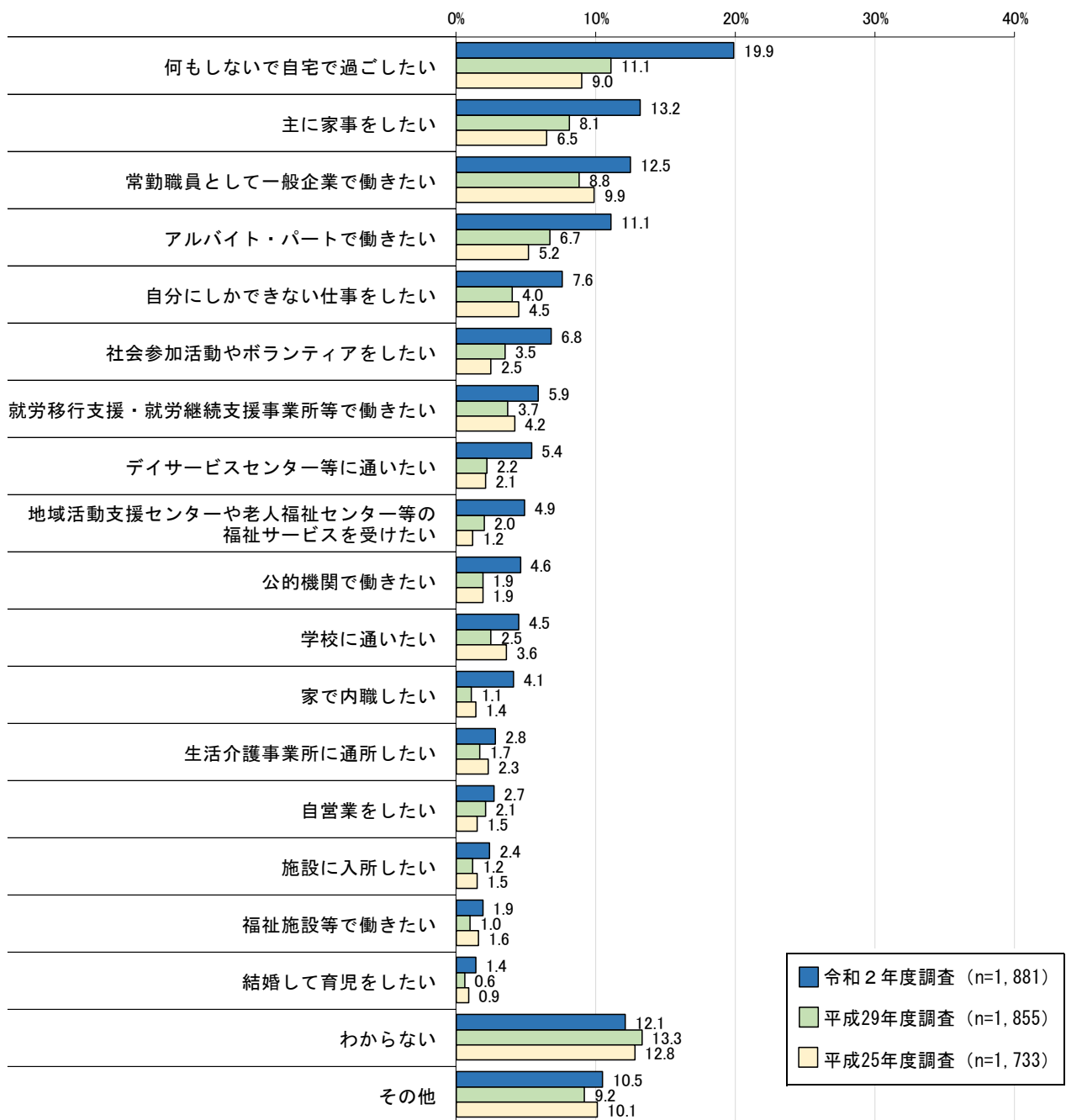


問 28 あなたは今後、平日の昼間どのように過ごしたいと考えていますか。  
(〇は3つまで)

経年比較

○全体では「何もしないで自宅で過ごしたい」が19.9%と最も高く、次いで「主に家事をしたい」13.2%、「常勤職員として一般企業で働きたい」12.5%、「わからない」12.1%となっている。

○前回と比較すると、「わからない」を除くすべての項目で増加しており、特に「何もしないで自宅で過ごしたい」では8.8ポイント、「主に家事をしたい」では5.1ポイント増加している。



障害別【上位15項目】

○障害別にみると、身体障害では「何もしないで自宅で過ごしたい」が22.4%と最も高く、次いで「主に家事をしたい」が13.1%となっている。

○知的障害では、「就労移行支援・就労継続支援事業所等で働きたい」が25.4%と最も高く、次いで「生活介護事業所に通所したい」の14.4%となっている。

○精神障害では、「常勤職員として一般企業で働きたい」が20.7%と最も高く、次いで「アルバイト・パートで働きたい」の20.2%となっている。

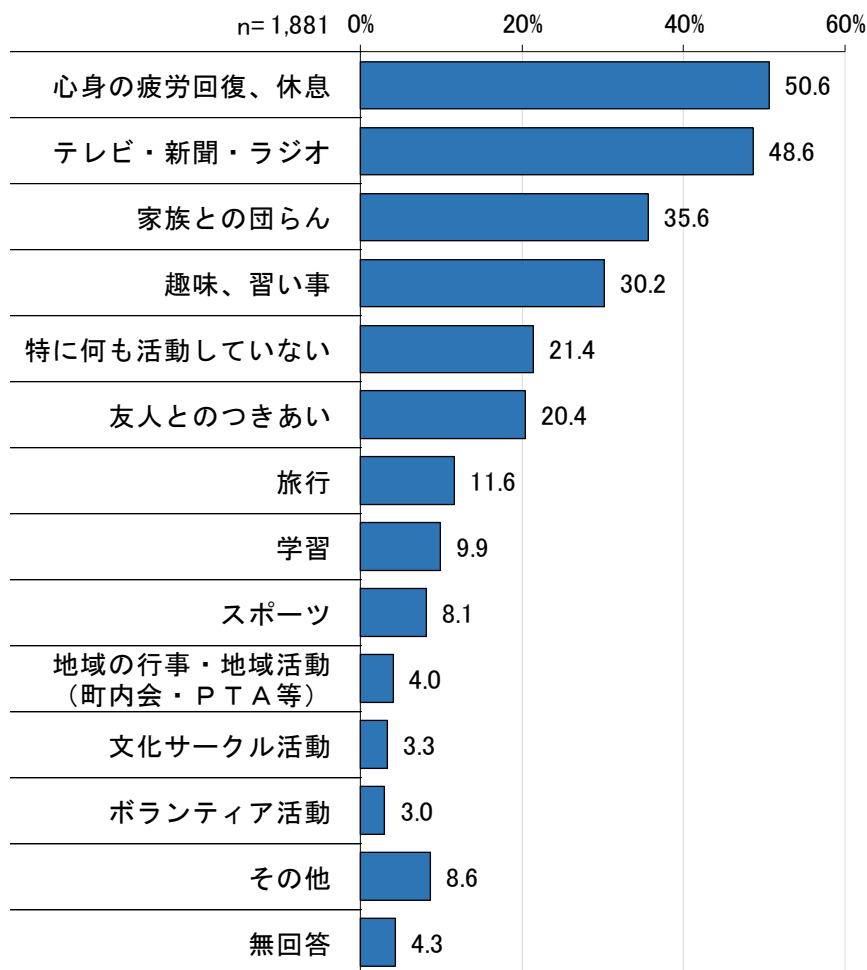
	全体	何も しないで 自宅で 過ごす したい	主に 家事を したい	常勤 職員と して一 般企業 で 働きた い	アル バイト ・パ ートで 働きた い	自分 にしか できな い 仕事を したい	社会 参加活 動や ボラン ティア をしたい	就労 移行支 援事業 所等 で 働きた い	
全体	1,881 100.0	374 19.9	248 13.2	236 12.5	209 11.1	143 7.6	127 6.8	111 5.9	
障害別	身体障害	989 100.0	222 22.4	130 13.1	85 8.6	74 7.5	62 6.3	82 8.3	25 2.5
	知的障害	201 100.0	20 10.0	3 1.5	21 10.4	18 9.0	17 8.5	6 3.0	51 25.4
	発達障害	122 100.0	12 9.8	5 4.1	29 23.8	10 8.2	9 7.4	4 3.3	17 13.9
	精神障害	397 100.0	78 19.6	56 14.1	82 20.7	80 20.2	43 10.8	16 4.0	39 9.8
	高次脳機能障害	35 100.0	4 11.4	3 8.6	7 20.0	2 5.7	3 8.6	3 8.6	4 11.4
	難病（特定疾患）	318 100.0	75 23.6	57 17.9	45 14.2	38 11.9	24 7.5	27 8.5	8 2.5
	無回答	86 100.0	11 12.8	13 15.1	7 8.1	8 9.3	7 8.1	4 4.7	0 0.0

	デイ サービス センタ ー等に 通いた い	地域 福祉サ ービス センタ ー等 のや 福 祉サ ービス を受け たい	公的 機関で 働きた い	学校 に通いた い	家で 内職した い	生活 介護事 業所に 通所した い	自営 業をした い	施設 に入所した い	
全体	101 5.4	92 4.9	86 4.6	85 4.5	77 4.1	52 2.8	51 2.7	46 2.4	
障害別	身体障害	56 5.7	62 6.3	36 3.6	28 2.8	32 3.2	26 2.6	22 2.2	31 3.1
	知的障害	12 6.0	12 6.0	6 3.0	21 10.4	6 3.0	29 14.4	2 1.0	8 4.0
	発達障害	6 4.9	2 1.6	7 5.7	35 28.7	2 1.6	3 2.5	3 2.5	1 0.8
	精神障害	21 5.3	13 3.3	32 8.1	13 3.3	26 6.5	6 1.5	16 4.0	4 1.0
	高次脳機能障害	2 5.7	0 0.0	3 8.6	3 8.6	0 0.0	3 8.6	3 8.6	1 2.9
	難病（特定疾患）	17 5.3	17 5.3	20 6.3	4 1.3	14 4.4	6 1.9	8 2.5	10 3.1
	無回答	5 5.8	3 3.5	1 1.2	2 2.3	3 3.5	2 2.3	4 4.7	2 2.3

問 29 あなたは、休日等の自由時間をどのように過ごしていますか。(〇はいくつでも)

全体

○全体では「心身の疲労回復、休息」が 50.6%と最も高く、次いで「テレビ・新聞・ラジオ」が 48.6%、「家族との団らん」が 35.6%となっている。



ライフステージ別

○ライフステージ別にみると「心身の疲労回復、休息」は、青年期がピークとなり、その後ライフステージが進むにつれて減少傾向となっている。

○「テレビ・新聞・ラジオ」では、高齢期において58.1%と最も高く、次いで思春期が43.2%となっている。

○「特に何も活動していない」はライフステージが進むごとに高くなる傾向にあり、高齢期では27.5%となっている。

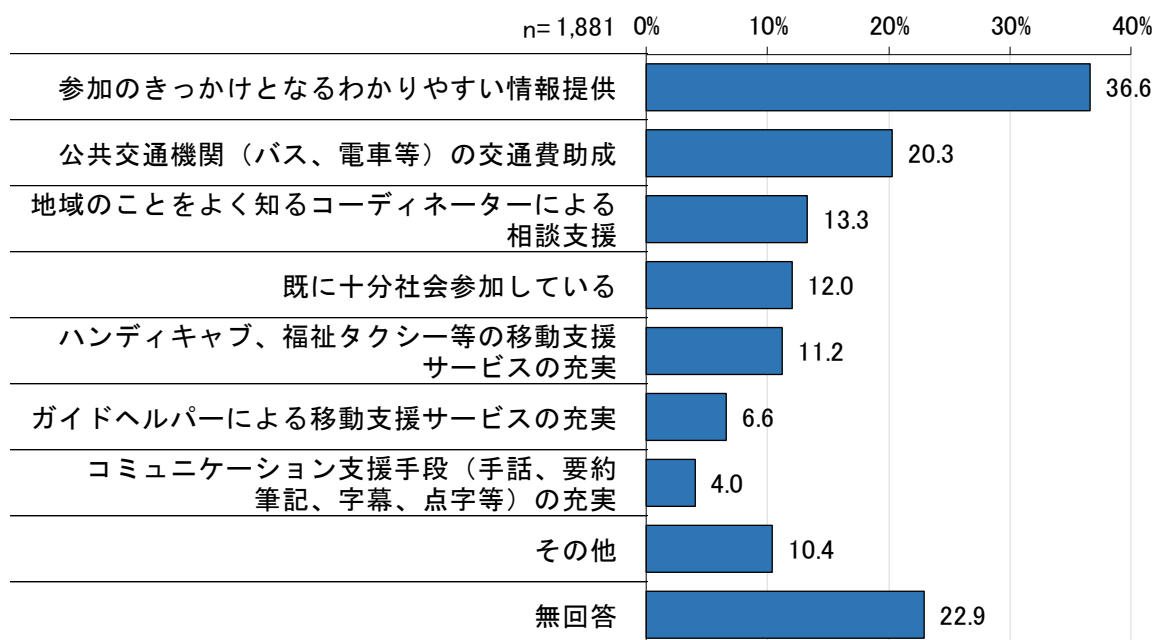
上段：度数 下段：%		全体	心身の疲労回復、休息	テレビ・新聞・ラジオ	家族との団らん	趣味、習い事	特に何も活動していない	友人とのつきあい	旅行
		全体	1,881 100.0	951 50.6	914 48.6	669 35.6	568 30.2	402 21.4	384 20.4
ライフステージ別	乳幼児期（6歳未満）	16 100.0	7 43.8	2 12.5	15 93.8	3 18.8	0 0.0	3 18.8	1 6.3
	児童期（6歳～12歳）	52 100.0	27 51.9	14 26.9	39 75.0	24 46.2	3 5.8	8 15.4	6 11.5
	思春期（13歳～19歳）	44 100.0	23 52.3	19 43.2	21 47.7	18 40.9	4 9.1	5 11.4	1 2.3
	青年期（20歳～39歳）	236 100.0	163 69.1	74 31.4	119 50.4	107 45.3	31 13.1	59 25.0	34 14.4
	壮年期（40歳～64歳）	541 100.0	354 65.4	232 42.9	191 35.3	173 32.0	93 17.2	93 17.2	65 12.0
	高齢期（65歳以上）	978 100.0	375 38.3	568 58.1	283 28.9	243 24.8	269 27.5	211 21.6	112 11.5
	無回答	14 100.0	2 14.3	5 35.7	1 7.1	0 0.0	2 14.3	5 35.7	0 0.0

上段：度数 下段：%		学習	スポーツ	（地域の行事・PTA等）	文化サークル活動	ボランティア活動	その他	無回答
		全体	186 9.9	152 8.1	75 4.0	63 3.3	56 3.0	161 8.6
ライフステージ別	乳幼児期（6歳未満）	5 31.3	3 18.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 12.5	0 0.0
	児童期（6歳～12歳）	16 30.8	9 17.3	1 1.9	0 0.0	0 0.0	6 11.5	2 3.8
	思春期（13歳～19歳）	10 22.7	3 6.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 15.9	0 0.0
	青年期（20歳～39歳）	29 12.3	22 9.3	3 1.3	2 0.8	1 0.4	26 11.0	4 1.7
	壮年期（40歳～64歳）	51 9.4	49 9.1	17 3.1	9 1.7	13 2.4	48 8.9	14 2.6
	高齢期（65歳以上）	75 7.7	65 6.6	54 5.5	52 5.3	42 4.3	72 7.4	54 5.5
	無回答	0 0.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 50.0

問 30 今後、社会参加するためにどのようなサービスが必要ですか。(〇はいくつでも)

全体

○全体では「参加のきっかけとなるわかりやすい情報提供」が 36.6%と最も高く、次いで「公共交通機関（バス、電車等）の交通費助成」が 20.3%となっている。



障害別

○障害別にみると、すべての障害で「参加のきっかけとなるわかりやすい情報提供」が最も高くなっている。

○「地域のことをよく知るコーディネーターによる相談支援」では発達障害が30.3%と最も高く、「ハンディキャブ、福祉タクシー等の移動支援サービスの充実」では高次脳機能障害が25.7%と他の障害と比べて高くなっている。

上段：度数 下段：%		全体	わ参加のきっかけとなる情報提供	電車等公共交通機関（バス、電費助成）	相談支援	地域のことをよく知るコーディネーターによる	既に十分社会参加している	福祉タクシー等の移動支援サービスの充実	ハンディキャブ、福祉タクシー等の移動支援サービスの充実	ガイドヘルパーによる移動支援サービスの充実	字幕（点字等）の充実	手段（手話、要約筆記、点字等）の充実	コミュニケーション支援	その他	無回答
全体		1,881 100.0	689 36.6	381 20.3	251 13.3	226 12.0	210 11.2	124 6.6	75 4.0	196 10.4	430 22.9				
障害別	身体障害	989 100.0	333 33.7	172 17.4	92 9.3	106 10.7	140 14.2	48 4.9	53 5.4	108 10.9	258 26.1				
	知的障害	201 100.0	83 41.3	48 23.9	57 28.4	17 8.5	33 16.4	11 9.0	11 10.0	7 7.0	14 14.0				
	発達障害	122 100.0	60 49.2	41 33.6	37 30.3	16 13.1	11 9.0	11 9.0	7 6.5	14 11.5	10 8.2				
	精神障害	397 100.0	155 39.0	113 28.5	70 17.6	57 14.4	35 8.8	16 4.0	10 2.5	37 9.3	71 17.9				
	高次脳機能障害	35 100.0	10 28.6	8 22.9	3 8.6	2 5.7	9 25.7	5 14.3	1 2.9	3 8.6	8 22.9				
	難病（特定疾患）	318 100.0	117 36.8	61 19.2	32 10.1	45 14.2	46 14.5	13 4.1	10 3.1	34 10.7	61 19.2				
	無回答	86 100.0	25 29.1	13 15.1	10 11.6	9 10.5	6 7.0	3 3.5	2 2.3	9 10.5	34 39.5				

ライフステージ別

○ライフステージ別にみると「参加のきっかけとなるわかりやすい情報提供」は乳幼児期、児童期、思春期で5割を超えている。

○「公共交通機関の交通費助成」は青年期が27.5%と最も高くなっている。

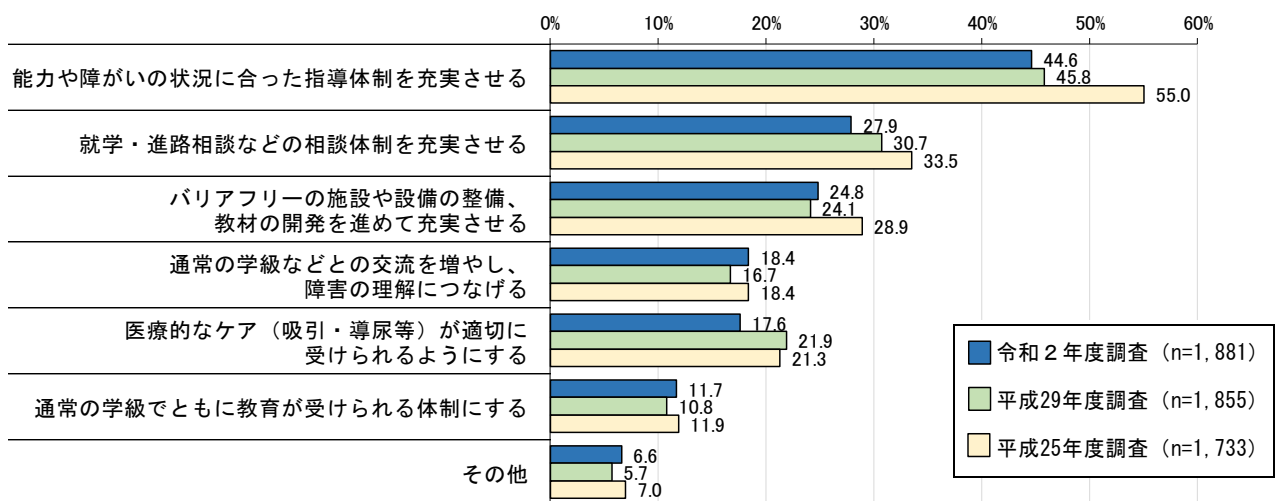
上段：度数 下段：%		全体	わ参加のきっかけとなる情報提供	電車等公共交通機関（バス、電費助成）	相談支援	地域のことをよく知るコーディネーターによる	既に十分社会参加している	福祉タクシー等の移動支援サービスの充実	ハンディキャブ、福祉タクシー等の移動支援サービスの充実	ガイドヘルパーによる移動支援サービスの充実	字幕（点字等）の充実	手段（手話、要約筆記、点字等）の充実	コミュニケーション支援	その他	無回答
全体		1,881 100.0	689 36.6	381 20.3	251 13.3	226 12.0	210 11.2	124 6.6	75 4.0	196 10.4	430 22.9				
ライフステージ別	乳幼児期（6歳未満）	16 100.0	8 50.0	3 18.8	6 37.5	0 0.0	4 25.0	3 18.8	2 12.5	2 12.5	1 6.3				
	児童期（6歳～12歳）	52 100.0	28 53.8	7 13.5	16 30.8	5 9.6	5 9.6	9 17.3	3 5.8	5 9.6	8 15.4				
	思春期（13歳～19歳）	44 100.0	23 52.3	11 25.0	14 31.8	4 9.1	6 13.6	9 20.5	4 9.1	5 11.4	7 15.9				
	青年期（20歳～39歳）	236 100.0	79 33.5	65 27.5	40 16.9	40 16.9	16 6.8	35 14.8	12 5.1	19 8.1	30 12.7				
	壮年期（40歳～64歳）	541 100.0	243 44.9	139 25.7	88 16.3	102 18.9	41 7.6	24 4.4	16 3.0	48 8.9	77 14.2				
	高齢期（65歳以上）	978 100.0	307 31.4	156 16.0	87 8.9	74 7.6	136 13.9	43 4.4	38 3.9	116 11.9	298 30.5				
	無回答	14 100.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0	1 7.1	2 14.3	1 7.1	1 7.1	0 0.0	9 64.3				

問 31 現在、またはこれから障がいのある人がより良い教育を受けるためには、どのような環境条件や整備等が必要だとお考えですか。(〇は3つまで)

### 経年比較

○全体では「能力や障がいの状況に合った指導体制を充実させる」が44.6%と最も高く、次いで「就学・進路相談などの相談体制を充実させる」が27.9%となっている。

○前回までと比較すると、「医療的なケア（吸引・導尿等）が適切に受けられるようにする」が4.3ポイント、「就学・進路相談などの相談体制を充実させる」が2.8ポイント、「能力や障がいの状況に合った指導体制を充実させる」が1.2ポイント減少している。



障害別

○障害別にみると、すべての障害において「能力や障がいの状況に合った指導体制を充実させる」が4割以上と最も高くなっている。

○発達障害では、「就学・進路相談などの相談体制を充実させる」が59.8%と、他の障害と比べ高くなっている。

○難病では、「バリアフリーの施設や設備の整備、教材の開発を進めて充実させる」が34.6%と、他の障害と比べ高くなっている。

上段：度数 下段：%		全体	能力や障がいの状況に合った指導体制を充実させる	就学・進路相談などの相談体制を充実させる	設備の整備、教材の開発を進めて充実させる	バリアフリーの施設や設備の整備	障害の理解につなげる	通常の学級などとの交流を増やし、	（医療的なケア（吸引・導尿等）が適切に受けられるようにする	通常の学級とともに教育が受けられる体制にする	その他	無回答
全体		100.0	44.6	27.9	24.8	18.4	17.6	11.7	6.6	24.5		
障害別	身体障害	989	404	214	264	166	200	115	61	276		
		100.0	40.8	21.6	26.7	16.8	20.2	11.6	6.2	27.9		
	知的障害	201	121	78	32	52	32	32	17	27		
		100.0	60.2	38.8	15.9	25.9	15.9	15.9	8.5	13.4		
	発達障害	122	85	73	19	29	9	22	9	13		
		100.0	69.7	59.8	15.6	23.8	7.4	18.0	7.4	10.7		
	精神障害	397	195	153	81	74	59	36	25	84		
	100.0	49.1	38.5	20.4	18.6	14.9	9.1	6.3	21.2			
高次脳機能障害	35	18	8	6	8	7	4	1	8			
	100.0	51.4	22.9	17.1	22.9	20.0	11.4	2.9	22.9			
難病（特定疾患）	318	140	86	110	59	72	37	19	59			
	100.0	44.0	27.0	34.6	18.6	22.6	11.6	6.0	18.6			
無回答	86	23	13	13	11	11	5	9	40			
	100.0	26.7	15.1	15.1	12.8	12.8	5.8	10.5	46.5			



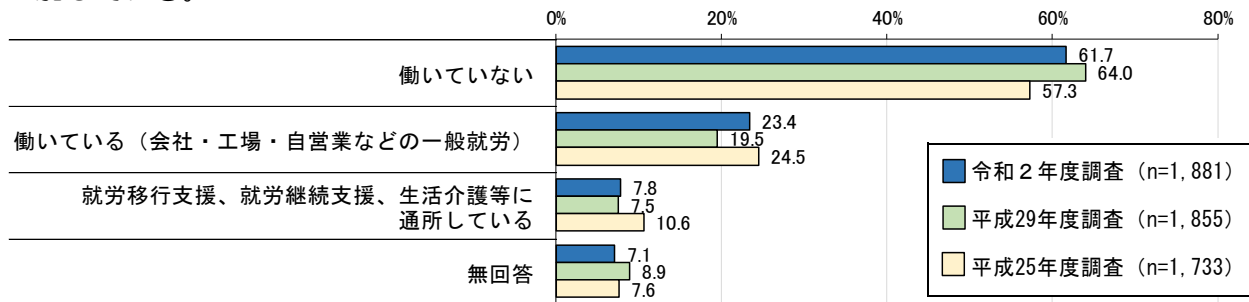
就労状況

問 32-1 あなたは現在、働いていますか。(○は1つ)

経年比較

○全体では「働いていない」が61.7%と最も高く、次いで「働いている（会社・工場・自営業などの一般就労）」が23.4%となっている。

○前回と比較すると、「働いている（会社・工場・自営業などの一般就労）」では3.9ポイント増加している。



障害別

○障害別にみると、「働いていない」では、身体障害が70.6%と最も高く、次いで難病が60.1%となっている。

○「働いている」では、難病が34.0%と最も高く、次いで精神障害が28.0%となっている。

○「就労移行支援、就労継続支援、生活介護等に通所している」では、知的障害が37.8%と最も高く、次いで高次脳機能障害が25.7%となっている。

上段：度数 下段：%		全体	働いていない	働いている （会社・工場・自営業 などの一般就労）	通所して いる （就労移行支援、 生活介護等に 就労継続 支援）	無回答
全体		1,881 100.0	1,161 61.7	441 23.4	146 7.8	133 7.1
障害別	身体障害	989 100.0	698 70.6	177 17.9	34 3.4	80 8.1
	知的障害	201 100.0	74 36.8	39 19.4	76 37.8	12 6.0
	発達障害	122 100.0	59 48.4	33 27.0	25 20.5	5 4.1
	精神障害	397 100.0	223 56.2	111 28.0	45 11.3	18 4.5
	高次脳機能障害	35 100.0	19 54.3	4 11.4	9 25.7	3 8.6
	難病（特定疾患）	318 100.0	191 60.1	108 34.0	7 2.2	12 3.8
	無回答	86 100.0	54 62.8	18 20.9	0 0.0	14 16.3

ライフステージ別

- ライフステージ別にみると、「働いている」では、青年期で44.9%と最も高く、次いで壮年期の43.8%となっている。
- 「就労移行支援、就労継続支援、生活介護等に通所している」は青年期が最も高く、26.3%となっている。
- 高齢期では「働いていない」が80.7%と高くなっている。

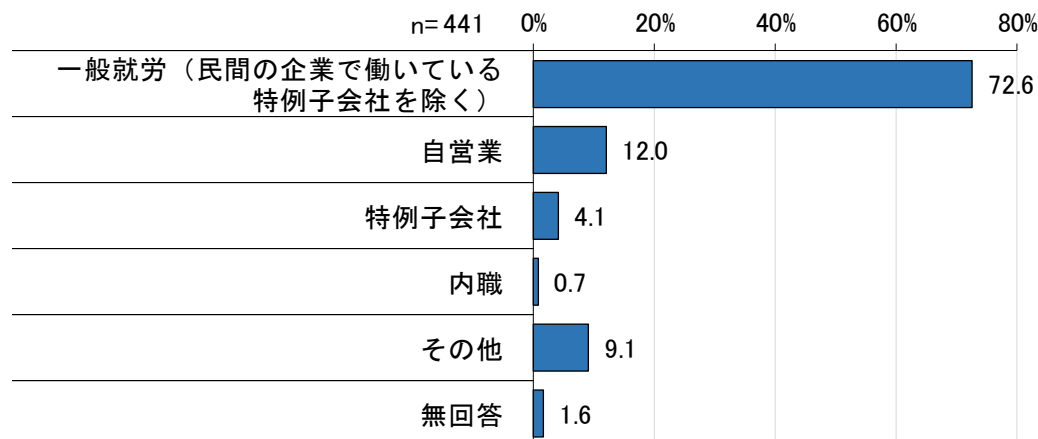
上段：度数 下段：%		全体	働いていない	働いている （会社・工場・自営業 などの一般就労）	通所している 就労移行支援、生活介護等に	無回答
全体		1,881 100.0	1,161 61.7	441 23.4	146 7.8	133 7.1
ライフステージ別	乳幼児期（6歳未満）	16 100.0	16 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	児童期（6歳～12歳）	52 100.0	48 92.3	1 1.9	0 0.0	3 5.8
	思春期（13歳～19歳）	44 100.0	39 88.6	1 2.3	4 9.1	0 0.0
	青年期（20歳～39歳）	236 100.0	54 22.9	106 44.9	62 26.3	14 5.9
	壮年期（40歳～64歳）	541 100.0	209 38.6	237 43.8	70 12.9	25 4.6
	高齢期（65歳以上）	978 100.0	789 80.7	95 9.7	10 1.0	84 8.6
	無回答	14 100.0	6 42.9	1 7.1	0 0.0	7 50.0

## 《問 32-1 で 1 とお答えの方におたずねします》

問 32-2 雇用形態は次のうちどれですか。(○は1つ)

## 全体

○全体では「一般就労（民間の企業で働いている特例子会社を除く）」が72.6%で最も高く、次いで「自営業」が12.0%となっている。



## 障害別

○障害別にみると、すべての障害において「一般就労」が5割以上を占め、最も高くなっている。  
○知的障害では、「特例子会社」が23.1%と他の障害と比べて高くなっている。

障害別	上段：度数 下段：%	全体	特（一 例子民 会社間 をの 除く ） の 企 業 で 働 い て い る	自 営 業	特 例 子 会 社	内 職	そ の 他	無 回 答
		全体	441 100.0	320 72.6	53 12.0	18 4.1	3 0.7	40 9.1
身体障害	177 100.0	117 66.1	33 18.6	3 1.7	1 0.6	21 11.9	2 1.1	
知的障害	39 100.0	28 71.8	0 0.0	9 23.1	0 0.0	1 2.6	1 2.6	
発達障害	33 100.0	23 69.7	0 0.0	6 18.2	0 0.0	3 9.1	1 3.0	
精神障害	111 100.0	83 74.8	9 8.1	5 4.5	1 0.9	10 9.0	3 2.7	
高次脳機能障害	4 100.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	
難病（特定疾患）	108 100.0	86 79.6	13 12.0	0 0.0	1 0.9	8 7.4	0 0.0	
無回答	18 100.0	13 72.2	2 11.1	2 11.1	0 0.0	0 0.0	1 5.6	

ライフステージ別

○ライフステージ別にみると、すべてのライフステージにおいては「一般就労」が最も高いが、高齢期になるとその割合は大きく下がっている。

○高齢期においては「自営業」が29.5%となっており、他のライフステージと比べて高くなっている。

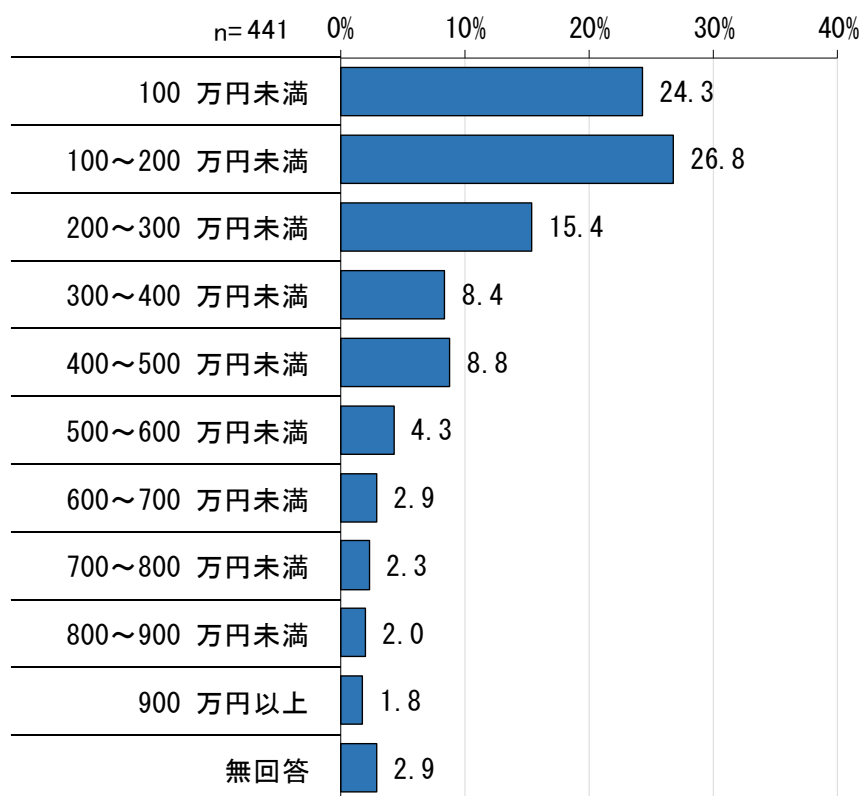
上段：度数 下段：%		全体	特 例 子 会 社 （一 般 就 労 の 企 業 を 除 く）	自 営 業	特 例 子 会 社	内 職	そ の 他	無 回 答
		全体	441 100.0	320 72.6	53 12.0	18 4.1	3 0.7	40 9.1
ライフ ス テ ー ジ 別	乳幼児期（6歳未満）	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	児童期（6歳～12歳）	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	思春期（13歳～19歳）	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	青年期（20歳～39歳）	106 100.0	82 77.4	4 3.8	12 11.3	0 0.0	7 6.6	1 0.9
	壮年期（40歳～64歳）	237 100.0	191 80.6	20 8.4	6 2.5	1 0.4	16 6.8	3 1.3
	高齢期（65歳以上）	95 100.0	45 47.4	28 29.5	0 0.0	2 2.1	17 17.9	3 3.2
	無回答	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

## 《問 32-1 で 1 とお答えの方におたずねします》

問 32-3 年間の働いたことによる収入はどれくらいですか。(〇は1つ)

全体

○全体では「100～200万円未満」が26.8%と最も高く、次いで「100万円未満」が24.3%、「200～300万円未満」が15.4%となっており、300万円未満の割合が、6割以上を占めている。



障害別

○障害別にみると、身体障害、高次脳機能障害、難病では「100万円未満」が最も高く、知的障害、発達障害、精神障害では「100～200万円未満」が最も高くなっている。

	全体	100万円未満							
		100万円未満	100万円未満	200万円未満	300万円未満	400万円未満	500万円未満	600万円未満	
上段：度数 下段：%									
全体	441 100.0	107 24.3	118 26.8	68 15.4	37 8.4	39 8.8	19 4.3	13 2.9	
障害別	身体障害	177 100.0	40 22.6	35 19.8	28 15.8	22 12.4	14 7.9	9 5.1	11 6.2
	知的障害	39 100.0	9 23.1	23 59.0	4 10.3	0 0.0	1 2.6	0 0.0	0 0.0
	発達障害	33 100.0	4 12.1	20 60.6	6 18.2	2 6.1	1 3.0	0 0.0	0 0.0
	精神障害	111 100.0	32 28.8	38 34.2	16 14.4	6 5.4	11 9.9	3 2.7	0 0.0
	高次脳機能障害	4 100.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	難病（特定疾患）	108 100.0	28 25.9	17 15.7	19 17.6	8 7.4	12 11.1	8 7.4	2 1.9
	無回答	18 100.0	5 27.8	3 16.7	2 11.1	1 5.6	2 11.1	1 5.6	0 0.0

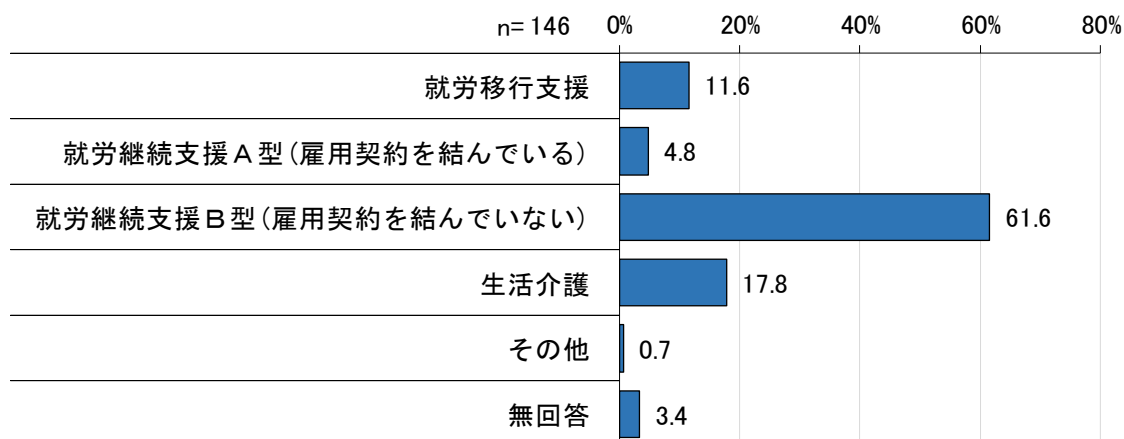
	700万円未満	800万円未満	900万円以上	無回答	
					上段：度数 下段：%
全体	10 2.3	9 2.0	8 1.8	13 2.9	
障害別	身体障害	7 4.0	4 2.3	6 3.4	1 0.6
	知的障害	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 5.1
	発達障害	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	精神障害	1 0.9	3 2.7	0 0.0	1 0.9
	高次脳機能障害	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	難病（特定疾患）	5 4.6	2 1.9	1 0.9	6 5.6
	無回答	0 0.0	0 0.0	1 5.6	3 16.7

## 《問 32-1 で 2 とお答えの方におたずねします》

問 32-4 あなたの受けている支援は何ですか。(○は1つ)

## 全体

○全体では「就労継続支援B型（雇用契約を結んでいない）」が61.6%と最も高く、次いで「生活介護」が17.8%となっている。



## 障害別

○障害別にみると、すべての障害で「就労継続支援B型」が最も高く、精神障害では77.8%、高次脳機能障害では66.7%となっている。

○「生活介護」では、知的障害の32.9%が最も高く、次いで、身体障害が29.4%、難病が28.6%となっている。

		全体	就労移行支援	就労継続支援A型(雇用契約を結んでいる)	就労継続支援B型(雇用契約を結んでいない)	生活介護	その他	無回答
全体		146 100.0	17 11.6	7 4.8	90 61.6	26 17.8	1 0.7	5 3.4
障害別	身体障害	34 100.0	6 17.6	3 8.8	14 41.2	10 29.4	1 2.9	0 0.0
	知的障害	76 100.0	2 2.6	1 1.3	44 57.9	25 32.9	1 1.3	3 3.9
	発達障害	25 100.0	7 28.0	2 8.0	11 44.0	5 20.0	0 0.0	0 0.0
	精神障害	45 100.0	6 13.3	3 6.7	35 77.8	0 0.0	0 0.0	1 2.2
	高次脳機能障害	9 100.0	2 22.2	0 0.0	6 66.7	0 0.0	1 11.1	0 0.0
	難病(特定疾患)	7 100.0	0 0.0	2 28.6	2 28.6	2 28.6	0 0.0	1 14.3
	無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

ライフステージ別

○ライフステージ別にみると、どのライフステージにおいても「就労継続支援B型」が最も高くなっている。

		全体	就労移行支援	就労継続支援A型 (雇用契約を結んでいる)	就労継続支援B型 (雇用契約を結んでいない)	生活介護	その他	無回答
上段：度数 下段：%								
全体		146 100.0	17 11.6	7 4.8	90 61.6	26 17.8	1 0.7	5 3.4
ライフステージ別	乳幼児期（6歳未満）	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	児童期（6歳～12歳）	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	思春期（13歳～19歳）	4 100.0	1 25.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0
	青年期（20歳～39歳）	62 100.0	7 11.3	3 4.8	32 51.6	15 24.2	1 1.6	4 6.5
	壮年期（40歳～64歳）	70 100.0	9 12.9	3 4.3	50 71.4	8 11.4	0 0.0	0 0.0
	高齢期（65歳以上）	10 100.0	0 0.0	1 10.0	6 60.0	2 20.0	0 0.0	1 10.0
	無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

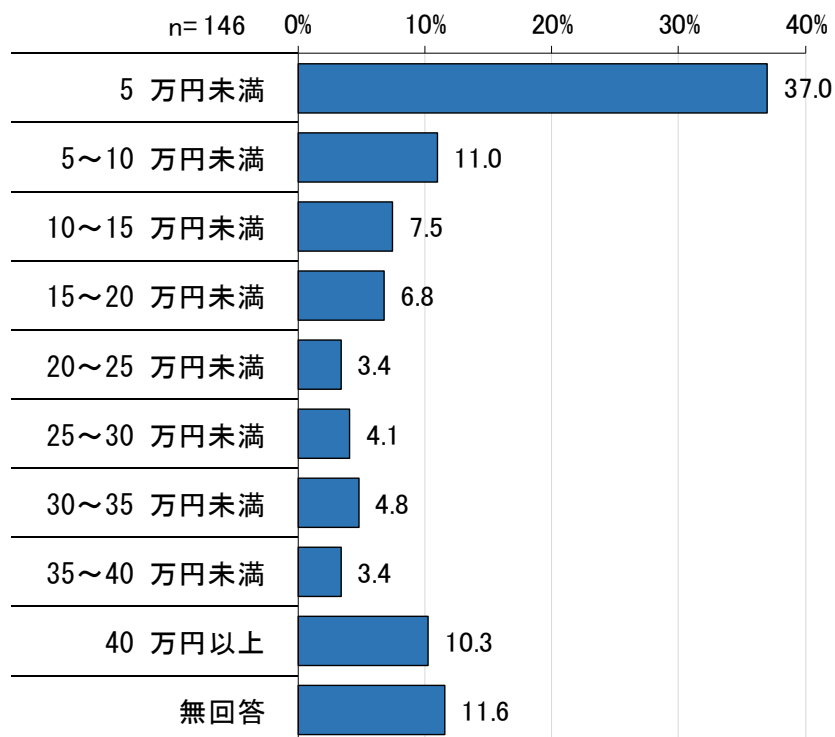


## 《問 32-1 で 2 とお答えの方におたずねします》

問 32-5 年間の働いたことによる収入はどれくらいですか。(○は1つ)

全体

○全体では「5万円未満」が37.0%と最も高く、次いで「5～10万円未満」が11.0%となっており、全体の約5割が10万円未満となっている。



障害別

○障害別にみると、難病を除くすべての障害で「5万円未満」が最も高くなっており、難病では「15～20万円未満」が28.6%となっている。

		全体	5万円未満	5 ～ 10万円未満	10 ～ 15万円未満	15 ～ 20万円未満	20 ～ 25万円未満	25 ～ 30万円未満	30 ～ 35万円未満	35 ～ 40万円未満	40万円以上	無回答
		上段：度数										
		下段：%										
全体		146	54	16	11	10	5	6	7	5	15	17
		100.0	37.0	11.0	7.5	6.8	3.4	4.1	4.8	3.4	10.3	11.6
障害別	身体障害	34	18	2	1	2	1	2	0	2	5	1
		100.0	52.9	5.9	2.9	5.9	2.9	5.9	0.0	5.9	14.7	2.9
	知的障害	76	27	10	7	7	3	3	2	3	7	7
		100.0	35.5	13.2	9.2	9.2	3.9	3.9	2.6	3.9	9.2	9.2
	発達障害	25	13	1	0	3	2	0	1	0	3	2
		100.0	52.0	4.0	0.0	12.0	8.0	0.0	4.0	0.0	12.0	8.0
	精神障害	45	20	4	3	2	3	0	5	0	3	5
		100.0	44.4	8.9	6.7	4.4	6.7	0.0	11.1	0.0	6.7	11.1
高次脳機能障害	9	7	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
	100.0	77.8	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	
難病（特定疾患）	7	0	0	0	2	0	0	0	1	1	3	
	100.0	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	42.9	
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

ライフステージ別

○ライフステージ別にみると、すべてのライフステージで「5万円未満」が最も高くなっている。

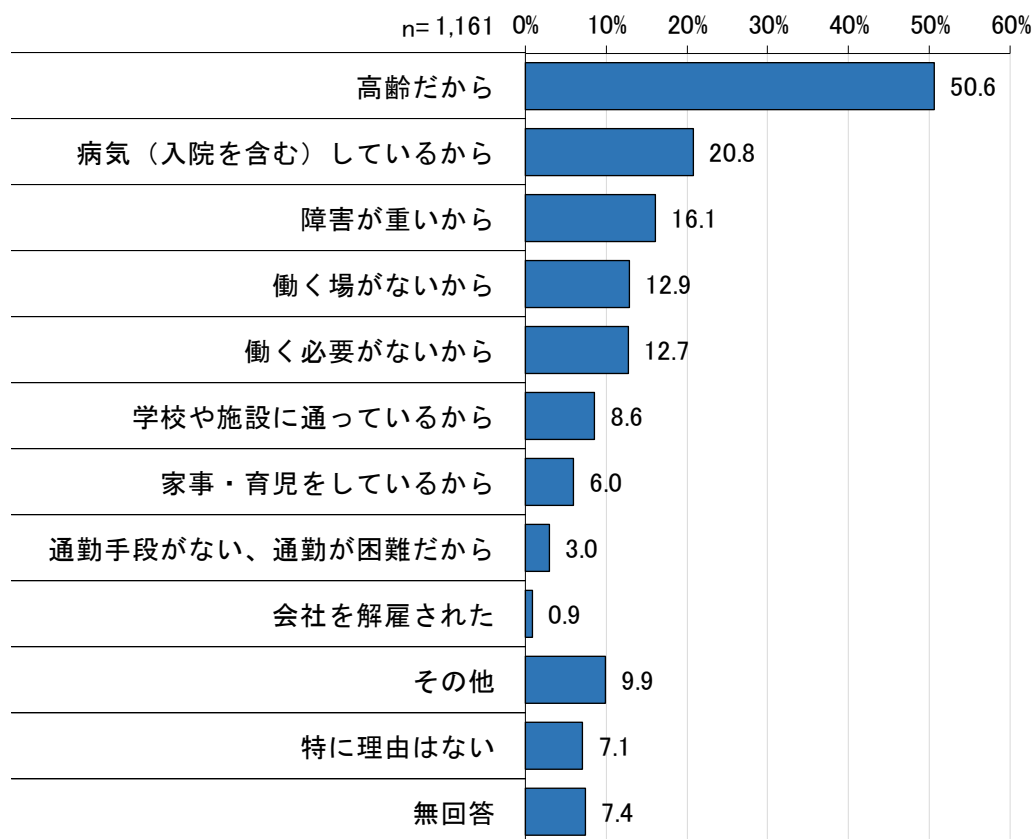
		全体	5万円未満	5 ～ 10万円未満	10 ～ 15万円未満	15 ～ 20万円未満	20 ～ 25万円未満	25 ～ 30万円未満	30 ～ 35万円未満	35 ～ 40万円未満	40万円以上	無回答
		上段：度数										
		下段：%										
全体		146	54	16	11	10	5	6	7	5	15	17
		100.0	37.0	11.0	7.5	6.8	3.4	4.1	4.8	3.4	10.3	11.6
ライフステージ別	乳幼児期（6歳未満）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	児童期（6歳～12歳）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	思春期（13歳～19歳）	4	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0
		100.0	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	青年期（20歳～39歳）	62	22	6	4	3	5	2	4	3	6	7
		100.0	35.5	9.7	6.5	4.8	8.1	3.2	6.5	4.8	9.7	11.3
壮年期（40歳～64歳）	70	24	9	7	6	0	4	3	2	7	8	
	100.0	34.3	12.9	10.0	8.6	0.0	5.7	4.3	2.9	10.0	11.4	
高齢期（65歳以上）	10	5	1	0	0	0	0	0	0	2	2	
	100.0	50.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

## 《問 32-1 で3とお答えの方におたずねします》

問 32-6 働いていない理由は何ですか。(〇は3つまで)

全体

〇全体では「高齢だから」が50.6%と最も高く、次いで「病気（入院を含む）しているから」が20.8%、「障害が重いから」が16.1%となっている。



障害別

○障害別にみると、身体障害、難病では「高齢だから」が最も高く、知的障害、発達障害では「学校や施設に通っているから」、精神障害では「病気しているから」、高次脳機能障害では「障害が重いから」がそれぞれ最も高くなっている。

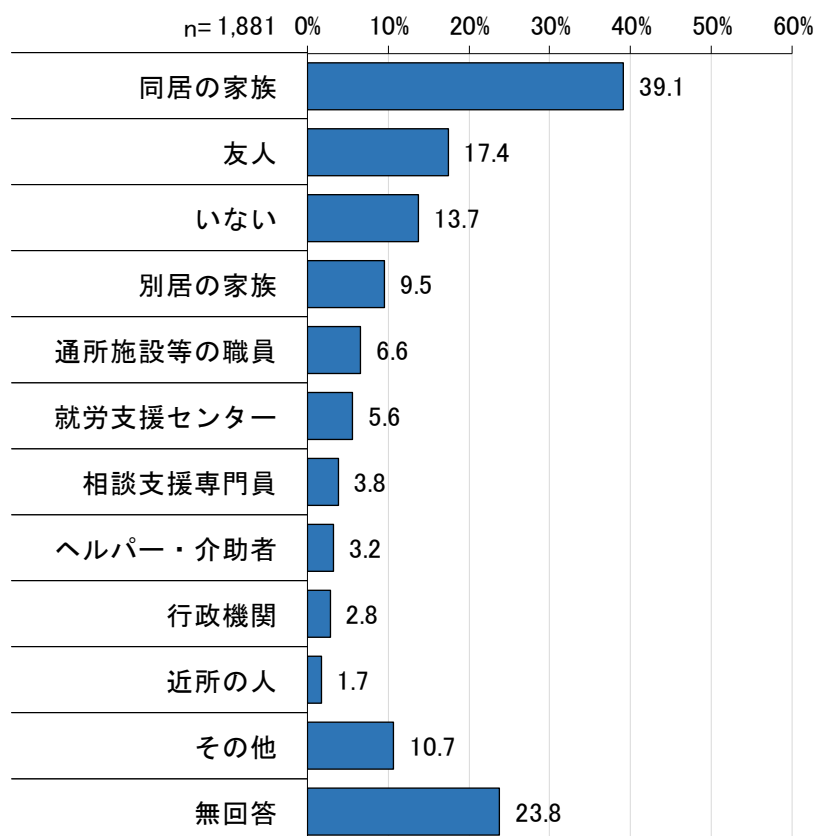
上段：度数 下段：%		全体	高齢だから	病気（入院を含む）しているから	障害が重いから	働く場がないから	働く必要がないから	学校や施設に通っているから	家事・育児をしているから
全体		1,161 100.0	588 50.6	242 20.8	187 16.1	150 12.9	147 12.7	100 8.6	70 6.0
障害別	身体障害	698 100.0	439 62.9	127 18.2	126 18.1	80 11.5	101 14.5	29 4.2	31 4.4
	知的障害	74 100.0	5 6.8	3 4.1	14 18.9	10 13.5	2 2.7	44 59.5	0 0.0
	発達障害	59 100.0	0 0.0	4 6.8	7 11.9	4 6.8	1 1.7	40 67.8	1 1.7
	精神障害	223 100.0	51 22.9	78 35.0	57 25.6	48 21.5	15 6.7	9 4.0	22 9.9
	高次脳機能障害	19 100.0	7 36.8	5 26.3	9 47.4	3 15.8	2 10.5	1 5.3	0 0.0
	難病（特定疾患）	191 100.0	114 59.7	67 35.1	34 17.8	21 11.0	35 18.3	6 3.1	16 8.4
	無回答	54 100.0	27 50.0	6 11.1	2 3.7	7 13.0	7 13.0	5 9.3	5 9.3

上段：度数 下段：%		通勤が手段がでない、	会社を解雇された	その他	特に理由はない	無回答
全体		35 3.0	10 0.9	115 9.9	82 7.1	86 7.4
障害別	身体障害	25 3.6	4 0.6	51 7.3	51 7.3	59 8.5
	知的障害	2 2.7	1 1.4	5 6.8	3 4.1	5 6.8
	発達障害	0 0.0	0 0.0	6 10.2	0 0.0	4 6.8
	精神障害	7 3.1	4 1.8	41 18.4	14 6.3	6 2.7
	高次脳機能障害	1 5.3	1 5.3	2 10.5	0 0.0	0 0.0
	難病（特定疾患）	3 1.6	1 0.5	16 8.4	14 7.3	11 5.8
	無回答	1 1.9	1 1.9	6 11.1	8 14.8	4 7.4

## 問 33 就労に関して、悩み事や困った場合の相談相手はいますか。(〇はいくつでも)

全体

○全体では「同居の家族」が39.1%と最も高く、次いで「友人」が17.4%、「いない」13.7%となっている。



障害別

- 障害別にみると、すべての障害で「同居の家族」が最も高くなっている。
- 「友人」では、精神障害が23.4%と最も高く、次いで難病が18.9%となっている。
- 「通所施設等の職員」では、知的障害が27.9%と最も高くなっている。
- 「いない」では、高次脳機能障害が22.9%と他の障害と比べて高くなっている。

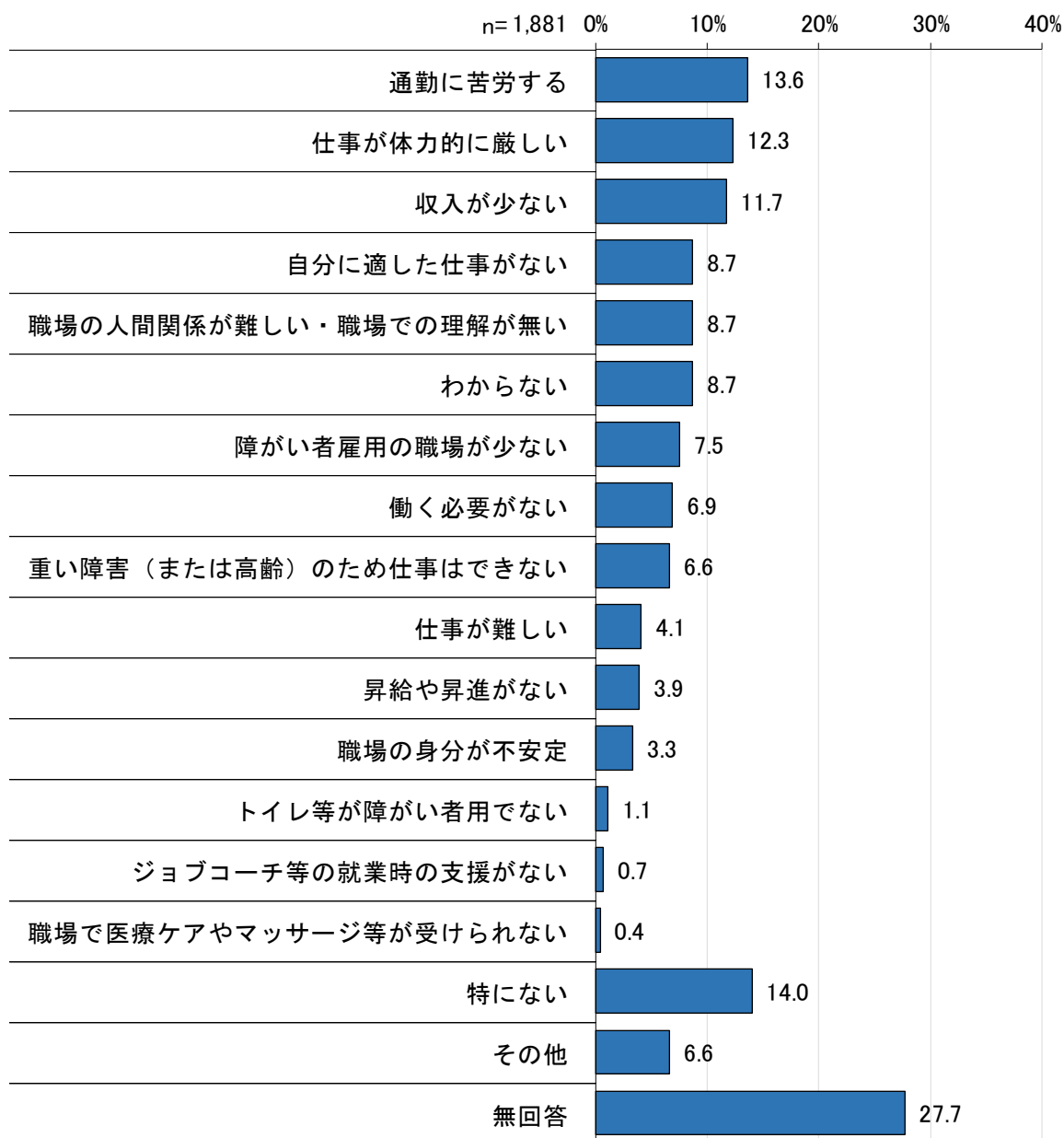
上段：度数 下段：%		全体	同居の家族	友人	いない	別居の家族	通所施設等の職員	就労支援センター	相談支援専門員
全体		1,881 100.0	736 39.1	327 17.4	257 13.7	178 9.5	125 6.6	105 5.6	71 3.8
障害別	身体障害	989 100.0	329 33.3	157 15.9	138 14.0	98 9.9	33 3.3	20 2.0	16 1.6
	知的障害	201 100.0	116 57.7	14 7.0	15 7.5	8 4.0	56 27.9	40 19.9	23 11.4
	発達障害	122 100.0	73 59.8	14 11.5	12 9.8	6 4.9	21 17.2	25 20.5	19 15.6
	精神障害	397 100.0	166 41.8	93 23.4	68 17.1	32 8.1	39 9.8	37 9.3	27 6.8
	高次脳機能障害	35 100.0	13 37.1	4 11.4	8 22.9	2 5.7	5 14.3	4 11.4	2 5.7
	難病（特定疾患）	318 100.0	136 42.8	60 18.9	43 13.5	38 11.9	9 2.8	11 3.5	8 2.5
	無回答	86 100.0	29 33.7	18 20.9	6 7.0	9 10.5	5 5.8	2 2.3	1 1.2

上段：度数 下段：%		ヘルパー・介助者	行政機関	近所の人	その他	無回答
全体		61 3.2	53 2.8	32 1.7	202 10.7	448 23.8
障害別	身体障害	28 2.8	21 2.1	21 2.1	101 10.2	309 31.2
	知的障害	11 5.5	8 4.0	1 0.5	33 16.4	16 8.0
	発達障害	3 2.5	5 4.1	0 0.0	19 15.6	10 8.2
	精神障害	21 5.3	24 6.0	3 0.8	56 14.1	38 9.6
	高次脳機能障害	1 2.9	2 5.7	0 0.0	2 5.7	8 22.9
	難病（特定疾患）	6 1.9	8 2.5	5 1.6	23 7.2	79 24.8
	無回答	5 5.8	1 1.2	5 5.8	9 10.5	30 34.9

問 34 あなたが仕事をしている上で、またはこれから仕事をする上で、  
どのような問題点がありますか。(〇は3つまで)

全体

○全体では「通勤に苦勞する」が13.6%と最も高く、次いで「仕事が体力的に厳しい」が12.3%、「収入が少ない」が11.7%となっている。



障害別【上位15項目】

○障害別にみると、身体障害では「通勤に苦勞する」が11.7%と最も高く、次いで「仕事が体力的に厳しい」「働く必要がない」がともに9.6%となっている。

○精神障害では、「仕事が体力的に厳しい」が21.9%と最も高く、次いで「通勤に苦勞する」が20.7%、「職場の人間関係が難しい・職場での理解が無い」が19.9%となっている。

○「収入が少ない」では、知的障害が24.9%、発達障害が22.1%となり、高次脳機能障害では、「重い障害（または高齢）のため仕事はできない」が28.6%となっており、他の障害と比べて高くなっている。

上段：度数 下段：%		全体	通勤に苦勞する	仕事が体力的に厳しい	収入が少ない	自分に適した仕事がない	職場での人間関係が難しい・	わからない	障がい者雇用の職場が
全体		1,881 100.0	255 13.6	232 12.3	221 11.7	164 8.7	164 8.7	163 8.7	142 7.5
障害別	身体障害	989 100.0	116 11.7	95 9.6	66 6.7	63 6.4	29 2.9	61 6.2	49 5.0
	知的障害	201 100.0	36 17.9	14 7.0	50 24.9	26 12.9	25 12.4	31 15.4	28 13.9
	発達障害	122 100.0	26 21.3	9 7.4	27 22.1	19 15.6	26 21.3	25 20.5	21 17.2
	精神障害	397 100.0	82 20.7	87 21.9	76 19.1	67 16.9	79 19.9	37 9.3	58 14.6
	高次脳機能障害	35 100.0	4 11.4	5 14.3	3 8.6	3 8.6	2 5.7	5 14.3	6 17.1
	難病（特定疾患）	318 100.0	44 13.8	50 15.7	35 11.0	18 5.7	19 6.0	23 7.2	11 3.5
	無回答	86 100.0	5 5.8	8 9.3	5 5.8	3 3.5	4 4.7	12 14.0	2 2.3

上段：度数 下段：%		働く必要がない	の重い障害（または高齢）	仕事が難しい	昇給や昇進がない	職場の身分が不安定	障がい者用でない	支援がない	職場で医療ケアやマツサージ等を受けられない
全体		130 6.9	125 6.6	78 4.1	73 3.9	63 3.3	21 1.1	14 0.7	7 0.4
障害別	身体障害	95 9.6	94 9.5	19 1.9	28 2.8	19 1.9	17 1.7	2 0.2	6 0.6
	知的障害	3 1.5	14 7.0	17 8.5	6 3.0	6 3.0	2 1.0	3 1.5	2 1.0
	発達障害	2 1.6	2 1.6	12 9.8	5 4.1	8 6.6	0 0.0	6 4.9	0 0.0
	精神障害	18 4.5	25 6.3	33 8.3	23 5.8	28 7.1	2 0.5	8 2.0	0 0.0
	高次脳機能障害	1 2.9	10 28.6	1 2.9	0 0.0	2 5.7	0 0.0	1 2.9	0 0.0
	難病（特定疾患）	25 7.9	17 5.3	10 3.1	20 6.3	13 4.1	2 0.6	1 0.3	3 0.9
	無回答	4 4.7	1 1.2	1 1.2	2 2.3	2 2.3	2 1.2	1 1.2	0 0.0

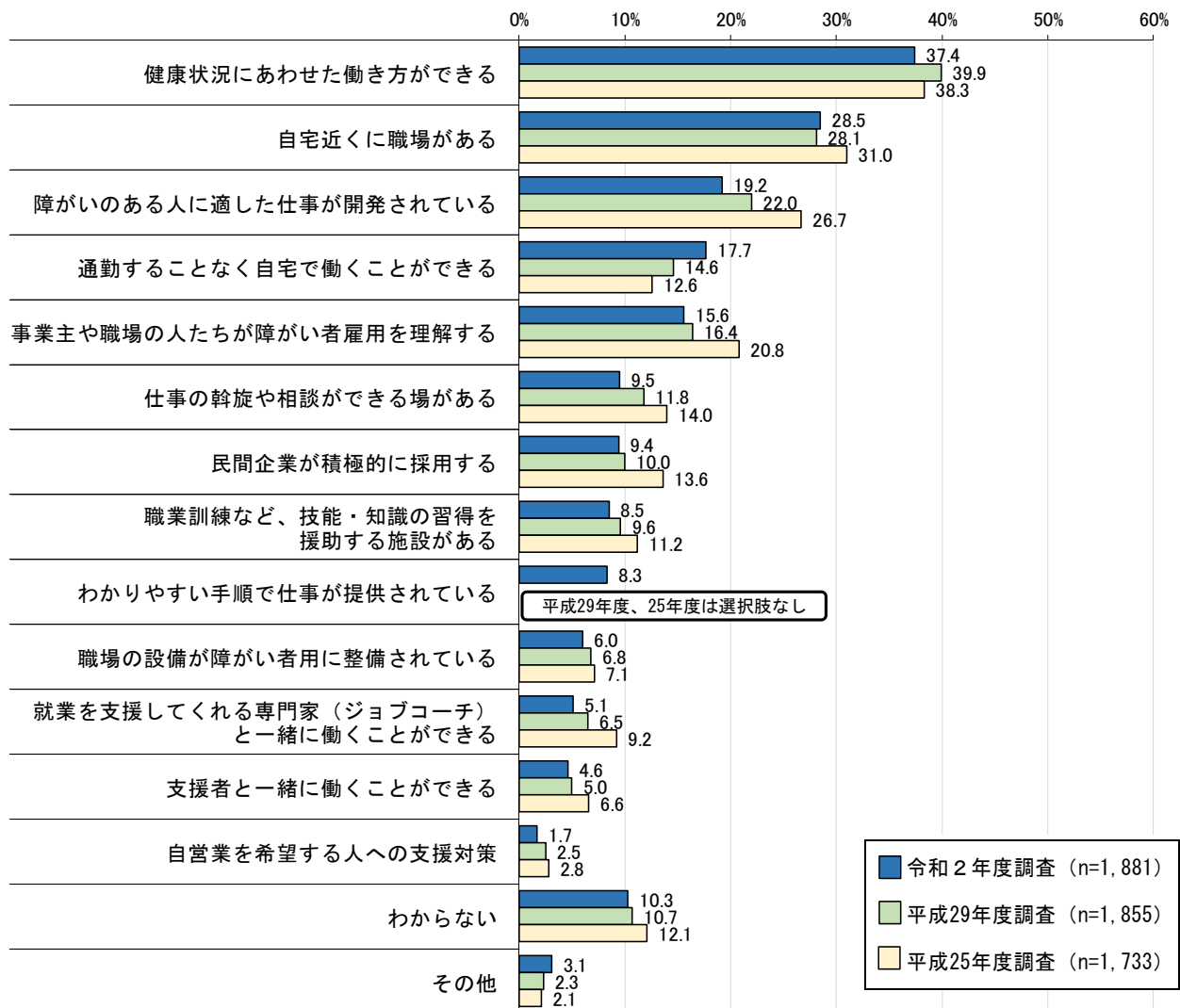


問 35 現在、またはこれから障がいのある人が働くためには、どのような環境条件や整備等が大切だとお考えですか。(〇は3つまで)

### 経年比較

○全体では「健康状況にあわせた働き方ができる」が37.4%と最も高く、次いで「自宅近くに職場がある」が28.5%となっている。

○前回までと比較すると「通勤することなく自宅で働くことができる」が3.1ポイント増加している。



障害別

○障害別にみると、「健康状況にあわせた働き方ができる」では、難病が48.4%と最も高く、次いで、精神障害が46.6%、身体障害が35.0%となっている。

○知的障害では、「自宅近くに職場がある」が39.3%と最も高く、次いで「障がいのある人に適した仕事が開発されている」が34.8%となっている。

上段：度数 下段：%		全体	健康状況にあわせた働き方ができる	自宅近くに職場がある	障がいのある人に適した仕事が開発されている	通勤することがなく自宅で働くことができる	事業者や職場の人たちが理解する	仕事の幹旋や相談ができる場がある	民間企業が積極的に採用する
全体		1,881 100.0	704 37.4	537 28.5	361 19.2	332 17.7	293 15.6	179 9.5	176 9.4
障害別	身体障害	989 100.0	346 35.0	263 26.6	168 17.0	163 16.5	126 12.7	88 8.9	82 8.3
	知的障害	201 100.0	52 25.9	79 39.3	70 34.8	9 4.5	38 18.9	21 10.4	14 7.0
	発達障害	122 100.0	34 27.9	36 29.5	46 37.7	20 16.4	26 21.3	21 17.2	16 13.1
	精神障害	397 100.0	185 46.6	122 30.7	90 22.7	103 25.9	75 18.9	40 10.1	44 11.1
	高次脳機能障害	35 100.0	8 22.9	11 31.4	11 31.4	7 20.0	7 20.0	2 5.7	3 8.6
	難病（特定疾患）	318 100.0	154 48.4	83 26.1	46 14.5	69 21.7	54 17.0	25 7.9	30 9.4
	無回答	86 100.0	23 26.7	14 16.3	9 10.5	10 11.6	9 10.5	5 5.8	7 8.1

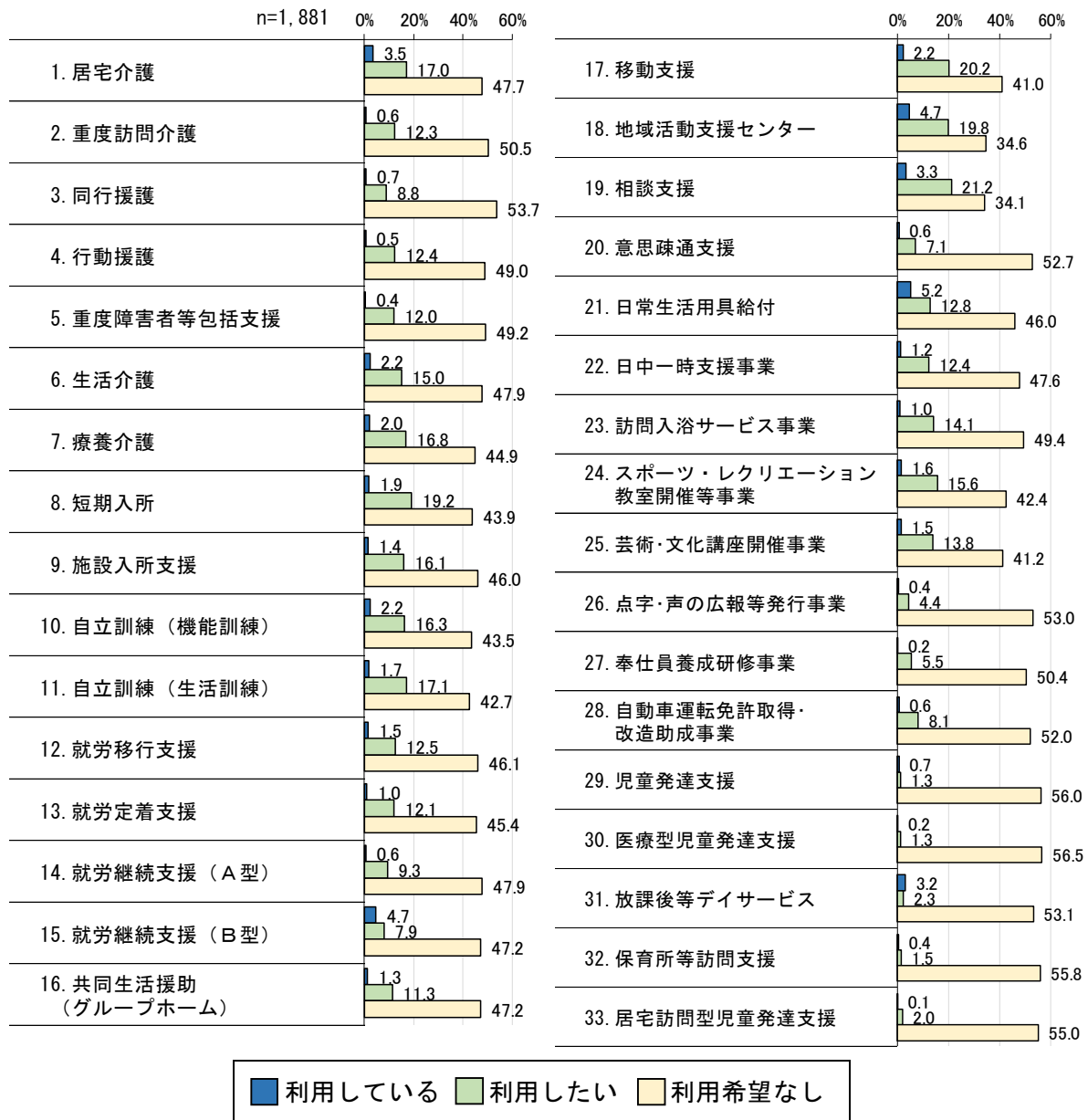
上段：度数 下段：%		施設・知識の習得を援助する	職業訓練など、技能の向上を支援する	仕事がりやすい手順で提供されている	職場の設備が障がい者用に整備されている	就業を支援してくれる（専門家に依頼できる）	支援者と一緒に働くことができる	自営業を希望する人への支援対策	わからない	その他
全体		160 8.5	156 8.3	112 6.0	96 5.1	86 4.6	32 1.7	193 10.3	59 3.1	
障害別	身体障害	73 7.4	51 5.2	66 6.7	35 3.5	37 3.7	18 1.8	109 11.0	28 2.8	
	知的障害	21 10.4	40 19.9	9 4.5	29 14.4	27 13.4	1 0.5	22 10.9	3 1.5	
	発達障害	15 12.3	21 17.2	1 0.8	18 14.8	10 8.2	1 0.8	11 9.0	6 4.9	
	精神障害	36 9.1	41 10.3	18 4.5	25 6.3	13 3.3	11 2.8	40 10.1	15 3.8	
	高次脳機能障害	5 14.3	2 5.7	1 2.9	4 11.4	3 8.6	1 2.9	3 8.6	3 8.6	
	難病（特定疾患）	35 11.0	23 7.2	33 10.4	14 4.4	14 4.4	3 0.9	27 8.5	15 4.7	
	無回答	4 4.7	8 9.3	3 3.5	1 1.2	5 5.8	1 1.2	13 15.1	3 3.5	

福祉サービス

問 36-1 「障害者総合支援法」、「児童福祉法」の福祉サービスについてあなたの利用状況をお答えください。(〇は1～7のうち1つ)

全体

		n=1,881										
		全体	(現在利用している または申請中)	1 現在利用しているが、 利用しない	1 現在利用しているが、 利用しない	1 現在利用しているが、 利用しない	1 現在利用しているが、 利用しない	1 現在利用しているが、 利用しない	1 現在利用しているが、 利用しない	1 現在利用しているが、 利用しない	1 現在利用しているが、 利用しない	無回答
		上段：度数 下段：%										
介護給付費	1. 居宅介護	1,881 100.0	66 3.5	7 0.4	20 1.1	292 15.5	813 43.2	85 4.5	280 14.9	318 16.9		
	2. 重度訪問介護	1,881 100.0	11 0.6	4 0.2	16 0.9	211 11.2	868 46.1	82 4.4	316 16.8	373 19.8		
	3. 同行援護	1,881 100.0	14 0.7	3 0.2	9 0.5	153 8.1	942 50.1	67 3.6	313 16.6	380 20.2		
	4. 行動援護	1,881 100.0	10 0.5	6 0.3	13 0.7	214 11.4	854 45.4	67 3.6	342 18.2	375 19.9		
	5. 重度障害者等包括支援	1,881 100.0	8 0.4	1 0.1	13 0.7	210 11.2	858 45.6	67 3.6	344 18.3	380 20.2		
	6. 生活介護	1,881 100.0	41 2.2	5 0.3	14 0.7	264 14.0	834 44.3	68 3.6	300 15.9	355 18.9		
	7. 療養介護	1,881 100.0	37 2.0	6 0.3	22 1.2	288 15.3	782 41.6	63 3.3	328 17.4	355 18.9		
	8. 短期入所	1,881 100.0	36 1.9	20 1.1	23 1.2	318 16.9	758 40.3	68 3.6	297 15.8	361 19.2		
	9. 施設入所支援	1,881 100.0	27 1.4	5 0.3	16 0.9	281 14.9	783 41.6	82 4.4	331 17.6	356 18.9		
訓練等給付費	10. 自立訓練（機能訓練）	1,881 100.0	41 2.2	23 1.2	26 1.4	258 13.7	735 39.1	82 4.4	344 18.3	372 19.8		
	11. 自立訓練（生活訓練）	1,881 100.0	32 1.7	24 1.3	24 1.3	272 14.5	711 37.8	92 4.9	355 18.9	371 19.7		
	12. 就労移行支援	1,881 100.0	28 1.5	19 1.0	33 1.8	183 9.7	729 38.8	137 7.3	363 19.3	389 20.7		
	13. 就労定着支援	1,881 100.0	19 1.0	20 1.1	36 1.9	172 9.1	736 39.1	118 6.3	389 20.7	391 20.8		
	14. 就労継続支援（A型）	1,881 100.0	11 0.6	19 1.0	17 0.9	139 7.4	747 39.7	154 8.2	379 20.1	415 22.1		
	15. 就労継続支援（B型）	1,881 100.0	89 4.7	15 0.8	18 1.0	115 6.1	738 39.2	150 8.0	350 18.6	406 21.6		
	16. 共同生活援助（グループホーム）	1,881 100.0	24 1.3	13 0.7	19 1.0	180 9.6	721 38.3	167 8.9	359 19.1	398 21.2		
地域生活支援事業	17. 移動支援	1,881 100.0	41 2.2	27 1.4	19 1.0	335 17.8	680 36.2	91 4.8	306 16.3	382 20.3		
	18. 地域活動支援センター	1,881 100.0	89 4.7	27 1.4	20 1.1	326 17.3	553 29.4	98 5.2	380 20.2	388 20.6		
	19. 相談支援	1,881 100.0	63 3.3	29 1.5	24 1.3	346 18.4	565 30.0	78 4.1	387 20.6	389 20.7		
	20. 意思疎通支援	1,881 100.0	11 0.6	8 0.4	10 0.5	117 6.2	908 48.3	82 4.4	356 18.9	389 20.7		
	21. 日常生活用具給付	1,881 100.0	98 5.2	9 0.5	20 1.1	210 11.2	805 42.8	60 3.2	311 16.5	368 19.6		
	22. 日中一時支援事業	1,881 100.0	23 1.2	17 0.9	19 1.0	197 10.5	803 42.7	92 4.9	349 18.6	381 20.3		
	23. 訪問入浴サービス事業	1,881 100.0	19 1.0	10 0.5	15 0.8	240 12.8	844 44.9	85 4.5	299 15.9	369 19.6		
	24. スポーツ・レクリエーション教室 開催等事業	1,881 100.0	31 1.6	28 1.5	17 0.9	248 13.2	623 33.1	175 9.3	383 20.4	376 20.0		
	25. 芸術・文化講座開催事業	1,881 100.0	29 1.5	24 1.3	18 1.0	216 11.5	560 29.8	214 11.4	431 22.9	389 20.7		
	26. 点字・声の広報等発行事業	1,881 100.0	7 0.4	4 0.2	8 0.4	71 3.8	878 46.7	119 6.3	395 21.0	399 21.2		
	27. 奉仕員養成研修事業	1,881 100.0	3 0.2	5 0.3	10 0.5	88 4.7	814 43.3	133 7.1	422 22.4	406 21.6		
	28. 自動車運転免許取得・改造助成事業	1,881 100.0	11 0.6	12 0.6	16 0.9	124 6.6	841 44.7	138 7.3	340 18.1	399 21.2		
障害児通所支援	29. 児童発達支援	1,881 100.0	13 0.7	2 0.1	4 0.2	18 1.0	986 52.4	68 3.6	329 17.5	461 24.5		
	30. 医療型児童発達支援	1,881 100.0	3 0.2	3 0.2	3 0.2	17 0.9	994 52.8	69 3.7	328 17.4	464 24.7		
	31. 放課後等デイサービス	1,881 100.0	60 3.2	9 0.5	7 0.4	27 1.4	929 49.4	70 3.7	317 16.9	462 24.6		
	32. 保育所等訪問支援	1,881 100.0	7 0.4	3 0.2	3 0.2	20 1.1	981 52.2	68 3.6	333 17.7	466 24.8		
	33. 居宅訪問型児童発達支援	1,881 100.0	1 0.1	7 0.4	7 0.4	22 1.2	965 51.3	70 3.7	341 18.1	468 24.9		



- 『現在利用している』では、日常生活用具給付が5.2%と最も高く、次いで、就労継続支援（B型）と地域活動支援センターがともに4.7%、居宅介護が3.5%となっている。
- 「現在利用していないが、1年以内に利用したい」「現在利用していないが、1年後から5年以内に利用したい」「当面は、利用しないが、いずれは利用したい」を合わせた『利用したい』では、相談支援が21.2%と最も高くなっている。
- 「利用する必要がない」「利用したいと思わない」を合わせた『利用希望なし』では、医療型児童発達支援が56.5%と最も高くなっている。

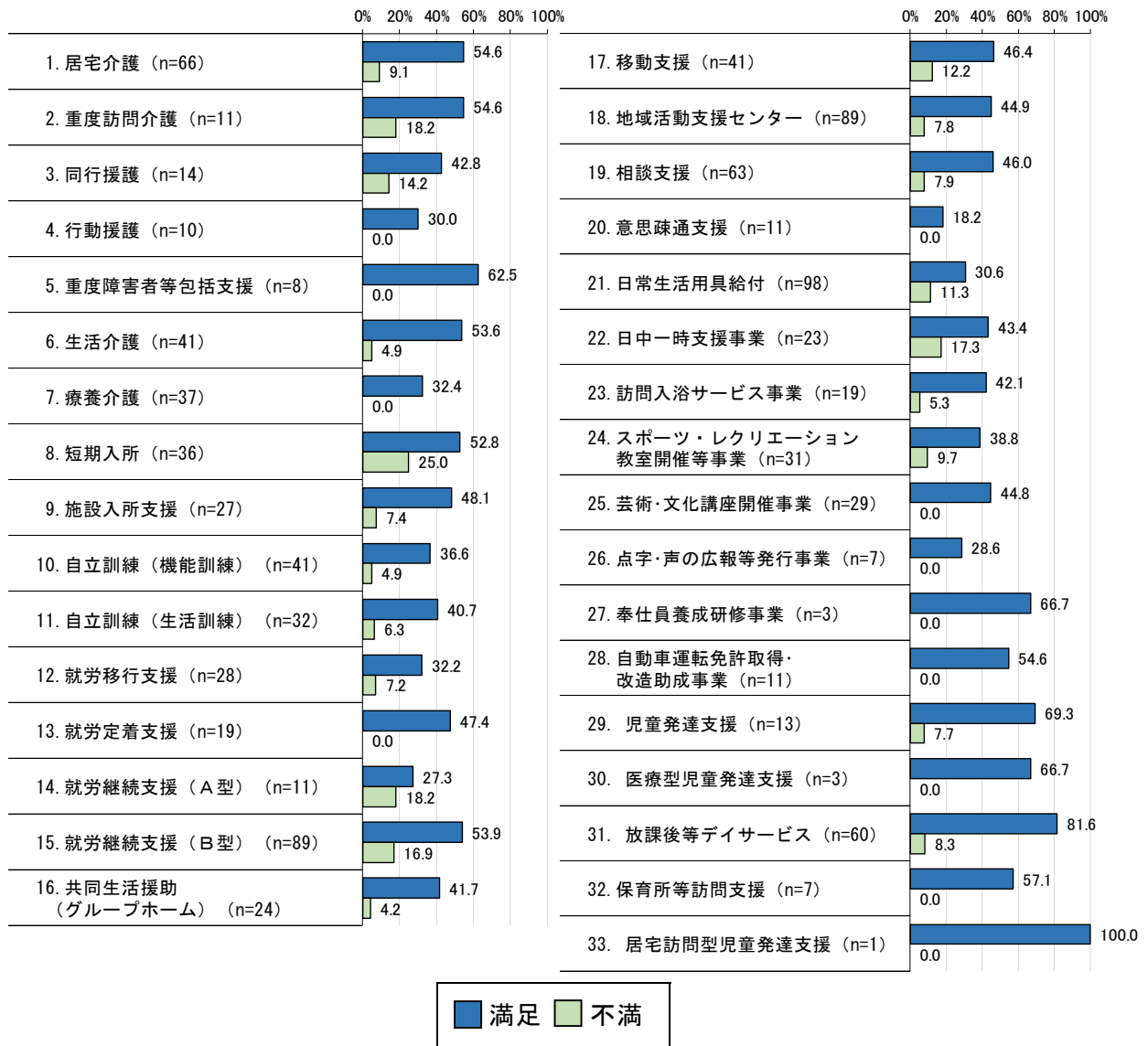
## 《問 36-1 で 1 「現在利用している」とお答えの方におたずねします》

問 36-2 「障害者総合支援法」、「児童福祉法」の福祉サービスについて、あなたの満足度をお答えください。(〇は1～5のうち1つ)

全体

		全体	満足している	やや満足している	多少不満である	不満である	わからない	無回答
上段：度数 下段：%								
介護給付費	1. 居宅介護 (n=66)	66 100.0	18 27.3	18 27.3	5 7.6	1 1.5	5 7.6	19 28.8
	2. 重度訪問介護 (n=11)	11 100.0	2 18.2	4 36.4	2 18.2	0 0.0	0 0.0	3 27.3
	3. 同行援護 (n=14)	14 100.0	3 21.4	3 21.4	1 7.1	1 7.1	0 0.0	6 42.9
	4. 行動援護 (n=10)	10 100.0	1 10.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	6 60.0
	5. 重度障害者等包括支援 (n=8)	8 100.0	2 25.0	3 37.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 37.5
	6. 生活介護 (n=41)	41 100.0	8 19.5	14 34.1	2 4.9	1 0.0	3 7.3	14 34.1
	7. 療養介護 (n=37)	37 100.0	4 10.8	8 21.6	0 0.0	0 0.0	9 24.3	16 43.2
	8. 短期入所 (n=36)	36 100.0	6 16.7	13 36.1	7 19.4	2 5.6	1 0.0	8 22.2
	9. 施設入所支援 (n=27)	27 100.0	10 37.0	3 11.1	1 3.7	1 3.7	3 11.1	9 33.3
訓練等給付費	10. 自立訓練（機能訓練） (n=41)	41 100.0	7 17.1	8 19.5	2 4.9	0 0.0	7 17.1	17 41.5
	11. 自立訓練（生活訓練） (n=32)	32 100.0	7 21.9	6 18.8	2 6.3	0 0.0	5 15.6	12 37.5
	12. 就労移行支援 (n=28)	28 100.0	5 17.9	4 14.3	1 3.6	1 3.6	4 14.3	13 46.4
	13. 就労定着支援 (n=19)	19 100.0	4 21.1	5 26.3	0 0.0	0 0.0	4 21.1	6 31.6
	14. 就労継続支援（A型） (n=11)	11 100.0	3 27.3	0 0.0	2 18.2	0 0.0	0 0.0	6 54.5
	15. 就労継続支援（B型） (n=89)	89 100.0	30 33.7	18 20.2	8 9.0	7 7.9	2 2.2	24 27.0
地域生活支援事業	16. 共同生活援助（グループホーム） (n=24)	24 100.0	4 16.7	6 25.0	1 4.2	0 0.0	3 12.5	10 41.7
	17. 移動支援 (n=41)	41 100.0	10 24.4	9 22.0	4 9.8	1 2.4	2 4.9	15 36.6
	18. 地域活動支援センター (n=89)	89 100.0	22 24.7	18 20.2	6 6.7	1 1.1	12 13.5	30 33.7
	19. 相談支援 (n=63)	63 100.0	16 25.4	13 20.6	4 6.3	1 1.6	6 9.5	23 36.5
	20. 意思疎通支援 (n=11)	11 100.0	1 9.1	1 9.1	0 0.0	0 0.0	4 36.4	5 45.5
	21. 日常生活用具給付 (n=98)	98 100.0	17 17.3	13 13.3	8 8.2	3 3.1	11 11.2	46 46.9
	22. 日中一時支援事業 (n=23)	23 100.0	3 13.0	7 30.4	1 4.3	3 13.0	0 0.0	9 39.1
	23. 訪問入浴サービス事業 (n=19)	19 100.0	5 26.3	3 15.8	1 5.3	0 0.0	1 5.3	9 47.4
	24. スポーツ・レクリエーション教室 開催等事業 (n=31)	31 100.0	6 19.4	6 19.4	1 3.2	2 6.5	3 9.7	13 41.9
	25. 芸術・文化講座開催事業 (n=29)	29 100.0	4 13.8	9 31.0	0 0.0	0 0.0	4 13.8	12 41.4
障害児通所支援	26. 点字・声の広報等発行事業 (n=7)	7 100.0	2 28.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	4 57.1
	27. 奉仕員養成研修事業 (n=3)	3 100.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3
	28. 自動車運転免許取得・改造助成事業 (n=11)	11 100.0	5 45.5	1 9.1	0 0.0	0 0.0	2 18.2	3 27.3
	29. 児童発達支援 (n=13)	13 100.0	5 38.5	4 30.8	1 7.7	0 0.0	1 7.7	2 15.4
	30. 医療型児童発達支援 (n=3)	3 100.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0
	31. 放課後等デイサービス (n=60)	60 100.0	29 48.3	20 33.3	3 5.0	2 3.3	1 1.7	5 8.3
	32. 保育所等訪問支援 (n=7)	7 100.0	0 0.0	4 57.1	0 0.0	0 0.0	1 14.3	2 28.6
	33. 居宅訪問型児童発達支援 (n=1)	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

第2章 調査結果の概要と分析

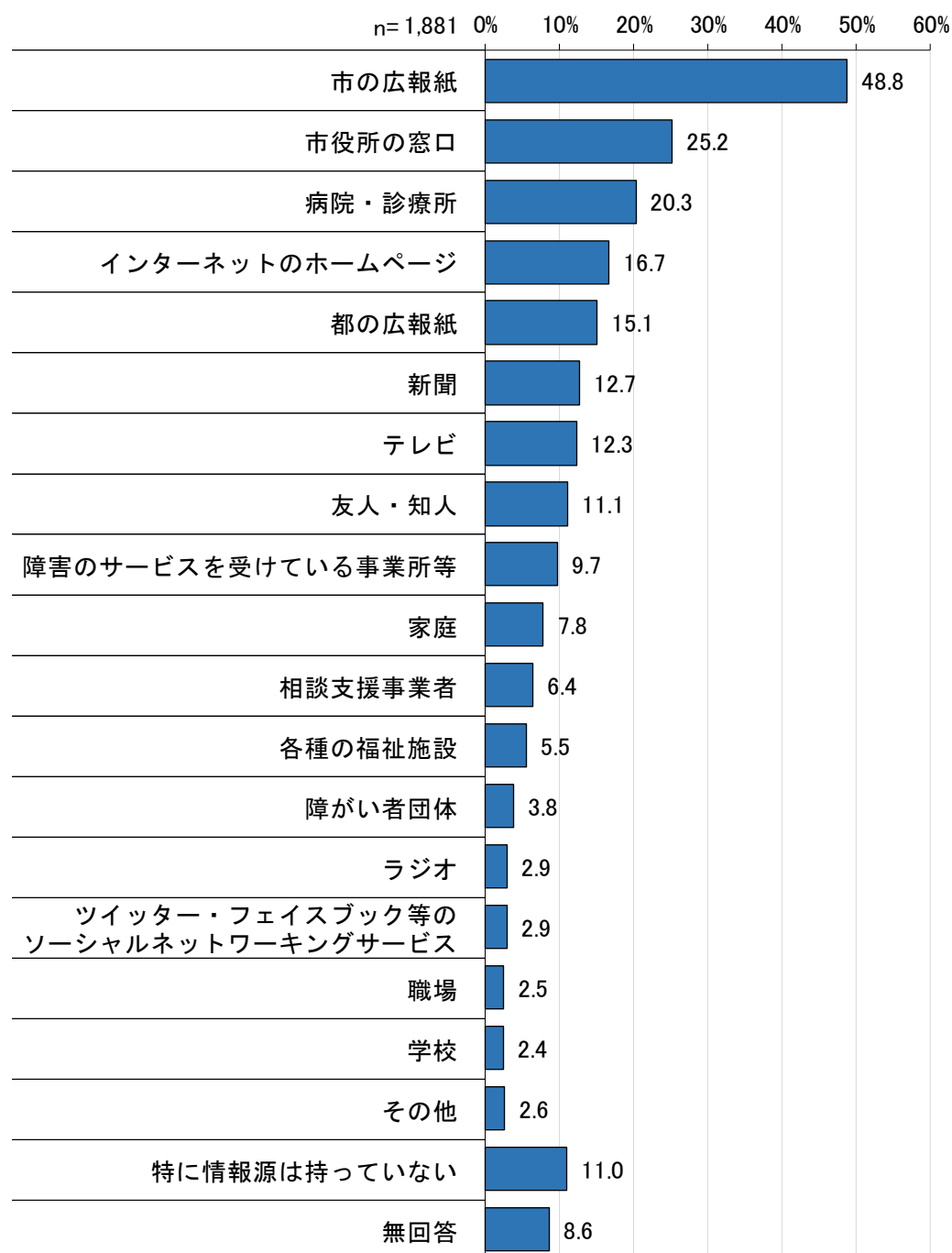


## 福祉情報・相談の状況

問38 あなたは、福祉の情報を何（どこまたは誰）から得ていますか。  
（〇はいくつでも）

全体

○全体では「市の広報紙」が48.8%と最も高く、次いで「市役所の窓口」が25.2%、「病院・診療所」が20.3%となっている。



**障害別【上位15項目】**

○障害別にみると、身体障害では「市の広報紙」が55.4%と最も高く、次いで「市役所の窓口」が26.6%となっている。

○「インターネットのホームページ」では、発達障害が25.4%、精神障害が25.2%となっており、他の障害に比べて高くなっている。

	全体	市の広報紙	市役所の窓口	病院・診療所	インターネットのホームページ	都の広報紙	新聞	テレビ	
全体	1,881 100.0	918 48.8	474 25.2	382 20.3	314 16.7	284 15.1	238 12.7	232 12.3	
障害別	身体障害	989 100.0	548 55.4	263 26.6	146 14.8	132 13.3	180 18.2	161 16.3	149 15.1
	知的障害	201 100.0	77 38.3	53 26.4	18 9.0	20 10.0	15 7.5	11 5.5	11 5.5
	発達障害	122 100.0	42 34.4	30 24.6	17 13.9	31 25.4	8 6.6	5 4.1	5 4.1
	精神障害	397 100.0	149 37.5	107 27.0	141 35.5	100 25.2	44 11.1	30 7.6	39 9.8
	高次脳機能障害	35 100.0	14 40.0	11 31.4	5 14.3	3 8.6	7 20.0	6 17.1	6 17.1
	難病（特定疾患）	318 100.0	174 54.7	89 28.0	90 28.3	63 19.8	63 19.8	50 15.7	42 13.2
	無回答	86 100.0	34 39.5	14 16.3	21 24.4	10 11.6	9 10.5	6 7.0	9 10.5

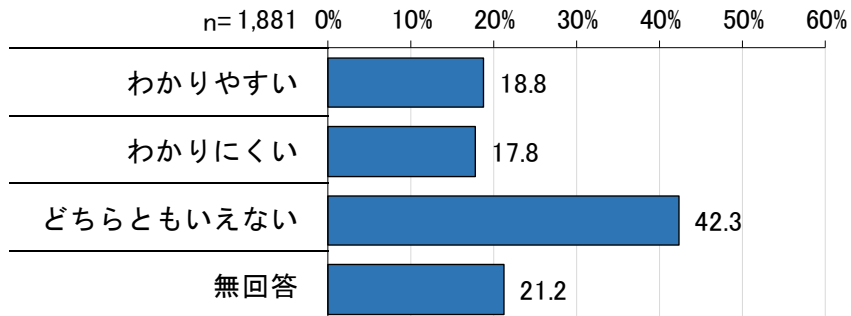
	友人・知人	障害者のサービスを受けられている事業所等	家庭	相談支援事業者	各種の福祉施設	障がい者団体	ラジオ	ツイッター・フェイスブック等のネットワーキングサービス	
全体	209 11.1	182 9.7	147 7.8	120 6.4	104 5.5	72 3.8	55 2.9	54 2.9	
障害別	身体障害	108 10.9	82 8.3	67 6.8	50 5.1	55 5.6	34 3.4	39 3.9	16 1.6
	知的障害	37 18.4	51 25.4	30 14.9	31 15.4	22 10.9	33 16.4	0 0.0	3 1.5
	発達障害	20 16.4	29 23.8	15 12.3	20 16.4	11 9.0	3 2.5	0 0.0	6 4.9
	精神障害	48 12.1	46 11.6	35 8.8	32 8.1	18 4.5	11 2.8	8 2.0	25 6.3
	高次脳機能障害	3 8.6	6 17.1	4 11.4	5 14.3	8 22.9	5 14.3	2 5.7	0 0.0
	難病（特定疾患）	22 6.9	18 5.7	26 8.2	19 6.0	18 5.7	7 2.2	8 2.5	11 3.5
	無回答	7 8.1	5 5.8	5 5.8	2 2.3	5 5.8	0 0.0	3 3.5	2 2.3



問 39-1 市や公的機関がつくる福祉関連の情報はわかりやすいものになっていますか。  
(○は1つ)

全体

○全体では「どちらともいえない」が42.3%と最も高くなっている。



障害別

○すべての障害で「どちらともいえない」が4割以上となっている。

○「わかりやすい」では、精神障害が20.7%、身体障害が20.1%、「わかりにくい」では発達障害が33.6%、知的障害が27.9%と他の障害と比べて高くなっている。

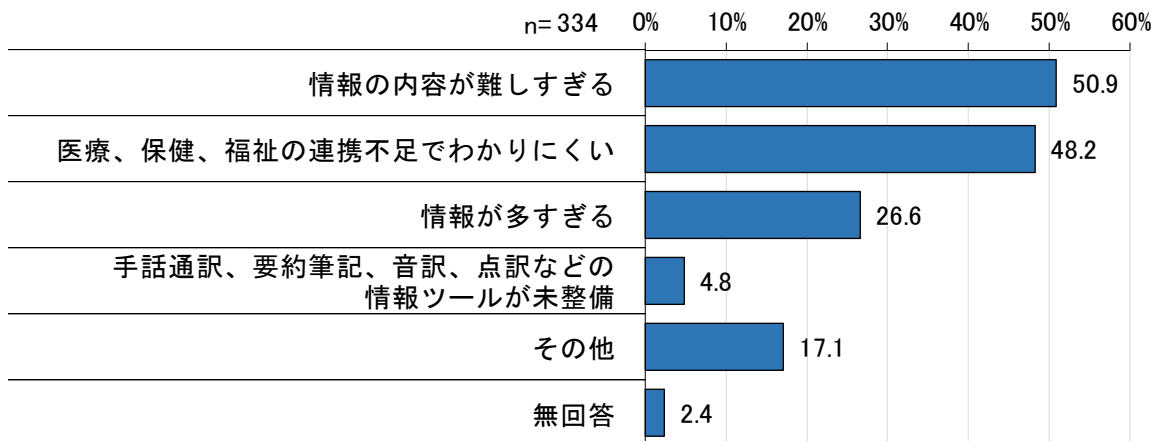
上段：度数 下段：%		全体	わかりやすい	わかりにくい	どちらともいえない	無回答
全体		1,881 100.0	353 18.8	334 17.8	796 42.3	398 21.2
障害別	身体障害	989 100.0	199 20.1	141 14.3	406 41.1	243 24.6
	知的障害	201 100.0	26 12.9	56 27.9	87 43.3	32 15.9
	発達障害	122 100.0	17 13.9	41 33.6	50 41.0	14 11.5
	精神障害	397 100.0	82 20.7	92 23.2	162 40.8	61 15.4
	高次脳機能障害	35 100.0	6 17.1	6 17.1	18 51.4	5 14.3
	難病（特定疾患）	318 100.0	63 19.8	53 16.7	152 47.8	50 15.7
	無回答	86 100.0	11 12.8	12 14.0	28 32.6	35 40.7

《問 39-1 で 2 とお答えの方におたずねします》

問 39-2 どのような点がわかりにくいですか。(〇はいくつでも)

全体

〇全体では「情報の内容が難しすぎる」が 50.9%と最も高く、次いで「医療、保健、福祉の連携不足でわかりにくい」が 48.2%となっている。



## 障害別

○障害別にみると、「情報の内容が難しすぎる」では、高次脳機能障害が66.7%と最も高く、次いで、知的障害が57.1%、精神障害が56.5%となっている。

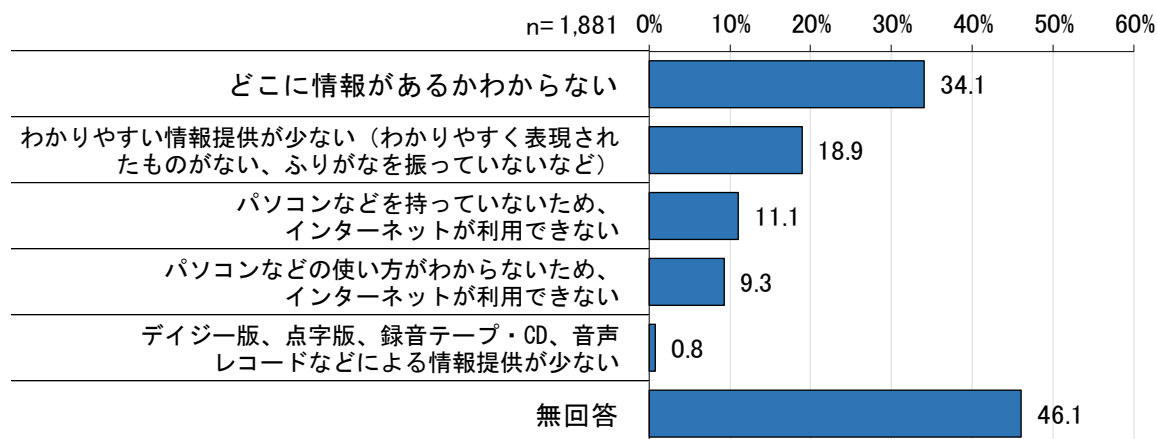
○「情報が多すぎる」では、すべての障害で2割を超えており、特に高次脳機能障害では50.0%と、他の障害と比べて高くなっている。

上段：度数 下段：%		全体	情報の内容が難しすぎる	医療、保健、福祉にのく 連携不足でわかりにくい	情報が多すぎる	音声、通訳、要約筆記、 手話、点字などの筆記、 ツールが未整備	その他	無回答
全体		334 100.0	170 50.9	161 48.2	89 26.6	16 4.8	57 17.1	8 2.4
障害別	身体障害	141 100.0	68 48.2	70 49.6	39 27.7	12 8.5	16 11.3	4 2.8
	知的障害	56 100.0	32 57.1	21 37.5	15 26.8	2 3.6	10 17.9	0 0.0
	発達障害	41 100.0	19 46.3	20 48.8	10 24.4	2 4.9	14 34.1	0 0.0
	精神障害	92 100.0	52 56.5	40 43.5	25 27.2	3 3.3	17 18.5	3 3.3
	高次脳機能障害	6 100.0	4 66.7	1 16.7	3 50.0	1 16.7	2 33.3	0 0.0
	難病（特定疾患）	53 100.0	27 50.9	29 54.7	19 35.8	2 3.8	10 18.9	1 1.9
	無回答	12 100.0	7 58.3	5 41.7	3 25.0	1 8.3	2 16.7	1 8.3

## 問 40 福祉関連の情報の入手について困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

全体

〇全体では「どこに情報があるかわからない」が 34.1%と最も高く、次いで「わかりやすい情報提供が少ない(わかりやすく表現されたものがない、ふりがなを振っていないなど)」が 18.9%となっている。



## 障害別

- すべての障害で「どこに情報があるかわからない」が最も高く、特に発達障害が55.7%、精神障害が44.6%と他の障害に比べて高くなっている。
- 「わかりやすい情報提供が少ない」では、知的障害、発達障害、精神障害、高次脳機能障害がそれぞれ2割を超えている。
- 「パソコンなどを持っていないため、インターネットが利用できない」では、知的障害、発達障害を除きそれぞれ1割を超えている。

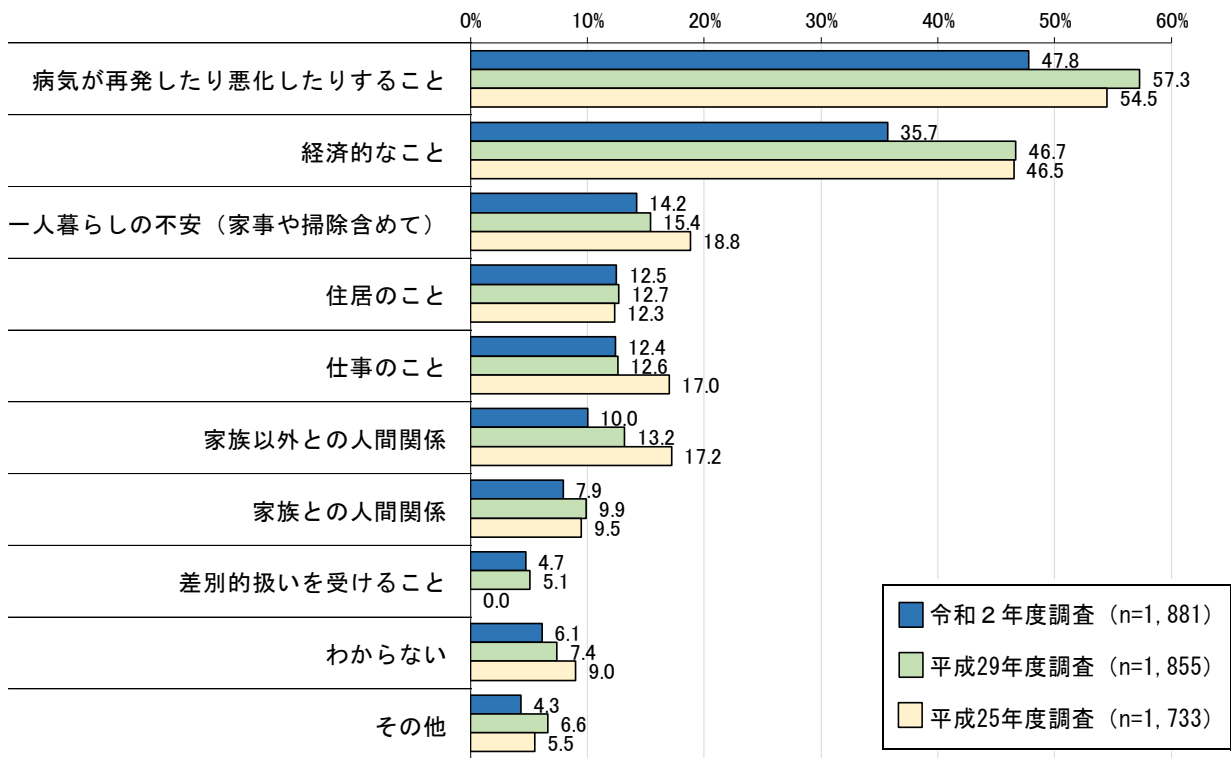
上段：度数 下段：%		全体	どこに情報があるかわからない	なさを振つてもつていないなど	さなたい（わか）がいない、す（ふ）り表が現	わたりやすい情報提供が現	利用できないインターネットが	持つていないため、	パソコンなどを	利用できないインターネットが	わからなかったため、	パソコンなどの使い方が	音声レコードなどによる	録音テープ・CD、	デジタル版、点字版、	無回答
全体		1,881 100.0	641 34.1	356 18.9	209 11.1	175 9.3	15 0.8	868 46.1								
障害別	身体障害	989 100.0	277 28.0	164 16.6	117 11.8	103 10.4	8 0.8	508 51.4								
	知的障害	201 100.0	75 37.3	58 28.9	19 9.5	16 8.0	2 1.0	82 40.8								
	発達障害	122 100.0	68 55.7	36 29.5	5 4.1	3 2.5	2 1.6	32 26.2								
	精神障害	397 100.0	177 44.6	93 23.4	45 11.3	36 9.1	3 0.8	148 37.3								
	高次脳機能障害	35 100.0	11 31.4	7 20.0	4 11.4	4 11.4	1 2.9	16 45.7								
	難病（特定疾患）	318 100.0	109 34.3	55 17.3	35 11.0	30 9.4	3 0.9	145 45.6								
	無回答	86 100.0	24 27.9	8 9.3	10 11.6	11 12.8	1 1.2	45 52.3								

問 41 あなたが生活していく上で不安なことは何ですか。(〇は3つまで)

経年比較

○全体では「病気が再発したり悪化したりすること」が 47.8%と最も高く、次いで「経済的なこと」が 35.7%となっている。

○前回と比較すると、すべての項目が減少しているが「病気が再発したり悪化したりすること」「経済的なこと」が著しく減少している。



## 障害別

○障害別にみると、「病気が再発したり悪化したりすること」では、身体障害、精神障害、高次脳機能障害、難病がそれぞれ4割以上で最も高くなっている。

○知的障害、発達障害では「経済的なこと」が最も高くなっている。

		全体	悪病が再発したりすること	経済的なこと	一人暮らしの不安 (家事や掃除含めて)	住居のこと	仕事のこと	家族以外との人間関係	家族との人間関係
上段：度数 下段：%									
全体		1,881 100.0	900 47.8	672 35.7	268 14.2	235 12.5	233 12.4	189 10.0	149 7.9
障害別	身体障害	989 100.0	485 49.0	309 31.2	133 13.4	121 12.2	60 6.1	60 6.1	58 5.9
	知的障害	201 100.0	42 20.9	68 33.8	34 16.9	37 18.4	32 15.9	44 21.9	17 8.5
	発達障害	122 100.0	21 17.2	46 37.7	23 18.9	11 9.0	30 24.6	39 32.0	20 16.4
	精神障害	397 100.0	210 52.9	192 48.4	63 15.9	43 10.8	85 21.4	65 16.4	59 14.9
	高次脳機能障害	35 100.0	14 40.0	12 34.3	3 8.6	7 20.0	9 25.7	3 8.6	0 0.0
	難病（特定疾患）	318 100.0	221 69.5	128 40.3	38 11.9	48 15.1	47 14.8	15 4.7	20 6.3
	無回答	86 100.0	31 36.0	23 26.7	12 14.0	6 7.0	6 7.0	7 8.1	4 4.7

		差別的扱いを受けること	わからない	その他	無回答
上段：度数 下段：%					
全体		89 4.7	114 6.1	80 4.3	410 21.8
障害別	身体障害	28 2.8	59 6.0	44 4.4	246 24.9
	知的障害	24 11.9	28 13.9	13 6.5	36 17.9
	発達障害	16 13.1	15 12.3	6 4.9	24 19.7
	精神障害	35 8.8	13 3.3	15 3.8	65 16.4
	高次脳機能障害	3 8.6	3 8.6	3 8.6	5 14.3
	難病（特定疾患）	7 2.2	15 4.7	15 4.7	43 13.5
	無回答	2 2.3	4 4.7	0 0.0	33 38.4

ライフステージ別

- ライフステージ別にみると、「病気が再発したり悪化したりすること」では、特に「児童期」以降ライフステージが進むごとに高くなり、壮年期、高齢期では約5割となっている。
- 「経済的なこと」では、思春期と青年期で特に高く、ともに5割となっている。
- 「一人暮らしの不安（家事や掃除を含めて）」は思春期において29.5%と最も高く、以降ライフステージが進むごとに減少している。
- 「仕事のこと」では、青年期で30.9%と最も高く、思春期が27.3%、壮年期が21.8%となっている。

上段：度数 下段：%		全体	病気が再発したり悪化したりすること	経済的なこと	一人暮らしの不安（家事や掃除を含めて）	住居のこと	仕事のこと	家族以外との人間関係	家族との人間関係
全体		1,881 100.0	900 47.8	672 35.7	268 14.2	235 12.5	233 12.4	189 10.0	149 7.9
ライフステージ別	乳幼児期（6歳未満）	16 100.0	2 12.5	3 18.8	1 6.3	1 6.3	1 6.3	5 31.3	1 6.3
	児童期（6歳～12歳）	52 100.0	3 5.8	12 23.1	6 11.5	3 5.8	9 17.3	16 30.8	4 7.7
	思春期（13歳～19歳）	44 100.0	8 18.2	22 50.0	13 29.5	11 25.0	12 27.3	13 29.5	6 13.6
	青年期（20歳～39歳）	236 100.0	99 41.9	118 50.0	38 16.1	29 12.3	73 30.9	49 20.8	27 11.4
	壮年期（40歳～64歳）	541 100.0	278 51.4	238 44.0	78 14.4	69 12.8	118 21.8	67 12.4	51 9.4
	高齢期（65歳以上）	978 100.0	505 51.6	278 28.4	130 13.3	121 12.4	20 2.0	38 3.9	60 6.1
	無回答	14 100.0	5 35.7	1 7.1	2 14.3	1 7.1	0 0.0	1 7.1	0 0.0

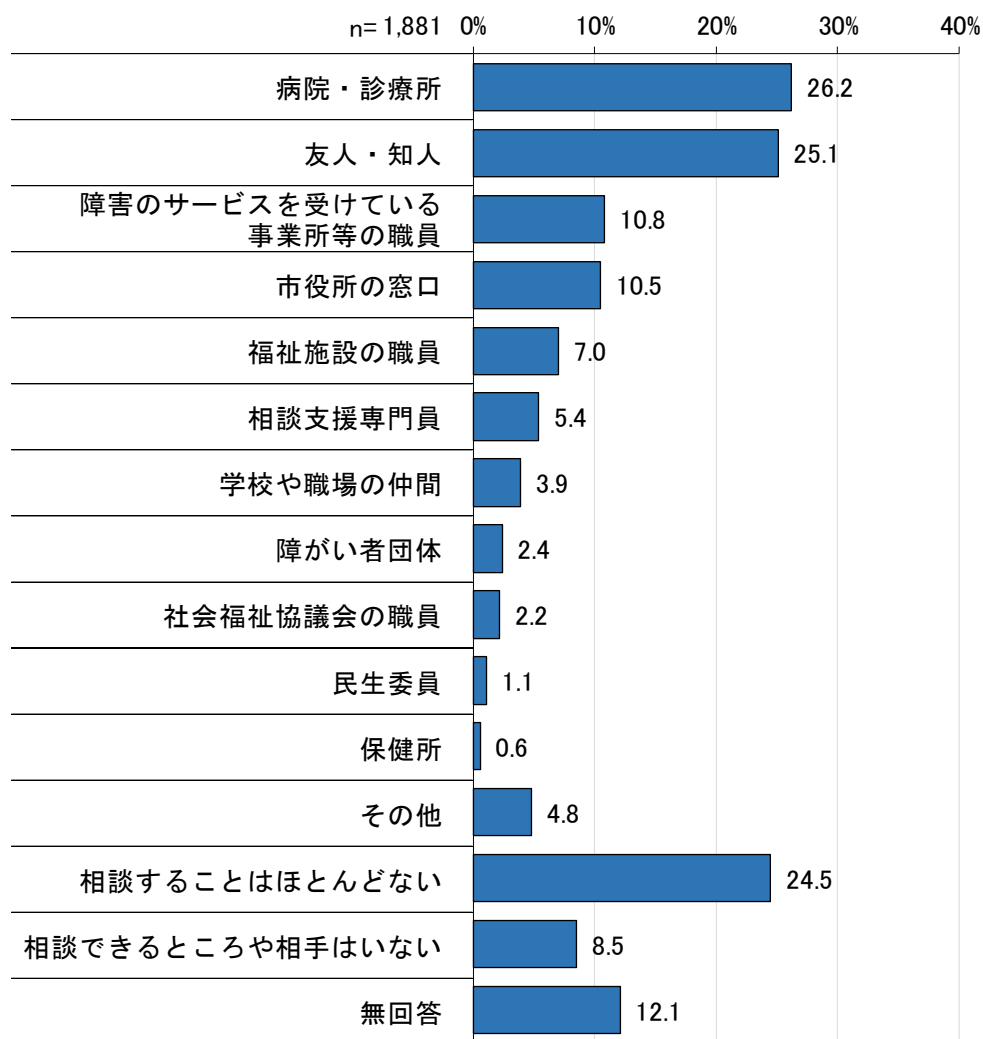
上段：度数 下段：%		差別的扱いを受けること	わからない	その他	無回答
全体		89 4.7	114 6.1	80 4.3	410 21.8
ライフステージ別	乳幼児期（6歳未満）	7 43.8	3 18.8	1 6.3	3 18.8
	児童期（6歳～12歳）	12 23.1	11 21.2	2 3.8	12 23.1
	思春期（13歳～19歳）	3 6.8	8 18.2	1 2.3	1 2.3
	青年期（20歳～39歳）	18 7.6	13 5.5	9 3.8	33 14.0
	壮年期（40歳～64歳）	38 7.0	28 5.2	22 4.1	93 17.2
	高齢期（65歳以上）	11 1.1	49 5.0	45 4.6	260 26.6
	無回答	0 0.0	2 14.3	0 0.0	8 57.1



問 42 あなたは、家族や親戚以外でご自身の悩みや不安を誰に相談しますか。  
(〇はいくつでも)

全体

○全体では「病院・診療所」が26.2%と最も高く、次いで「友人・知人」が25.1%、「相談することはほとんどない」が24.5%となっている。



障害別

○障害別にみると、身体障害では「相談することはほとんどない」が28.7%と最も高く、次いで「友人・知人」が25.3%となっている。

○知的障害、発達障害、高次脳機能障害では、「障害のサービスを受けている事業所等の職員」が他の障害と比べて高くなっている。

○精神障害では「病院・診療所」が45.1%と最も高く、次いで「友人・知人」が27.2%となっている。

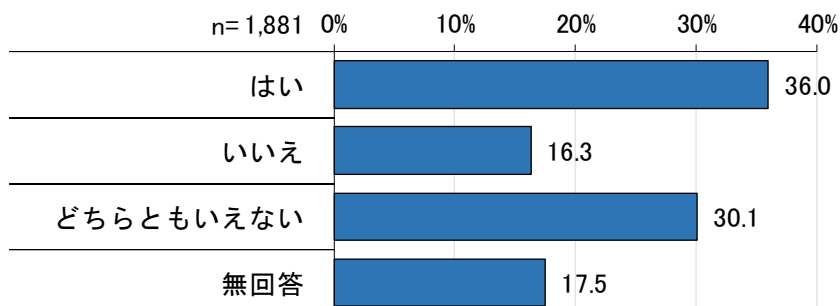
上段：度数 下段：%		全体	病院・診療所	友人・知人	障害のサービスを受けている事業所等の職員	市役所の窓口	福祉施設の職員	相談支援専門員	学校や職場の仲間
		全体	1,881 100.0	492 26.2	472 25.1	203 10.8	198 10.5	131 7.0	101 5.4
障害別	身体障害	989 100.0	215 21.7	250 25.3	88 8.9	118 11.9	66 6.7	32 3.2	21 2.1
	知的障害	201 100.0	24 11.9	21 10.4	57 28.4	16 8.0	33 16.4	30 14.9	22 10.9
	発達障害	122 100.0	33 27.0	24 19.7	26 21.3	5 4.1	9 7.4	24 19.7	18 14.8
	精神障害	397 100.0	179 45.1	108 27.2	56 14.1	41 10.3	25 6.3	34 8.6	15 3.8
	高次脳機能障害	35 100.0	4 11.4	8 22.9	10 28.6	5 14.3	7 20.0	1 2.9	1 2.9
	難病（特定疾患）	318 100.0	89 28.0	94 29.6	28 8.8	37 11.6	14 4.4	12 3.8	11 3.5
	無回答	86 100.0	21 24.4	24 27.9	5 5.8	10 11.6	6 7.0	4 4.7	4 4.7

上段：度数 下段：%		障がい者団体	社会福祉協議会の職員	民生委員	保健所	その他	ほとんど相談することはない	相談はできるところや	無回答
		全体	45 2.4	41 2.2	21 1.1	12 0.6	91 4.8	461 24.5	160 8.5
障害別	身体障害	22 2.2	24 2.4	17 1.7	8 0.8	42 4.2	284 28.7	77 7.8	145 14.7
	知的障害	12 6.0	5 2.5	0 0.0	2 1.0	15 7.5	36 17.9	19 9.5	18 9.0
	発達障害	6 4.9	2 1.6	0 0.0	0 0.0	13 10.7	21 17.2	16 13.1	8 6.6
	精神障害	10 2.5	12 3.0	1 0.3	3 0.8	27 6.8	54 13.6	40 10.1	24 6.0
	高次脳機能障害	6 17.1	3 8.6	0 0.0	0 0.0	7 20.0	6 17.1	4 11.4	0 0.0
	難病（特定疾患）	6 1.9	5 1.6	4 1.3	0 0.0	9 2.8	88 27.7	29 9.1	27 8.5
	無回答	3 3.5	0 0.0	1 1.2	1 1.2	3 3.5	16 18.6	7 8.1	21 24.4

問 43-1 あなたは、市役所に困った時に相談できますか。(○は1つ)

全体

○全体では「はい」の割合が36.0%と最も高くなっている。



障害別

○障害別にみると、「はい」の割合は、身体障害、精神障害、高次脳機能障害、難病で3割を超えている。

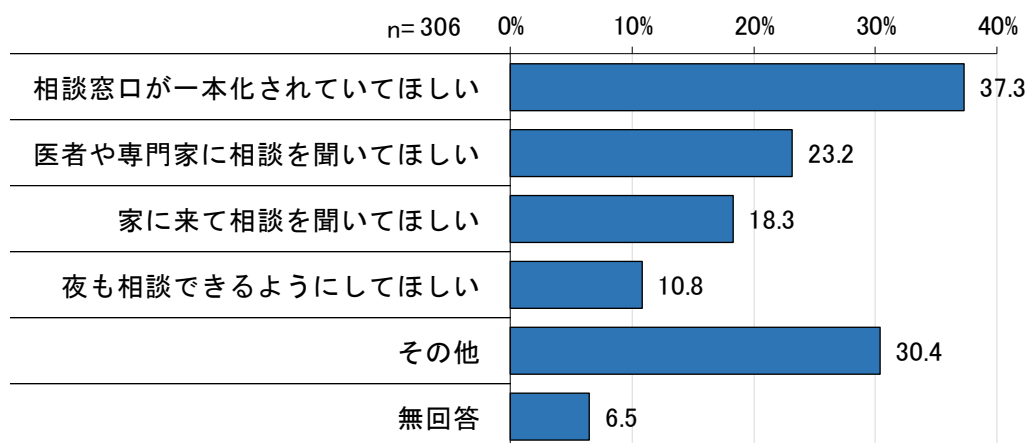
		全体	はい	いいえ	どちらともいえない	無回答
上段：度数 下段：%						
全体		1,881 100.0	678 36.0	306 16.3	567 30.1	330 17.5
障害別	身体障害	989 100.0	387 39.1	109 11.0	290 29.3	203 20.5
	知的障害	201 100.0	35 17.4	59 29.4	77 38.3	30 14.9
	発達障害	122 100.0	33 27.0	39 32.0	40 32.8	10 8.2
	精神障害	397 100.0	148 37.3	90 22.7	114 28.7	45 11.3
	高次脳機能障害	35 100.0	12 34.3	7 20.0	12 34.3	4 11.4
	難病（特定疾患）	318 100.0	135 42.5	45 14.2	91 28.6	47 14.8
	無回答	86 100.0	26 30.2	9 10.5	23 26.7	28 32.6

《問 43-1 で 2 とお答えの方におたずねします》

問 43-2 どうしたら市役所に相談しやすくなると思いますか。(〇はいくつでも)

全体

〇全体では「相談窓口が一本化されていてほしい」が 37.3%と最も高く、次いで「医者や専門家に相談を聞いてほしい」が 23.2%、「家に来て相談を聞いてほしい」が 18.3%となっている。



障害別

〇障害別にみると、「相談窓口が一本化されていてほしい」は高次脳機能障害を除くすべての障害で3割を超えている。

〇高次脳機能障害では、「夜も相談できるようにしてほしい」が 42.9%と最も高い。

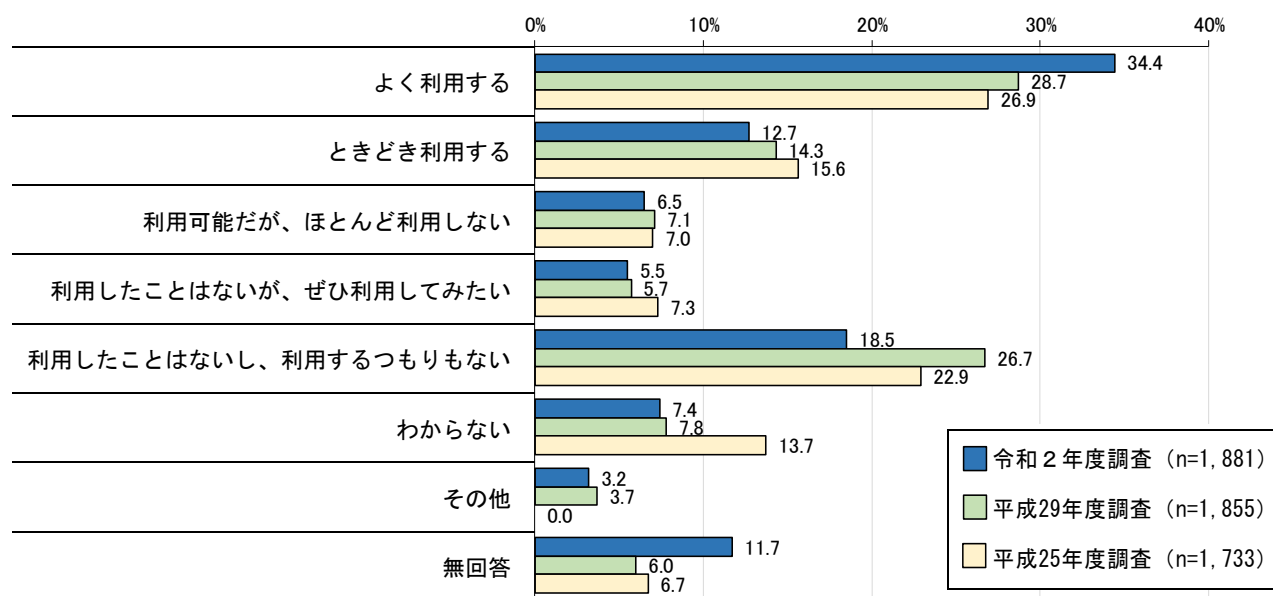
		全体	相談窓口が一本化	医者や専門家に相談を	家に来て相談を	夜も相談できるように	その他	無回答
上段：度数 下段：%								
全体		306 100.0	114 37.3	71 23.2	56 18.3	33 10.8	93 30.4	20 6.5
障害別	身体障害	109 100.0	49 45.0	22 20.2	21 19.3	9 8.3	24 22.0	8 7.3
	知的障害	59 100.0	21 35.6	10 16.9	9 15.3	5 8.5	22 37.3	4 6.8
	発達障害	39 100.0	17 43.6	7 17.9	5 12.8	3 7.7	18 46.2	1 2.6
	精神障害	90 100.0	28 31.1	26 28.9	16 17.8	13 14.4	32 35.6	3 3.3
	高次脳機能障害	7 100.0	2 28.6	2 28.6	2 28.6	3 42.9	1 14.3	0 0.0
	難病（特定疾患）	45 100.0	17 37.8	13 28.9	10 22.2	8 17.8	11 24.4	3 6.7
	無回答	9 100.0	1 11.1	2 22.2	1 11.1	0 0.0	4 44.4	1 11.1

## 問44 あなたは、インターネットを利用していますか。(〇は1つ)

## 経年比較

○全体では「よく利用する」が34.4%と最も高く、次いで「利用したことはないし、利用するつもりもない」が18.5%となっている。

○前回と比較すると「よく利用する」が5.7ポイント増加し、その他の項目は減少している。



## 障害別

○障害別にみると「よく利用する」では、発達障害が59.0%と最も高くなっている。

○身体障害では、「利用したことはないし、利用するつもりもない」が23.2%と他の障害に比べて高くなっている。

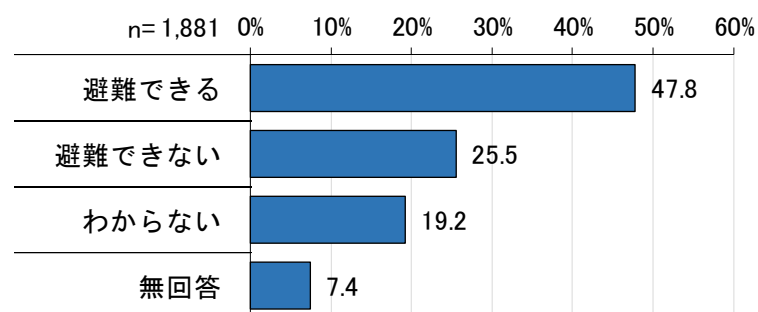
上段：度数 下段：%		全体	よく利用する	ときどき利用する	ほとんど利用しない	利用可能なが、 利用してみたいが、 利用したことはない	利用したつもりはないし、 利用するつもりもない	わからない	その他	無回答
全体		1,881 100.0	647 34.4	239 12.7	123 6.5	103 5.5	348 18.5	140 7.4	60 3.2	221 11.7
障害別	身体障害	989 100.0	260 26.3	121 12.2	71 7.2	59 6.0	229 23.2	68 6.9	37 3.7	144 14.6
	知的障害	201 100.0	64 31.8	28 13.9	12 6.0	11 5.5	27 13.4	36 17.9	8 4.0	15 7.5
	発達障害	122 100.0	72 59.0	18 14.8	6 4.9	1 0.8	2 1.6	14 11.5	2 1.6	7 5.7
	精神障害	397 100.0	189 47.6	60 15.1	14 3.5	24 6.0	52 13.1	18 4.5	13 3.3	27 6.8
	高次脳機能障害	35 100.0	10 28.6	6 17.1	4 11.4	0 0.0	6 17.1	2 5.7	6 17.1	1 2.9
	難病（特定疾患）	318 100.0	134 42.1	32 10.1	29 9.1	14 4.4	60 18.9	16 5.0	9 2.8	24 7.5
	無回答	86 100.0	22 25.6	4 4.7	4 4.7	3 3.5	14 16.3	14 16.3	1 1.2	24 27.9

## 災害時の避難や対応状況

問45 地震や火事などの災害時にあなたはひとりで避難できますか。(〇は1つ)

## 全体

○全体では、「避難できる」が47.8%と最も高くなっているが、「避難できない」「わからない」を合計すると44.7%となっている。



## 障害別

○障害別にみると、身体障害、発達障害、精神障害、難病では「避難できる」が最も高く、知的障害、高次脳機能障害では「避難できない」が最も高くなっている。

上段：度数 下段：%		全体	避難 できる	避難 できない	わ か ら な い	無 回 答
全体		1,881 100.0	899 47.8	480 25.5	362 19.2	140 7.4
障害 別	身体障害	989 100.0	449 45.4	284 28.7	166 16.8	90 9.1
	知的障害	201 100.0	51 25.4	103 51.2	39 19.4	8 4.0
	発達障害	122 100.0	48 39.3	36 29.5	32 26.2	6 4.9
	精神障害	397 100.0	203 51.1	61 15.4	111 28.0	22 5.5
	高次脳機能障害	35 100.0	9 25.7	18 51.4	5 14.3	3 8.6
	難病（特定疾患）	318 100.0	175 55.0	84 26.4	49 15.4	10 3.1
	無回答	86 100.0	38 44.2	17 19.8	17 19.8	14 16.3

## ライフステージ別

○ライフステージ別にみると、ライフステージが進むごとに「避難できる」は増加するが、高齢期では「避難できる」の割合は下がっている。

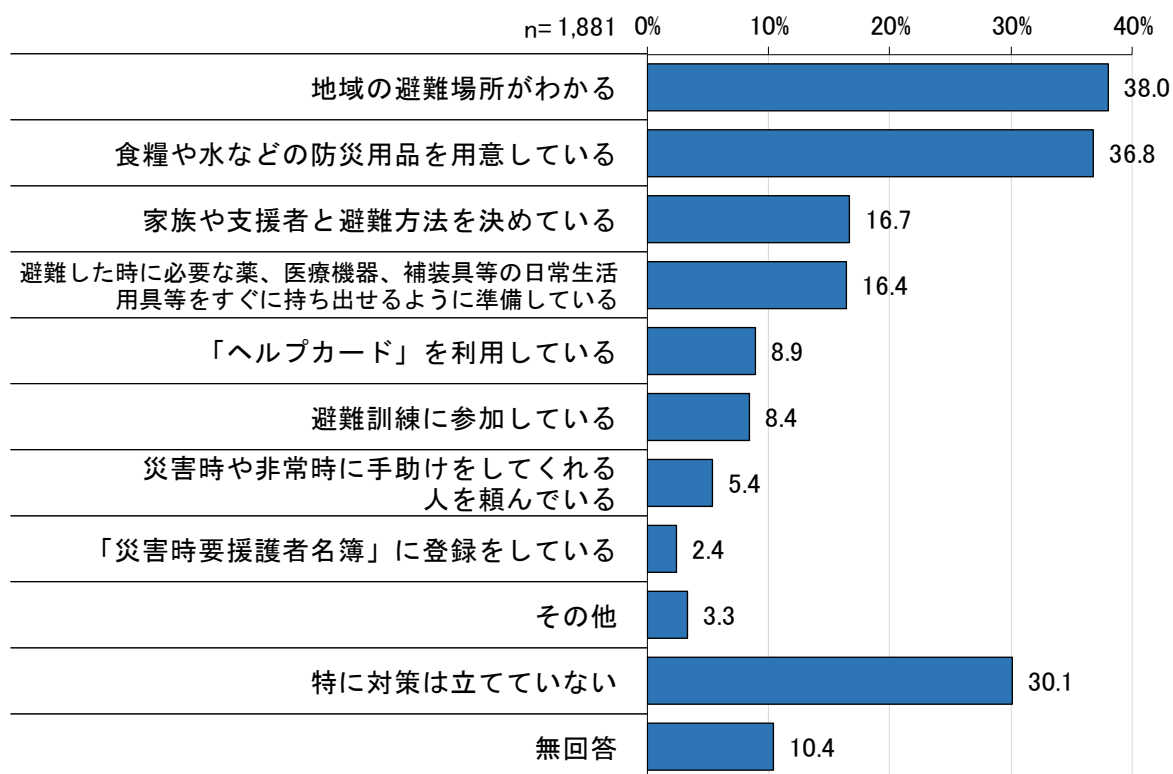
		全体	避難できる	避難できない	わからない	無回答
上段：度数 下段：%						
全体		1,881 100.0	899 47.8	480 25.5	362 19.2	140 7.4
ライフ ス テ ー ジ 別	乳幼児期（6歳未満）	16 100.0	0 0.0	12 75.0	3 18.8	1 6.3
	児童期（6歳～12歳）	52 100.0	5 9.6	28 53.8	15 28.8	4 7.7
	思春期（13歳～19歳）	44 100.0	19 43.2	16 36.4	9 20.5	0 0.0
	青年期（20歳～39歳）	236 100.0	120 50.8	51 21.6	55 23.3	10 4.2
	壮年期（40歳～64歳）	541 100.0	316 58.4	87 16.1	116 21.4	22 4.1
	高齢期（65歳以上）	978 100.0	437 44.7	284 29.0	162 16.6	95 9.7
	無回答	14 100.0	2 14.3	2 14.3	2 14.3	8 57.1



## 問 46-1 あなたは、災害が起きた時の準備をしていますか。(〇はいくつでも)

全体

○全体をみると、「地域の避難場所がわかる」が38.0%と最も高く、次いで「食糧や水などの防災用品を用意している」が36.8%、「特に対策は立てていない」が30.1%となっている。



障害別

- 障害別にみると、身体障害では「食糧や水などの防災用品を用意している」が38.0%と最も高く、次いで「地域の避難場所がわかる」が37.9%となっている。
- 精神障害では、「地域の避難場所がわかる」が40.8%と最も高く、次いで「特に対策は立てていない」が35.5%となっている。
- 知的障害、発達障害においては、「特に対策は立てていない」が最も高くなっている。
- 「ヘルプカードを利用している」では高次脳機能障害が28.6%、知的障害が21.4%となっており、他の障害と比べて高くなっている。

上段：度数 下段：%		全体	地域の避難場所がわかる	食糧や水などの防災用品を用意している	家族や支援者と避難方法を決めている	避難した時に必要な薬、医療機器、補装具等の日常生活用具等をすぐに持ち出せるように準備している	「ヘルプカード」を利用している	避難訓練に参加している	災害時や非常時に手助けをしてくれる人を頼んでいる
全体		1,881 100.0	715 38.0	692 36.8	315 16.7	308 16.4	168 8.9	158 8.4	101 5.4
障害別	身体障害	989 100.0	375 37.9	376 38.0	162 16.4	185 18.7	96 9.7	81 8.2	66 6.7
	知的障害	201 100.0	42 20.9	48 23.9	38 18.9	12 6.0	43 21.4	23 11.4	15 7.5
	発達障害	122 100.0	34 27.9	38 31.1	25 20.5	11 9.0	14 11.5	18 14.8	10 8.2
	精神障害	397 100.0	162 40.8	136 34.3	57 14.4	55 13.9	25 6.3	17 4.3	13 3.3
	高次脳機能障害	35 100.0	13 37.1	9 25.7	11 31.4	5 14.3	10 28.6	1 2.9	0 0.0
	難病（特定疾患）	318 100.0	133 41.8	142 44.7	58 18.2	63 19.8	28 8.8	23 7.2	12 3.8
	無回答	86 100.0	34 39.5	29 33.7	15 17.4	14 16.3	3 3.5	9 10.5	4 4.7

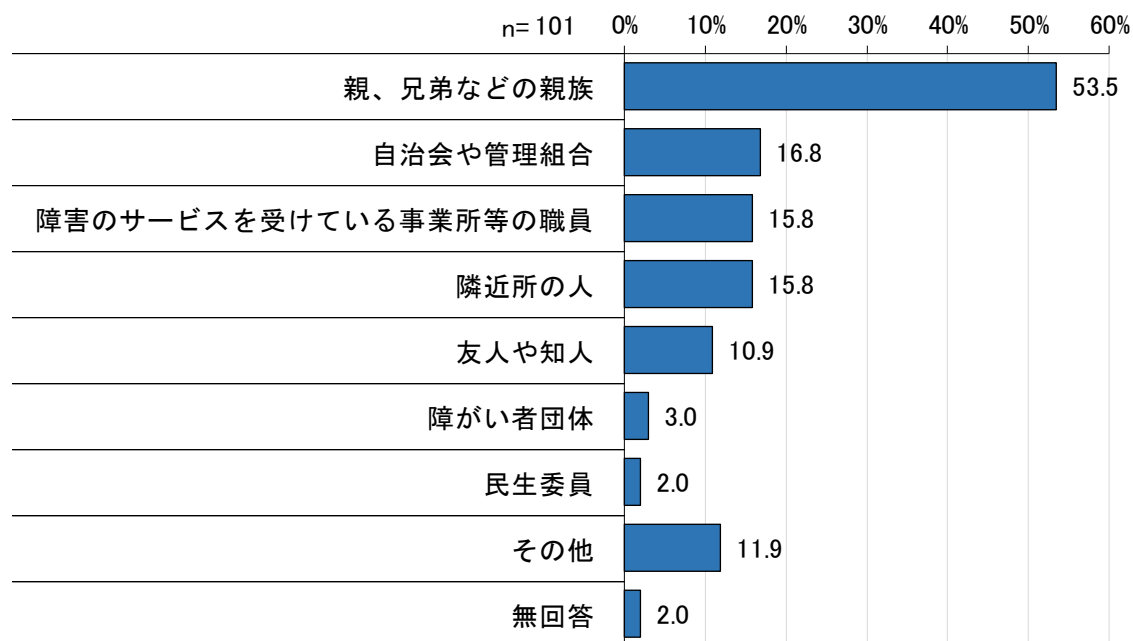
上段：度数 下段：%		登録「災害時要援護者名簿」に	その他	特に対策は立てていない	無回答
全体		45 2.4	63 3.3	567 30.1	196 10.4
障害別	身体障害	34 3.4	41 4.1	281 28.4	116 11.7
	知的障害	11 5.5	12 6.0	72 35.8	14 7.0
	発達障害	2 1.6	7 5.7	39 32.0	10 8.2
	精神障害	3 0.8	13 3.3	141 35.5	32 8.1
	高次脳機能障害	1 2.9	4 11.4	10 28.6	2 5.7
	難病（特定疾患）	8 2.5	7 2.2	94 29.6	21 6.6
	無回答	2 2.3	0 0.0	19 22.1	20 23.3

## 《問 46-1 で 1 とお答えの方におたずねします》

問 46-2 あなたが、手助けを頼んでいる人はどなたですか。(〇はいくつでも)

全体

〇全体をみると、「親、兄弟などの親族」が53.5%と最も高くなっており、次いで「自治会や管理組合」が16.8%、「障害のサービスを受けている事業所等の職員」「隣近所の人」がともに15.8%となっている。



## 障害別

○障害別にみると、身体障害では、「親、兄弟などの親族」が50.0%と最も高く、次いで「自治会や管理組合」が18.2%となっている。

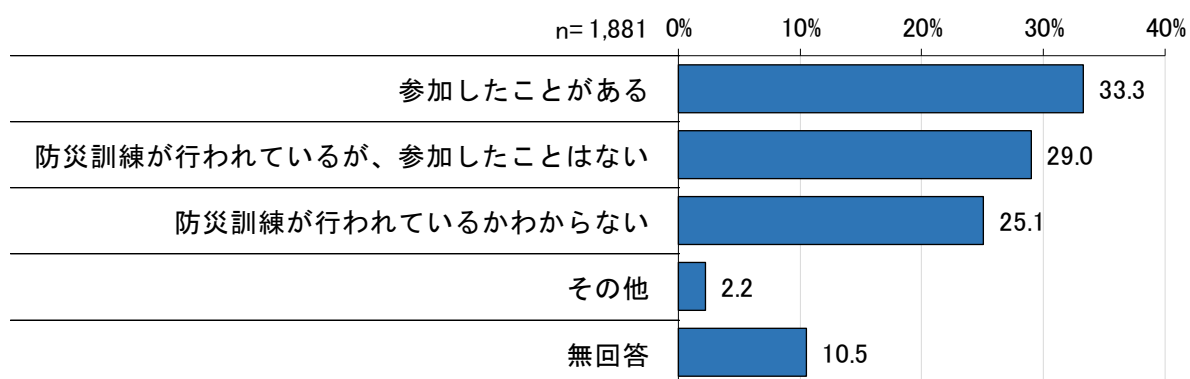
○知的障害では、「親、兄弟などの親族」が60.0%と最も高く、次いで「障害のサービスを受けている事業所等の職員」が40.0%となっている。

		全体	親、 兄弟などの 親族	自治会や 管理組合	障害のサー ビスを 受けてい る事業所 等の職員	隣 近所 の 人	友 人 や 知 人	障 が い 者 団 体	民 生 委 員	そ の 他	無 回 答
上段：度数 下段：%											
全体		101 100.0	54 53.5	17 16.8	16 15.8	16 15.8	11 10.9	3 3.0	2 2.0	12 11.9	2 2.0
障害別	身体障害	66 100.0	33 50.0	12 18.2	9 13.6	9 13.6	11 16.7	3 4.5	1 1.5	7 10.6	0 0.0
	知的障害	15 100.0	9 60.0	1 6.7	6 40.0	1 6.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 13.3	1 6.7
	発達障害	10 100.0	7 70.0	0 0.0	4 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0
	精神障害	13 100.0	7 53.8	0 0.0	4 30.8	2 15.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 23.1	0 0.0
	高次脳機能障害	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	難病（特定疾患）	12 100.0	4 33.3	4 33.3	1 8.3	4 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 8.3	1 8.3
	無回答	4 100.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0

## 問 47-1 地域などの防災訓練に参加したことがありますか。(〇は1つ)

全体

- 全体をみると、「参加したことがある」が33.3%と最も高く、次いで「防災訓練が行われているが、参加したことはない」が29.0%となっている。
- 「防災訓練が行われているが、参加したことはない」「防災訓練が行われているかわからない」を合計すると5割を超える。



障害別

○障害別にみると、すべての障害で「参加したことがある」が2割を超えており、中でも身体障害、発達障害、難病は3割以上となっている。

○身体障害を除く他の障害では、「防災訓練が行われているが、参加したことはない」「防災訓練が行われているかわからない」を合計すると5割を超える。

		全体	参加したことがある	防災訓練が行われているが、参加したことはない	防災訓練が行われていないかわからない	その他	無回答
上段：度数 下段：%							
全体		1,881 100.0	626 33.3	545 29.0	472 25.1	41 2.2	197 10.5
障害別	身体障害	989 100.0	362 36.6	278 28.1	199 20.1	24 2.4	126 12.7
	知的障害	201 100.0	54 26.9	66 32.8	61 30.3	7 3.5	13 6.5
	発達障害	122 100.0	38 31.1	31 25.4	40 32.8	3 2.5	10 8.2
	精神障害	397 100.0	89 22.4	120 30.2	152 38.3	8 2.0	28 7.1
	高次脳機能障害	35 100.0	10 28.6	11 31.4	9 25.7	3 8.6	2 5.7
	難病（特定疾患）	318 100.0	112 35.2	113 35.5	69 21.7	5 1.6	19 6.0
	無回答	86 100.0	26 30.2	20 23.3	18 20.9	3 3.5	19 22.1

## ライフステージ別

○ライフステージ別にみると、児童期は「参加したことがある」が46.2%と最も高い。

○青年期は「参加したことがある」が22.0%と他の障害と比べて最も低く、「防災訓練が行われているかわからない」は42.4%となっている。

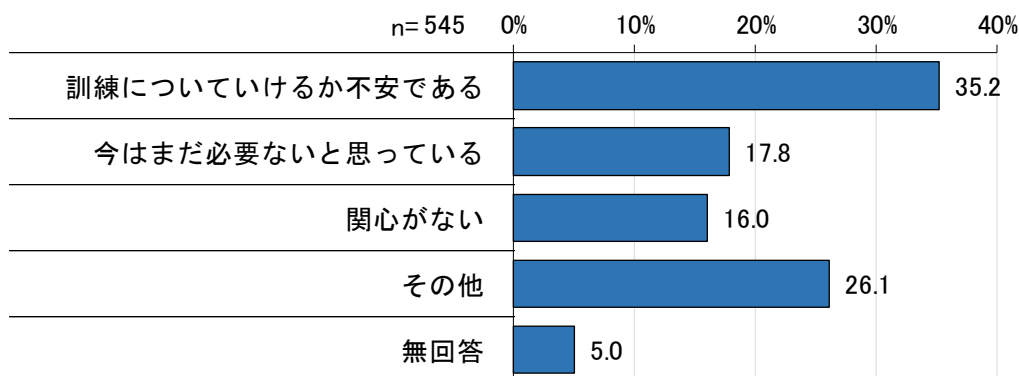
上段：度数 下段：%		全体	参加したことがある	参加したことがあるが、 行われたいことはない	わかんない 防災訓練が行われているか	その他	無回答
全体		1,881 100.0	626 33.3	545 29.0	472 25.1	41 2.2	197 10.5
ライフ ス テ ー ジ 別	乳幼児期（6歳未満）	16 100.0	5 31.3	2 12.5	8 50.0	0 0.0	1 6.3
	児童期（6歳～12歳）	52 100.0	24 46.2	13 25.0	9 17.3	1 1.9	5 9.6
	思春期（13歳～19歳）	44 100.0	12 27.3	15 34.1	14 31.8	2 4.5	1 2.3
	青年期（20歳～39歳）	236 100.0	52 22.0	69 29.2	100 42.4	2 0.8	13 5.5
	壮年期（40歳～64歳）	541 100.0	142 26.2	167 30.9	187 34.6	10 1.8	35 6.5
	高齢期（65歳以上）	978 100.0	390 39.9	277 28.3	151 15.4	26 2.7	134 13.7
	無回答	14 100.0	1 7.1	2 14.3	3 21.4	0 0.0	8 57.1

《問 47-1 で 2 とお答えの方におたずねします》

問 47-2 防災訓練に参加しない理由は何ですか。(○は1つ)

全体

○全体では、「訓練についていけるか不安である」が35.2%と最も高くなっている。



障害別

○障害別にみると、「訓練についていけるか不安である」では、身体障害が42.8%と最も高く、次いで、知的障害が40.9%、高次脳機能障害が36.4%となっている。

上段：度数 下段：%		全体	不 訓 安 練 で い て い け る か	思 今 っ は ま だ 必 要 な い と	関 心 が な い	そ の 他	無 回 答
		全体	545 100.0	192 35.2	97 17.8	87 16.0	142 26.1
障 害 別	身体障害	278 100.0	119 42.8	44 15.8	24 8.6	71 25.5	20 7.2
	知的障害	66 100.0	27 40.9	11 16.7	15 22.7	12 18.2	1 1.5
	発達障害	31 100.0	9 29.0	6 19.4	6 19.4	10 32.3	0 0.0
	精神障害	120 100.0	28 23.3	24 20.0	30 25.0	34 28.3	4 3.3
	高次脳機能障害	11 100.0	4 36.4	3 27.3	1 9.1	3 27.3	0 0.0
	難病（特定疾患）	113 100.0	38 33.6	18 15.9	16 14.2	39 34.5	2 1.8
	無回答	20 100.0	5 25.0	4 20.0	3 15.0	6 30.0	2 10.0



## ライフステージ別

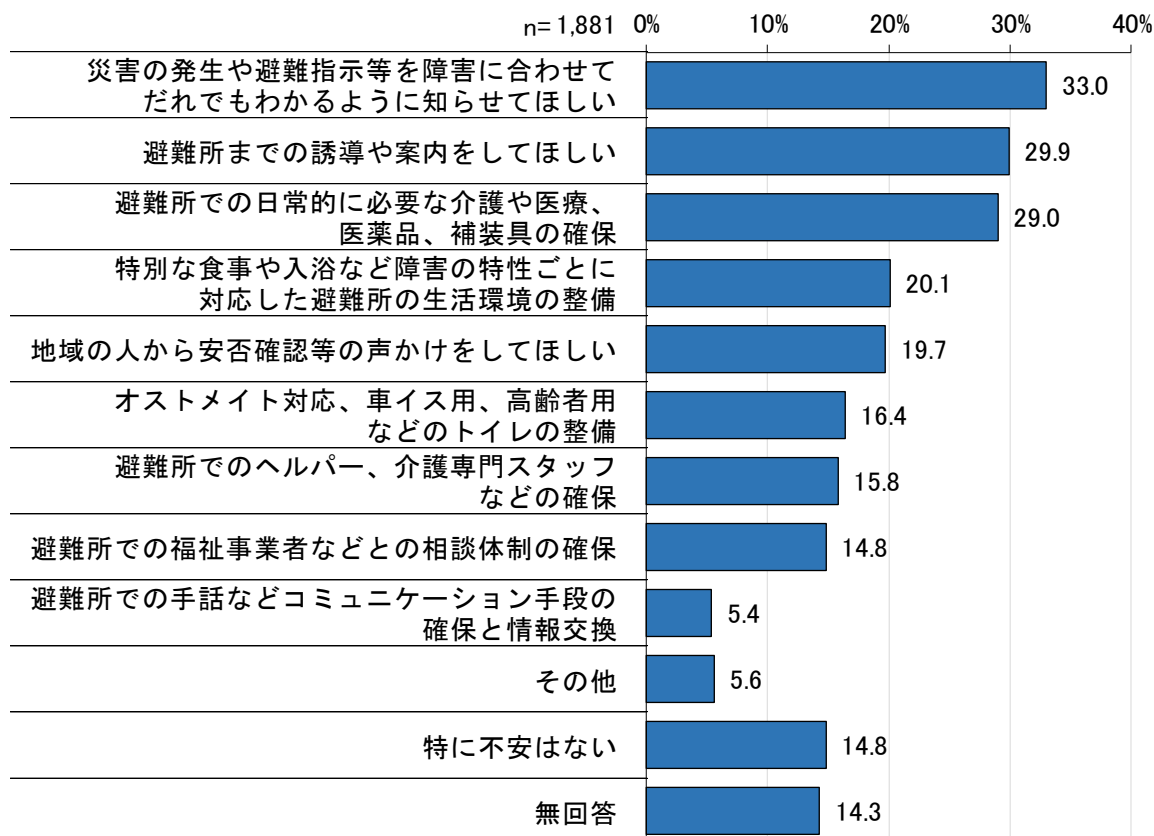
○ライフステージ別にみると、「関心がない」は思春期で40.0%と最も高く、以降ライフステージが進むごとに減少する傾向にある。

上段：度数 下段：%		全体	不 訓 安 練 に つ い て い け る か	今 っ は ま だ 必 要 な い と 思 っ て い る	関 心 が な い	そ の 他	無 回 答
全体		545 100.0	192 35.2	97 17.8	87 16.0	142 26.1	27 5.0
ラ イ フ ス テ ー ジ 別	乳幼児期（6歳未満）	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
	児童期（6歳～12歳）	13 100.0	6 46.2	1 7.7	2 15.4	4 30.8	0 0.0
	思春期（13歳～19歳）	15 100.0	4 26.7	3 20.0	6 40.0	2 13.3	0 0.0
	青年期（20歳～39歳）	69 100.0	16 23.2	12 17.4	24 34.8	16 23.2	1 1.4
	壮年期（40歳～64歳）	167 100.0	47 28.1	30 18.0	31 18.6	54 32.3	5 3.0
	高齢期（65歳以上）	277 100.0	116 41.9	51 18.4	24 8.7	65 23.5	21 7.6
	無回答	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問 48 あなたは、地震や火事、水害などの災害の時にどのようなことが必要ですか。  
 (〇はいくつでも)

全体

〇全体をみると、「災害の発生や避難指示等を障害に合わせてだれでもわかるように知らせてほしい」が33.0%と最も高く、次いで「避難所までの誘導や案内をしてほしい」が29.9%、「避難所での日常的に必要な介護や医療、医薬品、補装具の確保」が29.0%となっている。



## 障害別

○障害別にみると、身体障害では、「避難所での日常的に必要な介護や医療、医薬品、補装具の確保」が34.3%と最も高く、次いで「災害の発生や避難指示等を障害に合わせてだれでもわかるように知らせてほしい」が34.0%となっている。また、「オストメイト対応、車イス用、高齢者用などのトイレの整備」が他の障害と比べると高くなっている。

○知的障害、発達障害では、「災害の発生や避難指示等を障害に合わせてだれでもわかるように知らせてほしい」が最も高く、次いで「避難所までの誘導や案内をしてほしい」となっている。

上段：度数 下段：%	全体	知らせてほしい	災害の発生や避難指示等を合わせてほしい	避難所までの誘導や案内をしてほしい	避難所での日常的に必要な介護や医療、医薬品、補装具の確保	特別な食事や入浴など避難所の生活環境に合わせた整備	地域の人から安否確認等の声かけをしてほしい	オストメイト対応、車イス用、高齢者用などの整備	避難所でのヘルパー、専門スタッフなどの確保
	100.0	33.0	29.9	29.0	20.1	19.7	16.4	15.8	
障害別	身体障害	989	336	290	339	212	197	235	171
		100.0	34.0	29.3	34.3	21.4	19.9	23.8	17.3
	知的障害	201	84	76	46	65	47	22	47
		100.0	41.8	37.8	22.9	32.3	23.4	10.9	23.4
	発達障害	122	43	40	15	24	20	6	14
		100.0	35.2	32.8	12.3	19.7	16.4	4.9	11.5
	精神障害	397	120	118	99	75	67	27	43
		100.0	30.2	29.7	24.9	18.9	16.9	6.8	10.8
高次脳機能障害	35	15	15	15	6	8	5	8	
	100.0	42.9	42.9	42.9	17.1	22.9	14.3	22.9	
難病（特定疾患）	318	102	88	112	63	63	59	62	
	100.0	32.1	27.7	35.2	19.8	19.8	18.6	19.5	
無回答	86	27	31	20	14	22	11	17	
	100.0	31.4	36.0	23.3	16.3	25.6	12.8	19.8	

上段：度数 下段：%	避難所での相談体制の確保	コミュニケーション手段の確保と情報交換	その他	特に不安はない	無回答	
						279
	14.8	5.4	5.6	14.8	14.3	
障害別	身体障害	129	70	42	125	155
		13.0	7.1	4.2	12.6	15.7
	知的障害	52	15	17	18	19
		25.9	7.5	8.5	9.0	9.5
	発達障害	28	7	17	16	14
		23.0	5.7	13.9	13.1	11.5
	精神障害	69	10	37	78	46
		17.4	2.5	9.3	19.6	11.6
高次脳機能障害	8	2	3	4	3	
	22.9	5.7	8.6	11.4	8.6	
難病（特定疾患）	41	12	15	51	34	
	12.9	3.8	4.7	16.0	10.7	
無回答	14	4	3	14	23	
	16.3	4.7	3.5	16.3	26.7	

ライフステージ別

○ライフステージ別にみると、児童期と思春期を除く世代では「災害の発生や避難指示等を障害に合わせてだれでもわかるように知らせてほしい」が3割を超えている。

○児童期、思春期はともに、「避難所までの誘導や案内をしてほしい」「特別な食事や入浴など障害の特性ごとに対応した避難所の生活環境の整備」が他の障害と比べて高くなっている。

上段：度数 下段：%		全体	知らせてほしい	災害の発生や避難指示等を合わせてわかるように	避難所までの誘導や案内をしてほしい	避難所での日常的に必要な介護や医療、医薬品、補装具の確保	特別な食事や入浴など障害の特性ごとに対応した避難所の生活環境の整備	地域の人から安否確認等の声かけをしてほしい	オストメイト対応、車イス用、高齢者用などのトイレの整備	避難所でのヘルパー、介護専門スタッフなどの確保
全体		1,881 100.0	621 33.0	563 29.9	545 29.0	378 20.1	370 19.7	308 16.4	298 15.8	
ライフステージ別	乳幼児期（6歳未満）	16 100.0	6 37.5	6 37.5	4 25.0	4 25.0	7 43.8	2 12.5	4 25.0	
	児童期（6歳～12歳）	52 100.0	14 26.9	22 42.3	6 11.5	14 26.9	10 19.2	5 9.6	5 9.6	
	思春期（13歳～19歳）	44 100.0	13 29.5	17 38.6	8 18.2	16 36.4	6 13.6	6 13.6	6 13.6	
	青年期（20歳～39歳）	236 100.0	78 33.1	69 29.2	45 19.1	42 17.8	40 16.9	13 5.5	28 11.9	
	壮年期（40歳～64歳）	541 100.0	163 30.1	153 28.3	152 28.1	96 17.7	87 16.1	55 10.2	53 9.8	
	高齢期（65歳以上）	978 100.0	343 35.1	293 30.0	326 33.3	204 20.9	218 22.3	226 23.1	199 20.3	
	無回答	14 100.0	4 28.6	3 21.4	4 28.6	2 14.3	2 14.3	1 7.1	3 21.4	

上段：度数 下段：%		避難所での相談体制の確保	避難所でのコミュニケーション手段の確保と情報交換	その他	特に不安はない	無回答
全体		279 14.8	101 5.4	105 5.6	279 14.8	269 14.3
ライフステージ別	乳幼児期（6歳未満）	3 18.8	2 12.5	3 18.8	1 6.3	1 6.3
	児童期（6歳～12歳）	7 13.5	5 9.6	3 5.8	6 11.5	5 9.6
	思春期（13歳～19歳）	7 15.9	2 4.5	3 6.8	8 18.2	4 9.1
	青年期（20歳～39歳）	48 20.3	14 5.9	19 8.1	46 19.5	24 10.2
	壮年期（40歳～64歳）	80 14.8	24 4.4	42 7.8	111 20.5	57 10.5
	高齢期（65歳以上）	131 13.4	53 5.4	35 3.6	107 10.9	169 17.3
	無回答	3 21.4	1 7.1	0 0.0	0 0.0	9 64.3

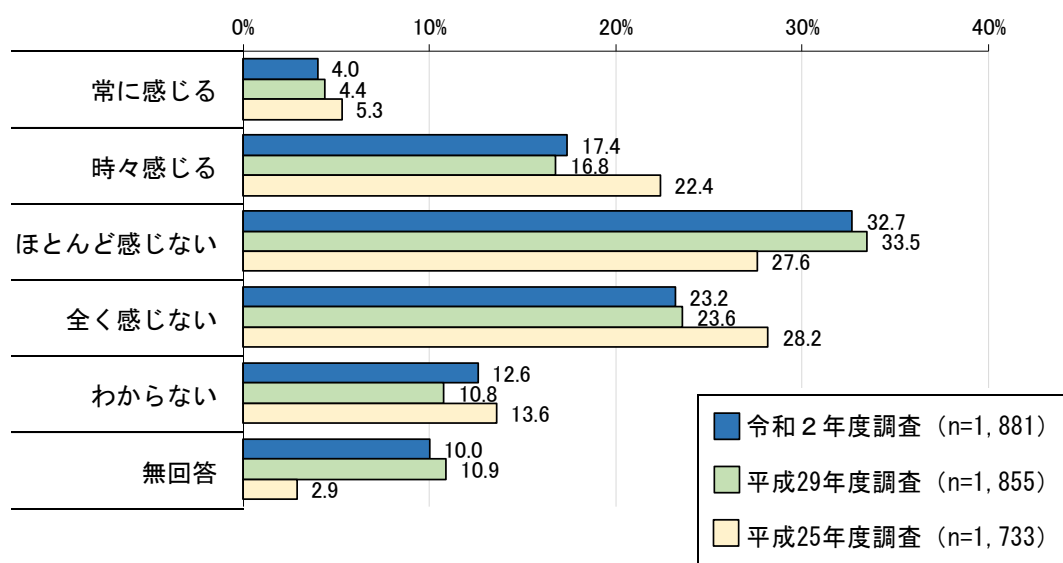
## 差別の解消や権利擁護について

問 50-1 あなたやあなたの家族は、日常生活の中で障がい者への差別や偏見、人権侵害等を感じることはありますか。(〇は1つ)

## 経年比較

○全体では「ほとんど感じない」が32.7%と最も高く、次いで「全く感じない」が23.2%となっている。

○前回と比較すると、「常を感じる」「時々感じる」を合計した『差別を感じる』は約2割となり、前回と大きな変化はみられない。



障害別

○障害別にみると身体障害では、「ほとんど感じない」が35.4%と最も高く、次いで「全く感じない」が27.7%となっている。

○知的障害、発達障害では、「時々感じる」が3割以上と最も高く、「常を感じる」と合計すると4割以上となっており、「ほとんど感じない」「全く感じない」の合計をそれぞれ上回っている。

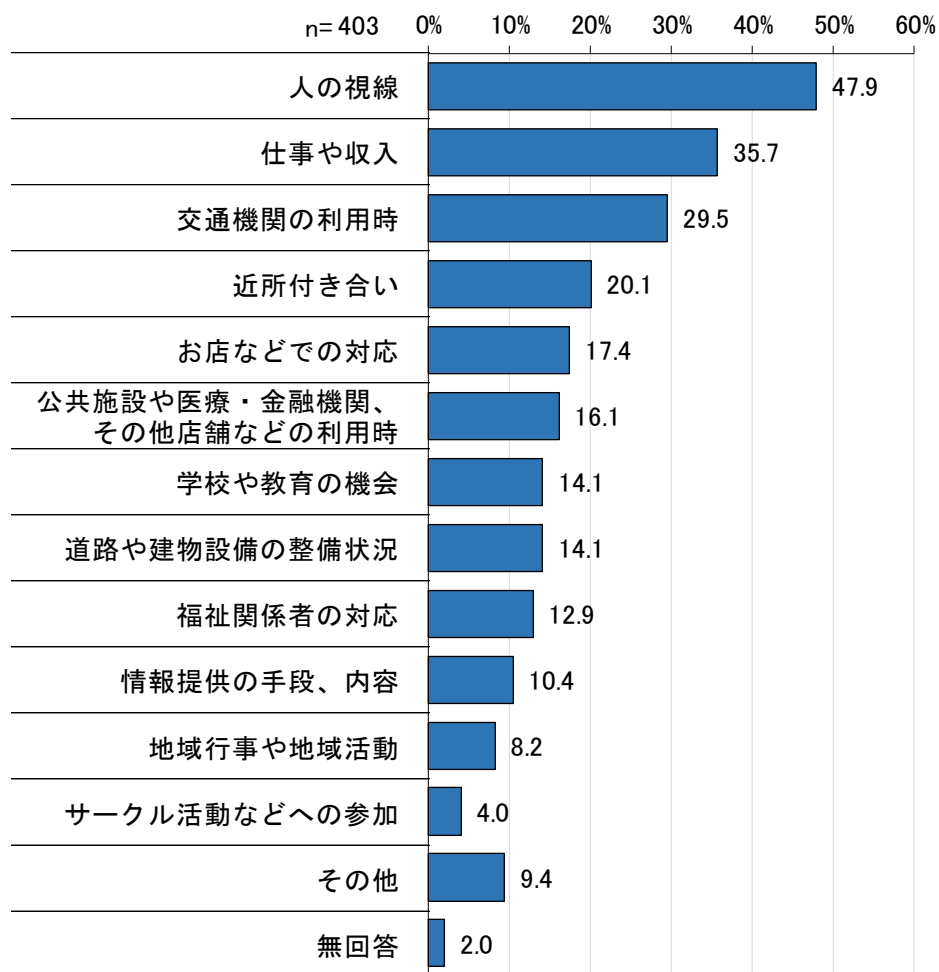
		全体	常 に 感 じ る	時 々 感 じ る	ほ と ん ど 感 じ な い	全 く 感 じ な い	わ か ら な い	無 回 答
上段：度数 下段：%								
全体		1,881 100.0	75 4.0	328 17.4	615 32.7	437 23.2	237 12.6	189 10.0
障害別	身体障害	989 100.0	28 2.8	123 12.4	350 35.4	274 27.7	93 9.4	121 12.2
	知的障害	201 100.0	19 9.5	71 35.3	47 23.4	20 10.0	30 14.9	14 7.0
	発達障害	122 100.0	14 11.5	46 37.7	24 19.7	8 6.6	19 15.6	11 9.0
	精神障害	397 100.0	25 6.3	117 29.5	120 30.2	46 11.6	66 16.6	23 5.8
	高次脳機能障害	35 100.0	4 11.4	7 20.0	14 40.0	6 17.1	4 11.4	0 0.0
	難病（特定疾患）	318 100.0	6 1.9	39 12.3	109 34.3	102 32.1	40 12.6	22 6.9
	無回答	86 100.0	4 4.7	7 8.1	28 32.6	13 15.1	18 20.9	16 18.6

## 《問 50-1 で 1 または 2 とお答えの方におたずねします》

問 50-2 どのようなところに差別や偏見、人権侵害などを感じますか。  
(〇はいくつでも)

全体

○全体では「人の視線」が 47.9%と最も高く、次いで「仕事や収入」が 35.7%、「交通機関の利用時」が 29.5%となっている。



障害別

○障害別にみると、身体障害では「人の視線」が43.0%と最も高くなっており、次いで「交通機関の利用時」が31.1%となっている。

○発達障害では「人の視線」が50.0%と最も高くなっており、次いで「仕事や収入」が36.7%となっている。

上段：度数 下段：%		全体	人の視線	仕事や収入	交通機関の利用時	近所付き合い	お店などでの対応	金融機関、医療・その他・店舗などの利用時	公共施設や	学校や教育の機会
全体		403 100.0	193 47.9	144 35.7	119 29.5	81 20.1	70 17.4	65 16.1	57 14.1	
障害別	身体障害	151 100.0	65 43.0	42 27.8	47 31.1	28 18.5	31 20.5	27 17.9	18 11.9	
	知的障害	90 100.0	57 63.3	25 27.8	28 31.1	17 18.9	17 18.9	21 23.3	19 21.1	
	発達障害	60 100.0	30 50.0	22 36.7	15 25.0	11 18.3	6 10.0	7 11.7	18 30.0	
	精神障害	142 100.0	64 45.1	64 45.1	40 28.2	34 23.9	20 14.1	18 12.7	11 7.7	
	高次脳機能障害	11 100.0	4 36.4	6 54.5	3 27.3	3 27.3	3 27.3	1 9.1	3 27.3	
	難病（特定疾患）	45 100.0	29 64.4	14 31.1	17 37.8	7 15.6	10 22.2	10 22.2	4 8.9	
	無回答	11 100.0	5 45.5	6 54.5	7 63.6	2 18.2	3 27.3	3 27.3	2 18.2	

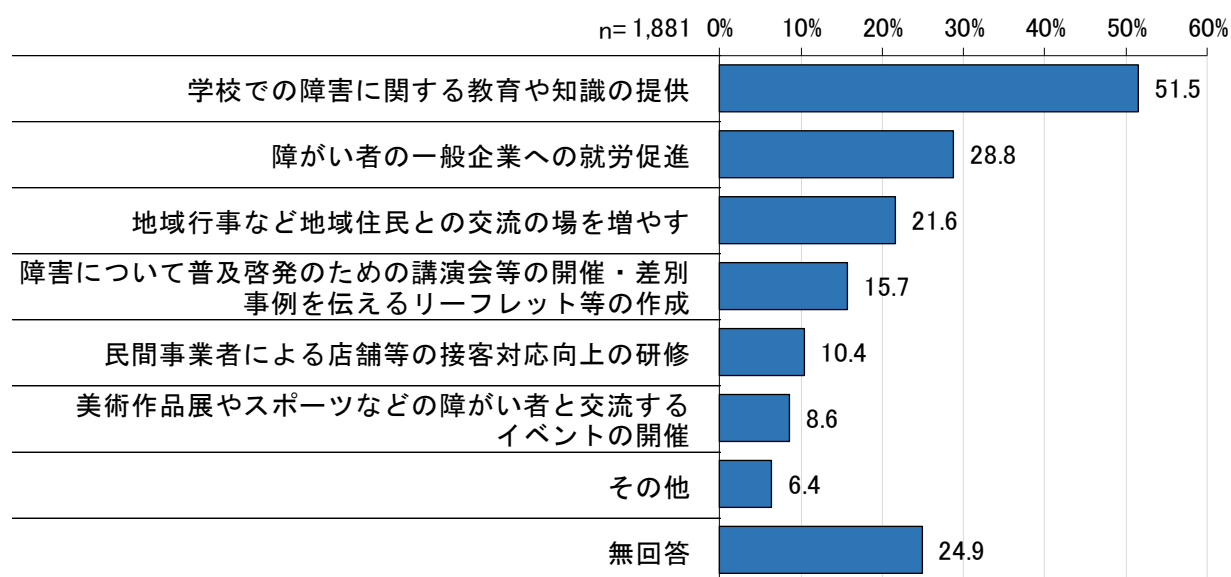
上段：度数 下段：%		道路や建物設備の整備状況	福祉関係者の対応	情報提供の手段、内容	地域行事や地域活動	サークル活動などへの参加	その他	無回答
全体		57 14.1	52 12.9	42 10.4	33 8.2	16 4.0	38 9.4	8 2.0
障害別	身体障害	38 25.2	19 12.6	18 11.9	12 7.9	7 4.6	11 7.3	6 4.0
	知的障害	8 8.9	7 7.8	6 6.7	8 8.9	2 2.2	4 4.4	0 0.0
	発達障害	1 1.7	10 16.7	3 5.0	6 10.0	3 5.0	9 15.0	0 0.0
	精神障害	10 7.0	22 15.5	13 9.2	4 2.8	3 2.1	17 12.0	2 1.4
	高次脳機能障害	1 9.1	1 9.1	3 27.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	難病（特定疾患）	11 24.4	9 20.0	5 11.1	5 11.1	1 2.2	8 17.8	0 0.0
	無回答	4 36.4	3 27.3	4 36.4	3 27.3	2 18.2	1 9.1	0 0.0



問 51 日常生活の中で障がい者への差別や偏見、人権侵害などをなくしていくために、地域の理解を進めていくためには、あなたは何が必要だとお考えですか。  
(〇は3つまで)

全体

○全体をみると、「学校での障害に関する教育や知識の提供」が51.5%と最も高く、次いで「障がい者の一般企業への就労促進」が28.8%、「地域行事など地域住民との交流の場を増やす」が21.6%となっている。



障害別

○障害別にみると、すべての障害において、「学校での障害に関する教育や知識の提供」が最も高く、次いで「障がい者の一般企業への就労促進」となっている。

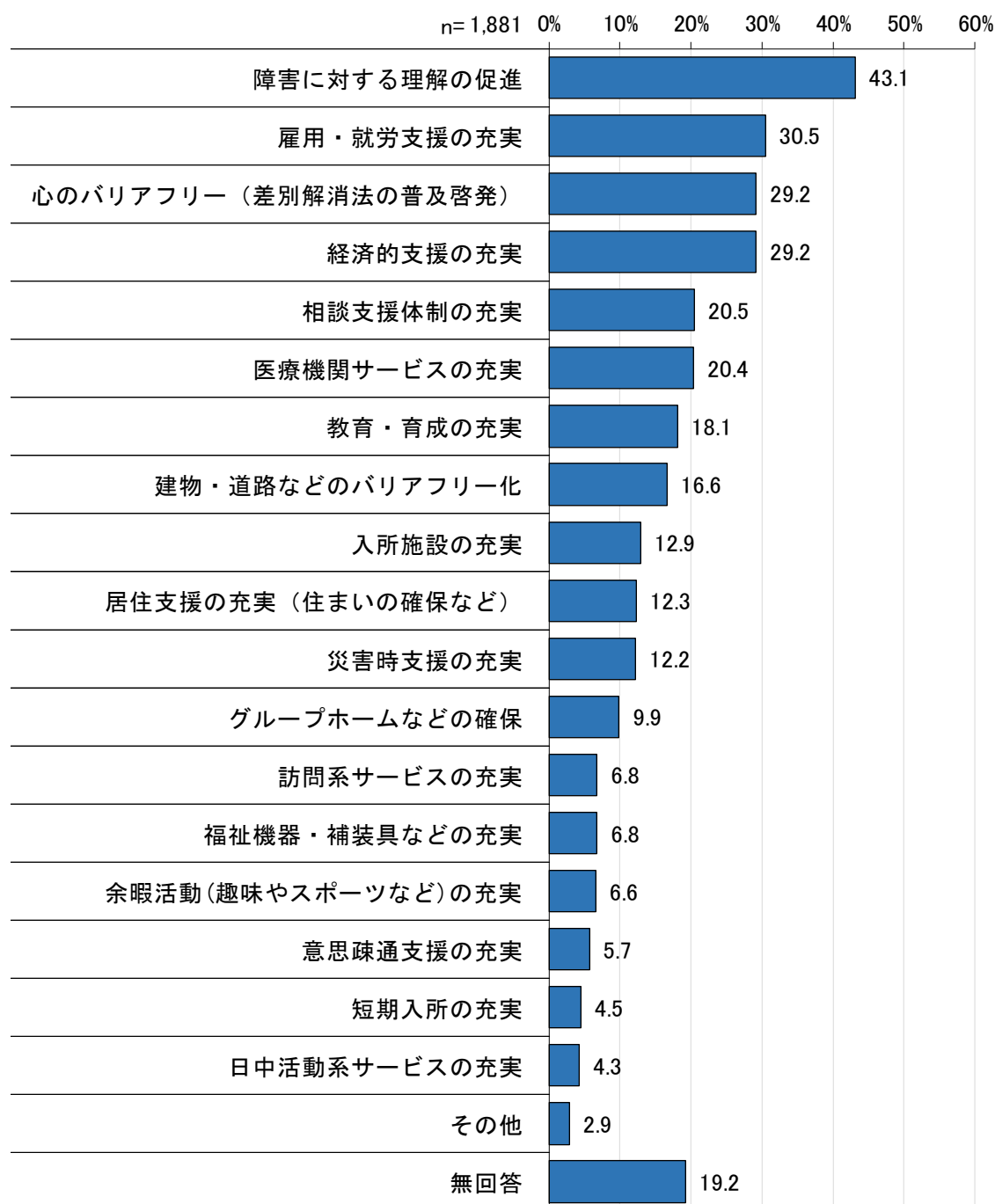
○「地域行事など地域住民との交流の場を増やす」では、知的障害が28.4%と最も高く、次いで難病が23.6%、身体障害が23.5%となっている。

	全体	学校や 教育での 知識の提 供に関する	障がい者 の一般企 業への 就労促進	地域行事 など地域 住民との 交流の場 を増やす	障がい者 の一般企 業への 就労促進	民間事業 者による 店舗等の 接客対応 向上の研 究	美術作品 展やスポ ーツの開 催者との 交流する	その他	無回答	
上段：度数 下段：%										
全体	1,881 100.0	969 51.5	541 28.8	407 21.6	296 15.7	195 10.4	162 8.6	120 6.4	469 24.9	
障害別	身体障害	989 100.0	483 48.8	239 24.2	232 23.5	146 14.8	97 9.8	76 7.7	52 5.3	298 30.1
	知的障害	201 100.0	104 51.7	71 35.3	57 28.4	34 16.9	27 13.4	29 14.4	14 7.0	30 14.9
	発達障害	122 100.0	75 61.5	47 38.5	20 16.4	23 18.9	13 10.7	10 8.2	16 13.1	13 10.7
	精神障害	397 100.0	204 51.4	148 37.3	62 15.6	79 19.9	40 10.1	29 7.3	30 7.6	73 18.4
	高次脳機能障害	35 100.0	21 60.0	14 40.0	5 14.3	5 14.3	4 11.4	4 11.4	4 11.4	7 20.0
	難病（特定疾患）	318 100.0	201 63.2	101 31.8	75 23.6	44 13.8	35 11.0	26 8.2	14 4.4	64 20.1
	無回答	86 100.0	33 38.4	14 16.3	15 17.4	10 11.6	9 10.5	10 11.6	11 12.8	32 37.2

問 52 障がい者が地域で自立して暮らしていくためには、どのような施策が必要だとお考えですか。(〇は5つまで)

全体

〇全体では、「障害に対する理解の促進」が43.1%と最も高く、次いで「雇用・就労支援の充実」が30.5%、「心のバリアフリー（差別解消法の普及啓発）」「経済的支援の充実」がともに29.2%となっている。



障害別【上位15項目】

○障害別にみると、身体障害では、「障害に対する理解の促進」が39.0%と最も高く、次いで「経済的支援の充実」が27.2%となっている。

○「雇用・就労支援の充実」においては発達障害が50.8%、「経済的支援の充実」では高次脳機能障害が40.0%となっており、他の障害と比べて高くなっている。

上段：度数 下段：%		全体	障害に対する理解の促進	雇用・就労支援の充実	心のバリアフリー (差別解消法の普及啓発)	経済的支援の充実	相談支援体制の充実	医療機関サービスの充実	教育・育成の充実
全体		1,881 100.0	811 43.1	573 30.5	550 29.2	549 29.2	385 20.5	384 20.4	341 18.1
障害別	身体障害	989 100.0	386 39.0	233 23.6	241 24.4	269 27.2	150 15.2	209 21.1	167 16.9
	知的障害	201 100.0	97 48.3	74 36.8	55 27.4	57 28.4	61 30.3	26 12.9	33 16.4
	発達障害	122 100.0	67 54.9	62 50.8	34 27.9	36 29.5	49 40.2	20 16.4	36 29.5
	精神障害	397 100.0	194 48.9	159 40.1	156 39.3	138 34.8	112 28.2	95 23.9	66 16.6
	高次脳機能障害	35 100.0	15 42.9	9 25.7	13 37.1	14 40.0	8 22.9	7 20.0	3 8.6
	難病（特定疾患）	318 100.0	141 44.3	109 34.3	115 36.2	116 36.5	67 21.1	71 22.3	66 20.8
	無回答	86 100.0	30 34.9	15 17.4	17 19.8	14 16.3	14 16.3	13 15.1	19 22.1

上段：度数 下段：%		バリアフリーなどの 建物・道路などの 充実	入所施設の充実	居住支援の充実 (住まいの確保など)	災害時支援の充実	グループホームなどの確保	訪問系サービスの充実	福祉機器・補装具などの 充実	余暇活動 (趣味やスポーツなど) の 充実
全体		312 16.6	243 12.9	231 12.3	230 12.2	186 9.9	127 6.8	127 6.8	125 6.6
障害別	身体障害	215 21.7	138 14.0	111 11.2	145 14.7	59 6.0	67 6.8	99 10.0	62 6.3
	知的障害	13 6.5	45 22.4	23 11.4	24 11.9	79 39.3	9 4.5	5 2.5	28 13.9
	発達障害	7 5.7	12 9.8	10 8.2	11 9.0	20 16.4	6 4.9	2 1.6	9 7.4
	精神障害	30 7.6	29 7.3	57 14.4	39 9.8	39 9.8	23 5.8	14 3.5	21 5.3
	高次脳機能障害	7 20.0	8 22.9	3 8.6	4 11.4	6 17.1	4 11.4	3 8.6	3 8.6
	難病（特定疾患）	61 19.2	40 12.6	47 14.8	35 11.0	26 8.2	29 9.1	27 8.5	18 5.7
	無回答	15 17.4	12 14.0	5 5.8	11 12.8	9 10.5	10 11.6	3 3.5	2 2.3

## ライフステージ別【上位15項目】

○ライフステージ別にみると、「障害に対する理解の促進」は思春期、高齢期以外の障害では5割を超えている。

○「雇用・就労支援の充実」においては、青年期が49.6%と最も高くなっており、児童期、思春期、壮年期でも4割を超えている。

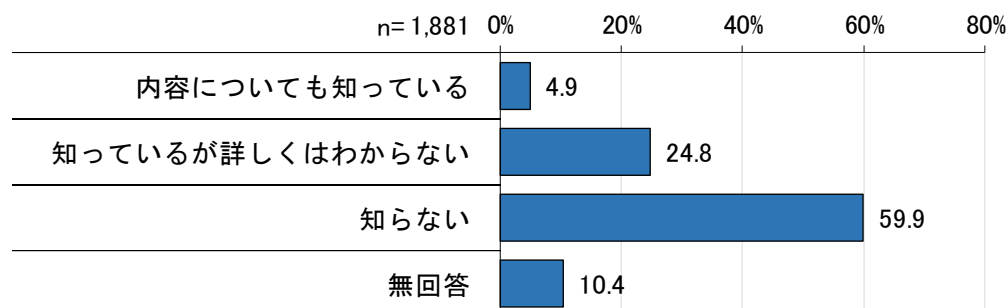
上段：度数 下段：%		全体	障害に対する理解の促進	雇用・就労支援の充実	（心のバリアフリー （差別解消法の普及啓発）	経済的支援の充実	相談支援体制の充実	医療機関サービスの充実	教育・育成の充実
全体		1,881 100.0	811 43.1	573 30.5	550 29.2	549 29.2	385 20.5	384 20.4	341 18.1
ライフステージ別	乳幼児期（6歳未満）	16 100.0	8 50.0	2 12.5	5 31.3	2 12.5	6 37.5	3 18.8	7 43.8
	児童期（6歳～12歳）	52 100.0	30 57.7	24 46.2	15 28.8	11 21.2	11 21.2	6 11.5	27 51.9
	思春期（13歳～19歳）	44 100.0	14 31.8	21 47.7	11 25.0	10 22.7	15 34.1	9 20.5	11 25.0
	青年期（20歳～39歳）	236 100.0	128 54.2	117 49.6	82 34.7	79 33.5	70 29.7	46 19.5	48 20.3
	壮年期（40歳～64歳）	541 100.0	271 50.1	233 43.1	201 37.2	201 37.2	129 23.8	102 18.9	103 19.0
	高齢期（65歳以上）	978 100.0	360 36.8	174 17.8	235 24.0	246 25.2	154 15.7	217 22.2	143 14.6
	無回答	14 100.0	0 0.0	2 14.3	1 7.1	0 0.0	0 0.0	1 7.1	2 14.3

上段：度数 下段：%		建築物・道路などのバリアフリー化	入所施設の充実	（住まいの確保など） 居住支援の充実	災害時支援の充実	グループホームなどの確保	訪問系サービスの充実	福祉機器・補装具などの充実	余暇活動やスポーツなどの充実
全体		312 16.6	243 12.9	231 12.3	230 12.2	186 9.9	127 6.8	127 6.8	125 6.6
ライフステージ別	乳幼児期（6歳未満）	0 0.0	1 6.3	1 6.3	1 6.3	2 12.5	1 6.3	1 6.3	0 0.0
	児童期（6歳～12歳）	3 5.8	8 15.4	6 11.5	5 9.6	8 15.4	3 5.8	2 3.8	5 9.6
	思春期（13歳～19歳）	8 18.2	7 15.9	5 11.4	3 6.8	10 22.7	2 4.5	4 9.1	4 9.1
	青年期（20歳～39歳）	28 11.9	32 13.6	34 14.4	25 10.6	52 22.0	9 3.8	9 3.8	20 8.5
	壮年期（40歳～64歳）	77 14.2	36 6.7	85 15.7	59 10.9	50 9.2	41 7.6	26 4.8	37 6.8
	高齢期（65歳以上）	195 19.9	157 16.1	100 10.2	135 13.8	62 6.3	71 7.3	85 8.7	59 6.0
	無回答	1 7.1	2 14.3	0 0.0	2 14.3	2 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問 53 あなたは、「障害者差別解消法」を知っていますか。(〇は1つ)

全体

〇全体をみると、「知らない」が59.9%と最も高くなっており、次いで「知っているが詳しくはわからない」が24.8%となっている。



障害別

〇障害別にみると、発達障害では「内容についても知っている」が10.7%となっており、他の障害と比べて最も高くなっている。

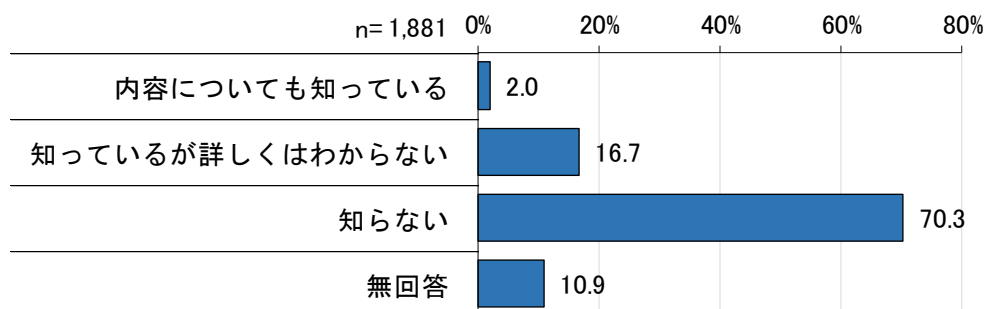
〇高次脳機能障害、難病においては「知らない」がともに6割台半ばを超えており、他の障害と比べて高くなっている。

		全体	内容についても知っている	知っているが詳しくはわからない	知らない	無回答
上段：度数 下段：%						
全体		1,881 100.0	93 4.9	466 24.8	1,126 59.9	196 10.4
障害別	身体障害	989 100.0	53 5.4	251 25.4	559 56.5	126 12.7
	知的障害	201 100.0	15 7.5	58 28.9	113 56.2	15 7.5
	発達障害	122 100.0	13 10.7	41 33.6	61 50.0	7 5.7
	精神障害	397 100.0	17 4.3	104 26.2	251 63.2	25 6.3
	高次脳機能障害	35 100.0	2 5.7	8 22.9	23 65.7	2 5.7
	難病（特定疾患）	318 100.0	15 4.7	74 23.3	207 65.1	22 6.9
	無回答	86 100.0	1 1.2	10 11.6	59 68.6	16 18.6

問 54 あなたは、令和2年7月に、「多摩市障がい者への差別をなくし共に安心して暮らすことのできるまちづくり条例」ができたことを知っていますか。(○は1つ)

全体

○全体では「知らない」が70.3%と最も高く、次いで「知っているが詳しくはわからない」が16.7%となっている。



障害別

○障害別にみると、「内容についても知っている」と「知っているが詳しくはわからない」を合計した『知っている』は、知的障害と高次脳機能障害とともに22.9%、次いで身体障害が20.3%となっている。

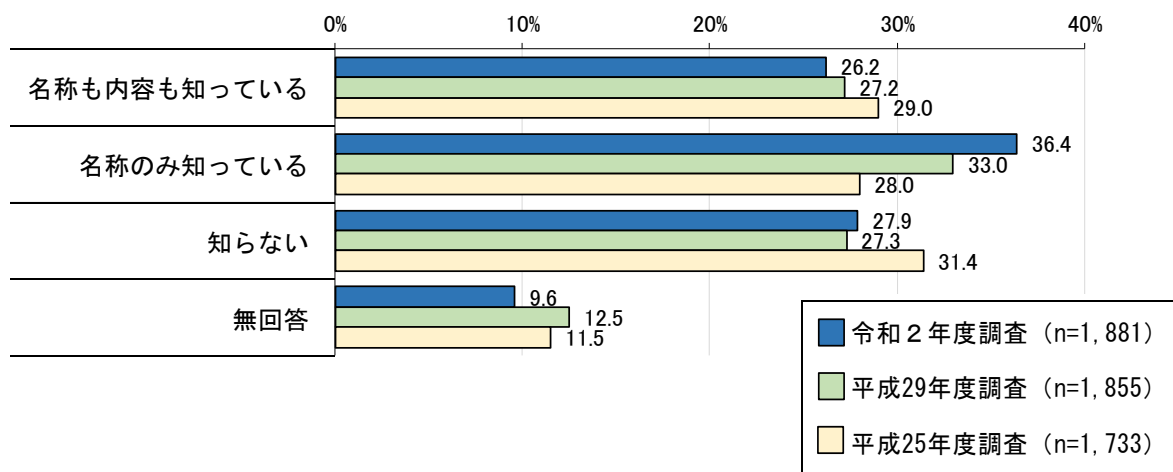
○「知らない」は精神障害で78.6%と最も高く、次いで発達障害で73.8%、難病で73.6%となっている。

上段：度数 下段：%		全体	内容についても知っている	知っているが詳しくはわからない	知らない	無回答
全体		1,881 100.0	38 2.0	315 16.7	1,323 70.3	205 10.9
障害別	身体障害	989 100.0	19 1.9	182 18.4	659 66.6	129 13.0
	知的障害	201 100.0	7 3.5	39 19.4	142 70.6	13 6.5
	発達障害	122 100.0	4 3.3	20 16.4	90 73.8	8 6.6
	精神障害	397 100.0	7 1.8	53 13.4	312 78.6	25 6.3
	高次脳機能障害	35 100.0	1 2.9	7 20.0	23 65.7	4 11.4
	難病（特定疾患）	318 100.0	5 1.6	57 17.9	234 73.6	22 6.9
	無回答	86 100.0	0 0.0	11 12.8	57 66.3	18 20.9

問 55 あなたは、「成年後見制度」を知っていますか。(〇は1つ)

経年比較

- 全体では、「名称のみ知っている」が36.4%と最も高くなっている。
- 前回と比較すると、「名称のみ知っている」は3.4ポイント増加、「名称も内容も知っている」は1.0ポイント減少している。



障害別

- 障害別にみると、「名称も内容も知っている」と「名称のみ知っている」を合計した『知っている』は難病で73.0%と最も高くなっており、次いで身体障害の63.4%となっている。また、すべての障害で『知っている』は5割を超えている。
- 「知らない」は知的障害で39.8%と最も高くなっており、次いで高次脳機能障害が34.3%となっている。

		全体	名称も内容も知っている	名称のみ知っている	知らない	無回答
上段：度数 下段：%						
全体		1,881 100.0	493 26.2	684 36.4	524 27.9	180 9.6
障害別	身体障害	989 100.0	278 28.1	349 35.3	249 25.2	113 11.4
	知的障害	201 100.0	50 24.9	59 29.4	80 39.8	12 6.0
	発達障害	122 100.0	33 27.0	43 35.2	39 32.0	7 5.7
	精神障害	397 100.0	95 23.9	153 38.5	127 32.0	22 5.5
	高次脳機能障害	35 100.0	10 28.6	10 28.6	12 34.3	3 8.6
	難病（特定疾患）	318 100.0	103 32.4	129 40.6	68 21.4	18 5.7
	無回答	86 100.0	12 14.0	25 29.1	31 36.0	18 20.9



## ライフステージ別

○ライフステージ別にみると、「名称も内容も知っている」では壮年期で28.8%と最も高くなっている。

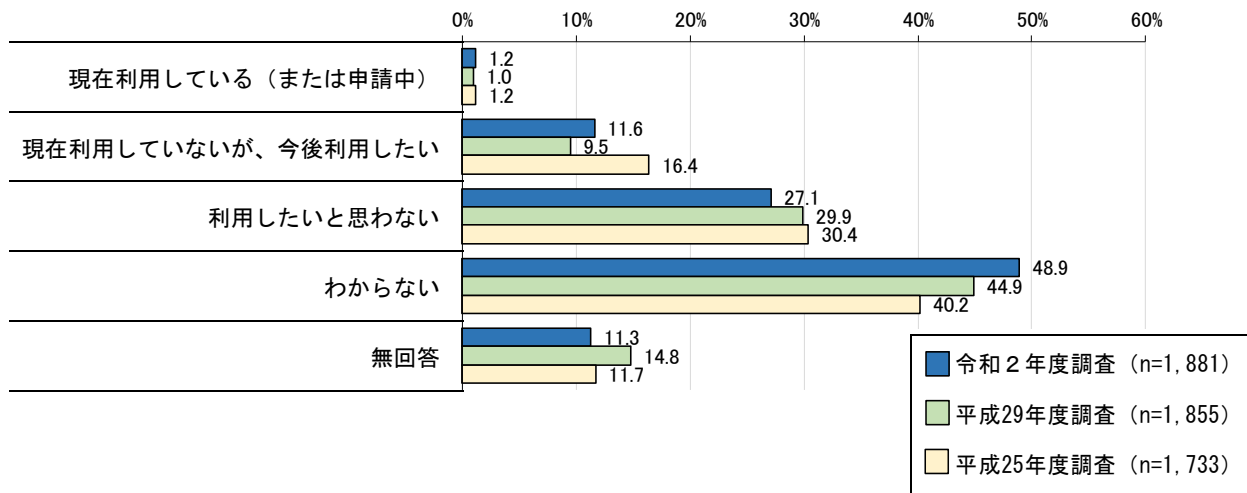
○「知らない」は思春期の50.0%が最も高く、以降ライフステージが進むごとに減少している。

		全体	名称も内容も知っている	名称のみ知っている	知らない	無回答
上段：度数 下段：%						
全体		1,881 100.0	493 26.2	684 36.4	524 27.9	180 9.6
ライフ ス テ ー ジ 別	乳幼児期（6歳未満）	16 100.0	3 18.8	8 50.0	4 25.0	1 6.3
	児童期（6歳～12歳）	52 100.0	14 26.9	16 30.8	18 34.6	4 7.7
	思春期（13歳～19歳）	44 100.0	8 18.2	14 31.8	22 50.0	0 0.0
	青年期（20歳～39歳）	236 100.0	55 23.3	85 36.0	87 36.9	9 3.8
	壮年期（40歳～64歳）	541 100.0	156 28.8	202 37.3	153 28.3	30 5.5
	高齢期（65歳以上）	978 100.0	256 26.2	357 36.5	236 24.1	129 13.2
	無回答	14 100.0	1 7.1	2 14.3	4 28.6	7 50.0

問 56 あなたは、「成年後見制度」を利用したいですか。(〇は1つ)

経年比較

- 全体では「わからない」が 48.9%と最も高く、次いで「利用したいと思わない」が 27.1%となっている。
- 前回と比較すると「わからない」で 4.0 ポイント、「現在利用していないが、今後利用したい」では 2.1 ポイント増加している。



障害別

- 障害別にみると、精神障害では「利用したいと思わない」が 31.2%と最も高くなっており、次いで難病が 28.9%、身体障害が 28.0%となっている。
- 知的障害では「現在利用していないが、今後利用したい」が 33.8%で、他の障害と比べて高くなっている。

上段：度数 下段：%		全体	（現在利用している または申請中）	現在利用していないが、 今後利用したい	利用したいと思わない	わからない	無回答
全体		1,881 100.0	22 1.2	218 11.6	510 27.1	919 48.9	212 11.3
障害別	身体障害	989 100.0	15 1.5	90 9.1	277 28.0	467 47.2	140 14.2
	知的障害	201 100.0	7 3.5	68 33.8	17 8.5	94 46.8	15 7.5
	発達障害	122 100.0	1 0.8	27 22.1	25 20.5	61 50.0	8 6.6
	精神障害	397 100.0	6 1.5	47 11.8	124 31.2	197 49.6	23 5.8
	高次脳機能障害	35 100.0	3 8.6	3 8.6	8 22.9	19 54.3	2 5.7
	難病（特定疾患）	318 100.0	1 0.3	37 11.6	92 28.9	161 50.6	27 8.5
	無回答	86 100.0	0 0.0	4 4.7	23 26.7	43 50.0	16 18.6

## ライフステージ別

○ライフステージ別にみると「現在利用していないが、今後利用したい」は思春期において22.7%と最も高く、次いで青年期20.3%となっている。

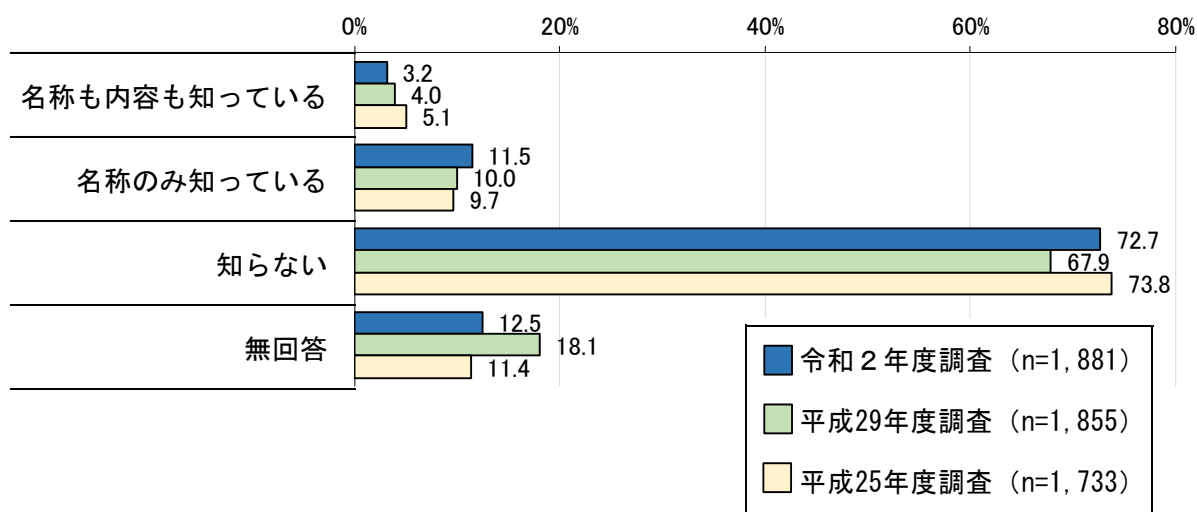
○「利用したいと思わない」は壮年期において29.2%と最も高く、次いで青年期で28.8%となっている。

上段：度数 下段：%		全体	現在利用している (または申請中)	現在利用していないが、 今後利用したい	利用したいと思わない	わからない	無回答
全体		1,881 100.0	22 1.2	218 11.6	510 27.1	919 48.9	212 11.3
ライフ ス テ ー ジ 別	乳幼児期（6歳未満）	16 100.0	1 6.3	3 18.8	1 6.3	10 62.5	1 6.3
	児童期（6歳～12歳）	52 100.0	0 0.0	9 17.3	5 9.6	33 63.5	5 9.6
	思春期（13歳～19歳）	44 100.0	0 0.0	10 22.7	6 13.6	28 63.6	0 0.0
	青年期（20歳～39歳）	236 100.0	3 1.3	48 20.3	68 28.8	106 44.9	11 4.7
	壮年期（40歳～64歳）	541 100.0	2 0.4	64 11.8	158 29.2	283 52.3	34 6.3
	高齢期（65歳以上）	978 100.0	15 1.5	84 8.6	272 27.8	453 46.3	154 15.7
	無回答	14 100.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0	6 42.9	7 50.0

問 57 あなたは、「地域福祉権利擁護事業」を知っていますか。(〇は1つ)

経年比較

- 全体では「知らない」が 72.7%で最も高く、次いで「名称のみ知っている」が 11.5%となっている。
- 前回と比較すると「知らない」が 4.8 ポイント、「名称のみ知っている」 1.5 ポイント増加している。



障害別

- 障害別にみると、「名称も内容も知っている」と「名称のみ知っている」を合計した『知っている』は高次脳機能障害で 20.0%と最も高くなっており、次いで知的障害が 18.9%、身体障害が 16.5%となっている。
- 「知らない」は発達障害が 78.7%と最も高くなっており、すべての障害において6割以上となっている。

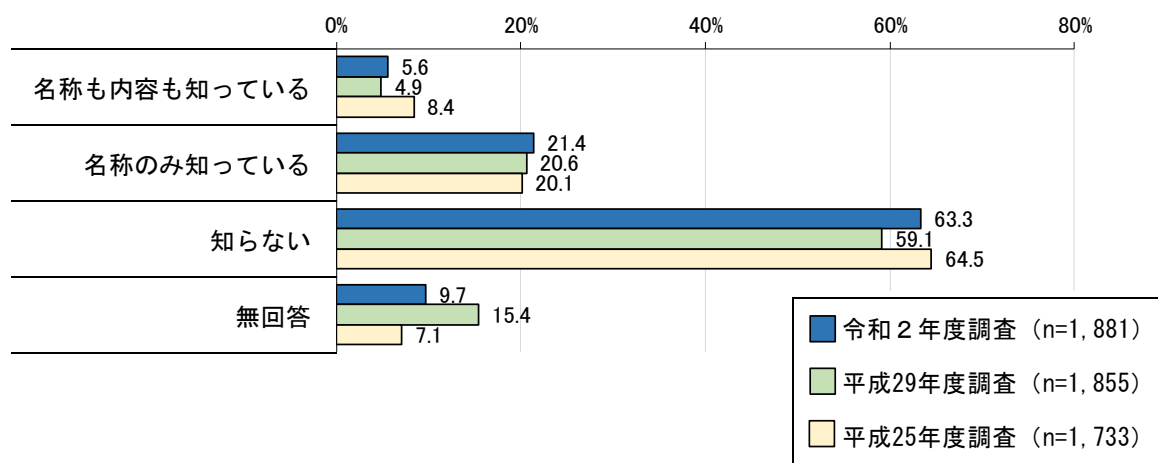
		全体	名称も内容も知っている	名称のみ知っている	知らない	無回答
上段：度数 下段：%						
全体		1,881 100.0	61 3.2	217 11.5	1,367 72.7	236 12.5
障害別	身体障害	989 100.0	34 3.4	130 13.1	680 68.8	145 14.7
	知的障害	201 100.0	11 5.5	27 13.4	149 74.1	14 7.0
	発達障害	122 100.0	3 2.5	13 10.7	96 78.7	10 8.2
	精神障害	397 100.0	10 2.5	42 10.6	312 78.6	33 8.3
	高次脳機能障害	35 100.0	2 5.7	5 14.3	25 71.4	3 8.6
	難病（特定疾患）	318 100.0	9 2.8	32 10.1	241 75.8	36 11.3
	無回答	86 100.0	3 3.5	4 4.7	62 72.1	17 19.8

問 58 あなたは、多摩市の「総合オンブズマン」を知っていますか。(〇は1つ)

### 経年比較

○全体では「知らない」が 63.3%で最も高く、次いで「名称のみ知っている」が 21.4%となっている。

○前回と比較すると「知らない」が 4.2 ポイント増加している。



### 障害別

○障害別にみると「名称も内容も知っている」と「名称のみ知っている」を合計した『知っている』は、高次脳機能障害が 40.0%と最も高くなっている。

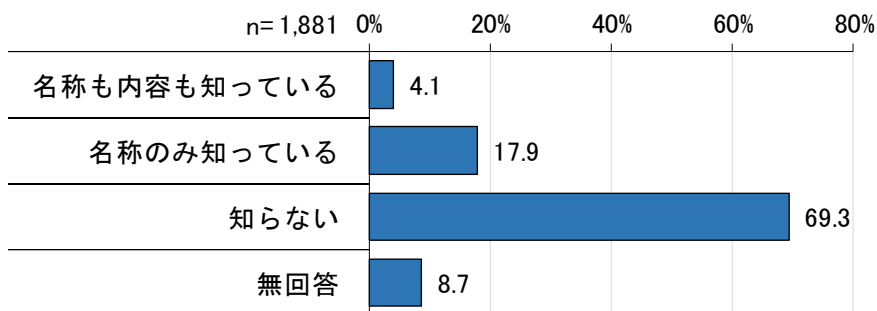
○「知らない」は精神障害で 71.3%と最も高くなっており、次いで難病が 67.3%、発達障害が 66.4%となっている。

		全体	名称も内容も知っている	名称のみ知っている	知らない	無回答
上段：度数 下段：%						
全体		1,881 100.0	106 5.6	403 21.4	1,190 63.3	182 9.7
障害別	身体障害	989 100.0	59 6.0	240 24.3	569 57.5	121 12.2
	知的障害	201 100.0	22 10.9	42 20.9	128 63.7	9 4.5
	発達障害	122 100.0	7 5.7	28 23.0	81 66.4	6 4.9
	精神障害	397 100.0	17 4.3	73 18.4	283 71.3	24 6.0
	高次脳機能障害	35 100.0	4 11.4	10 28.6	17 48.6	4 11.4
	難病（特定疾患）	318 100.0	15 4.7	76 23.9	214 67.3	13 4.1
	無回答	86 100.0	2 2.3	8 9.3	57 66.3	19 22.1

問 59 あなたは、「障害者虐待防止センター」を知っていますか。(〇は1つ)

全体

○全体では「名称も内容も知っている」「名称のみ知っている」の合計は 22.0%で、「知らない」は 69.3%となっている。



障害別

○障害別にみると「名称も内容も知っている」と「名称のみ知っている」を合計した『知っている』は、高次脳機能障害で 25.7%と最も高くなっており、次いで発達障害が 24.6%、身体障害、知的障害がともに 23.4%となっている。

○「知らない」は精神障害で 74.3%と最も高くなっており、すべての障害で6割を超えている。

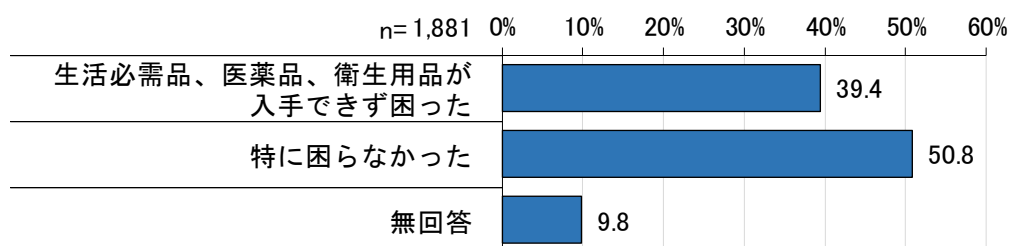
		全体	名称も内容も知っている	名称のみ知っている	知らない	無回答
上段：度数 下段：%						
全体		1,881 100.0	77 4.1	337 17.9	1,303 69.3	164 8.7
障害別	身体障害	989 100.0	39 3.9	193 19.5	647 65.4	110 11.1
	知的障害	201 100.0	10 5.0	37 18.4	146 72.6	8 4.0
	発達障害	122 100.0	7 5.7	23 18.9	87 71.3	5 4.1
	精神障害	397 100.0	20 5.0	60 15.1	295 74.3	22 5.5
	高次脳機能障害	35 100.0	3 8.6	6 17.1	22 62.9	4 11.4
	難病（特定疾患）	318 100.0	10 3.1	60 18.9	234 73.6	14 4.4
	無回答	86 100.0	2 2.3	10 11.6	60 69.8	14 16.3

## 新型コロナウイルス感染拡大による影響

問 60 今回の新型コロナウイルスの感染拡大により、生活必需品、医薬品、衛生用品を入手できずに困ったことはありませんでしたか。(〇は1つ)

## 全体

〇全体では「特に困らなかった」が50.8%、「生活必需品、医薬品、衛生用品が入手できずに困った」が39.4%となっている。



## 障害別

〇障害別にみると、「生活必需品、医薬品、衛生用品が入手できずに困った」は発達障害で56.6%と最も高く、次いで精神障害が48.9%、知的障害が47.8%となっている。

〇「特に困らなかった」は身体障害で53.9%と最も高く、すべての障害で4割を超えている。

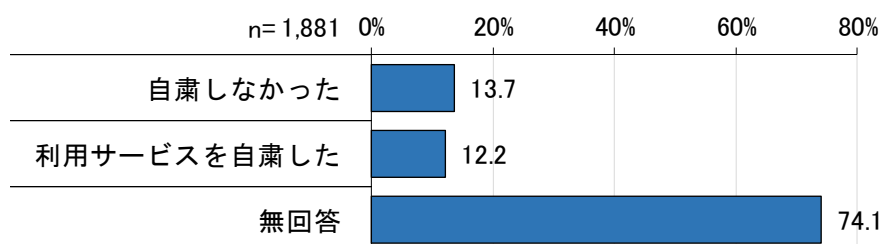
		全体	困った 生活必需品、 医薬品、 衛生用品が 入手できず	特に 困らな かった	無 回 答
上段：度数 下段：%					
全体		1,881 100.0	742 39.4	955 50.8	184 9.8
障害別	身体障害	989 100.0	338 34.2	533 53.9	118 11.9
	知的障害	201 100.0	96 47.8	93 46.3	12 6.0
	発達障害	122 100.0	69 56.6	49 40.2	4 3.3
	精神障害	397 100.0	194 48.9	179 45.1	24 6.0
	高次脳機能障害	35 100.0	13 37.1	18 51.4	4 11.4
	難病（特定疾患）	318 100.0	139 43.7	161 50.6	18 5.7
	無回答	86 100.0	24 27.9	42 48.8	20 23.3

《「障害者総合支援法」、「児童福祉法」の福祉サービスを利用されている方におたずねします》

問 61-1 今回の新型コロナウイルスの感染拡大により、利用サービスを自粛しましたか。  
(○は1つ)

全体

○全体では「自粛しなかった」が13.7%、「利用サービスを自粛した」が12.2%となっている。



障害別

○障害別にみると、「利用サービスを自粛した」は知的障害で35.3%と最も高く、次いで発達障害が34.4%、高次脳機能障害が17.1%となっている。

○「自粛しなかった」は精神障害が18.6%と最も高く、次いで高次脳機能障害が17.1%、知的障害が14.9%となっている。

		全体	利用サービスを自粛した	自粛しなかった	無回答
上段：度数 下段：%					
全体		1,881 100.0	230 12.2	257 13.7	1,394 74.1
障害別	身体障害	989 100.0	84 8.5	134 13.5	771 78.0
	知的障害	201 100.0	71 35.3	30 14.9	100 49.8
	発達障害	122 100.0	42 34.4	16 13.1	64 52.5
	精神障害	397 100.0	50 12.6	74 18.6	273 68.8
	高次脳機能障害	35 100.0	6 17.1	6 17.1	23 65.7
	難病（特定疾患）	318 100.0	24 7.5	30 9.4	264 83.0
	無回答	86 100.0	8 9.3	11 12.8	67 77.9

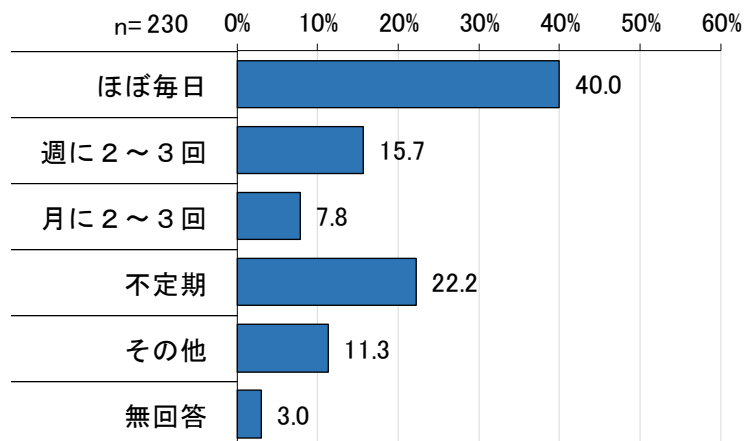


## 《問 61-1 で 1 と答えた方におたずねします》

問 61-2 どの程度自粛しましたか。(○は1つ)

## 全体

○全体では「ほぼ毎日」が40.0%と最も高く、次いで「不定期」が22.2%となっている。



## 障害別

○障害別にみると、「ほぼ毎日」は発達障害で54.8%と最も高く、次いで知的障害が46.5%、難病が45.8%となっている。

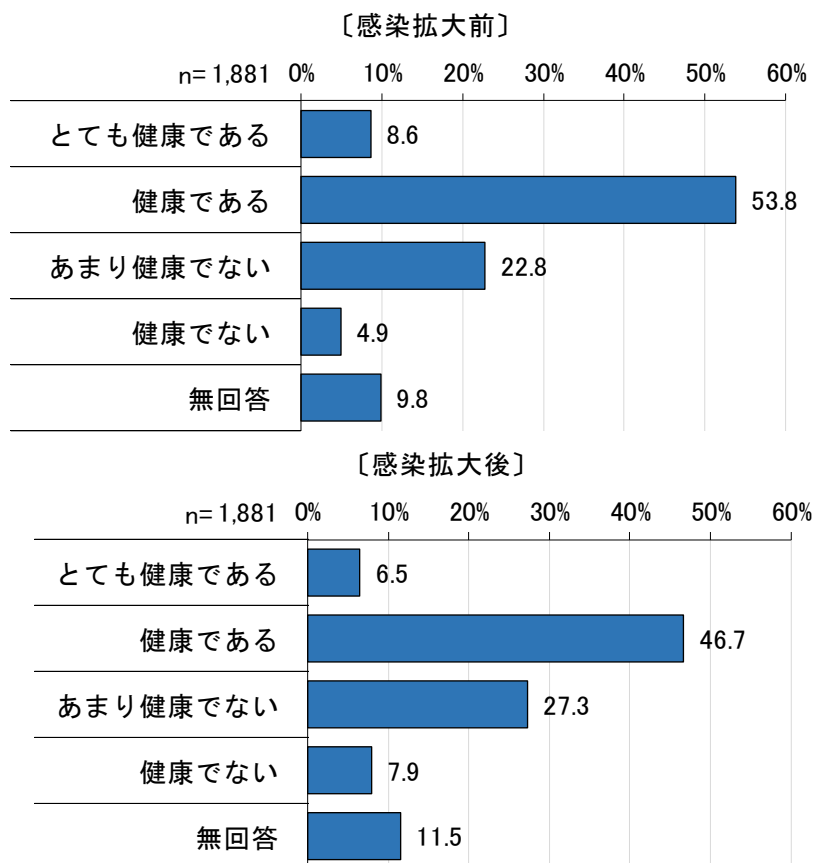
○「ほぼ毎日」と「週に2~3回」を合計すると、高次脳機能障害が83.3%と最も高く、次いで知的障害が66.2%、発達障害が64.3%となっている。

		全体	ほぼ毎日	週に2~3回	月に2~3回	不定期	その他	無回答
上段：度数 下段：%								
全体		230 100.0	92 40.0	36 15.7	18 7.8	51 22.2	26 11.3	7 3.0
障害別	身体障害	84 100.0	28 33.3	17 20.2	9 10.7	12 14.3	13 15.5	5 6.0
	知的障害	71 100.0	33 46.5	14 19.7	2 2.8	15 21.1	6 8.5	1 1.4
	発達障害	42 100.0	23 54.8	4 9.5	2 4.8	8 19.0	4 9.5	1 2.4
	精神障害	50 100.0	17 34.0	7 14.0	6 12.0	13 26.0	7 14.0	0 0.0
	高次脳機能障害	6 100.0	2 33.3	3 50.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0
	難病（特定疾患）	24 100.0	11 45.8	2 8.3	2 8.3	8 33.3	1 4.2	0 0.0
	無回答	8 100.0	3 37.5	0 0.0	1 12.5	2 25.0	2 25.0	0 0.0

問 62 今回の新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、外出自粛したことにより、健康に変化はありましたか。(それぞれ1つずつに○)

全体

○全体では「とても健康である」と「健康である」を合計した『健康である』を、感染拡大前と感染拡大後の数値で比較すると、感染拡大前では62.4%、感染拡大後では53.2%と9.2ポイント減少している。



## 障害別

○障害別にみると、「とても健康である」と「健康である」を合計した『健康である』を、感染拡大前と感染拡大後の数値で比較すると、高次脳機能障害で14.3ポイント減少しており、次いで知的障害が14.0ポイント、発達障害が11.5ポイント減少している。

		全体	〔感染拡大前〕			〔感染拡大後〕		
			健康である	健康でない	無回答	健康である	健康でない	無回答
上段：度数 下段：%								
全体		1,881 100.0	1,174 62.4	522 27.7	185 9.8	1,002 53.2	663 35.2	216 11.5
障害別	身体障害	989 100.0	593 60.0	268 27.1	128 12.9	495 50.1	349 35.3	145 14.7
	知的障害	201 100.0	165 82.1	26 12.9	10 5.0	137 68.1	51 25.4	13 6.5
	発達障害	122 100.0	91 74.6	28 22.9	3 2.5	77 63.1	42 34.5	3 2.5
	精神障害	397 100.0	218 55.0	157 39.6	22 5.5	193 48.6	178 44.9	26 6.5
	高次脳機能障害	35 100.0	18 51.5	12 34.2	5 14.3	13 37.2	17 48.6	5 14.3
	難病（特定疾患）	318 100.0	178 56.0	116 36.5	24 7.5	162 51.0	131 41.2	25 7.9
	無回答	86 100.0	61 70.9	12 14.0	13 15.1	49 56.9	19 22.1	18 20.9

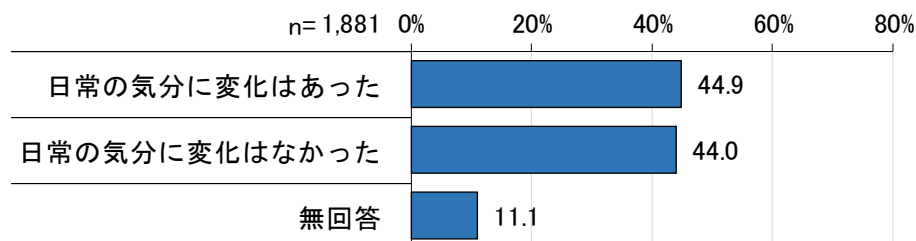
※ 『健康である』は「とても健康である」と「健康である」の合計

『健康でない』は「あまり健康でない」と「健康でない」の合計

問 63 今回の新型コロナウイルスの感染拡大により、外出自粛したことにより、明るく、楽しい気分で過ごせなくなった、気分の落ち込みがあったなど日常の気分に変化はありましたか。(〇は1つ)

全体

○全体では「日常の気分に変化はあった」が 44.9%、「日常の気分に変化はなかった」が 44.0% となっている。



障害別

○障害別にみると、「日常の気分に変化はあった」は、発達障害で 59.0%と最も高く、次いで精神障害が 54.7%、知的障害が 48.3%となっている。

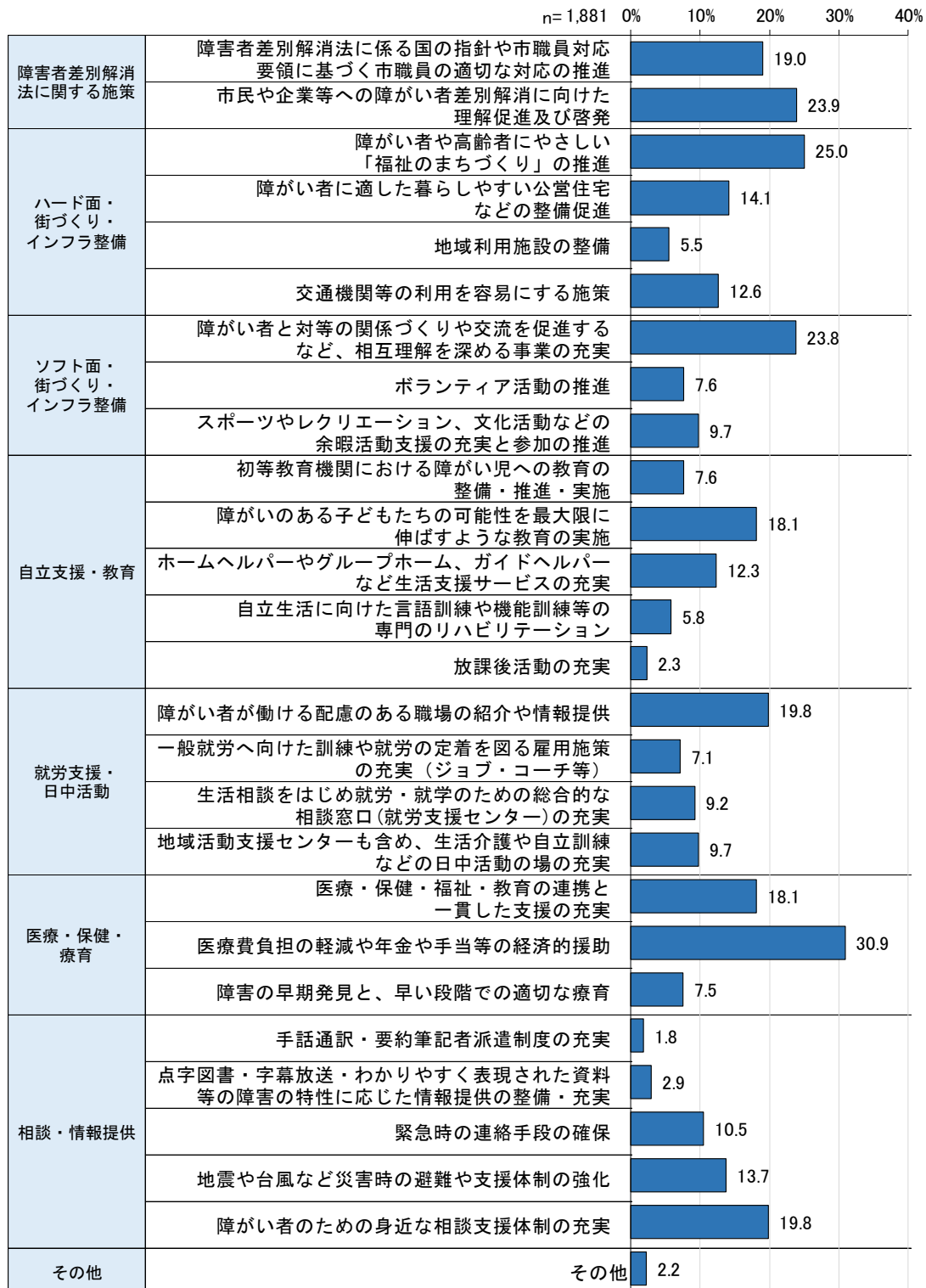
上段：度数 下段：%		全体	日常の気分に変化はあった	日常の気分に変化はなかった	無回答
全体		1,881 100.0	845 44.9	828 44.0	208 11.1
障害別	身体障害	989 100.0	406 41.1	440 44.5	143 14.5
	知的障害	201 100.0	97 48.3	91 45.3	13 6.5
	発達障害	122 100.0	72 59.0	46 37.7	4 3.3
	精神障害	397 100.0	217 54.7	157 39.5	23 5.8
	高次脳機能障害	35 100.0	13 37.1	15 42.9	7 20.0
	難病（特定疾患）	318 100.0	146 45.9	148 46.5	24 7.5
	無回答	86 100.0	24 27.9	48 55.8	14 16.3

市に望む施策

問 65 今後、多摩市の障がい者施策は、特にどのようなことを充実させていけばよいと思いますか。(各カテゴリーで○は1つもしくは無し)

全体

○全体では「医療費負担の軽減や年金や手当等の経済的援助」が30.9%と最も高く、次いで「障がい者や高齢者にやさしい「福祉のまちづくり」の推進」が25.0%となっている。



〔障害者差別解消法に関する施策〕

障害別

上段：度数 下段：%		全体	適切な対応の推進 必要な対応の推進 国の指針に基づき 障害者差別解消法に 関係する	理解促進及び啓発 市民や企業等への 啓発	無回答
全体		1,881 100.0	357 19.0	449 23.9	1,075 57.2
障害別	身体障害	989 100.0	174 17.6	199 20.1	616 62.3
	知的障害	201 100.0	57 28.4	62 30.8	82 40.8
	発達障害	122 100.0	36 29.5	46 37.7	40 32.8
	精神障害	397 100.0	85 21.4	117 29.5	195 49.1
	高次脳機能障害	35 100.0	7 20.0	10 28.6	18 51.4
	難病（特定疾患）	318 100.0	54 17.0	88 27.7	176 55.3
	無回答	86 100.0	10 11.6	13 15.1	63 73.3

ライフステージ別

上段：度数 下段：%		全体	適切な対応の推進 必要な対応の推進 国の指針に基づき 障害者差別解消法に 関係する	理解促進及び啓発 市民や企業等への 啓発	無回答
全体		1,881 100.0	357 19.0	449 23.9	1,075 57.2
ライフステージ別	乳幼児期（6歳未満）	16 100.0	6 37.5	5 31.3	5 31.3
	児童期（6歳～12歳）	52 100.0	10 19.2	22 42.3	20 38.5
	思春期（13歳～19歳）	44 100.0	11 25.0	17 38.6	16 36.4
	青年期（20歳～39歳）	236 100.0	59 25.0	88 37.3	89 37.7
	壮年期（40歳～64歳）	541 100.0	109 20.1	173 32.0	259 47.9
	高齢期（65歳以上）	978 100.0	162 16.6	143 14.6	673 68.8
	無回答	14 100.0	0 0.0	1 7.1	13 92.9

## 〔ハード面・街づくり・インフラ整備〕

## 障害別

上段：度数 下段：%		全体	推 進 一 障 が い 者 の ま ち づ く り の し	の 暮 ら し や す い 公 営 住 宅 な ど の 整 備 促 進	障 が い 者 に 適 し た 地 域 利 用 施 設 の 整 備	容 易 に す る 施 策 交 通 機 関 等 の 利 用 を	無 回 答
全体		1,881 100.0	470 25.0	266 14.1	103 5.5	237 12.6	805 42.8
障害別	身体障害	989 100.0	259 26.2	113 11.4	49 5.0	115 11.6	453 45.8
	知的障害	201 100.0	63 31.3	32 15.9	24 11.9	16 8.0	66 32.8
	発達障害	122 100.0	35 28.7	17 13.9	15 12.3	16 13.1	39 32.0
	精神障害	397 100.0	84 21.2	76 19.1	20 5.0	65 16.4	152 38.3
	高次脳機能障害	35 100.0	8 22.9	8 22.9	3 8.6	5 14.3	11 31.4
	難病（特定疾患）	318 100.0	89 28.0	54 17.0	15 4.7	47 14.8	113 35.5
	無回答	86 100.0	16 18.6	7 8.1	3 3.5	8 9.3	52 60.5

## ライフステージ別

上段：度数 下段：%		全体	推 進 一 障 が い 者 の ま ち づ く り の し	の 暮 ら し や す い 公 営 住 宅 な ど の 整 備 促 進	障 が い 者 に 適 し た 地 域 利 用 施 設 の 整 備	容 易 に す る 施 策 交 通 機 関 等 の 利 用 を	無 回 答
全体		1,881 100.0	470 25.0	266 14.1	103 5.5	237 12.6	805 42.8
ライフ ス テ ー ジ 別	乳幼児期（6歳未満）	16 100.0	3 18.8	3 18.8	2 12.5	3 18.8	5 31.3
	児童期（6歳～12歳）	52 100.0	12 23.1	4 7.7	11 21.2	6 11.5	19 36.5
	思春期（13歳～19歳）	44 100.0	10 22.7	9 20.5	3 6.8	3 6.8	19 43.2
	青年期（20歳～39歳）	236 100.0	58 24.6	46 19.5	19 8.1	46 19.5	67 28.4
	壮年期（40歳～64歳）	541 100.0	142 26.2	105 19.4	22 4.1	87 16.1	185 34.2
	高齢期（65歳以上）	978 100.0	244 24.9	99 10.1	46 4.7	92 9.4	497 50.8
	無回答	14 100.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	13 92.9

〔ソフト面・社会参加・コミュニティ〕

障害別

上段：度数 下段：%		全体	障がい者と対等の関係 づくりや交流を促進 するなど、相互理解を 深める事業の充実	ボランティア活動の推進	スポーツや レクリエーション、 文化活動などの余暇活動 支援の充実と参加の推進	無回答
全体		1,881 100.0	447 23.8	143 7.6	182 9.7	1,109 59.0
障害別	身体障害	989 100.0	198 20.0	76 7.7	89 9.0	626 63.3
	知的障害	201 100.0	71 35.3	13 6.5	35 17.4	82 40.8
	発達障害	122 100.0	41 33.6	12 9.8	12 9.8	57 46.7
	精神障害	397 100.0	124 31.2	22 5.5	34 8.6	217 54.7
	高次脳機能障害	35 100.0	9 25.7	6 17.1	2 5.7	18 51.4
	難病（特定疾患）	318 100.0	71 22.3	38 11.9	31 9.7	178 56.0
	無回答	86 100.0	13 15.1	2 2.3	6 7.0	65 75.6

ライフステージ別

上段：度数 下段：%		全体	障がい者と対等の関係 づくりや交流を促進 するなど、相互理解を 深める事業の充実	ボランティア活動の推進	スポーツや レクリエーション、 文化活動などの余暇活動 支援の充実と参加の推進	無回答
全体		1,881 100.0	447 23.8	143 7.6	182 9.7	1,109 59.0
ライフステージ別	乳幼児期（6歳未満）	16 100.0	7 43.8	0 0.0	4 25.0	5 31.3
	児童期（6歳～12歳）	52 100.0	23 44.2	1 1.9	5 9.6	23 44.2
	思春期（13歳～19歳）	44 100.0	11 25.0	3 6.8	9 20.5	21 47.7
	青年期（20歳～39歳）	236 100.0	85 36.0	19 8.1	25 10.6	107 45.3
	壮年期（40歳～64歳）	541 100.0	165 30.5	44 8.1	58 10.7	274 50.6
	高齢期（65歳以上）	978 100.0	156 16.0	76 7.8	80 8.2	666 68.1
	無回答	14 100.0	0 0.0	0 0.0	1 7.1	13 92.9



## 〔自立支援・教育〕

## 障害別

上段：度数 下段：%		全体	推 進 ・ 実 施	障 が い 児 へ の 教 育 の 整 備 ・	初 等 教 育 機 関 に お け る	伸 ば す よ う な 教 育 の 実 施	障 が い の あ る 子 ど も た ち の 可 能 性 を 最 大 限 に	生 活 支 援 サ ー ビ ス の 充 実	グ ル ー プ ホ ル ド ホ ル ド ホ ル ド ホ ル ド	ホ ー ム ホ ル ド ホ ル ド ホ ル ド	リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	自 立 生 活 に 向 け た 言 語 訓 練	放 課 後 活 動 の 充 実	無 回 答
全体		1,881 100.0	143 7.6	341 18.1	232 12.3	109 5.8	44 2.3	1,012 53.8						
障 害 別	身体障害	989 100.0	62 6.3	162 16.4	105 10.6	48 4.9	16 1.6	596 60.3						
	知的障害	201 100.0	15 7.5	35 17.4	52 25.9	11 5.5	13 6.5	75 37.3						
	発達障害	122 100.0	19 15.6	42 34.4	9 7.4	8 6.6	8 6.6	36 29.5						
	精神障害	397 100.0	32 8.1	78 19.6	58 14.6	33 8.3	8 2.0	188 47.4						
	高次脳機能障害	35 100.0	4 11.4	4 11.4	6 17.1	6 17.1	0 0.0	15 42.9						
	難病（特定疾患）	318 100.0	30 9.4	65 20.4	40 12.6	22 6.9	3 0.9	158 49.7						
	無回答	86 100.0	6 7.0	10 11.6	9 10.5	1 1.2	3 3.5	57 66.3						

## ライフステージ別

上段：度数 下段：%		全体	推 進 ・ 実 施	障 が い 児 へ の 教 育 の 整 備 ・	初 等 教 育 機 関 に お け る	伸 ば す よ う な 教 育 の 実 施	障 が い の あ る 子 ど も た ち の 可 能 性 を 最 大 限 に	生 活 支 援 サ ー ビ ス の 充 実	グ ル ー プ ホ ル ド ホ ル ド ホ ル ド	ホ ー ム ホ ル ド ホ ル ド	リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	自 立 生 活 に 向 け た 言 語 訓 練	放 課 後 活 動 の 充 実	無 回 答
全体		1,881 100.0	143 7.6	341 18.1	232 12.3	109 5.8	44 2.3	1,012 53.8						
ラ イ フ ス テ ー ジ 別	乳幼児期（6歳未満）	16 100.0	2 12.5	1 6.3	2 12.5	4 25.0	2 12.5	5 31.3						
	児童期（6歳～12歳）	52 100.0	8 15.4	23 44.2	1 1.9	2 3.8	5 9.6	13 25.0						
	思春期（13歳～19歳）	44 100.0	5 11.4	7 15.9	4 9.1	4 9.1	9 20.5	15 34.1						
	青年期（20歳～39歳）	236 100.0	24 10.2	64 27.1	40 16.9	15 6.4	6 2.5	87 36.9						
	壮年期（40歳～64歳）	541 100.0	55 10.2	107 19.8	81 15.0	42 7.8	13 2.4	243 44.9						
	高齢期（65歳以上）	978 100.0	49 5.0	139 14.2	104 10.6	42 4.3	9 0.9	635 64.9						
	無回答	14 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	14 100.0						

〔就労支援・日中活動〕

障害別

上段：度数 下段：%		全体	障 ある が 職 場 の 紹 介 や 情 報 提 供	充 就 一 実 （ 就 労 の 定 着 を 図 る 雇 用 施 策 の 充 実 （ ジ ョ ブ ・ コ ー チ 等 ）	の 窓 就 生 活 学 口 （ 就 労 支 援 セ ン タ ー ） の 充 実	な 含 地 域 の 日 中 活 動 の 充 実	無 回 答
全体		1,881 100.0	373 19.8	134 7.1	173 9.2	183 9.7	1,018 54.1
障 害 別	身体障害	989 100.0	168 17.0	50 5.1	67 6.8	99 10.0	605 61.2
	知的障害	201 100.0	48 23.9	20 10.0	24 11.9	37 18.4	72 35.8
	発達障害	122 100.0	41 33.6	19 15.6	16 13.1	11 9.0	35 28.7
	精神障害	397 100.0	106 26.7	32 8.1	50 12.6	29 7.3	180 45.3
	高次脳機能障害	35 100.0	2 5.7	4 11.4	6 17.1	2 5.7	21 60.0
	難病（特定疾患）	318 100.0	60 18.9	28 8.8	33 10.4	38 11.9	159 50.0
	無回答	86 100.0	9 10.5	4 4.7	5 5.8	6 7.0	62 72.1

ライフステージ別

上段：度数 下段：%		全体	障 ある が 職 場 の 紹 介 や 情 報 提 供	充 就 一 実 （ 就 労 の 定 着 を 図 る 雇 用 施 策 の 充 実 （ ジ ョ ブ ・ コ ー チ 等 ）	の 窓 就 生 活 学 口 （ 就 労 支 援 セ ン タ ー ） の 充 実	な 含 地 域 の 日 中 活 動 の 充 実	無 回 答
全体		1,881 100.0	373 19.8	134 7.1	173 9.2	183 9.7	1,018 54.1
ラ イ フ ス テ ー ジ 別	乳幼児期（6歳未満）	16 100.0	3 18.8	0 0.0	3 18.8	3 18.8	7 43.8
	児童期（6歳～12歳）	52 100.0	12 23.1	9 17.3	6 11.5	6 11.5	19 36.5
	思春期（13歳～19歳）	44 100.0	15 34.1	4 9.1	6 13.6	5 11.4	14 31.8
	青年期（20歳～39歳）	236 100.0	75 31.8	31 13.1	31 13.1	25 10.6	74 31.4
	壮年期（40歳～64歳）	541 100.0	156 28.8	55 10.2	64 11.8	39 7.2	227 42.0
	高齢期（65歳以上）	978 100.0	112 11.5	35 3.6	63 6.4	105 10.7	663 67.8
	無回答	14 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	14 100.0

## 〔医療・保健・療育〕

## 障害別

上段：度数 下段：%		全体	連携と一貫した福祉・教育の実	医療費負担の軽減や年金や手当等の経済的援助	障害の早期発見と、早い段階での適切な療育	無回答
全体		1,881 100.0	340 18.1	582 30.9	141 7.5	818 43.5
障害別	身体障害	989 100.0	184 18.6	272 27.5	54 5.5	479 48.4
	知的障害	201 100.0	53 26.4	67 33.3	14 7.0	67 33.3
	発達障害	122 100.0	28 23.0	38 31.1	28 23.0	28 23.0
	精神障害	397 100.0	62 15.6	151 38.0	35 8.8	149 37.5
	高次脳機能障害	35 100.0	9 25.7	9 25.7	3 8.6	14 40.0
	難病（特定疾患）	318 100.0	53 16.7	132 41.5	25 7.9	108 34.0
	無回答	86 100.0	12 14.0	14 16.3	4 4.7	56 65.1

## ライフステージ別

上段：度数 下段：%		全体	連携と一貫した福祉・教育の実	医療費負担の軽減や年金や手当等の経済的援助	障害の早期発見と、早い段階での適切な療育	無回答
全体		1,881 100.0	340 18.1	582 30.9	141 7.5	818 43.5
ライフステージ別	乳幼児期（6歳未満）	16 100.0	4 25.0	1 6.3	5 31.3	6 37.5
	児童期（6歳～12歳）	52 100.0	20 38.5	12 23.1	9 17.3	11 21.2
	思春期（13歳～19歳）	44 100.0	9 20.5	15 34.1	8 18.2	12 27.3
	青年期（20歳～39歳）	236 100.0	50 21.2	91 38.6	25 10.6	70 29.7
	壮年期（40歳～64歳）	541 100.0	98 18.1	215 39.7	42 7.8	186 34.4
	高齢期（65歳以上）	978 100.0	159 16.3	248 25.4	52 5.3	519 53.1
	無回答	14 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	14 100.0

〔相談・情報提供〕

障害別

上段：度数 下段：%		全体	派遣通話制度の充実 手話通訳の要約筆記者	点字図書・字幕放送・わかりやすく表現された資料等 の障害の特性に応じた情報提供の整備・充実	緊急時の連絡手段の確保	避難や台風など災害時の地震や支援体制の強化	障がい者のための身近な相談支援体制の充実	無回答
全体		1,881 100.0	34 1.8	55 2.9	198 10.5	257 13.7	373 19.8	964 51.2
障害別	身体障害	989 100.0	20 2.0	28 2.8	106 10.7	134 13.5	150 15.2	551 55.7
	知的障害	201 100.0	3 1.5	6 3.0	15 7.5	40 19.9	60 29.9	77 38.3
	発達障害	122 100.0	5 4.1	3 2.5	8 6.6	13 10.7	47 38.5	46 37.7
	精神障害	397 100.0	3 0.8	15 3.8	36 9.1	51 12.8	112 28.2	180 45.3
	高次脳機能障害	35 100.0	1 2.9	2 5.7	4 11.4	6 17.1	8 22.9	14 40.0
	難病（特定疾患）	318 100.0	8 2.5	13 4.1	42 13.2	53 16.7	56 17.6	146 45.9
	無回答	86 100.0	1 1.2	0 0.0	6 7.0	5 5.8	12 14.0	62 72.1

ライフステージ別

上段：度数 下段：%		全体	派遣通話制度の充実 手話通訳の要約筆記者	点字図書・字幕放送・わかりやすく表現された資料等 の障害の特性に応じた情報提供の整備・充実	緊急時の連絡手段の確保	避難や台風など災害時の地震や支援体制の強化	障がい者のための身近な相談支援体制の充実	無回答
全体		1,881 100.0	34 1.8	55 2.9	198 10.5	257 13.7	373 19.8	964 51.2
ライフステージ別	乳幼児期（6歳未満）	16 100.0	1 6.3	0 0.0	1 6.3	1 6.3	8 50.0	5 31.3
	児童期（6歳～12歳）	52 100.0	2 3.8	1 1.9	2 3.8	11 21.2	17 32.7	19 36.5
	思春期（13歳～19歳）	44 100.0	1 2.3	3 6.8	5 11.4	9 20.5	10 22.7	16 36.4
	青年期（20歳～39歳）	236 100.0	6 2.5	12 5.1	19 8.1	37 15.7	69 29.2	93 39.4
	壮年期（40歳～64歳）	541 100.0	16 3.0	16 3.0	60 11.1	85 15.7	137 25.3	227 42.0
	高齢期（65歳以上）	978 100.0	8 0.8	23 2.4	111 11.3	114 11.7	132 13.5	590 60.3
	無回答	14 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	14 100.0

## 第3章 調査結果のまとめ



### 第3章 調査結果のまとめ

#### 【1. 基本的事項】

##### ○年齢の分布状況

年齢を障害別にみると、身体では高齢者の手帳所有者が非常に多く、65歳以上の方が7割以上を占めている。高齢期人口の割合は更に高くなることが推測されている。

また、知的では20歳～49歳の方が約6割を占めており、他の障害と比べて青年期人口の割合が高く、精神では30歳～64歳の方が7割以上を占めている。

項目	区分	1位	2位	3位
年齢	身体	75歳～84歳 (33.2%)	65歳～74歳 (26.4%)	85歳以上 (14.9%)
	知的	20歳～29歳 (24.4%)	30歳～39歳 (18.4%)	40歳～49歳 (16.9%)
	精神	50歳～64歳 (30.7%)	40歳～49歳 (25.9%)	30歳～39歳 (16.6%)
	発達	6歳～12歳 (22.1%)	20歳～29歳 (21.3%)	30歳～39歳 (18.0%)
	高次	65歳～74歳 (31.4%)	50歳～64歳 (25.7%)	75歳～84歳 (14.3%)
	難病	75歳～84歳 (25.8%)	65歳～74歳 (25.2%)	50歳～64歳 (20.8%)

○同居している方について

同居している方についてみると、知的、発達では、児童期～青年期の方が多いこともあり、「母親」、「父親」の割合が高くなっている。

身体、高次、難病では高齢期の方が多いこともあり、「配偶者」の割合が高くなっている。

項目	区分	1位	2位	3位
一緒に暮らしている人	身体	配偶者 (52.0%)	自分一人だけ (21.2%)	子供（未婚） (20.1%)
	知的	母親 (75.1%)	父親 (58.2%)	兄弟姉妹 (37.3%)
	精神	母親 (31.0%)	自分一人だけ (28.2%)	配偶者 (27.0%)
	発達	母親 (73.8%)	父親 (63.1%)	兄弟姉妹 (41.8%)
	高次	配偶者 (40.0%)	母親 (22.9%) その他 (22.9%)	
	難病	配偶者 (62.6%)	子供（未婚） (25.5%)	自分一人だけ (16.0%)



## 【2. 住まいの状況】

## ○住まいの状況

全ての障がいで、分譲マンション・アパートの割合が最も高くなっている。

発達、難病では「一戸建て（持ち家）」（身体は同数）が高くなっており、知的、精神、高次では「公団公営の賃貸住宅・団地」の割合が高くなっている。

項目	区分	1位	2位	3位
住まいの状況	身体	分譲マンション・ アパート (32.8%)	一戸建て（持ち家）(24.5%) 公団公営の賃貸住宅・ 団地 (24.5%)	
	知的	分譲マンション・ アパート (29.9%)	公団公営の賃貸住宅・ 団地 (25.9%)	一戸建て（持ち家） (24.4%)
	精神	分譲マンション・ アパート (29.1%)	公団公営の賃貸住宅・ 団地 (28.2%)	一戸建て（持ち家） (17.4%)
	発達	分譲マンション・ アパート (39.3%)	一戸建て（持ち家） (22.1%)	公団公営の賃貸住宅・ 団地 (21.3%)
	高次	分譲マンション・ アパート (25.7%)	公団公営の賃貸住宅・ 団地 (20.0%)	一戸建て（持ち家） (17.1%)
	難病	分譲マンション・ アパート (39.6%)	一戸建て（持ち家） (26.1%)	公団公営の賃貸住宅・ 団地 (22.0%)

## ○改善したい箇所について

全体、障害別ともに「特に問題はない」の割合が最も高くなっているが、改善を必要とする箇所としては「浴室の改良」、「トイレの改良」が高くなっており、身体では「手すりの取り付け」の割合が高く、障害によって改善を必要とする箇所に違いがみられる。

項目	区分	1位	2位	3位
改善したい箇所	身体	特に問題はない (43.8%)	浴室の改良 (22.2%)	手すりの取り付け (16.2%)
	知的	特に問題はない (60.2%)	浴室の改良 (16.9%)	その他 (11.4%)
	精神	特に問題はない (68.9%)	浴室の改良 (18.1%)	トイレの改良 (16.4%)
	発達	特に問題はない (53.1%)	その他 (12.3%)	浴室の改良 (10.7%)
	高次	特に問題はない (37.1%)	浴室の改良 (28.6%)	トイレの改良 (20.0%)
	難病	特に問題はない (22.6%)	浴室の改良 (22.6%)	トイレの改良 (16.0%)

## 【3. 日常生活】

## ○日常生活の状況について

日常生活動作の自立については、全体、障害別ともに「食事」、「トイレ」では『自分でできる』の割合が高くなっている。

障害別でみると、知的、高次では他の障害に比べて『自分でできる』の割合が低くなっている。

《「自分でできる」「時間はかかるが自分でできる」の合計値について》

項目	区分	1位	2位	3位
日常生活	身体	食事 (86.0%)	トイレ (83.9%)	会話、意思の伝達 (81.1%)
	知的	食事 (70.7%)	トイレ (68.7%)	服を脱いだり着たりする (68.2%)
	精神	食事 (91.1%)	トイレ (90.7%)	入浴 (88.4%)
	発達	食事 (86.1%)	トイレ (83.6%)	服を脱いだり着たりする (82.7%)
	高次	食事 (74.3%)	トイレ (62.8%)	字の読み書き (54.3%)
	難病	食事 (92.8%)	会話、意志の伝達 (90.5%)	トイレ (88.4%)

日常生活動作の介助の必要性を、障害別でみると、精神、高次、難病では「料理を作る」で『介助が必要』の割合が高くなっており、知的、発達では「金銭管理」、身体では「買い物」の割合が高くなっている。知的、高次では全体的に『介助が必要』の割合が他の障害に比べて高くなっている。

《「一部介助が必要」「すべて介助が必要」の合計値について》

項目	区分	1位	2位	3位
日常生活	身体	買い物 (25.3%)	掃除や片付け (25.0%)	料理を作る (23.6%)
	知的	金銭管理 (66.7%)	健康管理（服薬等） (58.7%)	料理を作る (55.7%)
	精神	料理を作る (22.2%)	掃除や片付け (21.4%)	金銭管理 (19.2%)
	発達	金銭管理 (40.9%)	料理を作る (36.9%)	時間管理 (36.1%)
	高次	料理を作る (62.9%)	食事の用意・片付け (62.8%)	時間管理 (60.0%)
	難病	掃除や片付け (24.5%) 料理を作る (24.5%)		買い物 (24.2%)

○親なき後の不安について

全体では「生活上のお金の問題」、「日常生活に必要な支援」などが高くなっている。

身体、高次、難病では「日常生活に必要な支援」が高くなっており、知的、精神、発達では、「生活上のお金の問題」が高くなっており、金銭的な面での不安が高くなっている。

項目	区分	1位	2位	3位
親なき後の不安について	身体	日常生活に必要な支援 (48.8%)	食事や排せつの介助 (28.3%)	理解者がいなくなること (27.3%)
	知的	生活上のお金の問題 (48.2%)	日常生活に必要な支援 (42.0%)	理解者がいなくなること (37.5%)
	精神	生活上のお金の問題 (54.9%)	住まいの問題 (36.1%)	悩み事や困った場合の相談相手 がいなくなること (29.5%) 理解者がいなくなること (29.5%)
	発達	生活上のお金の問題 (50.0%)	住まいの問題 (37.5%)	日常生活に必要な支援 (25.0%) 理解者がいなくなること (25.0%)
	高次	日常生活に必要な支援 (69.2%)	生活上のお金の問題 (46.2%) 理解者がいなくなること (46.2%)	
	難病	日常生活に必要な支援 (52.9%)	食事や排せつの介助 (38.6%)	生活上のお金の問題 (31.4%)

## 【4. 医療の状況】

## ○治療について

全体、障害別ともに「特に困ったことはない」の割合が最も高くなっている。

治療にあたって困っていることについてみると、知的、発達、高次では「医者に病気の症状が正しく伝わらない」が最も高くなっており、身体では、「通院するための交通手段を確保しにくい」が高くなっている。精神、難病では、「経済的な負担が重い」が高くなっており、医療費の負担が課題となっている。

項目	区分	1位	2位	3位
治療について	身体	特に困ったことはない (52.8%)	通院するための交通手段を 確保しにくい (8.2%)	経済的な負担が重い (8.0%)
	知的	特に困ったことはない (28.9%)	医者に病気の症状が 正しく伝わらない (26.9%)	障がい者を診療してくれる 専門の医師が少ない (19.4%)
	精神	特に困ったことはない (39.8%)	経済的な負担が重い (18.4%)	医者に病気の症状が 正しく伝わらない (13.1%)
	発達	特に困ったことはない (32.8%)	医者に病気の症状が 正しく伝わらない (21.3%)	障がい者を診療してくれる専 門の医師が少ない (18.9%)
	高次	特に困ったことはない (45.7%)	医者に病気の症状が 正しく伝わらない (20.0%)	障がい者を診療してくれる 専門の医師が少ない (17.1%)
	難病	特に困ったことはない (46.2%)	経済的な負担が重い (16.7%)	通院するための交通手段を 確保しにくい (9.7%)

○「障害者総合支援法」自立支援医療制度について

「育成医療」、「更生医療」、「精神通院医療」では「知らない」の割合が最も高い。3つの自立支援医療制度の認知度は低く、現在の利用者や今後利用したい人の数も少なくなっている。

「精神通院医療」については、精神の認知度、利用状況がともに高く、制度のニーズの高さがうかがえる。

《自立支援医療制度の認知度》

項目	区分	名称も内容も知っている	名称のみ知っている	知らない
自立支援医療制度	育成医療	4.0% (3位)	9.8% (2位)	61.6% (1位)
	更生医療	4.8% (3位)	9.2% (2位)	63.4% (1位)
	精神通院医療	20.8% (2位)	11.4% (3位)	48.5% (1位)

《自立支援医療制度の利用状況》

項目	区分	「現在利用している」と「現在利用していないが今後利用したい」の合計	「利用する必要がない」と「利用したいと思わない」の合計	わからない
自立支援医療制度	育成医療	1.4% (3位)	38.4% (1位)	25.3% (2位)
	更生医療	4.8% (3位)	29.7% (2位)	34.3% (1位)
	精神通院医療	21.5% (3位)	26.6% (1位)	25.8% (2位)

## 【5. 外出の状況】

## ○外出頻度について

障害別にみると、全体で「ほぼ毎日」の割合が高い。

ライフステージ別にみると、乳幼児期の「ほぼ毎日」の割合が全体でもっとも高く、ライフステージが進むごとに減少している。

項目	区分	ほぼ毎日	週に2～3回	月に2～3回	外出したいが健康状態等により不定期	ほとんど外出していない
外出頻度	身体	35.5% (1位)	30.5% (2位)	6.4%	7.5%	14.3% (3位)
	知的	66.2% (1位)	9.0% (3位)	7.5%	3.0%	11.4% (2位)
	精神	44.3% (1位)	27.2% (2位)	5.0%	10.3%	10.8% (3位)
	発達	75.4% (1位)	7.4% (2位)	3.3% (3位)	3.3% (3位)	7.4% (2位)
	高次	40.0% (1位)	14.3% (3位)	5.7%	8.6%	28.6% (2位)
	難病	39.9% (1位)	30.2% (2位)	6.3%	7.2%	13.2% (3位)

項目	区分	ほぼ毎日	週に2～3回	月に2～3回	外出したいが健康状態等により不定期	ほとんど外出していない
外出頻度	乳幼児期	87.5% (1位)	12.5% (2位)	0.0%	0.0%	0.0%
	児童期	86.5% (1位)	5.8% (2位)	0.0%	0.0%	3.8% (3位)
	思春期	65.9% (1位)	15.9% (2位)	4.5%	6.8% (3位)	6.8% (3位)
	青年期	57.2% (1位)	19.1% (2位)	5.9%	5.9%	8.9% (3位)
	壮年期	56.6% (1位)	21.8% (2位)	5.0%	7.2% (3位)	7.2% (3位)
	高齢期	28.4% (2位)	33.8% (1位)	7.4%	7.7%	16.4% (3位)

○外出時に困ることについて

全体では「歩道に段差や階段が多い」「初めて行くところなどは、どのように行けばよいかわからない」が高くなっており、施設の整備や交通機関の利用のしやすさに向けた取り組みが求められている。

身体、高次、難病では「歩道に段差や階段が多い」が他の障害に比べて高くなっており、段差や階段が外出の妨げになっていることがうかがえる。

精神では「交通費が高い」「まわりの視線が気にかかる」が、知的では「外出したいが一人では外出できない」「相手の言うことがよく理解できない」が高く、障害特性に関わる問題が外出の妨げとなっている。

項目	区分	1位	2位	3位
外出時に困ること	身体	歩道に段差や階段が多い (25.3%)	その他 (16.3%)	外出したいが一人では 外出できない (14.7%)
	知的	初めて行くところなどは、 どのように行けばよいか わからない (37.3%)	外出したいが一人では 外出できない (33.8%)	相手の言うことがよく 理解できない (28.9%)
	精神	初めて行くところなどは、 どのように行けばよいか わからない (27.2%)	交通費が高い (23.7%)	まわりの視線が 気にかかる (22.7%)
	発達	初めて行くところなどは、 どのように行けばよいか わからない (33.6%)	相手の言うことがよく 理解できない (27.0%)	まわりの人の障害に対す る理解や認識が低い (23.8%)
	高次	外出したいが、一人では 外出できない (28.6%)	初めて行くところなどは、 どのように行けばよいか わからない (25.7%)	歩道に段差や階段が多い (22.9%) 交通費が高い (22.9%)
	難病	歩道に段差や階段が多い (21.7%)	その他 (19.2%)	交通費が高い (17.0%)



## 【6. 日中活動の状況】

## ○今後における平日の昼間の過ごし方について

障害別にみると、身体、難病では「何もしないで自宅で過ごしたい」が、精神、高次では「常勤職員として一般企業で働きたい」の割合が最も高くなっている。

知的、発達、高次では、就労移行支援や就労継続支援事業所等での就労を希望する割合も高くなっている。

項目	区分	1位	2位	3位
今後における平日の昼間の過ごし方	身体	何もしないで自宅で 過ごしたい (22.4%)	主に家事をしたい (13.1%) その他 (13.1%)	
	知的	就労移行支援・ 就労継続支援事業所等 で働きたい (25.4%)	生活介護事業所に 通所したい (14.4%)	常勤職員として 一般企業で働きたい (10.4%)
	精神	常勤職員として 一般企業で働きたい (20.7%)	アルバイト・パートで 働きたい (20.2%)	何もしないで自宅で 過ごしたい (19.6%)
	発達	学校に通いたい (28.7%)	常勤職員として 一般企業で働きたい (23.8%)	就労移行支援・ 就労継続支援事業所等で 働きたい (13.9%)
	高次	常勤職員として 一般企業で働きたい (20.0%)	その他 (14.3%)	何もしないで自宅で 過ごしたい (11.4%) 就労移行支援・ 就労継続支援事業所等で 働きたい (11.4%)
	難病	何もしないで自宅で 過ごしたい (23.6%)	主に家事をしたい (17.9%)	常勤職員として 一般企業で働きたい (14.2%)

## 【7. 就労状況】

## ○就労状況について

働いている人の雇用形態についてみると、全ての障害で「一般就労（民間の会社で働いている）」が最も高くなっている。知的については一般就労に次いで「特例子会社」が約2割となっている。

また、働いていない理由についてみると、「高齢だから」と答えた人は身体、難病で割合が高く、障がいのある方の高齢化が進んでいると想定される。

項目	区分	1位	2位	3位
雇用形態	身体	一般就労（民間の会社で働いている）（66.1%）	自営業（18.6%）	その他（11.9%）
	知的	一般就労（民間の会社で働いている）（71.8%）	特例子会社（23.1%）	その他（2.6%）
	精神	一般就労（民間の会社で働いている）（74.8%）	その他（9.0%）	自営業（8.1%）
	発達	一般就労（民間の会社で働いている）（69.7%）	特例子会社（18.2%）	その他（9.1%）
	高次	一般就労（民間の会社で働いている）（50.0%）	自営業（25.0%）	—
	難病	一般就労（民間の会社で働いている）（79.6%）	自営業（12.0%）	その他（7.4%）

項目	区分	1位	2位	3位
働いていない理由	身体	高齢だから（62.9%）	病気（入院含む）しているから（18.2%）	障害が重いから（18.1%）
	知的	学校や施設に通っているから（59.5%）	障害が重いから（18.9%）	働く場がないから（13.5%）
	精神	病気（入院含む）しているから（35.0%）	障害が重いから（25.6%）	高齢だから（22.9%）
	発達	学校や施設に通っているから（67.8%）	障害が重いから（11.9%）	その他（10.2%）
	高次	障害が重いから（47.4%）	高齢だから（36.8%）	病気（入院含む）しているから（26.3%）
	難病	高齢だから（59.7%）	病気（入院含む）しているから（35.1%）	働く必要がないから（18.3%）

## ○就労に必要な環境条件や整備について

全体では、「健康状態にあわせた働き方ができる」が最も高くなっている。「自宅近くに職場がある」の割合も高くなっており、地域での雇用促進に向けた取り組みが求められる。

障害別にみると、身体、精神、難病では「健康状態にあわせた働き方ができる」が最も高くなっており、知的、発達、高次では「障がいのある人に適した仕事が開発されている」「自宅近くに職場がある」が高くなっている。

項目	区分	1位	2位	3位
就労に必要な環境条件や整備	身体	健康状態にあわせた働き方ができる (35.0%)	自宅近くに職場がある (26.6%)	障がいのある人に適した仕事が開発されている (17.0%)
	知的	自宅近くに職場がある (39.3%)	障がいのある人に適した仕事が開発されている (34.8%)	健康状態にあわせた働き方ができる (25.9%)
	精神	健康状態にあわせた働き方ができる (46.6%)	自宅近くに職場がある (30.7%)	通勤することなく自宅で働くことができる (25.9%)
	発達	障がいのある人に適した仕事が開発されている (37.7%)	自宅近くに職場がある (29.5%)	健康状態にあわせた働き方ができる (27.9%)
	高次	自宅近くに職場がある (31.4%) 障がいのある人に適した仕事が開発されている (31.4%)		健康状況にあわせた働き方ができる (22.9%)
	難病	健康状態にあわせた働き方ができる (48.4%)	自宅近くに職場がある (26.1%)	通勤することなく自宅で働くことができる (21.7%)

## 【8. 福祉サービス】

### ○「障害者総合支援法」「児童福祉法」のサービス利用状況について

知的、発達では「相談支援」でのニーズが高くなっている。また、他の障害と比べて各項目のニーズの割合が高くなっている。

精神、発達では、「就労移行支援」「就労定着支援」などの割合が高くなっており、就労支援のさらなる充実が求められている。

項目	区分	1位	2位	3位
児童福祉法サービス利用状況 ・ 障害者総合支援法	身体	居宅介護 (26.3%)	日常生活用具給付 (26.1%)	短期入所 (24.4%)
	知的	相談支援 (45.3%)	共同生活援助 (44.9%)	移動支援 (42.8%)
	精神	地域活動支援 センター (27.1%)	相談支援 (26.6%)	就労移行支援 (23.7%)
	発達	相談支援 (51.6%)	就労移行支援 (41.0%)	就労定着支援 (40.1%)
	高次	移動支援 (34.3%)		相談支援 (28.6%)
		地域活動支援センター (34.3%)		就労継続支援 (B型) (28.6%)
難病	療養介護 (23.9%)	居宅介護 (23.6%)	短期入所 (23.3%)	

※「現在利用している（または申請中）」「現在利用していないが、1年以内に利用したい」「現在利用していないが、1年後から5年以内に利用したい」「当面は利用しないが、いずれ利用したい」の合計を記入

## 【9. 福祉情報・相談の状況】

## ○情報源について

全体的に「市の広報紙」「市役所の窓口」が高くなっており、市より発信する情報提供の充実が求められている。

精神、難病では「病院・診療所」の割合も高くなっている。

項目	区分	1位	2位	3位
情報源	身体	市の広報紙 (55.4%)	市役所の窓口 (26.6%)	都の広報誌 (18.2%)
	知的	市の広報紙 (38.3%)	市役所の窓口 (26.4%)	障がいのサービスを受けている事業所 (25.4%)
	精神	市の広報紙 (37.5%)	病院・診療所 (35.5%)	市役所の窓口 (27.0%)
	発達	市の広報紙 (34.4%)	インターネットのホームページ (25.4%)	市役所の窓口 (24.6%)
	高次	市の広報紙 (40.0%)	市役所の窓口 (31.4%)	各種の福祉施設 (22.9%)
	難病	市の広報紙 (54.7%)	病院・診療所 (28.3%)	市役所の窓口 (28.0%)

○相談相手について

全体でみると「友人・知人」が最も高く、身近な人への相談が多いことがうかがえる。

知的、高次では、「障がいのサービスを受けている事業所等の職員」、「福祉施設の職員」が高くなっており、施設等での相談体制が重要となっている。

精神、発達では「病院・診療所」が最も高くなっており、医療機関での相談体制の重要性も高くなっている。

項目	区分	1位	2位	3位
相談相手	身体	相談することはほとんどない (28.7%)	友人・知人 (25.3%)	病院・診療所 (21.7%)
	知的	障がいのサービスを受けている事業所等の職員 (28.4%)	相談することはほとんどない (17.9%)	福祉施設の職員 (16.4%)
	精神	病院・診療所 (45.1%)	友人・知人 (27.2%)	障がいのサービスを受けている事業所等の職員 (14.1%)
	発達	病院・診療所 (27.0%)	障がいのサービスを受けている事業所等の職員 (21.3%)	友人・知人 (19.7%)
	高次	障がいのサービスを受けている事業所等の職員 (28.6%)	友人・知人 (22.9%)	福祉施設の職員 (20.0%) その他 (20.0%)
	難病	友人・知人 (29.6%)	病院・診療所 (28.0%)	相談することはほとんどない (27.7%)

## 【10. 災害時の避難や対応状況】

## ○災害時の一人での避難について

身体、精神、難病では「避難できる」の割合が最も高くなっているが、知的、発達、高次では「避難できない」の割合が高くなっている。

知的、発達、高次では「避難できない」「わからない」を合計すると5割以上となり、災害時に支援の必要性が高いことがうかがえる。

項目	区分	避難できる	避難できない	わからない
一人での避難	身体	45.4% (1位)	28.7% (2位)	16.8% (3位)
	知的	25.4% (2位)	51.2% (1位)	19.4% (3位)
	精神	51.1% (1位)	15.4% (3位)	28.0% (2位)
	発達	39.3% (3位)	29.5% (1位)	26.2% (2位)
	高次	25.7% (2位)	51.4% (1位)	14.3% (2位)
	難病	55.0% (1位)	26.4% (2位)	15.4% (3位)

○災害時に必要なこと

主に「災害の発生や避難指示を知らせる」、「避難所までの誘導や案内」など、災害発生から避難所への移動の必要性が高いが、身体、高次、難病では「避難所での介護、医療医薬品等の確保」の割合が高く、避難所内での障害に合った支援の需要が高くなっている。

項目	区分	1位	2位	3位
災害時に必要なこと	身体	避難所での介護、医療医薬品等の確保 (34.3%)	災害の発生や避難指示を知らせる (34.0%)	避難所までの誘導や案内 (29.3%)
	知的	災害の発生や避難指示を知らせる (41.8%)	避難所までの誘導や案内 (37.8%)	食事・入浴などの障害特性に合わせた生活環境整備 (32.3%)
	精神	災害の発生や避難指示を知らせる (30.2%)	避難所までの誘導や案内 (29.7%)	避難所での介護、医療医薬品等の確保 (24.9%)
	発達	災害の発生や避難指示を知らせる (35.2%)	避難所までの誘導や案内 (32.8%)	避難所での福祉事業者などとの相談体制の確保 (23.0%)
	高次	災害の発生や避難指示を知らせる (42.9%) 避難所までの誘導や案内 (42.9%) 避難所での介護、医療医薬品等の確保 (42.9%)		
	難病	避難所での介護、医療医薬品等の確保 (35.2%)	災害の発生や避難指示を知らせる (32.1%)	避難所までの誘導や案内 (27.7%)



## 【11. 差別の解消や権利擁護について】

## ○差別や人権侵害について

差別や人権侵害を感じることにしてみると、高次以外では「人の視線」の割合が最も高くなっている。

全ての障害で「仕事や収入」が高くなっており、事業主等の障害理解促進が課題となっている。

項目	区分	1位	2位	3位
差別や偏見、 人権侵害を感じることに 関する	身体	人の視線 (43.0%)	交通機関の利用時 (31.1%)	仕事や収入 (27.8%)
	知的	人の視線 (63.3%)	交通機関の利用時 (31.1%)	仕事や収入 (27.8%)
	精神	仕事や収入 (45.1%) 人の視線 (45.1%)		交通機関の利用時 (28.2%)
	発達	人の視線 (50.0%)	仕事や収入 (36.7%)	学校や教育の機会 (27.3%)
	高次	仕事や収入 (54.5%)	人の視線 (36.4%)	学校や教育の機会 (27.3%) 近所付き合い (27.3%) お店などでの対応 (27.3%) 交通機関の利用時 (27.3%) 情報提供の手段、内容 (27.3%)
	難病	人の視線 (64.4%)	交通機関の利用時 (37.8%)	仕事や収入 (31.1%)

## ○成年後見制度について

成年後見制度の認知度については、知的、高次では「知らない」の割合が最も高くなっている。

「名称も内容も知っている」、「名称のみ知っている」を合わせると全ての障害で5割以上となるが、制度詳細も含めた認知度の向上が課題となっている。

項目	区分	名称も内容も知っている	名称のみ知っている	知らない
成年後見制度	身体	28.1%(2位)	35.3%(1位)	25.2%(3位)
	知的	24.9%(3位)	29.4%(2位)	39.8%(1位)
	精神	23.9%(3位)	38.5%(1位)	32.0%(2位)
	発達	27.0%(3位)	35.2%(1位)	32.0%(2位)
	高次	28.6%(2位)	28.6%(2位)	34.3%(1位)
	難病	32.4%(2位)	40.6%(1位)	21.4%(3位)

## ○その他の福祉サービスについて

「地域福祉権利擁護事業」「総合オンブズマン」「障害者虐待防止センター」では、「知らない」が6割以上を占めている。

区分	名称も内容も知っている	名称のみ知っている	知らない
成年後見制度	26.2%(3位)	36.4%(1位)	27.9%(2位)
地域福祉権利擁護事業	3.2%(3位)	11.5%(2位)	72.7%(1位)
総合オンブズマン	5.6%(3位)	21.4%(2位)	63.3%(1位)
障害者虐待防止センター	4.1%(3位)	17.9%(2位)	69.3%(1位)

## 【12. 新型コロナウイルス感染拡大による影響】

## ○外出自粛による健康の変化について

障害別にみると、全ての障害で感染拡大後では『健康である』の割合が低下し、『健康でない』の割合が増加している。

特に高次では感染拡大後に、『健康でない』が『健康である』を上回っている。

項目	区分	感染拡大前		感染拡大後	
		健康である	健康でない	健康である	健康でない
健康の変化 外出自粛による	身体	60.0%	27.1%	50.1%	35.3%
	知的	82.1%	12.9%	68.1%	25.4%
	精神	74.6%	22.9%	63.1%	34.5%
	発達	55.0%	39.6%	48.6%	44.9%
	高次	51.5%	34.2%	37.2%	48.6%
	難病	56.0%	36.5%	51.0%	41.2%

※『健康である』は「とても健康である」と「健康である」の合計を記入

『健康でない』は「あまり健康でない」と「健康でない」の合計を記入

【13. 市に望む施策】

○市に望む施策について

全体的に「医療費負担の軽減や年金や手当等の経済的援助」の割合が高くなっており、経済面での援助の充実を求める人が高くなっている。また、「障がい者と対等の関係づくりや交流を促進するなど、相互理解を深める事業の充実」や、「市民や企業等への障がい者差別解消に向けた理解促進及び啓発」も高くなっており、障がい者理解や差別解消に向けたより一層の取り組みが求められている。

障害別にみると、発達では「障がい者のための身近な相談支援体制の充実」が最も高くなっており、相談や情報提供の充実が課題である。

項目	区分	1位	2位	3位
市に望む施策	身体	医療費負担の軽減や年金や手当等の経済的援助 (27.5%)	障がい者や高齢者にやさしい「福祉のまちづくり」の推進 (26.2%)	市民や企業等への障がい者差別解消に向けた理解促進及び啓発 (20.1%)
	知的	障がい者と対等の関係づくりや交流を促進するなど、相互理解を深める事業の充実 (35.3%)	医療費負担の軽減や年金や手当等の経済的援助 (33.3%)	障がい者や高齢者にやさしい「福祉のまちづくり」の推進 (31.3%)
	精神	医療費負担の軽減や年金や手当等の経済的援助 (38.0%)	障がい者と対等の関係づくりや交流を促進するなど、相互理解を深める事業の充実 (31.2%)	市民や企業等への障がい者差別解消に向けた理解促進及び啓発 (29.5%)
	発達	障がい者のための身近な相談支援体制の充実 (38.5%)	市民や企業等への障がい者差別解消に向けた理解促進及び啓発 (37.7%)	障がいのある子どもたちの可能性を最大限に伸ばすような教育の実施 (34.4%)
	高次	市民や企業等への障がい者差別解消に向けた理解促進及び啓発 (28.6%)	障がい者と対等の関係づくりや交流を促進するなど、相互理解を深める事業の充実 (25.7%) 医療・保健・福祉・教育の連携と一貫した支援の充実 (25.7%) 医療費負担の軽減や年金や手当等の経済的援助 (25.7%)	
	難病	医療費負担の軽減や年金や手当等の経済的援助 (41.5%)	障がい者や高齢者にやさしい「福祉のまちづくり」の推進 (28.0%)	市民や企業等への障がい者差別解消に向けた理解促進及び啓発 (27.7%)

---

---

令和2年度多摩市障がい者生活実態調査  
令和3年3月 発行

印刷物番号
2-48

- 発行 多摩市  
〒206-8666  
東京都多摩市関戸6丁目12番地1  
電話 042(375)8111 (代表)
- 編集 健康福祉部障害福祉課

■頒布価格 570円

---

---

